令和５年度

事業報告書

自　令和５年４月　１日
至　令和６年３月31日

理　念　　市民の笑顔あるれる支え合いのまちなは
～頼られる社協を目指して～

職員行動原則

一．私たちは地域住民に寄り添い、柔軟な姿勢で対応します
一．私たちは使命感を持って、新たなことにチャレンジします
一．私たちは仲間の個性を認め合いチームワークで対応します
一．私たちは福祉サービスの質の向上と自己研鑽に努めます
一．私たちは感謝と笑顔を大切にします

社会福祉法人那覇市社会福祉協議会

令和５年度那覇市社会福祉協議会事業報告書（目次）

目　次

事業総括――――――――――――――――――――――――――――――――― P. 1

１．組織基盤の整備――――――――――――――――――――――――――― P. 3

（１）会務の運営
（２）会員の拡充強化
（３）福祉活動の財源の確保
（４）事務局体制の基盤整備
（５）研修の推進
（６）那覇市社協第４次強化発展計画の実施
（７）那覇社協創立 70 周年記念プロジェクト
（８）各種規程・規則等の整備
（９）監査の実施
（10）正規職員採用
（11）那覇市民生委員児童委員連合会への職員派遣

２．地域福祉活動の推進・・・・・・・・・・・・――――――――――――― P. 11

（１）安心生活創造推進事業
（２）地域ふれあいデイサービス事業の実施（市受託）
（３）生活支援コーディネーター配置事業（那覇市生活支援体制整備事業）
（４）地域支えあい訪問型サービス事業（個人登録型）
（５）小規模法人ネットワーク化事業（ちゅいしいじい事業）
（６）歳末たすけあい見舞激励金事業
（７）歳末たすけあいクリスマスケーキ配布事業
（８）第５次那覇市地域福祉計画・第３次那覇市地域福祉計画策定までの経過

３．ボランティア活動・福祉教育の推進――――――――――――――――――――――P. 69

（１）ボランティア市民活動センターの運営
（２）啓発広報活動の推進
（３）ボランティアコーディネート活動の推進
（４）ボランティア団体活動の助成・支援
（５）災害時支援に関すること

４．広報活動の推進――――――――――――――――――――――――――――――――P. 80

（１）社協会報「なは社協だより」の発行
（２）第 47 回那覇市社会福祉大会の開催（市補助）
（３）インターネットホームページの運用
（４）ラジオ番組「それいけ!!　みんなの　なは社協」の実施
（５）広報委員会の開催

5．福祉関係団体活動の支援・助成 ――――――――――――――――――――――P. 82
（1）福祉関係団体等活動の支援助成
（2）介護保険事業関係事業所連絡会への参画（訪問・通所）

6．ふれあいのまちづくり事業（市補助） ――――――――――――――――――――――P. 90
（1）ふれあい福祉相談事業の運営
（2）法外援護活動の実施

7．生活困窮者に対する相談支援 ――――――――――――――――――――――――――P. 95
（1）生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託）

8．権利擁護支援の推進 ――――――――――――――――――――――――――――――P. 101
（1）日常生活自立支援事業の推進（県社協受託）
（2）那覇市生活保護世帯金銭管理支援事業（市受託）
（3）法人後見推進事業の実施　成年後見制度の推進
（4）預金通帳等緊急預かり支援事業

9．障がい者相談支援・福祉サービス事業の推進 ――――――――――――――――――P. 119
（1）特定相談支援事業・障害児相談支援事業
（2）那覇市ピアサポート事業（市受託）
（3）重度心身障害者医療費等貸付事業の実施（市補助）
（4）リフト付きバス運行事業の実施（市受託）

10．子育て支援事業の実施 ――――――――――――――――――――――――――――P. 123
（1）ファミリーサポートセンター事業の実施（市受託）
（2）ファミリーサポートセンター事業アドバイザー・援助を行う会員研修事業
（3）那覇市育児支援家庭訪問事業（市受託）
（4）子どもの支援団体等へのサポート事業（市受託）
（5）沖縄の子ども達の命を守る支援事業
（6）子どもの居場所・困窮世帯等支援事業

11．介護サービス事業の推進 ――――――――――――――――――――――――――――P. 139
（1）介護保険居宅介護支援事業所の経営
（2）介護保険指定通所介護事業所の経営（デイサービスあしびなー）
（3）介護保険指定訪問介護事業所の経営（ホームヘルプステーションわかば）
（4）障がい福祉サービス事業所の経営（ホームヘルプステーションわかば）
（5）移動支援事業の実施（ホームヘルプステーションわかば）（市受託）
（6）介護保険・障がい福祉サービス制度外サービスの実施
（7）一般旅客運送事業（福祉有償移送事業）の実施
（8）介護保険・障がい福祉サービスの各事業関連

12. 那覇市総合福祉センターの指定管理運営（市受託） ――――――――――――――P. 154
（1）総合福祉センターの指定管理運営
（2）金城老人憩の家の指定管理運営
（3）金城児童館の指定管理運営
（4）ボランティア室の指定管理運営
（5）社会福祉センターの指定管理運営
（6）指定管理施設プロポーザル参加経緯
（7）泡消火剤流出事故

13. 那覇市老人福祉センター及び老人憩の家の指定管理運営（市受託） ――――――P. 162
（1）那覇市小禄老人福祉センターの指定管理運営
（2）那覇市識名老人福祉センターの指定管理運営
（3）那覇市金城老人憩の家の指定管理運営（再掲）

14. 那覇市児童館の指定管理運営――――――――――――――――――――――――――P. 190
（1）那覇市小禄児童館の指定管理運営
（2）那覇市識名児童館の指定管理運営
（3）那覇市金城児童館の指定管理運営（再掲）
（4）つどいの広場事業の受託

15. 沖縄県共同募金会那覇市共同募金委員会の運営 ――――――――――――――――P. 209
（1）赤い羽根共同募金運動の推進
（2）歳末たすけあい運動の推進
（3）共同募金助成審査委員会の開催
（4）配分金事業・歳末たすけあい事業の実施

16. その他の事業――――――――――――――――――――――――――――――――――P. 213
（1）南部地区社会福祉協議会連絡協議会への参画
（2）令和５年度九州ブロック地域福祉研究会議（鹿児島大会）への派遣・参加
（3）物品等貸し出し事業の実施
（4）社会福祉士・介護福祉士養成実習の受け入れ
（5）実習生・インターンシップ等の受け入れ

令和５年度 那覇市社会福祉協議会 事業報告

事業総括

新型コロナウイルス感染症は、５類への移行に伴い、来沖される観光客も徐々に増えてきており、社会活動が動き始め、経済に活気が戻り明るい兆しも見えてきました。しかし、一方では、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルによるパレスチナのガザ地区への攻撃等痛ましい惨劇が報道を通して連日伝えられ、紛争が絶えない暗い影を落としています。また、今年１月１日に発生した能登半島地震災害には、甚大な被害を引き起こし、今なお被災地の多くが避難生活を余儀なくされ、復旧復興の為に継続的な支援金やボランティア等の多くの人材が必要とされており、国内外からも義援金が寄せられ、支え合い助け合いの輪が広がっています。

また、地域では、制度の狭間等困難ケースや複合的な課題を抱えている方が増えており、コロナ禍で波及した住民組織による個別の見守り活動や地域住民同士の人と人が繋がることの大切さを共感し、対面での集会など地域活動が徐々に再開されてきました。

本会では、令和５年６月に第33期理事が選任されて、新しい役員体制のもと、６つの重点項目を掲げて、コロナ禍の社会状況や国の施策を見極めながら、各事業の目的達成に向け職員間の連携を深めながら推進して参りました。

令和５年度　重点項目

１．コミュニティソーシャルワーク機能の強化
　(1) 校区まちづくり協議会、福祉団体等との連携による地域の見守り体制強化
　(2) 社会福祉法人等による地域貢献事業の取り組み推進
２．総合相談支援体制の構築及び強化
　(1) 生活困窮者に対する包括的支援体制の整備
　(2) 権利擁護センター設置に向けた取り組み
３．子どもや高齢者の居場所等ネットワーク化と食支援による企業連携
４．ボランティア活動強化及び担い手の発掘
５．介護事業等の経営改善と自主財源の充実強化
６．第５次強化発展計画及び第３次地域福祉活動計画の策定事業

令和５年度は、第２次那覇市地域福祉活動計画が最終年にあたり、行政と一体的な計画として、計画の振り返りと次期計画に向けて、市民の意見を取り入れるための行政区事のワークショップの開催や局内でのワーキングチーム会議、庁内検討委員会や同計画の諮問機関である専門分科会への参画を経て、第３次那覇市地域福祉活動計画を策定することが出来ました。

福祉団体や関係機関等との連携強化では、民生委員児童委員や自治会、校区まちづく

り協議会などとの懇談会や意見交換会を開催し、コロナ禍を経て、対面での集会等を通して顔の見える関係づくりに奔走した１年でした。四者会議等ではＣＳＷの活動や役割についての重要性が再確認され、関係団体からの増員配置の要望が出る等、次年度からの那覇市地域福祉計画等にＣＳＷ人員配置の目標値が示されました。また、社会福祉法人間の連絡会も会議を積み重ねた結果、地域の課題を共有し、地域の課題を７つの分野に分けて解決に向けた方向性を見出すことができました。

コロナ特例貸付を通じて見えてきた生活困窮、孤立の課題については、一部署での対応が出来ない場合は、断らない相談や横断的な取り組みを考慮しながら、行政機関や関係団体等との密な連絡を図り、包括的な支援体制に向けた基盤整備、ネットワークづくりを見据えて、伴走的な支援に取り組んで参りました。そのことは、本人の意思決定を支援していくプロセスとなり、尊厳のある本人らいし生活の継続と地域社会への参加を図るための地域づくりにもつながると考えております。

令和５年度は、老人福祉センターや児童館、総合福祉センターの指定管理に応募した結果、引き続き次年度も受託することとなりました。今後は、活動拠点を活かした地域活動を推進し、ボランティア市民活動の価値及びボランティアセンターの役割の重要性を再確認し、事業の精査を行い、事業の効率化を目指しつつ、担い手の育成や人材確保に努めて参ります。

本会の事業運営に対し、多くの市民、企業、福祉団体等より会費・寄付、共同募金運動へご支援ご協力といただき、また、子どもの食支援及び子どもの居場所の運営に対し個人・県内外の企業との連携等から物資の寄贈等も多く寄せられました。

一方で、法人内において、従前からの課題である職員の人材確保が困難の中で、一部職員に業務過多が重なり、将来設計への不安等から正規職員等の離職が続いています。本会経営理念や法人運営に対する周知、職員とのコミュニケーション不足による問題と捉えて真摯に受け止め、職員との信頼関係の構築と業務改善に取り組みました。また、これまで職員の退職理由やリスク管理の欠如については、原因を究明し管理体制を明確化し再発防止に努めて、引き続き法人内の管理体制及びガバナンスの強化に努めて参りました。

次年度に向けて

令和６年度は、第３次地域福祉活動計画の推進及び第５次強化発展計画の評価と次期計画策定するために事業の評価・精査（発展、廃止）し、中期経営計画への策定に取組みます。また、引き続き、役職員一丸となって本会の使命と役割を認識し、誰ひとり取り残されることなく生きがいを感じられる「ともに生きる豊かな地域社会」に向けて、自治会、民生委員・児童委員など、多様な地域関係者やまちづくり協議会などの任意団体と連携・協働し、中核を担う組織としてコーディネート機能を発揮し、地域福祉の推進に向けた取組を着実に邁進して参ります。以上、令和５年度の事業報告といたします。

令和６年３月31日

社会福祉法人那覇市社会福祉協議会
会　長　　川　満　正　人

1．組織基盤の整備

（1）会務の運営

①理事会・評議委員会の開催

理　事（32 期・定数 11 人）（33 期・定数 11 人）

評議員（31 期・定数 24 人）

理事会（開催状況）4 回開催

月／日	場　所	出席数	議　題
第 1 回 5 月 30 日	那覇市総合福祉センター（2F 大会議室）	理事 11 人 監事 1 人	第 1 号議案　令和 4 年度那覇市社協事業報告について 第 2 号議案　令和 4 年度那覇市社協一般会計収支決算について 令和 4 年度監査報告 第 3 号議案　令和 5 年度那覇市社協資金収支第一次補正予算について 第 4 号議案　リスク管理規程の制定について 第 5 号議案　育児・介護休業に関する規則の全部改正について 第 6 号議案　常勤職員就業規則の一部改正について 第 7 号議案　第 33 期理事及び監事候補者の選任案について 第 8 号議案　令和 5 年度第 1 回評議員会（定時評議員会）の開催及び議事に付すべき事項について 報告事項 ①会長（全役員含む）職務執行報告（下半期 10 月～3 月）
第 2 回 6 月 16 日	ともかぜ振興会館（2F 研修室	理事 8 人 監事 3 人	第 1 号議案　第３３期会長、副会長及び常務理事の選定について 第 2 号議案　第３３期顧問の承認について 第 3 号議案　職員就業規則及び常勤職員就業規則の一部改正について 第 4 号議案　評議員選任解任委員会の招集及び第３１期評議員補充選任候補者について
第 3 回 11 月 25 日	那覇市総合福祉センター（2F 大会議室）	理事 11 人 監事 3 人	第 1 号議案　令和 5 年度第二次補正予算について 第 2 号議案　職員就業規則の一部改正について 第 3 号議案　常勤職員就業規則の一部改正について 第 4 号議案　パートタイム職員就業規則の一部改正について 第 5 号議案　令和 5 年度第2回評議員会の開催及び議事に付すべき事項について 報告事項等 ①会長の職務執行報告について（上半期 4 月～9 月） ②共同募金のご協力について
第 4 回 3 月 1 日	那覇市総合福祉センター（2F 大会議室）	理事 10 人 監事 3 人	第 1 号議案　令和 5 年度資金収支第三次補正予算について 第 2 号議案　令和 6 年度事業計画について 第 3 号議案　令和 6 年度資金収支予算について 第 4 号議案　職員就業規則並びに常勤職員に関する就業規則の一部改正について 第 5 号議案　令和 5 年度第 3 回評議員会の開催及び議事に付すべき事項について 報告事項・その他 ①「障がい者生活相談支援センターゆいゆい」事業終了報告 ②泡消火剤（PFOS 等）流出事故の経過報告

評議員会（開催状況）3回開催

月／日	場　所	出席数	議　題
第1回 6月16日	ともかぜ振興会館（2F研修室	17人	第1号議案　令和4年度事業報告について 第2号議案　令和4年度一般会計収支決算について 令和4年度監査報告 第3号議案　令和5年度資金収支第一次補正予算について 第4号議案　第33期理事及び監事の選任について 報告事項 ①会長（全役員含む）職務執行報告（下半期10月～3月） ②リスク管理規程の制定について ③育児・介護休業に関する規則の全部改正について ④常勤職員就業規則の一部改正について
第2回 11月28日	那覇市総合福祉センター（2F大会議室）	20人	第1号議案　令和5年度那覇市社協第二次補正予算について 報告事項 ①会長（全役員含む）職務執行報告（上半期4月～9月） ②職員就業規則の一部改正について ③常勤職員就業規則の一部改正について ④パートタイム職員就業規則の一部改正について ⑤共同募金のご協力について
第3回 3月12日	那覇市総合福祉センター（2F 大会議室）	20人	第1号議案　令和5年度資金収支第三次補正予算について 第2号議案　令和6年度事業計画について 第3号議案　令和6年度資金収支予算について 報告事項・その他 ①職員就業規則並びに常勤職員に関する就業規則の一部改正について ②「障がい者生活相談支援センターゆいゆい」事業終了報告 ③泡消火剤（PFOS等）流出事故の経過報告

評議員選任・解任委員会（1回開催）

月／日	場　所	出席数	議　題
6月30日	那覇市総合福祉センター（2F大会議室）	5人	第31期評議員の補充選任について（推薦3名）

② 理事及び役員改選の実施

・第33期理事（6月16日開催の定時評議員会にて承認）

・新役員（6月16日開催の第2回理事会にて承認）

会　長　川満正人（新）

副会長　長嶺美佐子・前原信達・山内光子

常務理事　宮城哲哉

※その他、監事・顧問

③ 各種部会・委員会の開催

ア．第三者委員会（委員5名うち外部委員3人）開催回数　1回

・社会福祉法第82条の規定に基づき、那覇市社協が提供する福祉サービスに係る苦情への適切な対応を行うため、第三者委員を設置している。苦情への適切な対応を行うこと

で福祉サービス利用者の満足度を高めるとともに、提供者である那覇市社協の信頼及びサービス適正性の確保に努めている。

開　催　　3月25日（月）大会議室

報　告　　36件・他3件（企画総務課3件・地域福祉課12件・在宅福祉課14件・福祉施設課7件・社協へのお手紙等3件）

イ．投書箱「社協へのお手紙」を設置

那覇市社協の指定管理施設（総合福祉センター、老人憩の家・老人福祉センター3施設、児童館3施設）内に投書箱《社協へのお手紙》を設置し、利用者からの苦情や要望等を受け付け、対応・改善に取り組んだ。

④三役会議等の開催

ア．三役調整会議の開催　（21回開催）　毎月第1・3火曜日

イ．業務調整会議の開催　（49回開催）　毎週金曜日

ウ．事業企画検討会議の開催　（40回開催）　毎週月曜日

⑤外部委員会への出席状況

開催日	委員会名	開催場所	参加者
5月16日	那覇市要保護児童対策地域協議会	協働プラザ	宮城哲哉常務理事 高野大秋課長
5月17日 11月14日 2月2日	那覇市民生委員推薦会	那覇市役所	新本博司会長 川満正人会長
5月23日	那覇市青少年健全育成市民会議 理事会・総会	那覇市役所	欠席
5月24日	読売巨人軍那覇協力会役員会	那覇市役所	代理出席 宮城哲哉常務理事
5月24日 10月7日	那覇市奨学生選考委員会	那覇市役所	新垣佳子事務局長
5月25日	那覇市民憲章推進協議会 常任委員会	那覇市役所	新本博司会長
5月26日	那覇市社会福祉審議会	那覇市役所	欠席
6月22日 12月8日 3月14日	沖縄県社会福祉協議会 評議員会	沖縄県総合福祉センター	新本博司会長 川満正人会長
6月28日	那覇市民憲章推進協議会 定期総会	那覇市役所	欠席
6月29日	沖縄県視覚障害者福祉協会 定時評議員会	沖縄視覚障害者福祉センター	新垣佳子事務局長
6月30日	新都心安全なまちをつくる会 定期総会	協働プラザ	新垣佳子事務局長
6月30日	那覇市交通安全市民運動推進協議会 総会	那覇市役所	代理出席 高野大秋課長
8月23日 3月14日	那覇市空家等対策審議会	那覇市役所	宮城哲哉常務理事
10月4日	那覇市健康ウォーキング推進事業 実行委員会	那覇市役所	代理出席 上原直子課長

10月18日 2月2日 3月14日	那覇市国民健康保険運営協議会	那覇市役所	長嶺美佐子副会長
10月19日	那覇市保健所運営協議会	那覇市保健所	長嶺美佐子副会長
1月22日	那覇市政功労者表彰審査委員会	那覇市役所	宮城哲哉常務理事
3月5日	地域福祉専門分科会	那覇市役所	宮城哲哉常務理事

⑥関係行政機関等連絡会の開催

ア．那覇市福祉部課長会議への参加（毎週水曜日）

イ．担当者間の調整会議を随時開催

ウ．那覇市長・那覇市議会議長への要請（補助金及び新規事業への増額要請）

（2）会員の拡充強化

社協会員加入促進月間（6月～7月）を設定し、会員加入を呼びかけ会費納入の拡充を図った。また、パソコン機器を活用して会員台帳の整備を図った。

・会員加入実績

	R5 実績額（件）		R4 実績額（件）		会員構成内容
戸別会員	969,300	9,693	989,600	9,896	・各世帯件数（自治会95ヵ所）
個人会員	1,075,611	568	967,000	569	・市社協役職員 ・民生委員児童委員 ・学識経験者 ・その他賛同する個人　等
団体会員	413,945	129	706,945	173	・住民組織（小地域社会福祉組織、その他社会福祉に関連のある住民組織） ・福祉団体（当事者等の組織・ボランティア団体） ・福祉関係機関（福祉施設・社会福祉団体・更生保護事業施設・更生保護団体等）
特別会員	2,322,000	222	2,112,358	231	
合　計	4,780,856	10,612	4,775,903	10,870	

※今年度より会員会費規程が変更。R4実績額(件)で、個人会員は正会員および賛助会員の合計、団体会員は正会員および賛助会員の合計、特別会員は法人会員および協力会員の合計となっている。

（3）福祉活動の財源の確保

①公・民の助成金等の活用

②那覇市社会福祉協議会財政対策積立金の活用

③那覇市地域福祉基金等の活用

④チャリティ事業等の推進　※企画総務課主管での実施はなし

⑤卓上募金箱募金等活動の推進

⑥その他自主財源の確保を目的とした事業の推進

ア．不要入れ歯リサイクル回収ボックスの設置　※随時

入れ歯等に含まれる金や銀、パラジウムなどの希少金属を取り出して換金し、日本入れ歯リサイクル協会の活動を支援することにより、事務費等の諸経費を除いた収益金がユ

ニセフ協会と社協へ寄附される。現在、那覇市総合福祉センター、那覇市役所、各支所、老人福祉センター等に設置

イ．寄附型自動販売機の設置
子どもの居場所支援と提携して企業や団体等に自動販売機を設置。売り上げの一部が市社協へ寄附

⑦社協活動へ寄附実績（令和５年４月１日～令和６年３月31日）

種　別	金　額	件　数
寄附金	21,822,586円	203件
（内　自販機寄付）	99,248円	58件

ウ．沖銀スマートアプリ募金
★「ちばりよーな～ふぁ募金」　実績　158,800円
こども食堂や生活困窮世帯への食糧や物資提供、活動に関する資金に活用
★「な～ふぁゆいまーる募金」　実績　35,400円
高齢者や障がい者の見守り活動や地域の活動に活用

（４）事務局体制の基盤整備（外部専門家導入による組織強化）
①労務環境等の整備
ア．社会保険労務士法人クローバーと年間の顧問契約を結び、改正労働契約法に基づき、労務環境整備に関する相談を随時行った。　担当：比嘉正人先生
イ．福利厚生「ソウウェルクラブ」の加入
ウ．相談窓口「みんなの保健室」設置（幸喜穂乃氏対応）
心の悩みやハラスメント相談など第三者による相談環境を整備

②人材育成研修の実施（人材育成強化プロジェクト）
人事評価制度が人材育成に繋がる効果的な運用に向けて、昨年に引き続き外部講師を活用し職員の人材育成を図った。（講習会及び要綱等整備）
委託先：合同会社 Ｈａｐｐｙ　Ｊｏｙ　代表　幸喜　穂乃

③寺田明弘弁護士事務所と顧問契約を結び、月１回定期的に弁護士が訪問し、法律問題に対処するための法律相談やテーマ内容に応じて学習会を開催した。

第１回	リスク管理・個人情報・クレーム対応	４月５日
第２回	個人情報保護について	６月７日
第３回	個人情報保護について	７月12日
第４回	ハラスメント防止対策～なぜハラスメントが起きるのか	９月６日
第５回	相続登記義務化について	10月４日
第６回	消費者金融トラブルについて	11月１日
第７回	弁護士相談	11月24日
第８回	高齢障がい者の消費者被害	１月10日
第９回	高齢者虐待防止について	２月７日

④安全衛生委員会の活動
ア．定例会議の実施（委員+産業医　11名）
産業医：國吉純郎 先生（小禄病院）　※令和２年度より委託

第1回	6月14日	令和5年度の委員顔合せ／令和5年度事業計画について／（委員6名・産業医）
第2回	7月6日	企画内容の実施について／令和5年度事業計画について／新型コロナウイルス関連情報／職場巡視報告　（委員5名）
第3回	9月7日	企画内容の実施について／新型コロナウイルス関連情報／職場巡視報告　（委員10名・産業医）
第4回	10月5日	企画内容の実施について／ひやみかちなはウォーク2023／新型コロナウイルス・インフルエンザ情報／職場巡視報告（委員10名・産業医）
第5回	11月2日	企画「let's体幹トレーニング」／ひやみかちなはウォーク2023／職場巡視報告　（委員8名）
第6回	12月7日	企画「let's体幹トレーニング」／ひやみかちなはウォーク2023／安全運転講習会報告／職場巡視報告 産業医による健康相談　（委員10名・産業医）
第7回	2月1日	インフルエンザ警報発令／安全運転講習会／職場巡視報告（委員8名・産業医）
第8回	3月7日	ストレスチェック結果／安全運転講習会／職場巡視報告（委員9名）

イ．安全衛生委員会による健康づくり講座の実施
企画「let's体幹トレーニング」（講師：平山貴史 氏　金城憩の家講師）
第1回　10月26日（木）12：10　参加27名
第2回　11月9日（木）12：10　参加29名　合計56名
ウ．「ひやみかちなはウォーク2023」への運営協力
開催日　11月12日（日）
内　容　うるくまーいの給水所運営

⑤安全運転管理に関すること
ア．安全運転管理者　正：上原直子　副：上地哲司
イ．安全運転管理者講習への参加　11月22日（水）上原／1月25日（木）上地
ウ．安全運転講習会　実施なし

⑤新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
令和5年5月8日から5類感染症への移行により、今年度の通達は1回であった。
ア．職員への通達
5/29発令文書「新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う対応について（6月以降）」

（5）研修の推進
①那覇市社協職員研修会の開催
ア．新任職員研修会　4月4日（火）・5（水）・25日（火）　参加17名
イ．管理職研修会　4月14日（金）　参加19名
②各種研修会への参加派遣

（6）那覇市社協第４次強化発展計画の実施

①社協経営基盤強化プロジェクトを基本に正規職員を中心にワーキンググループの実施

経営基盤強化プロジェクト	令和５年度ワーキンググループ
（1）組織力強化	那覇市地域福祉活動計画作成
	那覇社協ＢＣＰ策定（那覇社協ＢＣＰ・介護事業ＢＣＰ）
（2）財政基盤・広報強化	広報委員会（社協だより、毎月ＦＭなはラジオ番組）
	財源確保（補助金要請、自主財源）
（3）人財育成強化	人財育成事業（人事評価、研修）

②地区別担当者の組織

ア．地区別：本庁地区・真和志地区・首里地区・小禄地区

イ．内　容：毎月１回会議　※その他、地域のイベントや業務等で対応

（7）那覇市社協創立 70 周年記念プロジェクト

①記念誌編集部会

70 周年を振り返り座談会を実施、また一年間の活動をまとめて令和５年６月に発刊した。

部数等：125 ページ、500 部

②広報部会　※昨年終了。継続事業は広報活動で報告

③イベント部会　※昨年終了

★那覇市社会福祉協議会創立 70 周年記念誌

（8）各種規程・規則等の整備

①職員就業規則の一部改正について（3 回改正）

②常勤職員就業規則の一部改正について（4 回改正）

③パートタイム職員就業規則の一部改正について

④育児・介護休業に関する規則の全部改正について

⑤リスク管理規程の制定について

（9）監査の実施

①内部監査

令和４年度事業決算監査（会計中心）

期日　令和５年５月 11 日（木）13：30～16：30

場所　那覇市総合福祉センター2 階　大会議室

監事　有銘寛之氏

令和４年度事業決算監査（事業・介護保険等）

期日　令和５年５月 16 日（火）9：30～16：30

場所　那覇市総合福祉センター2 階　大会議室

監事　諸見里安秀氏・金城敏彦氏

(10) 正規職員採用

①採用試験（4月募集）　応募者 2名　採用者1名（R5年6月採用）
②採用試験（11月募集）　応募者12名　採用者6名（R6年4月採用）
③内部登用（3月決定）　専門職　2名　論文・面接評価あり

(11) 那覇市民生委員児童委員連合会への職員派遣

派遣職員：金城香（主任）

1998年4月に那覇市民生委員児童委員協議会（当時）が本会から分離独立したとき以来現在まで、下記の目的のため継続して職員派遣を行っている。

★那覇市社協の使命

地域福祉を推進する中核的な組織として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進することを使命とする。

※市区町村社協経営指針（第2次改訂版）より引用

★職員派遣の目的（覚書より）

1. 那覇市民生委員児童委員連合会の体制強化および組織強化
2. 本会の人材育成
3. 双方の地域福祉の推進に寄与する

★出向職員の役割

1. 常に有機的な連携を図る
2. 定例および必要に応じて本会に相談報告を行う
3. 関連する社協事業との連携（事業説明、取り組み方法の提示、課題抽出など）

★実施事業

1. 那覇市社会福祉協議会事業「地域見守り隊」「地域見守り・交流事業」「歳末たすけあい見舞激励金」「緊急医療情報キット」等の活動推進
2. 役員会等を含め諸会議、部会等の開催
3. 那覇市民生委員児童委員大会
4. 那覇市委託事業による研修
   ①那覇市新任民生委員児童委員研修会　年4回
   ②那覇市新任民生委員児童委員活動記録研修会　年4回
   ③那覇市民生委員児童委員全体研修会
   (令和5年度研修テーマ：那覇市社協との連携について)
   ④那覇市民生委員児童委員地区別合同研修会（那覇・真和志・首里・小禄）
   ⑤部会研修会（地域福祉部・児童福祉部・広報部）
5. 民生委員児童委員の広報啓発活動
   ①「民生委員・児童委員の日」広報啓発
   ②民生委員児童委員広報チラシ・パンフレット作成
   ③なは市民の友　折り込み広報紙作成
6. その他関係機関・団体の事業・活動等への参加協力

(1)令和５年度安心生活創造推進事業報告(令和５年４月～令和６年３月)

【1】地域住民のニーズ・生活課題の把握

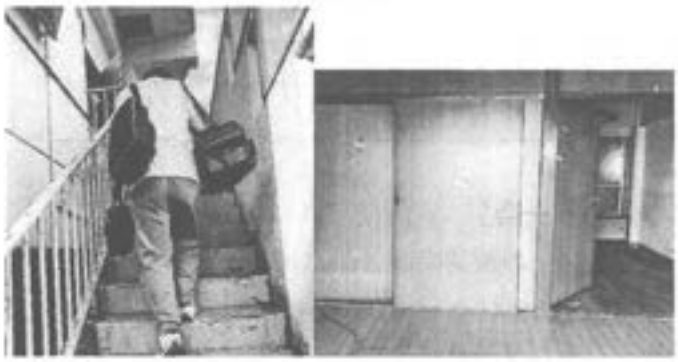
住民のニーズや生活課題、それらに対応する社会資源の状況などについて、実態把握を行う。

① 近隣住民による安否確認・見守り訪問等の支援

・個別及び近隣住民からによる新規個別支援対応及び継続支援

・緊急医療情報キットの個人への再登録及び新規設置の訪問

・那覇市消防局とキット設置数について共有



個別対応（物件探し・各申請等の同行

8050 問題ゴミ屋敷　月１の見守り訪問

② 地域見守り隊の結成支援

地域見守り支援ネットワーク活動の推進

・地域見守り隊の設置

	認証番号	地区	名称	結成日	代表者
1	５７号	那覇	県営天久高層住宅自治会 天久高層テンＱ	令和６年１月 26 日	伊藝久子

● ［天久高層テンＱ］第 57 号

県営天久高層住宅自治会は那覇市銘苅にある県営住宅で、134 世帯が居住している。自治会による活動は活発に行われており、敬老会やクリスマス会といった住民参加型のイベントや、月２回の夜間パトロールを実施し住民の安全を守っている。気になった情報は毎月第１月曜日の役員会で共有されている。

近年は団地住民の高齢化が進み、現在 75 歳以上の住民が約 40 名である。また、ひとり親世帯の増加やヤングケアラーの子供がいる世帯も見受けられていることから、住民が困りごと抱え込まない、支え合いの仕組みづくりに向けた見守り活動の必要性が増している。

自治会役員を中心に月１回程度の訪問を実施する。毎月第一月曜日の役員会にて気になった住民の共有（見守り会議）を行う予定。

○地域見守り隊の構成（11名）

・代表：伊藤久子

・見守り活動者：自治会役員11名（内、民生委員1名）

○見守り対象者

・子ども～65歳以上の高齢者。その他世帯状況に応じて対応

県営天久高層住宅自治会
『天久高層テンQ』

●きっず声かけみまもり（新規）

	地区	名称	結成日	ペリー保育園 園長
1	小禄	ペリー福祉会ペリー保育園 見守りペリーわらびんちゃー会	令和5年11月17日	賀数　博

●きっず声かけ見守り『見守りペリーわらびんちゃー会』

山下町エリア在住の65歳以上は597名で内75歳以上の後期高齢者が300名住んでいる。この地域には、現在地域見守り隊もなく日々の見守り活動については、小禄第2民生委員児童委員協議会の方々が頑張っている状況ではあるが欠員も多く日々の見守り活動にも限界があるため、新しい仕組みづくりとして、保育園の散歩を活用した無理のない範囲での見守り、声掛け活動が出来ないかとペリー保育園と意見交換を実施。可能性としては、保育園が所有しているペリーファームを活用しファームで取れた野菜等も訪問時に届ける事が出来る。また地域の高齢者とファームを活用し、種植えや収穫等の畑作業を通して世代間交流を検討していきたい。

○地域見守り隊の構成（保育園児）

・園長：賀数　博

・見守り活動者：2歳児から5歳児（約10名程度）

○見守り対象者

・65歳以上の高齢者及びその他世帯状況に応じて対応

ペリー福祉会ペリー保育園
『見守りペリーわらびんちゃー会』

【地域見守り隊設置状況　：　57ヶ所】　※R6年3月現在

本庁地区	見守り隊（自治会名）	結成年月日	見守り対象エリア
◆那覇第一民児協	あけぼの地域	令和元年6月4日	○曙1～3丁目 ○港町1～3丁目
	安謝新都心自治会若水会	平成28年8月9日	○安謝1丁目・2丁目 ※若水会（老人クラブ）会員
◆那覇第二民児協	若狭2丁目自治会	平成27年9月13日	○若狭2丁目
	若狭めおと自治会	平成28年7月13日	○若狭3丁目20～45 ○前島3丁目26～27
	前島3丁目自治会	令和3年1月17日	前島3丁目1～27
◆那覇第三民児協	くもじ地域自治会	平成27年7月28日	○久茂地2丁目、3丁目 ○牧志1丁目 ○松尾2丁目1～11
◆那覇第四民児協	松尾2丁目自治会	平成27年7月8日	○松尾2丁目12～24 ○松尾2丁目4の一部
	県営大橋市街地住宅自治会	平成27年10月28日	○壺川2-10-6 （県営大橋市街地住宅）
	泉崎2丁目自治会	平成29年1月8日	○泉崎2丁目
	楚辺中央自治会	平成29年7月12日	○楚辺2丁目1番～19番と隣接する一部
	壺川市営住宅自治会	平成30年1月18日	○壺川市営住宅1～3号棟
	泉崎1丁目自治会	令和3年1月8日	○泉崎1丁目
◆那覇第五民児協	銘苅新都心自治会	平成27年12月23日	○銘苅1丁目～3丁目 ※市営、県営住宅は除く
	新都心銘苅市営住宅自治会	平成29年3月18日	○銘苅1-18-16 （新都心銘苅市営住宅）
	県営天久高層住宅自治会 「天久高層テンQ」	令和6年1月26日	○銘苅1-18-73 （県営天久高層住宅）
◆那覇第六民児協	宮城区自治会	平成27年4月24日	○寄宮2丁目17～28番
	安里二区自治会	平成27年10月15日	○字安里45～492-6
	壺宮通り会	平成29年10月16日	○壺屋2丁目の一部・寄宮1丁目の一部
	銘苅区自治会	平成30年12月12日	○寄宮1丁目8,9,10,12,13,14,15番地居住者
	平野区自治会	平成31年4月25日	○寄宮1丁目4,5,6,7,17,18,19,20,21,22番地
	安里一区自治会	令和1年9月6日	○安里1・2丁目の一部、3丁目全域、字安里の一部

真和志地区	見守り隊（自治会名）	結成年月日	見守り対象エリア
◆真和志第一民児協	末吉市営住宅自治会 「地域見守り隊　ぶどう」	令和4年3月26日	○末吉市営住宅及び周辺
◆真和志第二民児協	県営繁多川高層住宅自治会	平成28年7月13日	○県営繁多川高層住宅 （繁多川1-16-30）
	大道区自治会	令和元年9月24日	○字大道
	松川共同住宅自治会	令和元年10月19日	○松川3-2-1（松川共同住宅 団地内）
◆真和志第三民児協	真地団地自治会	平成26年11月21日	○真地団地 （字真地270、277番地）
	真地自治会	平成27年7月17日	○字真地全域 （真地団地を除く）
	繁多川自治会4丁目	平成28年2月19日	○繁多川4丁目
	識名団地自治会	平成28年6月6日	○字識名1253-5～73 ○字上間224-5～224-8・12・13

	県営上間団地自治会	平成30年5月20日	○県営上間団地（字上間295-1）
	県営松川団地自治会	令和5年2月12日	○県営松川団地（繁多川2-5-2）
◆真和志第四民児協	与儀市場通り	平成26年12月9日	○与儀市場通り一帯（旧与儀市場通りを中心とした任意の対象者宅）
	県営国場団地自治会	令和4年3月9日	○県営国場市街地住宅
◆真和志第五民児協	字国場自治会	平成28年3月4日	○字国場全域
◆真和志第六民児協	上間自治会	平成28年7月12日	○上間1丁目
	識名市営住宅自治会	令和3年2月25日	○識名市営住宅

首里地区	見守り隊（自治会名）	結成年月日	見守り対象エリア
◆首里第一民児協	大名第二団地自治会	平成26年11月9日	○大名町1丁目（大名第二団地および周辺一部）
	大名市営住宅自治会	平成27年1月18日	○首里大名町3-20、3-35、3-41全域（大名市営住宅内）
	久場川町自治会	平成28年7月19日	○首里久場川町1丁目2丁目全域（久場川市営住宅を除く）
	ペンタス花の会（サロン）	平成30年1月16日	○石嶺1丁目141-24（周辺エリア）
	赤平町自治会	令和3年1月13日	○首里赤平町1丁目～2丁目全域
	知念商店	令和5年1月27日	○
◆首里第二民児協	首里山川町自治会	平成27年2月22日	○首里山川町1～3丁目全域 字松川の一部
	桃原町自治会	平成27年5月10日	○首里桃原町1丁目、2丁目全体、山川二丁目の一部
	寒川町自治会	平成29年3月17日	○首里寒川町全域
	首里金城町自治会	平成30年11月4日	○金城町1～4丁目全域
◆首里第三民児協	城東自治会	平成27年6月9日	○首里石嶺町2丁目一部（1-1～2丁目58-1）
	石嶺団地自治会	平成28年4月2日	○石嶺町2丁目70、70-2、127、132、4丁目335（石嶺団地）
	石嶺ハイツ自治会	令和元年5月15日	○石嶺4丁目（周辺エリア）

小禄地区	見守り隊（自治会名）	結成年月日	見守り対象エリア
◆小禄第一民児協	宇栄原団地自治会	平成26年9月28日	○字栄原4-17-9（字栄原団地）と地域の賛助会員
	東雲自治会	平成27年9月14日	○小禄1丁目30～42の各号
	小禄泉原自治会	平成28年9月9日	○字小禄1200番台、1400～1600番台まで（旧琉球団地）
◆小禄第二民児協	田原自治会	平成27年12月9日	○字田原全域、山下町、字小禄、字宇栄原、金城一部
	當間當寿会	平成30年6月21日	○字小禄826番地の當間協同利用施設の周辺地域を主として小禄の一部
	安次嶺でいご会	令和2年2月7日	○小禄839-6番地の安次嶺自治会館の周辺地域を主として小禄の一部
◆小禄第三民児協	小禄市営住宅自治会	平成27年2月17日	○田原3-6-1（小禄市営住宅）
	県営赤嶺団地自治会	平成27年7月4日	○赤嶺2-5-1（県営赤嶺団地
○那覇地区（21か所） ○真和志地区（15か所） ○首里地区（13か所） ○小禄地区（8か所） 合計：57か所			

④地域見守り会議へのコミュニティソーシャルワーカーの参加等

●見守り活動及び見守り会議の実施

多くの地域見守り隊では、見守り活動と合わせて見守り会議を開催しています。見守り会議では、訪問時の状況や気になる人の情報を共有し、今後の対応等について話し合います。見守り会議に専門職が参加しアドバイス等バックアップをすることで、問題の早期対応につながるだけではなく、安心した見守り活動の継続も期待できます。現在、57 箇所で自治会等を中心に立上げっています。

見守り活動の目的は、住民が地域に目を向け、必要な人に最適な支援が届くための仕組みづくりにあります。課題を抱える人を「見つけ」適切な支援へ「繋ぐ」、そして「見守る」サイクルが大切です。

見守り会議開催回数（令和５年４月～令和６年３月）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催回数	11	7	7	8	6	9	15	8	7	8	12	11	109
前年度	14	11	16	5	8	18	12	13	14	10	13	9	143

地区	月/回数　（参加回数）													参加者
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
首里	9	6	6	4	5	7	10	5	4	8	7	5	76	野原・高澤・高橋神田（4月5月）
	大名第二団地（3）久場川町（6）山川町（7）、汀良市営住宅（1） 石嶺ハイツ（10）桃原町（4）金城町（9）石嶺団地（6）大名市営（2） ペンダス花の会（4）末吉市営（9）知念商店（11）城東（1）寒川（3）													
真和志	0	1	1	2	0	1	3	3	4	0	3	4	22	山城（博）野原・高橋
	真地団地（3）県営上間（1）識名市営（1）識名団地（1）与儀市場通り（5） 繁多川４丁目（7）　真地自治会（4）													
那覇	1	0	0	1	1	1	2	0	0	0	1	2	9	高澤・前川・高橋
	若狭（1）壺川市営（4）銘苅新都心（1）宮城区（1）あけぼの（1） 県営天久高層（1）													
小禄	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	前川・高橋
	宇栄原団地（1）小禄泉原（1）													
	合計 29 箇所（109 回）													

※令和６年３月現在

見守り会議の様子

見守り訪問活動

⑤他機関・団体会議の参加（包括ケア会議。小学校区まちづくり協議会定例会）

・那覇市が進めている小学校区まちづくり協議会の毎月の運営委員会へ参加や研修会、イベント等の行事、運営も一緒に関わって、地域づくりに取り組んだ。

●小学校区まちづくり協議会

ＣＳＷ（コミニティソーシャルワーカー）の配置状況

本庁地区	高澤祐樹主事（6月～）	高橋邦江（常勤） 全域補佐
首里地区	野原祐樹主事（6月～）	
真和志地区	山城博子主事	
小禄地区	前川三奈主任	

日　時	小学校区名	議題内容・依頼内容	参加職員
4月11（火）	まちづくり 協働推進課	まち協ワークショップ	神田
5月14日（日）	仲井真小学校区	国場川こいのぼり祭り	山城（博）、 真和志地区担当職員
9月16日（土）	城東小学校区	市長とゆんたくタイム	真栄城課長
9月26日（火）	仲井真小学校区	全体勉強会	真栄城課長、山城（博）
10月26日（木）	金城小学校区	かなぐすく校区まち協始球式	前川
11月2日（木）	天妃小学校区	防災キャンプ	真栄城課長。高澤
11月12日（日）	真和志小学校区	まわしっ子祭り	真栄城課長・山城（博）
11月25日（土）	与儀小学校区	よぎとっくりきわた祭り	山城（博）（泰） 高江洲・知念

11月26日（日）	石嶺小学校区	グランドゴルフ大会	神田主査・新垣・玉城
12月2日（土）	城東小学校区	イルミネーション点灯式	真栄城課長
12月23日（土）	松川小学校区	ナイトムービー	山城（博）・松長
1月23日（火）	城東小学校区	フード贈呈式	真栄城課長・野原
2月25日（日）	仲井真小学校区	市長ゆんたく会	真栄城課長・山城（博）
3月8日（金）	那覇小学校区	なはまちサロン （CSW活動について）	真栄城課長・高澤

●毎月、18単位民児協定例会へのコーディネーター参加・情報交換を行なった。

民生委員・児童委員からニーズキャッチする取組みの基本になる。ＣＳＷが各定例会へ参加した。

首里第2民児協定例会

真和志第6民児協定例会

【2】地域住民の活動支援・情報発信等

(1)により把握したニーズなど、地域における住民のニーズ・生活課題に柔軟に対応し、地域の住民主体の活動を活性化させるよう、地域住民の活動支援や情報発信等を行う。

①地域サービスの担い手（地域見守り隊）等やこれらのコーディネート人材に対する研修（養成講座）

●見守り隊員養成講座（見守り隊）の開催

地域で「地域見守り隊」として見守り活動やボランティア活動を行なう方、関心のある方を対象に、自治会等小地域単位で見守り隊員の養成講座を行う。また、企業や団体等を対象に、業務の中での見守り活動について、協力を求めて、養成講座を依頼し終了後に見守り隊員として委嘱状の交付を行っている。

今年度については、4年ぶりに琉球新報、沖縄タイムス等新聞販売店店主向けや生命保険会社へ養成講座を実施する事ができた。

日時	団体名・場所	内容・参加者	職員
5月11日（木）	大名第二団地自治会 場所：同自治会集会所	見守り隊員養成講座 参加者（１４名）	宮城常務、神田、 玉城（里）
5月31日（木）	明治安田生命沖縄支社 那覇北営業所	見守り隊員養成講座 参加者（４０名）	真栄城課長、前川、 上原（か）
7月9日（日）	県営松川団地自治会 場所：同自治会集会所	見守り隊員養成講座 参加者（１０名）	真栄城課長、山城（博）、 高橋
7月21日（金）	寒川町自治会 場所：同自治会集会所	見守り隊員養成講座 参加者（１０名）	野原
7月25日（火）	石嶺団地自治会 場所：同自治会集会所	見守り隊員養成講座 参加者（１０名）	真栄城課長、野原
10月23日(金)	第一生命保険会社 那覇支社久茂地ｵﾌｨｽ	見守り隊員養成講座 参加者（２５名）	真栄城課長・高澤 ・山城（博）
10月26日(木)	第一生命保険会社 那覇支社真和志営業ｵﾌｨｽ	見守り隊員養成講座 参加者（２２名）	真栄城課長 山城（博）
11月5日（日）	県営上間団地自治会 場所：同自治会集会所	見守り隊員養成講座 参加者（１５名）	真栄城課長、山城（博） ・高橋
11月7日（火）	沖縄タイムス説明会	見守り活動について 参加者（２０名）	真栄城課長、山城（博）
1月22日（月）	(株)琉球新報社	見守り活動について 参加者（２５名）	真栄城課長、神田主査、 山城（博）（泰）、前川、 高橋、高江洲

琉球新報社養成講座

第一生命那覇養成講座

大名第二団地自治会養成講座

県営上間団地自治会養成講座

②見守り交流会の開催

●地域見守り隊交流事業

安心生活創造推進事業開始から10年が経過し、自治会や通り会を中心とした地域見守り隊が結成され見守り活動を展開している。新型コロナウイルス感染症が第5類感染症への移行に伴い、徐々に以前のような対面による見守り訪問やふれデイ等の集いの場での見守り活動が活発になってきた。

しかし、地域の現状としては自粛生活が長期化していることから高齢者の体力の衰えや認知力の低下等、あらゆる課題が発生している状況にある。ある地域見守り隊では「室内で転倒し、入院したがそのまま入所になる人が増えてきた」「入所によって見守り対象者が減っている。今後の活動をどうしたらいいのか」等の声が挙がっている。

今回は改めて事前アンケートを基に、見守り活動の現状や課題と補助金の活用方法等を共有し、参加者同士の交流を深めながら今後の見守り活動について意見交換を行う

実施日・場所	内　容	参加人数
6月30日（金） 14：00～16：00 ともかぜ振興会館 多目的ホール	1、地域見守り隊の活動状況 事前アンケートからの報告 2.　交流ワークショップ テーマ①　活動の喜び・悩みについて テーマ②　これからやってみたいこと 3.　令和5年度補助金説明	本庁地区11名 真和志地区11名 首里地区14名 小禄地区9名 合計45名

地域見守り交流会意見交換会の様子

③行政区単位及び市全域の四者会議の開催（行政区各１回、市全域１回）

●四者会議の開催

安心生活創造推進事業を推進する主体者が活動状況や課題を共有する会議である。行政、自治長会連合会、民生委員児童委員連合会、社協の四者が集う。今年度は各行政区ごとの開催と市全域の開催を実施した。

場所	地区	内容	場所、関係者参加者
2月28日（水） 13：30～15：30	小禄	**共通テーマ 多機関連携の在り方について ～CSWの個別支援を通して～ （１）意見交換会**	ともかぜ振興会館多目的ホール（20名参加）
2月29日（木） 14：00～16：00	首里		那覇市役所　4階　401AB（23名参加）
3月1日（金） 13：30～15：30	真和志		ともかぜ振興会館多目的ホール（21名参加）
3月5日（火） 14：00～16：00	那覇		那覇市役所　10階　1001会議室（25名参加）
3月21日（木） 10：00～12：00	全体	令和５年度安心生活創造事業報告と意見交換	那覇市役所10階　1001会議室、民児協、自治会、社協、行政、33名

■各四者意見交換会（行政区）参加者

自 治 会：各地区自治会長連合会会長（５支部）

民生委員：単位民生委員児童委員協議会会長（１８民児協）

行　　政：保護管理課:保護第一課～第三課、ちゃーがんじゅう課、障がい福祉課、地域保健課、まちづくり協働推進課、福祉政策課

社　　協：会長、常務、局長、地域福祉課職員（ＣＳＷ）

■四者意見交換会での主な意見

●小禄地区

・集合住宅は情報を把握しやすい環境にあるが、引きこもりや関りが難しい世帯については専門機関や民生委員児童委員との連携をとても必要としている

・小禄は地域性が強く自治会に加入する事が困難な地域がある。会員になれない世帯への情報把握や関り方、見守り等、地域づくりについて新たな仕組み作りが必要

・『新聞がたまっている』『この家様子がおかしい』等、気になる世帯について、緊急対応が求められた場合に行政との個人情報の共有や連携、緊急時の現場同行をお願いしたい。

・孤立してしまう家庭ほど課題も山積みで、各部署や各機関との関りや連携が重要になり、ケース会議を持てる関係性を築きたい。

・民生委員児童委員や地域見守り隊等が見つけた地域の個別課題に対して専門機関の迅速な対応と地域との連携、及び仕組み作りが今後は重要である。

●首里地区

・地域は、ゴミ屋敷やホームレスなどの地域課題に直面しているが、本人と周囲との想い・考えに差があることでなかなか支援が進んでいない。また、莫大な清掃費用がかかるケースが多くどのような支援ができるのか検討が必要。

・生活保護を受給中の方について、担当ケースワーカーや適切な医療に繋ぐために保健所や障がい福祉課、医療などとの連携も重要となってくる。

・地域福祉の基本は隣近所と顔見知りになること。自治会やまちづくり協議会を通じて地域の横のつながりを充実させる必要がある。

・自治会のない空白地域は横のつながりが希薄し、孤立していく可能性がある。知念商店のような相談しやすい環境が地域にできると良い。

●真和志地区

・コロナ禍で見守りが必要な方の支援がなかなかできないという状況があった中で、社会的孤立や孤独死に那覇市社協も何件か立ち会うことがあり、切実な問題だと感じている。地域見守り隊の結成も進んでいるが、その中で活動が中断や後退しているところもあるので必要な支援を継続していきたい。

・真和志地区では、沖縄大学などの生徒達がボランティア活動している。それがきっかけとなり、少しでも世代交代ができて継続できるような形になっていけたら良いなと感じた。

・複合的な課題や悩みを抱えたケースがあり、その件が色々な課に繋がっている。那覇市は、福祉部・市民文化部・子ども未来部などもあるが、空き家問題や市営住宅の問題になってくるとまちなみ共創部やゴミ屋敷の問題も入ってくると環境など複数の部に繋がる。現在、那覇市社協はCSWが4地区を4名で担当し、1地区1名で担当している状況。自治会
や民生委員などには、協力願いはしやすいと思うが、行政へ協力願いするのはハードルが高い部分があるので、今回の四者会議のように、1つの課題をみんなで相談し、行政の方も一緒に当事者となって交通整理ができるような形が理想。

・地域の色々な課題では、制度の狭間にある困難事例などについて行政がどこまで関われるのか、業務内容や支援方法を多機関が共有し、連携が図れると良いと思った。解決方法あるいは糸口をみんなで取り組む場を持つことを続けていければと思う。

●本庁地区

・各参加者の意見では、地域とつなぎ先の機関との連携強化が必要との声が多く、現時点では自治会や民生委員、行政の活動がそれぞれ独立しがちであることが見受けられる。

・自治会や民生委員による見守りや住民活動が活発な地域が見られる一方、活動拠点の整備が不十分であったり、自治会が存在するものの活動が滞っているといった地域もあり、地域差を埋めていくことで見守り体制づくりがさらに強化できると思われる。

・少子高齢化の進行に伴い孤独死の緊急対応のケースや、頼れる親族がいない高齢者が増えていくことが予想される。このような単独の支援機関のみでは対応が難しいケースは、地域資源やネットワークに強い人材を活用したり、ケースの話し合いに地域を巻き込んだりすることで、地域のニーズや課題に対して皆で解決を目指していく雰囲気作りが重要になる。

小禄地区意見交換会

首里地区四者意見交換会

真和志地区意見交換会

本庁地区意見交換会

④地域の実情に応じて行政区単位の地域福祉懇談会の開催

●民児協単位の地域福祉懇談会の開催

今年度は「第４次那覇市地域福祉計画・第２次地域福祉活動計画」の計画に基づいて、単位民児協エリアを中心に地域福祉懇談会の成果目標や運営方法を検討し、行政区毎に２カ所ずつ選定し、計８カ所以上での開催目標に懇談会を開催。

日時、場所	地区・開催場所	協議内容	参加者
９月28日（木） 14時～16時	首里地区 石嶺公民館	住民のほとんどが後期高齢者となった現状で「地域の強みや困り事」について意見交換	石嶺東ハイツ自治会 首里かふう保育園 サポートセンターI ヤクルト 首里大３民児協 包括支援センター石嶺 地域包括支援センター

12月7日（木） 19：00～20：30	小禄地区 那覇市軍用地地主会館	山下町の現状について山下町の取り組めそうなことを皆で意見交換	山下町自治会 ペリー保育園 千草保育園 地域包括支援センター かなぐすく 小禄第2民児協
2月5日（月） 14時～16時	本庁地区 壺屋町民会館	地域で起こった孤独死について今後地域でできる事についての意見交換	自治会 那覇第6民児協 社協役職員（CSW）
2月13日（火） 14：30～16：00	真和志地区 大道区公民館	人との関りが希薄化する中で、関係機関が連携し地域の活性化、担い手づくり等についての意見交換	真和志第2民児協 自治会 包括支援センター 松川・安里 子どもの居場所・サロン

首里地区懇談会の様子

小禄地区懇談会の様子

真和志地区懇談会の様子

本庁地区懇談会の様子

⑤個別相談、支援活動を通して地域見守り隊への助言や行政との仲介等の活動支援

● ＣＳＷの個別支援状況（令和５年４月～）

No.	相手方分類	延件数
1	社協内部	995
2	本人	895
3	見守り隊	773
4	民生委員児童委員	740
5	企業・法人	551
6	その他	485
7	包括	449
8	行政	402
9	自治会	395
10	サロン	326
11	相談支援事業所	179
12	親族・友人	173
13	まち協	144
14	子ども寄り添い	109
15	医療機関	86
16	ボランティア(個人・団体)	64
17	子どもの居場所	59
18	ケアマネ	34
19	就労支援事業所	31
20	PS	29
21	ふれデイ	22
	計	6,941

●緊急医療情報キットの配付(令和５年度目標配布数 200 本)

今年度情報キットをより多くの方々へ活用していただくことを目的に、関係機関への普及啓発を実施していく。

令和５年度 （延べ件数）令和６年３月現在								
那覇地区民児協	累計			真和志地区民児協	累計		
	世帯	人数	更新		世帯	人数	更新
那覇第一	3	3	6	真和志第一	5	5	0
那覇第二	41	45	1	真和志第二	22	23	2
那覇第三	19	24	8	真和志第三	38	48	4
那覇第四	17	19	3	真和志第四	3	4	0
那覇第五	3	5	0	真和志第五	9	9	1
那覇第六	13	12	0	真和志第六	6	8	1
小計	96	108	18	小計	83	97	8
首里地区民児協	累計			小禄地区民児協	累計		
	世帯	人数	更新		世帯	人数	更新
首里第一	38	48	0	小禄第一	1	1	0
首里第二	1	1	0	小禄第二	6	6	1
首里第三	18	26	0	小禄第三	15	19	0
小計	57	75	0	小計	22	26	1
				合計	258	306	27

緊急医療情報キット

65 歳以上の高齢者や障がいのある者、見守りが必要な世帯など、心身に不安を抱えている方が、かかりつけ医や服薬情況等を冷蔵庫に保管しておき、緊急時に迅速な対応につなげます。

・平成 22 年度から緊急医療情報キットを配付し始め、現在までに約 3 千個余を配付したが、更新方法が課題となっていた。那覇市医師会の作業部会において、緊急医療情報キットの活用が注目されて、活用方法について継続しての検討協議が行われてきた。

・病院や薬局での配付が可能となった場合、それらの機関と那覇市社会福祉協議会との連携をどのようにとるか。令和２年度から緊急連携シートの見直しも行ったところであり、令和３年度より周知活動に努めてきた。消防局と緊急医療情報キット配付者名簿の共有については、課題があり、協議する必要がある。

配付後の取扱いについては、民生委員から必要に応じて見守り活動のために情報を提供してほしいこともあり、那覇市民児連との協議を進めながら緊急医療情報キットの活用を考えて

いきたい。今後、各機関と連携調整を行ったうえで、救急医療情報キットの申請窓口を広くけることについて、広報誌やホームページなどを活用し啓発広報に努める。

●緊急医療情報キットの活用と推進

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
キット配布数（世帯数）	253	200	197	505	258

※令和6年3月末現在

●見守り訪問ティッシュ配布安否確認支援事業

地域見守り隊の活動手段として、また民生委員・児童委員の訪問手段として、定期的な訪問活動を行う。配布の反応だが、毎回のティッシュの持参はなくてもよいという声もある。代わりにごみ袋を提供している事例もある。しかし緊急時の連絡先（ティッシュボックス）については、必要と感じている。民生委員・児童委員の連絡先については、設置の際に掲載するか都度確認している（携帯電話も多いため）。掲載できない場合は、自治会の連絡先を掲載する等の対応をとっている。

年度	配布数（世帯）
令和5年（累計）	590世帯

見守りティッシュ

いざという時、どこに電話をすればよいのか迷うことがありますよね。見守り隊を結成した地域や民生委員の方々へ、関係機関の電話番号を記載した、「見守りティッシュ」を提供しています。

【3】地域コミュニティの場を形成する「居場所づくり」

地域住民が、属性や世代の垣根を超えて地域の様々な人と気軽に関わり、安心して過ごすことのできる場を設置・運営する。

① 地域住民が集える、ふれあい・いきいきサロンの設置推進

令和5年度の新規開所の目標は5箇所。現在79カ所となった。（令和6年3月現在）

・目的、小地域において住民主体による地域福祉活動として、居場所づくりを展開している。

・助け合いの関係づくりのきっかけとする。

開所式日時	立ち上げた団体・活動日	参加者
6月13日（火）	糸の会　代表　金城ミサエ 活動日：月2回（第2・4火曜日）午後1時～3時	14名
7月14日（金）	ゆんたくカフェ　代表　照屋朝清 活動日：毎週金曜日　午前10時～12時	27名
7月21日（金）	がじゅまる　代表　山内ヨシ子 活動日：月1回　第3金曜日　午後3時～5時	12名
11月7日（金）	ハッピーゆんたく会　代表　儀間尚子 活動日：月3回　第3金曜日　午後2時～4時	20名

糸の会開所式

がじゅまる開所式

ゆんたくカフェ開所式

ハッピーゆんたく会開所式

【4】行政や地域住民、ＮＰＯ等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開

地域における多様な担い手が集まり、地域の課題や社会資源などを共有して意見を出し合うことで、新たな気付きを得て地域に還元できるよう、地域の担い手の新たな関係性の構築に資する取組を行う。

①地域見守り活動及び地域課題について、福祉政策課とコミュニティソーシャルワーカーと情報共有会議

② 社会福祉法人等連絡会への参加

日時	内容	参加者
3月18日（月）	那覇市社会福祉法人等施設連絡会報告会	70名

那覇市は、行政区によって高齢化率や交通インフラ等の地域生活課題が異なります。行政区ごとに法人間の連携・協働を深め、より身近なところで地域生活課題に対応できるよう具体的な協働実践の方策について検討を行いました。これまでの連絡会での協議内容や参画法人に対するアンケート調査結果を踏まえ、7つの活動分野（①総合相談、②食料等支援、③福祉教育、④居場所・サポーター支援、⑤移動支援、⑥就労体験・社会参加活動の提供、⑦その他地域関係機関との連携した活動）があることを示しました。現在、市社協を含め29法人が連絡会へ参画しており4年間の報告会を実施した。

社会福祉法人等連絡会報告会開催

(5)その他地域福祉の推進を図るために必要となる事業

①見守り活動の周知広報（見守りフォーラムの開催）

「なは見守りフォーラム２０２３」の取り組み

平成26年度からスタートした安心生活創造推進事業において、地域見守り隊が57箇所結成された。（R6.3月現在）今後も継続して安心・安全・安否確認の見守り活動の基盤づくりを推進するためには、地域見守り隊が抱える課題を見える化し、様々な主体と見守りのネットワークを構築する必要性から関係者や市民に対しての啓発広報を目的に6回目の見守りフォーラムを開催する。

●日時：令和５年12月27日（水）　●場所沖縄県立博物美術館講堂　●参加者：139名

分　類	一般	自治会	民生委員	見守り隊	福祉関係者	登壇者・来賓・関係職員
人　数	17	3	38	24	32	25

内容プログラム

《第１部》進行：一般社団法人ボランティアセンター支援機構　おおさか代表理事
ふくしと教育の実践研究所 SOLA（Social-Labo）

○各地域での見守り活動紹介

【活動報告１】　知念商店　×　見守り
知念商店地域見守り隊（会長　大村千代子・CSW　野原祐樹）

【活動報告２】　与儀市場通り　×　見守り
与儀市場通り地域見守り隊（会長　儀間光徳・CSW　山城博子）

【活動報告３】　学生ボランティア　×　見守り
沖縄大学３年次（喜舎場美羽・CSW　高澤祐樹）

【活動報告４】　保育園児　×　見守り
ペリー福祉会ペリー保育園（副園長　賀数幸子・CSW　川三奈）

《第２部》基調講話

講師　一般社団法人ボランティアセンター支援機構　おおさか代表理事
ふくしと教育の実践研究所 SOLA（Social-Labo）

「誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができる地域づくりのために
”助け上手・助けられ上手”＆”お介”のススメ～」

●アンケートより主な意見

1. 知念商店

・商店を活用しているのが良いと思った
・昔は近所に小さな商店があったが今はタクシーでスーパーに買い物に行く。ゆんたくができる商店は羨ましい。ゆんたくぱぁ～との連携しての居場所は素晴らしい
・商店は動かないので『あそこに行けば誰かいる』や見守り会議があり情報共有できるのは活動者にとっても良い

2. 与儀市場通り

・障がい者と子どもと高齢者の人たちと関わっているのが素晴らしかった
・住宅密集地や道幅が狭い地域で困っている方への見守り隊や自治会のリサイクル活動を通しての活動が良かった
・『見守られる側』『見守る側』と相互的関係で地域に持続可能的に貢献ができていて素晴らしい

3. 学生ボランティア

・学校での福祉の学びだけでなく実体験を通して見守りをする姿勢が素晴らしい若い子がお手伝いに来たらすごく喜ぶと思う

・学生の方々がボランティア等、社会貢献する社会的評価も大切だと思った

4. 保育園

・園児たちが見守る側になっているのは大切だと思う

・お年寄りは小さな子の声を聞くと元気になります。それが笑顔になる。元気になる何よりの活動だと思いました

5. 全体の意見

・いろんな見守りの視点があり勉強になった

・地域での活動について知る事ができた

・地域見守りは大ごとだと思ったが、できる事からやったら良いと気づく事ができた

・それぞれの地域で無理なくできる活動が心に残りました

・CSW のことを初めて知って、もっと福祉に関わりたいと思いました

・新崎先生の話はもっと伺いたかった

・見守り隊委員としてやる気をたしてくれた

・気負わずさりげない支援活動をしたいと思った。活動自体が日常が忙しく重荷になっていたので参加してヒントがもらえた

・今回のフォーラムの積み上げた資料を基に、那覇市と CSW の社会的価値と人材確保について正式に協議する場を持って頂きたい。やはり根底には CSW の力が大切

2023　なはみまもりフォーラム　『ふと　気になった　それがきっとうごくとき』

③その他必要な事業

・自治会長との合同研修会の開催

・小禄管内自治会長定例会終了後に各自治会長を対象に社協事業・活動について勉強会を開催し、事業について個別支援の事例を交えて説明を行った。主な質問として、いきいきふれあいサロンの活動内容や緊急医療情報キットの使用方法等についての質問等があり、自治会活動の中に見守り活動も取り入れていくこと等意見が交わされた。

日時	団体名	内容、場所	主な参加者
令和６年 １月 12 日（金）	小禄地区 自治会	赤い羽根募金と CSW・見守り活動について ・説明者　前川 ・場所；小禄支所（新庁舎）	真栄城課長 前川 自治会長 20 名

安心生活創造推進事業の課題と今後の取り組みについて

１．地域見守り隊結成について

（１）　見守り対象者の把握

（２）　地域の人材育成と担い手の確保

地域見守り隊の結成数は、コロナ禍の影響もあり、結成目標５カ所に対し令和５年度は１カ所の結成となった。地域見守り隊の必要性は高まっているが、コロナ禍を経て、地域での活動再開が中心となり、結成までには時間を要しているのが現状である。令和５年度については、本庁地区（県営天久高層住宅自治会）が見守り隊結成となった。

現在、結成に向けて取り組みを進めているのが、最近、自治会を立ち上げた樋川１丁目自治会が見守り活動の重要性を感じて、見守り隊結成の準備をしているところである。今後は地域福祉活動計画に基づいて、年２カ所以上の見守り隊結成を目指していきたい。

現在、課題となっているのが、これまで自治会を中心とした地域見守り隊の結成は、自治会役員の高齢化や担い手不足等から見守り隊結成に踏み切れない自治会が多いことや、自治会などの地縁組織が無い空白地域が約４割もあることから、通り会やサロンのような小規模コミュニティでの地域見守り隊の結成促進を図る必要がある。今年度の例を挙げると、小禄地区で保育園の園児らの散歩コースを活用して、見守り活動を推進する新たな見守り活動が形成できたことは、今後の自治会の空白地域の見守り活動をどのように進めていくのか、今後の見守り活動を進める上でも参考になる取り組みと考えている。

令和５年度も見守り隊に対するアンケートの調査を実施した結果から、見守り隊員の数に変化はないが、見守り隊員も高齢化しており、活動の担い手の確保が課題として挙げられる一方で、緊急時の対応から見守り活動の重要性は、感じている。継続的に見守り活動をしていくためには、見守り隊員への養成講座の開催や、企業や社会福祉法人等との連携を図ることで、新たな見守りネットワークを構築し、見守り活動を活性化していく必要があると考える。地域見守り隊の新規結成も大切だが、既存の見守り隊が抱える課題についても、課題解決に向けた支援が必要となってくる。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
「地域見守り隊」の目標設置数	47	52	57	62	67
地域見守り隊の設置数	45	50	54	56	57

２．見守り会議の開催

（１）見守り会議からの情報発信と専門職等の関わり

見守り会議の自主的な運営方法

今年度は、新型コロナウイルス感染症が５類に移行後、徐々に以前のような見守り活動を続ける地域見守り隊も増えてきた。見守り会議は、見守り隊からは情報共有の場であり、見守り対象者の支援の必要性に応じて、CSW（コミニティソーシャルーワーカー）や地域包括支援センター等の専門機関に繋げられる重要な仕組みとして位置づけられている。

今後は、幅広い属性の見守り対象者を見守るため、生活困窮世帯の場合は PS（パーソナルサポートセンター）や、精神疾患の方への見守り活動を進める上では、保健所等との連携が重要になってくる。このような関係機関との勉強会等を通して、見守り活動の必要性や見守り会議を重要な位置づけとして発信していく必要があると考える。また、コロナ禍の中で得た課題として、対面ができない状況を踏まえて、アプリケーション、LINE、ＩＴ機器を活用した新たな見守り活動として、情報伝達の方法を引き続き検討していきたい。

見守り活動や見守り会議に、様々な関係機関を入れることで、重層的な支援体制整備を目指して、個人情報に関する守秘義務をどのように取り扱うか、課題解決に取組んでいきたい。

年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
見守り会議開催数	127	75	77	143	109

※令和６年３月末現在

３．市民ワークショップと地域福祉懇談会の開催

（１）　地域の課題やニーズの掘り起こし

（２）　情報共有の在り方について

（３）　民生委員欠員対策について

（４）地域の社会資源の発掘と連携の在り方について

今年度は、第５次那覇市地域福祉計画及び第３次那覇市地域福祉活動計画の策定にあたり、市民の声を広く聴くことを目的に自治会やまちづくり協議会のない地域を選定し、４行政区で８回にわたりワークショップを開催した。参加者には、日頃から地域との繋がりに関心のある住民もいて、多くの地域課題を拾い上げ、課題整理ができた。今後の展開として人材を探し、地域の組織化に繋がり、まちづくり協議会等の立上げに協力していきたい。

地域福祉懇談会では、課題がある地域を選定し、新たな見守り活動の担い手、ネットワークの構築、組織化を目的に、関連する社会福祉法人施設や企業を巻き込んで開催した。内容としては、移動支援や孤独死の未然防止、見守り活動の推進等をテーマに、意見を出し合い、今後の見守り

活動や新たな仕組みづくりについて話し合った。今後は、地域の課題を整理し、見守り隊等の結成やサロン等の居場所づくり、民生委員・児童委員欠員についても継続して取り組んでいきたい。

年度	令和元度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
地域福祉懇談会の開催	8	8	6	5	12

4．校区まちづくり協議会との連携

（1）　校区まちづくり協議会運営への参加協力

（2）　那覇市まちづくり協働推進課との意見交換会（情報の共有）

令和５年度は、校区まちづくり協議会も地域活動が再開されるようになり、行事の開催や研修会の頻度も増えている。現在 15 カ所の校区まちづくり協議会では、まちづくり協議会の運営や活動の在り方について検討されており、人材の育成や担い手の確保が課題となっている。

社協では、令和２年度より社協全職員が地区担当制に置き、校区まちづくり協議会との連携を目指してきたが、職員同士の認識の違いや、担当業務との関わり方をイメージできず充分に機能していない状況があった。これまでの現状課題を踏まえ、校区まちづくり協議会への参加や関わりのあり方を法人全体で検討することや、校区まちづくり協議会の意見交換会や研修会への参加により地域課題を共有し、地域のありようについて一緒に考える取組みや、まちづくり協働推進課、福祉政策課との連携や役割分担を含めた意見交換会を行っていきたい。

今後も校区まちづくり協議会には、引き続き、地区担当制の導入を図り、社協全職員がコミニティソーシャルワーク機能を意識しながら、校区まちづくり協議会から上がってくる課題解決に取り組む体制を整えていく必要があると考えている。

5．見守りフォーラム開催やＦＭなは放送番組を通しての広報活動（情報発信）

（1）　見守り活動の現状と情報の発信について

コロナ禍での見守りフォーラムは、多くの方が集まることが困難な状況で、非接触型の見守り活動の啓発広報として、令和２年度から２年間はラジオ番組（ＦＭなは）を通して、見守り活動を紹介する新たな試みを行った。令和４年度より会場での対面での開催し、令和５年度は、県外から講師を招聘し、見守り活動の現状と課題を話し合うことができた。参加者のアンケートからも見守り活動のイメージが変わったことや、『企業等の緩やかな新しい見守り活動の展開を模索できた』などの感想があり、今後も「見守りの輪」を広げていきたい。

また、ＦＭなはの協力のもと、年間を通して毎月１回（第三水曜日 PM７時～８時）の放送番組を本会が運営し、事業紹介の中でＣＳＷ活動を紹介し、幅広い世代に聴いてもらうことで、新たな情報発信として福祉活動の啓発を行うことができた。

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
見守りフォーラムの開催	年１回	年１回	年１回	年１回	年１回

6．四者会議

（1）現状と課題についての情報の共有

毎年、全行政区を対象とした四者会議(自治会、民生委員、那覇市、社協)を開催し、連携のあり方について議論を進めてきた。令和5年度は、昨年に引き続き、2月～3月にかけて、対面で4行政区ごとに開催した。CSW の個別支援の相談が増えてきたことを踏まえて、意見交換のテーマを「個別支援と多機関協働により連携の在り方について」とし、地域の自治会や民生委員、様々な活動(見守り活動、自治会交流会等)が大きく変わった現在、『地域はどのような状態になっているのか』『新たに社会資源の掘り起こし連携の在り方』について、それぞれの立場で何ができるかなど活動状況や課題を共有した。また、コロナ禍での地域活動の状況を共有し、課題や今後の見守り活動について意見を交わした会議となった。

四者会議は、地域福祉懇談会や地域福祉コミュニティ単位で挙がってきた課題等を情報共有し、仕組み化を目指す場となっており、四者が連携強化できるよう今後の四者会議の持ち方等も検討していきたい。

7、緊急医療情報キットの啓発広報

（1）緊急医療情報キットの活用と推進

以前からキット配付後の取扱いについては、民生委員から必要に応じて見守り活動のために情報を提供してほしいと要望がある。また、消防局と緊急医療情報キット配付者名簿の共有については、個人情報の取り扱いに協議する必要がある。また、那覇市民児連との協議を進めながら緊急医療情報キットの更新方法等も考えていきたい。

今後、各機関と連携調整を行ったうえで、救急医療情報キットの申請窓口を広く位置づけることについて、広報誌やホームページなどを活用し啓発広報に努める。

・平成22年度から緊急医療情報キットを配付し始め、現在までに約3千個余を配付したが、更新方法が課題となっていた。那覇市医師会の作業部会において、緊急医療情報キットの活用が注目され、活用方法について継続しての検討協議が行われてきた。

・病院や薬局での配付が可能となった場合、それらの機関と那覇市社会福祉協議会との連携をどのようにとるか。令和2年度から緊急連携シートの見直しも行ったこともあり、令和3年度は周知活動に努めてきた。令和4年度は、社協内の事業（ふれあいデイサービス事業）にも広報したことで、件数は飛躍的に伸びたことが考えられる。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
キット配布数（世帯数）	253	200	197	423	258

8．重層的支援体制整備に向けた総合相談体制の構築

（1）　関係機関との連携した拠点づくりと相談体制の構築

（2）　断らない相談支援体制の構築

（3）　ＣＳＷの人員配置と役割の明確化

新型コロナにより、相談内容も複雑多様化しつつあり、制度の狭間におかれている問題や深刻化した緊急課題を抜け漏れなくニーズを拾う、アウトリーチによる相談体制の必要性が求められている。経済的に厳しい世帯からの相談や食料支援等ＣＳＷの個別支援の対応も増えつつある。

令和５年度も複雑多様化した相談の解決につなぐため、事例検討会等を生活福祉資金貸付担当者やＣＳＷをはじめ、関係する部署が横断的に連携を図れるよう取り組んでいるところです。第５次那覇市地域福祉計画及び第３次市地域福祉活動計画に基づき、コミニティソーシャルワーク機能を活かした地域活動として、拠点を活かした相談窓口の設置し、断らない相談支援体制など重層的支援体制に向けて、適正なＣＳＷの人員配置と役割について、福祉政策課との協議を続けながら検討していきたい。

（2）地域ふれあいデイサービス事業の実施（令和５年４月～令和６年３月）

地域の運営協議会の協力のもとに活動することで、市内在住の高齢者の生活圏内において、社会参加を促進し、閉じこもりや孤独感の解消を図りながら、仲間作り、健康づくりを支援し、住民同士の相互扶助精神を育み、地域に根ざした見守り活動への展開を目指し、運営に努めた。

ア．対象者：65 歳以上の方(ご自身で会場まで通える方)

イ．内　容：看護師が血圧測定・健康相談を行う。健康づくり支援員と一緒に健康体操・踊り・歌で心身ともにﾘﾌﾚｯｼｭし、活き活きとした生活が維持できるようにする。

ウ．実施回数：月 1～4 回（回数は各運営協議会で決定）

エ．利用時間：午前の場合 10 時～12 時　午後の場合 14 時～16 時

オ．利用者負担：無料

1. 令和 5 年度実績報告

⑴活動実績

活動内容として、健康相談員（看護師）によるバイタルチェック・健康相談・健康講話。健康づくり支援員による歌・レク体操・民踊・健康運動・操体法・ヨガ・3B 体操・太極拳・手話ダンス・筋力ＵＰ運動・エアロビクス・シナプソロジー・リラリズムストレッチ・スクエアステップ、音楽療法など、健康づくり支援員がそれぞれの持っている得意分野を生かし、活動を行っている。また、令和 5 年度は、那覇警察署による交通安全講話、琉球治療院によるツボ押し等のセルフケア講座、雪印ビーンスタークによる高齢者向けの栄養セミナーを実施し、利用者への安全や健康についての普及活動を行った。

活動時間は、入室前の検温・活動前後の消毒等にかかる時間や、感染予防対策を考慮して時間を短縮して行っているが、感染対策を講じながら、これまで活動終盤に行われてきた、ゆんたくタイム（飲食を伴う活動）を行う運営協議会も増えつつある。

ア.実施回数

	実施回数				
地区	月２回	月３回	月４回	休止数	計
本庁	16	21	11	1	49
真和志	8	17	8	1	34
首里	8	10	6	1	25
小禄	8	7	7	1	23
計	40	55	32	4	131

※延べ設置数：139 箇所　閉会地区：10 箇所

イ.登録者数

登録者人数	令和６年３月３１日現在						
地区	利用者			ボランティア（世話係）			合計
	男	女	計	男	女	計	
本庁	125	1,076	1,201	48	251	299	1,500
真和志	77	975	1,052	40	195	235	1,287
首里	66	509	575	30	117	147	722
小禄	117	563	680	38	106	144	824
計	385	3,123	3,508	156	669	825	4,333

今回の登録者数について、コロナ過前後での退会者の数を正式に算定し、令和５年度時点での正確な登録者数を抽出することが出来た。令和５年度の参加人数は、ほぼコロナ禍以前の数値に戻りつつあった。活動が以前の様に活発になってきたことにより、転倒事故も数件発生し、救急搬送の対応もあった。今後は利用者の安全を最優先し、活動中の危険の予防と、看護師による見守り活動をより強化し、ボランティアの方へも協力を依頼していく。

ウ. 利用者数（過去３年間の比較）

	2021 年度（令和３年度）			2022 年度（令和４年度）			2023 年度（令和５年度）		
	男	女	合 計	男	女	合 計	男	女	合 計
本庁利用者	340	4,165	4,506	780	10,745	11,255	890	12,153	13,043
ボラ	310	1,619	1,929	845	4,305	5,150	976	4,345	5,321
小計	650	5,784	6,434	1,625	14780	16,405	1,866	16,498	18,364
真和志利用者	210	2,906	3,116	468	7,144	7,612	644	8,911	9,555
ボラ	162	982	1,144	482	2,083	2,565	577	2,507	3,084
小計	372	3,888	4,260	950	9,227	10,177	1,221	11,418	12,639
首里利用者	265	1,963	2,228	623	5,034	5,657	705	6,131	6,836
ボラ	160	812	972	479	2,154	2,633	483	2,240	2,723
小計	425	2,775	3,200	1,102	7,188	8,290	1,188	8,371	9,559
小禄利用者	458	1,964	2,422	1,191	5,238	6,429	1,044	6,262	7,306
ボラ	199	608	807	570	1,727	2,297	593	1,900	2,493
小計	657	2,572	3,229	1,761	6,965	8,726	1,637	8,162	9,799
利用者	1,008	9,035	12,271	3,062	27,891	30,953	3,283	33,457	36,740
ボラ	671	3,209	4,852	2,376	10,269	12,645	2,629	10,992	13,621
合計	1,679	12,244	17,123	5,438	38,160	43,596	5,912	44,449	50,361

新型コロナウイルス感染症の第５類への移行で、ふれデイの活動も通常に戻った。
それを機に令和５年度は、運営協議会ボランティアに会へ参加していない方、これからも参加が期待できない方の退会の連絡を依頼。できる限り退会理由を伝えてもらい名簿の整理を行った。

新規開所５箇所

●日時：令和５年４月10日（月）
名称：山下分譲住宅がんじゅう会（135ヶ所目）
活動日：毎月第2.4月曜日 14時～16時
場　所：山下分譲住宅 集会所

●日時：令和５年４月12日（水）
名称：ゆうな結の会（136ヶ所目）
活動日：毎月第2.4木曜日 14時～16時
場　所：沖縄県ゆうな協会 1階会議室

●日時：令和５年６月９日（金）
名称：安謝港区りかりか会（137ヶ所目）
活動日：毎月第2.4金曜日 10時～12時
場　所：安謝港区 自治会集会所

●日時：令和５年６月９日（金）
名称：わかば（138ヶ所目）
活動日：毎月第2.3金曜日 14時～16時
場　所：琉球新報 国場販売店

●日時：令和５年11月６日（月）
名称：県営上間第二団地 燦々あしば（139ヶ所目）
活動日：毎月第1.3月曜日 14時～16時
場　所：県営上間第二団地 集会所

※令和５年度は、前年度から準備を進めていた地域が、新型コロナ感染症が第５類に移行されたのを機に、５ヶ所の開所へと繋がった。

2. 研修会・調整会議開催（レク支援員、看護師）

登録者数：レク支援員 36 名　看護師：30 名

令和 5 年度	テーマ	依頼講師	備考
4 月 28 日(金) 16:00～17:00	調整会議	自主	35 名 参加
5 月 29 日(月) 10:00～12:00	調整会議 研修会「ツボ押しで介護要らず」	琉球治療院 鍼灸師：関 忠雄	33 名 参加
6 月 29 日(木) 10:00~12:00	調整会議 レク支援員向け研修会「フィットネスダンス」 看護師向け研修会「慢性疼痛ケア・排泄リハビリ」	ACHILAS 代表：山城　陸 Mahana lab カウンセリングセラピスト：長嶺　ふじ子（作業療法士）	32 名 参加
7 月 28 日(金) 16：30～17:30	調整会議	自主	35 名 参加
8 月 25 日(金) 16:30～17:30	調整会議	自主	34 名 参加
9 月 26 日（火） 16:30～17:30	調整会議	自主	33 名 参加
10 月 31 日(火) 10:00～12:00	調整会議 救命救急講習会	那覇市西消防署 小禄出張所職員	35 名 参加
11 月 29 日（水） 10:00～12:00	調整会議 研修会「ハラスメントについて」	ゆいまーる法律事務所 弁護士：寺田　明弘	32 名 参加
12 月	調整会議※年末２８日まで活動があり日程が取れず開催なし	なし	スタッフへ書類発送
1 月 30 日（火） 10:00～12:00	調整会議 研修「百歳体操」 研修「管理栄養士による講話」	理学療法士協会 事務長：上地　誠之 沖縄県栄養士会 理事：吉田　陽子	39 名 参加
2 月 29 日（木） 10:00～12:30	調整会議 研修「結核について」	那覇市保健所 保健師：知念　則枝	38 名 参加
3 月 29 日（金） 14:00～16:00	調整会議 令和 6 年度委嘱状交付	自主	37 名参加

3.行事

(1)　地域ふれあいデイサービス運営協議会情報交換会・全体交流会について

7月に予定していた「地域ふれあいデイサービス運営協議会情報交換会」が、台風6号接近のため延期になった。活動日を避けて行うため調整が難しく、年が明けて1月29日（月）午前10時～12時：本庁地区・首里地区、午後2時～4時：真和志地区・小禄地区と2回に分けて、情報交換会を全体交流会を合わせた内容で行った。

(2) 那覇市地域ふれあいデイサービス事業　第11回「敬老の祝い」

第11回　那覇市地域ふれあいデイサービス敬老の祝い

日時：令和5年9月29日（金）

場所：那覇市ぶんかテンブス館　4階ホール

新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行したことから、4年ぶりに制限なしでの通常開催となった。※令和4年度は参加人数を制限して行った。

令和５年度那覇市地域ふれあいデイサービス敬老の祝い表彰者					
表　彰　内　容	本庁地区	真和志地区	首里地区	小禄地区	表彰者計
卒　寿　表　彰	34人	27	14	18	93
10年ボランティア表彰	4人	0	4	4	12
地区表彰者計	38人	27	18	22	105

開所20周年表彰運営協議会		
地　区	運営協議会名	会長名
本　庁	大蔵地域ふれあい会	新垣　良子
本　庁	銘苅松葉会	安田　文子

4.その他

(1) 看護学生実習受け入れ

沖縄県立看護大学の実習生を受け入れ、実際のふれあいデイサービスで看護師の血圧測定や健康相談の様子を見学した。

また、実際に地域の利用者達とレクリエーションに参加し、コミュニケーションの技術について学びを深めた。

(3)那覇市生活支援体制整備事業(令和５年４月～令和６年３月)
生活支援コーディネーター配置事業

【事業目的】

生活支援コーディネーター及び協議体を設置し、本市の生活支援・介護予防サービス等を担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図って行くことを目的とする。

【主な活動】

1. 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起に関する業務

①生活支援の地域ニーズと資源の見える化、まとめ

ア.地域包括支援センター向けちゅいしぃじぃアンケート

地域包括支援センターへ社会福祉施設等との関わりについてアンケート実施。市内に 400 以上ある社会福祉施設と包括含めた地域資源との繋がりづくりを図る。

イ.その他取り組み

・うふな～フェスタ移動支援アンケート　・首里鳥堀買い物ニーズ聞き取り

・地域活動、資源モニタリング（図 1）　等

②社会資源一覧のまとめ

現在、編集作業中。令和６年４月に『第８版』発行予定。(図 2)

図 1　大名市営いきいき百歳体操教室

図 2　那覇市高齢者のための社会資源一覧

2. 多様な主体等への協力依頼などの働きかけに関する業務

①第１層協議体の団体等代表者に課題解決に向けた協力依頼の働きかけ

第 1 層協議体で継続して検討してきた移動支援の本格実施に向けて、企業や社会福祉法人へ協力依頼や意見交換を実施。今後も、『資金』や『担い手』といった移動支援の課題解決に向けた協議の場の設定や連携強化について協力依頼予定。

②そのほか関係団体などへの周知・協力依頼の働きかけ

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた住民ワークショップを、社協内他部署、福祉政策課等と連携し開催。地域課題の把握や新たなネットワーク形成に向けた地域団体への働きかけを実施。(図 3、4)

図３　泊小学校区住民ワークショップ

図４　城北小学校区住民ワークショップ

3.　関係者のネットワーク化に関する業務

①意見交換及び情報交換

ア.移動支援及び買物支援等について意見交換

・コープおきなわ　・社会福祉法人千草福祉会　・社会福祉法人若杉福祉会
・社会福祉法人ゆうなの会　・株式会社 OTM　・損害保険ジャパン株式会社
・株式会社トヨタレンタリース沖縄　・大名第二団地自治会　・首里大名町自治会
・山下町自治会　・真地自治会　・泡瀬第三自治会　・都市計画課　等（図５、６）

図５　首里大名町自治会
移動支援・緊急医療情報キット意見交換

図６　真地自治会
買い物支援・個別支援意見交換

イその他意見交換

・老人ホームレイクビュー　・SOMPO ホールディングス　・国場児童館
・仲井真自治会　・石嶺東ハイツ自治会　・他市町村社協　等

②ネットワーク構築に向けた働きかけ

市内小中学校で行われる福祉学習の講師を地域の事業所や NPO 法人へ依頼。地域資源の発掘とネットワーク構築を図った。（図７、８）

図7　曙小×ガジュマルの樹の下で

図8　城北中×NPO 法人グランアーク

4.　目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一に関する業務

①第1層第2層コーディネーター合同連絡会

No.	日　付	内　容
1	令和5年4月28日	顔合わせ・ちゅいねっとなはアンケート依頼
2	令和5年6月19日	体制・訪問A研修について
3	令和5年8月25日	社会資源一覧意見交換・SSAP紹介
4	令和5年11月13日	社会資源一覧作成・報告会について

②市と定例会議

No.	日　付	内　容
1	令和5年4月26日	今年度事業計画・体制図について
2	令和5年6月30日	移動支援進捗共有・訪問A・Bについて
3	令和5年8月24日	移動支援進捗共有・訪問A養成研修について
4	令和5年11月29日	移動支援進捗共有・第1層協議体について

5.　生活支援サービスの担い手の養成に関する業務

①生活支援訪問型サービス従事者養成研修（年2回）

この研修は那覇市介護予防・日常生活支援総合事業における「生活支援訪問型サービス」の従事者に必要な一定の研修となる。

ア.第10回：令和5年7月7日・14日・21日（全3日間）

申込者4名のため中止。

イ.第11回：令和5年10月24日～26日（全3日間）

申込者7名が受講し、修了。より専門的な学習を目指し、計8名の外部講師を依頼した。また、初の取り組みとして教科目受講不可となった受講生への補講を実施。研修の様子を動画撮影し、後日補講対象者へ動画の視聴と振り返りを行った。（図16）

1日目　令和5年10月24日(火)

講義テーマ	講師
介護に関する基礎知識	社会福祉法人ゆうなの会 法人事務局長　金城　満
那覇市介護予防・日常生活支援総合事業	那覇市ちゃーがんじゅう課　義永　敦
地域包括支援センターとは（図9）	地域包括支援センターかなぐすく 管理者　安次富　美恵子
職務の理解・訪問介護の理解（図10）	ヘルパーステーション大翔 代表取締役　植田　一輝
訪問介護の職業倫理（図11）	グリーンハウス長田 施設長　大城　常安

2日目　令和5年10月25日(水)

講義テーマ	講師
尊厳の保持・自立支援（図12）	オリブ山居宅介護支援事業所 管理者　比嘉　貞憲
認知症の理解（図13）	地域包括支援センター泊 認知症地域支援推進員　知念　活美
障がいの理解（図14）	相談支援事業所ひかり 管理者　吉元　めぐみ
老化の理解（図15）	社会医療法人葦の会 介護老人保健施設オリブ園 介護福祉部　課長代行　桑江　貴英

3日目　令和5年10月26日(水)

講義テーマ	講師
介護の基本	那覇市社会福祉協議会　居宅介護支援事業所 介護支援専門員　當山　清太
家事援助の方法	那覇市社会福祉協議会 在宅福祉課　金城　優子
介護におけるコミュニケーション技術	

図9　「地域包括支援センターとは」
地域包括支援センターかなぐすく 安次富 美恵子

図10　「職務の理解・訪問介護の理解」
ヘルパーステーション大翔　植田　一輝

図 11　「訪問介護の職業倫理」
グリーンハウス長田　大城　常安

図 12　「尊厳の保持・自立支援」
オリブ山居宅介護支援事業所　比嘉　貞憲

図 13　「認知症の理解」
地域包括支援センター泊　知念　活美

図 14　「障がいの理解」
相談支援事業所ひかり　吉元　めぐみ

図 15　「老化の理解」
介護老人保健施設オリブ園　桑江　貴英

図 16　補講の様子

②生活支援訪問型サービスの担い手養成研修の標準テキスト作成

令和 4 年度より各事業所において那覇市へ申請することにより、研修が実施できることとなった。その研修の標準テキストをこれまでの講師から提供頂いた資料等を参考に作成。現在、講師向けアンケートの結果も踏まえ第 3 版を作成中。(図 17、18)

図 17　標準テキスト（第 2 版）

図 18　本会実施の研修でも活用

③総合事業のサービスに必要な講座の開催や養成に向けた取り組み

地域ささえあい訪問型サービス事業担当と連携し、生活支援サポーター養成講座を実施。必要に応じて、生活支援サポーターの活動支援を行った。

6.　第 1 層協議体の運営に関する業務（第 1 層協議体の実施）

第 19 回は、「那覇市における移動支援の継続・発展を考える～地域住民・社会福祉法人・企業等でつくる移動支援～」をテーマに掲げ、新たに委嘱した構成員と共に、現在実施している移動支援の取り組みを行う中で挙がってきた『資金』と『担い手』の課題について意見交換を行った。

会場：沖縄県立博物館美術館　博物館講座室

協議体	日付	テーマ
第 19 回 （図 19、20、21、22）	令和 5 年 12 月 21 日	那覇市における移動支援の継続・発展を考える ～地域住民・社会福祉法人・企業等でつくる移動支援～

図 19　第 19 回　会場の様子

図 20　構成員委嘱状交付

図 21　那覇地区老人クラブ連合会
事務局長　平良　真弓

図 22　小禄南小学校区まちづくり協議会
会長　大浅田　均

移動支援の継続・発展に向けて新たに委嘱した構成員

No.	団体名	氏　名
1	琉球大学	田中　将太
2	松島自治会	西平　博人
3	那覇市民生委員児童委員連合会	宮平　智
4	小禄南小学校区まちづくり協議会	大浅田　均
5	那覇市協働大使(NPO 法人ゆくり)	佐久川　伊弘
6	那覇地区老人クラブ連合会	平良　真弓
7	那覇市シルバー人材センター	長嶺　達也
8	大名第二団地自治会	仲座　方久
9	社会福祉法人 千草福祉会	金城　佑佐
10	社会福祉法人 ゆうなの会	山内　雅之
11	社会福祉法人 若杉福祉会	屋宜　貢
12	社会医療法人 葦の会 オリブ山病院	真喜屋　賢二
13	株式会社トヨタレンタリース沖縄	福地　弘哲
14	損害保険ジャパン株式会社	江川　大
15	那覇市地域包括支援センター連絡会	上里　愛子
16	那覇市 福祉部 福祉政策課	大城　孝也
17	那覇市 市民文化部 まちづくり協働推進課	渡嘉敷　洋美

7.　第 2 層協議体の運営を補助する業務（主なもの）

ア.地域包括支援センター国場

わくわくフェスタ in 上国場ブース協力（図 23）

イ.地域包括支援センター石嶺

集いの場開設に向けたもみじ会との意見交換参加

ウ.地域包括支援センター安里

地域ケア会議開催に向けた打合せ実施

エ.地域包括支援センター城西

コープおきなわ買い物送迎サービス意見交換実施（図 24）

オ.地域包括支援センター繁多川

ゆんたくはんたく市場ブース協力

他にも、地域課題の整理や他の協議体の取り組み紹介などを担っている。

図 23　わくわくフェスタ in 上国場

図 24　包括城西　買物 BUS 体験

8.　1から7の業務を通し、生活支援・介護予防サービスを創設する業務

①生活支援・介護予防サービスの拡充・創設

ア.『地域の足』移動支援プロジェクト　大名第二団地自治会×企業×社会福祉法人

令和 4 年 12 月より約 7 か月に渡って実施した試験期間を経て、令和 5 年 7 月、住民主体の移動支援プロジェクトとして本格実施に至った。引き続き株式会社 OTM と株式会社トヨタレンタリース沖縄のご協力でカーシェアサービス『TOYOTA SHARE』によるレンタカーを使用、運転ボランティアを社会福祉法人ゆうなの会、社会福祉法人若杉福祉会、地域住民の他に、令和 4 年度に実施した運転ボランティア養成講座を受講した一般ボランティアが担っている。レンタカーの利用料については、なは市民活動支援助成金と共同募金を活用し運用している。(図 25、26、27、28、29、30、31、32)

図 25　自治会との意見交換

図 26　大名小学校区まちづくり協議会意見交換

図 27　共同実施に関する協定締結
調印セレモニー

図 28　なは市民活動支援事業助成金
審査会での発表の様子

図 29　一般の運転ボランティアも活躍

図 30　奥武島への外出企画

図 31　トヨタ・損保ジャパン・那覇市
移動支援の現状を共有

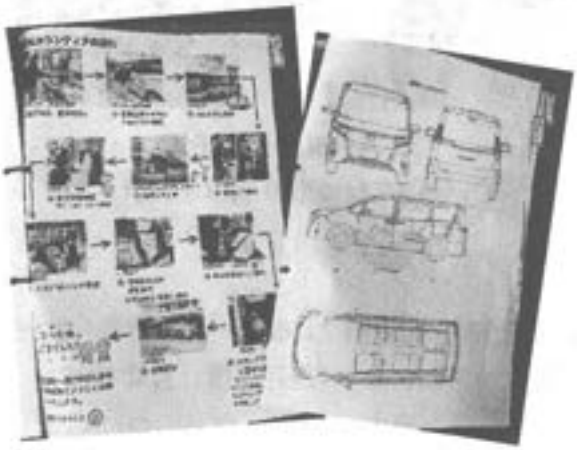


図 32　運転ボランティア向けマニュアルや
車輌チェックシートの作成

②新たなサービスの開発、創設の取組み

ア.首里大名町自治会における移動支援創設に向けた取り組み

『地域の足』移動支援プロジェクトで使用しているレンタカーを、首里大名町自治会にある大名児童館に保管していることから、その活用に向けて自治会や民生委員児童委員と意見交換を実施。11 月には体験会を実施し、利用者の声を把握した上で、3 月 15 日より試験的実施を開始した。

(図 33、34)

図 33　自治会や民生委員との意見交換

図 34　体験会を実施（R5/11/8.10）

イ.山下町自治会における移動支援創設に向けた取り組み

社会福祉法人千草福祉会より、社会福祉法人の地域貢献の取り組みとして、法人所有の車輌提供と運転手協力の申し出あり。地域文化祭や地域福祉懇談会を実施してのニーズ把握を行い、今後移動支援の創設に向けて詳細を協議予定。(図 35、36)

図 35　山下町文化祭
移動支援の取り組みを紹介

図 36　山下町地域
地域福祉懇談会実施

ウ.企業等との連携によるサービス創設・拡充に向けた取り組み

①コープおきなわ(送迎支援:「買物 BUS」)

企業が実施する送迎サービスについて、自治会や地域ふれあいデイサービス等でニーズを確認しながら実施を検討。

・首里金城町自治会　・安里金満　・真地自治会　・首里山川町自治会　・鳥堀寿会　(図 37、38)

図 37　鳥堀寿会
買物 BUS 説明

図 38　安里二区自治会
買物 BUS 体験会

②SOMPO ホールディングス(SOMPO スマイル・エイジングプログラム)

企業が実施する介護予防プログラムについて、地域の集いの場における展開を検討するため、地域包括支援センターや老人福祉センターとの意見交換、体験会を実施。　(図 39、40)

図 39　SSAP 体験会(ZOOM)

図 40　老人センター所長会にて説明

9.　その他必要と認められる事項

①　事業計画および成果に関するまとめ等に関すること

令和 6 年 2 月 1 日に那覇市と共に各コーディネーター報告資料を取りまとめて準備を行い、令和 5 年度那覇市生活支援体制整備事業報告会を実施。　(図 41、42)

図 41　第 2 層生活支援コーディネーター活動報告

図 42　質疑応答の様子

以上

(4)地域支えあい訪問型サービス事業(令和５年４月～令和６年)
（個人登録型）

【事業目的】

地域支えあい訪問型サービス事業を実施することにより、住民相互による支え合いの支援及び高齢者の社会参加を促進し、多様な高齢者の生活上の困り事への支援を柔軟に行うことで、利用者が地域における自立した日常生活を支援することを目的とする。

【業務範囲】

１．地域支え合い訪問型サービスの拡充に関する業務

地域支え合い訪問型サービスの地域の認知度向上と市や関係機関との連携の活性化に取り組むことで、当サービスの利用者数及びサービス稼働数等の向上を目指す。

①1層2層連絡会・包括管理者連絡会への参加

生活体制整備事業との協働で１層２層連絡会に計２回参加。サービスの稼働状況や事例共有、その他協力依頼を行った。

１層２層連絡会　実施日	内容
令和５年４月28日	サービス担当者の顔合わせ 6/22の第23回生活支援サポーター養成講座を周知

②その他関係団体等への参加

実施日	内容
令和５年５月29日	かりゆし長寿大学の事務局へ訪問。事業説明。
令和５年６月13日	かりゆし長寿大学　　火曜日コース約45名に講座周知
令和５年６月15日	かりゆし長寿大学　　木曜日コース約40名に講座周知
令和５年９月５日	介護予防リーダー養成講座　１名に事業紹介

２．サービスコーディネーターに関する業務

①生活支援サポーター登録者管理

生活支援サポーターの登録申請書である『生活支援サポーター登録カード』は、キャビネットに保管し、施錠した。サポーターの登録データは那覇市社会福祉協議会サーバーにて保存し、外部に持ち出さぬよう厳重に管理した。

②利用者の受付、情報収集

地域包括支援センターのケアプランナー等から相談や依頼の電話を受け、事業対象者のサービス利用について受付を行った。また、マッチング後サポーターと利用者のお互いの行き違いを防ぐため、利用者が希望する支援内容や利用期間、サポーターが利用する駐車場、その他必要な情報を担当のケアプランナーより綿密な情報収集を行った。

③利用者と生活支援サポーターのマッチング業務

受付した利用者と登録名簿にある生活支援サポーターを、利用者が希望する支援内容やその他の条件等を考慮してマッチングを行った。マッチングの依頼は電話やメール等で個別に行うほか、「生活支援サポーター専用公式LINE」を活用してLINEのともだち登録しているサポーターに一斉送信することで、業務の効率化を図った。(LINE友達登録者数69人)

＜令和５年度実績＞

実績項目	実績数
サービス依頼受付件数	69 件（前年度 58 件）
サービス実利用者数	51 人（前年度 31 名）
生活支援サポーター活動人数	40 人（前年度 30 人）
延べサービス利用回数	985 回（前年度 452 回）

④生活支援サポーターへの指示及び情報の伝達

マッチング後初めての活動の際には那覇社協の担当 CN が同行し活動を見守ることで、実働するサポーターの不安を取り除き、利用者の信頼関係がいち早く形成されるよう支援した。

実働中のサポーターに対しては定期的に連絡を取ることで、活動の状況や支援中に気になったことなどをヒヤリングし、サポーターが孤立し活動に対するモチベーションが低下しないよう支援を行った。

＜図　生活支援サポーターによる活動の様子＞

↑　調理補助の様子

↑　ふれデイまでの付き添いの様子

↑　学生サポーターによるお風呂清掃の様子

↑　買物代行後のレシート確認の様子

3．生活支援サポーターの養成及び育成に関する業務

①生活支援サポーター養成講座（第23～27回：計5回）の開催

那覇市介護予防・日常生活支援総合事業の「地域支えあい訪問型サービス(個人登録型)」において高齢者の生活支援を担うサポーターの養成講座を開催した。

＜全5回開催実績＞※第26回目は受講生が少なく、中止

実績項目	実績数
養成講座受講者数	38人（前年度53人）
登録者数	34人（前年度38人）
受講者数に対する登録率	89%（前年度71%）
生活支援サポーター登録数（R6.3月時点）	193人（前年度155人）※個人受付の登録者含む

ア.第23回生活支援サポーター養成講座(令和5年6月22日)　10～12時

参加者数：16名　　会場：沖縄県立美術館講座室

登録者数：16名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム	那覇市社会福祉協議会 地域支え合い訪問型サービス担当　神田貞幸
みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	

スタッフ：高澤、鉢嶺

イ.第24回生活支援サポーター養成講座(令和5年9月29日)　10～12時

参加者数：8名　　会場：沖縄県立美術館講座室

登録者数：6名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム	那覇市社会福祉協議会 地域支え合い訪問型サービス担当　神田貞幸
みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	

スタッフ：　新垣聡美

ウ.第25回生活支援サポーター養成講座(令和5年12月15日)　10～12時

参加者数：7名　　会場：ともかぜ振興会館　研修室1.2.3

登録者数：6名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム	那覇市社会福祉協議会 地域支え合い訪問型サービス担当　神田貞幸
みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	

スタッフ：前田洋子、玉城里恵

エ.第26回生活支援サポーター養成講座(令和6年2月16日)　10～12時

申込者が少ないため、中止

オ.第27回生活支援サポーター養成講座(令和6年3月19日)　10～11時30分

受講者数：7名　　会場：沖縄県立美術館講座室

登録者数：6名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム	那覇市社会福祉協議会 地域支え合い訪問型サービス担当　神田貞幸
みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	

スタッフ：玉城里恵、前田洋子

↑第23回養成講座会場の様子

↑第25回養成講座

②個別受付型　生活支援サポーター養成講座の開催

サポーターとなる担い手のさらなる確保を目的として、全5回の養成講座に参加できない方を対象に、個別にスケジュール調整を行い養成講座を開催した。

＜個別受付型 実績＞

開催回数：計4回（4/18、5/1、11/2、2/21）

受講者数：5名　　登録者数：4名

登録率：80%

4．地域支え合い訪問型サービスを実施するボランティア団体等の支援に関する業務

「那覇市地域支え合い訪問型サービス事業（団体登録型）」は、那覇市において地域支え合い訪問型サービス事業を実施する住民ボランティア団体等に対してその活動を支援するために予算の範囲内において補助金を交付する市の事業であり、那覇社協は令和5年度の仕様書に基づき、サービスを実施する住民ボランティア団体の立ち上げ支援及び団体の相談や事務手続きの支援等に応じる。

実施日	内容
令和5年5月26日	団体型の補助金要綱説明：NPO法人ファミリーサポート愛さん会
令和5年5月29日	団体型の補助金要綱説明：かりゆし長寿大学
令和5年7月6日	意見交換：株式会社フォスタ　介護予防事業部

以上

(5)小規模法人ネットワーク化事業（ちゅいしぃじぃ事業）事業実績報告書
（令和5年9月～令和6年3月）

1. 法人間連携プラットフォームの設置

プラットフォーム名称		那覇市社会福祉法人等施設連絡会		
プラットフォーム運営団体	地区	（福）那覇市社会福祉協議会		
参加事業者及び事業種別	首里地区	1	（福）ゆうなの会	高齢
		2	（福）若杉福祉会	保育・児童
		3	（医）葦の会	障がい・高齢
		4	（福）偕生会石嶺児童園	児童
		5	（福）からし種の会	障がい
		6	NPOグランアーク	高齢
	真和志地区	1	（福）おきなわ共生会繁多川	高齢
		2	（福）おきなわ共生会長田	高齢
		3	（特非）一万人井戸端会議　繁多川公民館	地域福祉
		4	（医）城南会	高齢
		5	（福）沖縄中央福祉会彩風の杜	障がい・高齢
		6	（福）乙羽会	高齢
		7	日本赤十字社沖縄県支部（安謝複合施設）	高齢・児童
		8	沖縄県肢体不自由児協会	障がい児
		9	一社　じんぶん考房	児童
	本庁地区	1	（一社）ハーネス	障がい
		2	（福）そてつの会	障がい
		3	（福）ポプラ福祉会	保育・児童
		4	（福）うるま福祉会	保育
		5	（医）正清会	障がい・高齢
		6	（福）雅福祉会	保育
	小禄地区	1	（福）ベリー福祉会	保育
		2	（福）千草福祉会	保育
		3	（福）那覇垣花福祉会	保育
		4	（福）ニライカナイ	障がい
		5	（福）沖縄にじの会	高齢
		6	（医療）好緑会	高齢
		7	（有）百栄	高齢
		8	（福）那覇市社会福祉協議会	地域福祉

※枠が不足する場合は、適宜追加すること。

2. 事業実績

(1)法人間連携プラットフォームの実施回数

実施回数	3回	3回

(2)法人間連携プラットフォームにおける取組内容

事業内容	令和5年度ちゅいしいじい事業社会福祉法人等施設連絡会の構成施設25法人にヒアリング調査	9月に各法人へ日程調整 10月に各法人一日当たり、2件～3件程度のヒアリング実施、連絡会における意見交換会において、ヒアリング資料を活かすことを目的とする。 ヒアリング内容(連絡会への感想、期待したいこと、やってみたいこと等) 10月に事務局が各法人地区に訪問し、ヒアリングを行った。 首里地区5法人、本庁地区6法人、真和志地区7法人、小禄地区7法人　25法人実施
	令和5年度第1回4地区合同那覇市社会福祉法人等施設連絡会	令和5年度第1回4地区合同那覇市社会福祉法人等施設連絡会 日時　2023年11月7日(火)午前10時～12時　場所県立博物館講堂 協議題　主催者挨拶　那覇市社協　会長　川満正人 (1)本年度の事業計画について　説明　県福祉政策課　主任　新垣晴菜氏 (2)報告事項 ①3年間の振り返り　事務局　社協　山城章 ②令和5年度事業計画　承認 ア. 食料支援活動の推進 イ. 生活困窮世帯応援事業　チャリティーボウリング大会 実行委員長選出　ゆうなの会理事長　玉城篤子氏 収益金の使途　社協通じて生活困窮世帯への支援に充てる。 ③意見交換会
	令和5年度第2回4地区合同那覇市社会福祉法人等施設連絡会	令和5年度第2回4地区合同那覇市社会福祉法人等施設連絡会 日時　2024年3月18日(月)午後2時～4時30分 場所県総合福祉センターゆいホール 協議題　主催者挨拶　那覇市社協　会長　川満正人 (1)基調講話　県社協　地域福祉部長　伊良皆和弘氏 (2)報告事項　①ちゅいしいじい4年間の活動報告②令和6年度の活動方針 (3)チャリティボウリング贈呈式 (4)活動事例の報告会 ①子どもの居場所から地域づくり　雅福社会　理事長　兼浜麗美氏 ②NPOグランアークの考える地域づくり　NPOグランアーク　阿波連愛香氏 ③全世代型の福祉支援と地域の公益的な取組　ニライカナイ事務局長　豊村英氏 (5)質疑情報交換 (6)講評、助言、所見、総括、 (7)閉会の辞

(3)複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の内容

事業の主な対象者	那覇市民
事業内容	①行政区毎のCSWの配置 CSWを地域福祉計画に基づいて社会的孤立防止運動の一環として配置していることから、本事業も行政区毎のCSWを配置し、社会福祉施設が福祉課題への対応ができるよう連携を図った。 ②行政区毎のプラットホームの設置 令和3年度、小禄地区7法人を立ち上げて、更に令和4年度で3法人立ち上げた。令和5年度に1法人を加え、社協の事務局を除き、首里6、本庁6、真和志9、小禄7の計28法人が、4行政区ごとでプラットフォームを設置した。 ③なは地域貢献便りの発行 本年度は、手引書の成果物作成のため地域貢献便りを年4回・6千部発行した。((VOL17発行)社会福祉施設並びに社協便りの会員にも配布し、連絡会の報告や、施設の活動紹介をこれまでに19団体紹介し、地域貢献活動のイメージを拡げて行くことができた。令和5年度は3回発行し、3月号(VOL20)を4月発行を最終号とした。 ④試行的モデル事業調査 令和2年度の連絡会、地域貢献活動からのヒアリング及び施設の機能や専門性を活用するべく、今後多くの法人が会員となって福祉課題の解決の一助となれるよう特性に合った活動を選択しやすくなるように、7つの活動分野を提案しその活動案について改めて27法人に活動調査を行い結果を共有した。
	⑤連絡会構成施設食料支援推進事業 令和4年度も、新型コロナウイルスの影響等で困窮した世帯を支援するために、食糧支援(フードバンク)を実施し、困窮世帯等への食料支援を実施した。 令和3年度実績(令和3年3月～令和4年3月まで5千点目標(2月3日現在　4064点18団体) 令和4年度実績(令和4年4月～令和5年2月まで5千点目標(3月1日現在　6048点42団体) 令和5年度実績(令和5年4月～令和6年2月まで5千点目標(3月1日現在　5404点36団体) その原動力となったのは、法人保育園及び保護者連合会が、コロナ禍の中、保護者会の活動が休止とされている中で、食料支援活動を会の活動として呼びかけたところ、、保育分野だけで4年度34園、5045点の食料を集め、5年度に26園が集めて保護者連合会の再結成の契機となった。 ⑥生活困窮世帯応援事業チャリティボウリング チャリティボウリング大会の実施で生活困窮者応援事業における複数連携 令和4年度は最終年度として、連絡会の構成施設を巡りヒアリングを実施しました。この事業がコロナ禍の中で始まり、収束を待たずに終了する中で、このような事業は交流が大事だというヒントを得ました。施設が社会的課題に立ち向かうには、楽しみながら交流を図る企画が必要ではないかと考え、「ちゅいネットなはチャリティボウリング」をスカイレーン(那覇市具志在)に於いて企画しました。令和4年度12月～2月末までの期間に、各施設の親睦交流を兼ねて行われました。純益金は、那覇市社協を通して生活困窮者応援活動の支援金として、チャリティ実行委員長(そてつの会理事長　新元時雄氏)から50万円が那覇市社協(会長　新本博司)に贈呈されました。 また、社協を通してミルクを買えない貧しい世帯への支援を行っている共育ステーションつむぎへのミルク代として支援金が託されました。 令和5年度も、生活困窮世帯が増加傾向にある中、継続してチャリティーボウリング大会を実施しました。実行委員長(ゆうなの会理事長　玉城篤子氏)から、那覇市社協(会長　川満正人)へ、純益金602、981円の支援金が託されました。
	⑦移動支援サービスモデル事業 昨年度の石嶺ハイツ自治会に続き、大名第二団地自治会では、買い物にお困りの高齢者を対象に、行き帰りの送迎を行う移動支援プロジェクトを実施している。沖縄トヨタグループより、トヨタシェアの車輌を低額でお貸しいただき、それを社会福祉法人ゆうなの会と社会福祉法人若杉福祉会、地域のボランティアが運転ボランティアを担う形で週2回(水・金)活動している。 約半年間の試験期間を経て、令和5年7月より本格実施となった本プロジェクトは、買い物ができる事だけではなく、買い物終わりや車内で住民同士が交流できる場としても、地域の方々から大変喜ばれる活動となっている。公共交通不便地域で高齢者の移動支援ニーズが高い大名第二団地自治会(首里大名町)で、株式会社OTM(沖縄トヨタグループ)のご協力をいただき、カーシェアサービス『TOYOTA SHARE』によるレンタカーを『地域の足』として活用し、車両の保管場所を大名児童館、サービスコーディネートは自治会、運転ボランティアは社会福祉法人若杉福祉会や社会福祉法人ゆうなの会と本会等が担い、買物を目的とした移動支援を半年間モデル事業としてスタートしました。 地域の社会福祉法人や企業、地域ボランティア等の皆様と引き続き、地域全体で高齢者の移動支援を支えあうネットワークを目指します。 ⑧社会福祉法人千草福祉会より、法人で所有している車輌と運転手が協力することで、地域で移動に困っている方々の力になれないかとの申し出をいただいたところから取り組みがスタートした。地域ふれあいデイサービスの参加者に買い物支援の必要性について意見を聞いたり、自治会の協力を経て実施した山下町地域福祉懇談会(令和5年12月実施)では、参加された民生委員や地域住民の方々より、これからの高齢化社会を見据えて自治会として取り組む必要があるのではないかとの意見が多く挙がった。また、その動きを受けて社会福祉法人沖縄にじの会からも協力を申し出ていただく等、山下町地域としての移動支援のカタチを作っていく動きが徐々に拡がってきてい

⑨社会福祉施設における「災害時要援護者の受け入れなどに関する調書」
令和4年度の連絡会において、災害時の福祉避難支援計画について、必要性を確認し合ったことを契機に災害時要援護者の受け入れに関するアンケートで67箇所の法人から回答をいただき、災害時の備えとしての福祉避難所の設置や要援護者の地域への日頃からの参加支援についてやるべき課題を法人間で共有化出来るよう努めていきたい。

⑩3年間のモデル事業であったことから、市内全域の施設に広げていくために、地域貢献活動の手引書（入門編）を発行できた。400有余の社会福祉施設や、関係機関へ配布し、社会福祉施設の存在意義を知っていただく契機となった。

⑪令和5年11月17日（金）「ちゅーぴたん見守りペリーわらびんちゃー会」として、ペリー保育園にて出発式が行われました。
11月22日（水）に5世帯の独居や高齢夫婦世帯を訪問し「おはようございます。」の声かけに、笑顔で出迎えて頂き、「頑張ってね～」と励ましのお言葉を頂きました。子ども達の活動を通して、地域が元気になり繋がってほしいです。（社協CSW　前川）
◎取り組みの経過
社会福祉法人等連絡会の中で提案が出た「保育園児の散歩を活用した見守り」について、山下町エリアでペリー福祉会が新しい仕組みづくりとして始まりました。
南城市のキッズ見守りを参考にしながら保育園で取り組める方法を地域の小禄第二単位民児協及び担当民生委員児童委員、自治会等と連携しながら実施していきます。
小禄第2民生委員児童委員協議会の方々が頑張っている状況ではありますが欠員も多く日々の見守り活動にも限界があるため、新しい仕組みづくりとして、保育園の散歩を活用した無理のない範囲での見守り、声掛け活動が出来ないかとペリー保育園と意見交換を実施。
・保育園が所有しているペリーファームを活用しファームで取れた野菜等も訪問時に届ける事も視野に入れて取り組みます。（園長　賀数博氏）

⑫山下町地域ミニミニ地域福祉懇談会
那覇市社会福祉協議会では、民児協単位、自治会単位で地域の関係者間で福祉の課題を共有している。また、人財育成の一環で、社会福祉士を目指す学生の実習受け入れを行っている。このたび、2月16日「山下地域の認知症状の進行する世帯をどう地域で支えるか」をテーマに、個別支援の主任ケアマネ、地域担当のCSWが、個と地域の一体的支援として、山下地域の特別養護老人ホームゆがふ苑にて、ミニミニ地域懇談会を開催した。担当民生委員、山下町自治会、包括支援センター金城、ペリー保育園、千草保育園、山下交番、垣花小学校、那覇社協、ソーシャルワーク実習生6名が参集し、主任ケアマネからケース状況が説明されたあと、関係機関から意見交換がもたれた。その中で、自治会の役員であり保育園を経営する理事長から、見守るにしても、私たちは、認知症の事を知らない。関わっておられる専門職の皆さまから教えてほしい。との意見が出された。丁度、山下地域にはゆがふ苑を拠点として、地域包括支援センター金城が認知症の専門職として存在している。認知症の理解について改めて、学校や地域に啓発していくことが、共有された有意義な懇談会であった。

⑬壺川東改良市営住宅ミニミニ地域福祉懇談会
時を同じく、午後2時に、壺川東改良市営住宅集会所において、全介助を要する重度の障がいを持つ独居生活10年目の男性（53歳）の地域における見守りについて、那覇市社協の障がい者専門相談員が問題提議を行った。懇談会では、担当民生委員、自治会長、本人が得意とする写真展などのイベントのお手伝いをしている久田病院、近隣のライフサポート久田、ヘルパー事業所土田、ホームヘルプステーションわかば、那覇市社協の専門相談員、本庁地域のCSWとソーシャルワーク実習生5人が参加した。本人は事業所のヘルパーや、写真展のボランティア以外は、初めてであったので、言語の聞き取りにくい部分も含めて、自己紹介、自分が望んでいることをDVDに作成して、説明した。それからは、緊張の糸がとれて、台風や大きな災害が来た時に、身近は人が頼りになるが、関りが持てていなかったこと、将来を見据えてヘルパーさんが確保出来るかが不安。それに対し、自治会長は、こんなに頑張っているから自治会の会費は免除してよい。自治会として出来ることがあったら、言ってほしい。民生委員も、なにかあったら身近にいるので、お手伝いが出来るよ！彼を囲んで温かい雰囲気のなかで、専門技術の伝達方法の課題を抱えつつ有意義な懇談会を終えた。

(4)福祉・介護人材の確保・定着のための取組内容

①福祉施設による福祉体験講話による複数連携
コロナ禍の中において、小中高から福祉のお仕事講話や、福祉体験講座をこれまでは、ボランティア担当者が、需給調整に四苦八苦していました。ちゅいネットなはの構成法人、もしくは対応可能な法人へ依頼をし、県の福祉人材センターと連携し下記の通り福祉教育の分野の働きかけを行うことが出来ました。また、看護大学への無料塾は、病院、高等学校等、看護師の志願者を募り、将来の医療従事者となる看護学校合格者(4年間で60名)を支援しました。
(社協も職員1名以上と、地域の民生委員・児童委員も参加しています。)

年度	依頼校	派遣法人
2020年 (令和2年)	小学校(安謝)	安謝複合施設1名
	中学校(那覇中)2名派遣	一般社団法人ハーネス2名
	繁多川公民館防災講話	日本赤十字社沖縄支部1名
	久田病院 看護学校入学無料塾10名合格	正清会久田病院 2名
2021年度 (令和3年度)	中学校(石嶺中)	ゆうなの会1名
	高等学校(泊)	ゆうなの会1名
	久田病院看護学校入学無料塾11名合格	正清会久田病院 2名
2022年度 (令和4年度)	小学校(曙) 4年生	障がい者就労支援センタークローバー1名
	〃 (城東)4年生	ニライカナイ4名
	〃 (城西)3年生	繁多川ロービジョン1名
	中学校(石嶺)1年生	ゆうなの会1名
	〃 (松城)	彩風の杜なは4名
	高等学校(真和志)	沖縄にじの会1名、ニライカナイ4名、雅福祉会1名
	〃 (みらい支援学校)	沖縄にじの会1名
	通信制マイン高等学校	日本赤十字社沖縄支部1名
	真和志第二民児協防災研修会	日本赤十字社沖縄支部1名
	看護学校入学無料塾13名合格	正清会久田病院 2名
2023年度 (令和5年度)		

◎城北中2年生5クラス 5日間 認知症について、高齢者疑似体験
那覇市地域包括支援センター大名 2名
那覇市地域包括支援センター石嶺 2名
NPOグランアーク1名
・那覇市社協2名
・首里第三民児協4名
◎久田病院看護学校入学無料塾25名合格 正清会久田病院 2名 累計60名
◎沖縄工業高校と近隣施設 彩風の杜なはとの交流会
◎安岡中2年次5クラス 保育園へ出向いて、保育士の指導の下、園内で子ども達のお世話をする。
おおたけ保育園・みやびの杜保育園、安謝子ども園、ながやま保育園、児童支援センターいろは

②本年度も、実習指導者として、将来の福祉人材の育成として社会福祉士資格取得を目指す学生の受け入れを行った。 8月に6名(180時間) 2月に6名(60時間) 合計12名

(6)「令和５年度歳末たすけあい見舞激励金事業」事業報告

１．目的

地域で何らかの事情により生活に困っている世帯を対象に、少しでも明るい正月をむかえてもらうため、歳末たすけあい募金から世帯状況に応じて見舞激励金を支給する。

２．調査協力

民生委員児童委員、那覇市子育て応援課、那覇市パーソナルサポートセンター(以下PS)、
相談支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所
母子父子寡婦福祉センター、社協（地区CSW・ゆいゆい・貸付担当）等

３．実施内容(※詳細について別紙参照)

・申請件数　195件
・決定件数　183件
・非該当件数　12件
(保護受給中1件、基準額超10件、申請後死去1件)

【調査者別申請件数】

	民生委員	PS	包括	NPO	教育庁	相談支援	母子父子寡婦	居宅介護	社協内	計
R4	149	11	1	1	2	6	0	0	23	170
R5	169	15	5	0	0	1	1	1	3	195

４．支給額

予算　経理区分)歳末助け合い募金事業-事業費支出-給付費支出 ¥2,500,000
支給総額　¥2,434,000
支給方法　手渡し支給のみ　183件

５．協力機関

・保護管理課にて、申請件数194件分保護照会していただいた。
(期間：令和5年11月14日～11月22日)
・沖縄明治株式会社より、ぜんざいとドリンクの寄贈をいただいた。
贈呈式：令和5年12月13日（水）
・学校法人カトリック学園 愛児幼稚園より、ラッピングされた缶詰の寄贈をいただいた。
贈呈式：令和5年12月20日（水）

６．調査依頼(調査期間：8月1日から11月8日(10/27締切り以降も提出があり延長)
各民児協定例会にて事業説明及び調査依頼を行った。
関係機関へは郵送にて案内文書を配布した。

7．見舞激励金支給

実施日　令和５年 12 月 21 日（木）午後１時半～午後４時

場　所　首里支所１階会議室、ボランティアサロン真和志、那覇市総合福祉センター調理室

8．ありがとうメッセージ抜粋　※原文のまま

Ｎｏ	世帯区分	メッセージ
1	高齢者	ありがとうございます。今、大変な状況下の中で心がなごむ援助（クリスマスプレゼント）をいただけて感謝しています。本当にありがとうございました。
2	高齢者	この度は、どうもありがとうございました。クリスマスプレゼント心より感謝を申し上げます。笑顔あふれるハッピーな新しい年を迎える事ができます。本当にどうもありがとうございます。
3	生活困窮	生活困窮の中、見舞激励金頂きとても感謝致します。心温かく感じました。今年は母も老衰で亡くなり、いろんな事が頭をかかえる日々で落ち込んでいる日々が毎日続いていました。心温かく感じ励ましてくれる心温かい人もいるんだと頑張っていく自信がつきました。見舞激励金本当にとても助かりました。感謝いたします。本当にありがとうございました。口ではいいあらわせないくらい嬉しかったです。
4	生活困窮	ケーキと見舞金ありがとうございました。娘が１２月○日に２０歳になりました。成人式の準備金として使用します。みな様の助けに支えられています。感謝しても足りません。来年もみな様が幸せでありますことを願っています。
5	母子父子世帯	ご支援いただきましてありがとうございます。現在持病の悪化で働けず、新型コロナウイルスに続き、物価高騰で予定していた生活より厳しい時期に大変感謝しております。早く元のように働き、その際には頂いた以上の恩返しができればと思っております。
6	母子父子世帯	今年は体調も悪く又、台風で仕事の休みが響きあげくのはて、物価も高騰して本当に生活が苦しくて、クリスマスもお正月もないかなって思っていた所、こうして沢山の方々の気持ちでたすけ合い募金見舞金をいただく事が出来て本当に感謝しかありません。大事に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

9．まとめ（改善点等）

今年度は調査依頼を例年より１カ月早めに行った。また「民生委員児童委員全体研修会」での説明、チラシを作成し支給までの流れを示すなど、特に新任の民生委員への周知に力を入れた。申請はパーソナルサポートセンター、包括支援センターからの件数が増えている。

例年同様の課題としては、民児協ごとで申請件数に差があること。342 人（８月時点）の民生委員で申請を行った民生委員は 83 人と総数の２５％にも満たない。また、昨年度と同じ世帯からの申請が 69 世帯であった。昨年度は前年度と同じ世帯の申請が半数以上を占めていたことから改善がみられたが、まだまだ困っている世帯の掘り起こしが必要と思われる。

今後も必要とする世帯に行き届いているか、民生委員によって認識の差がないかなど、働きかけを継続しておこなっていくことが必要である。

また、寄添い支援員から民生委員への紹介も増えているが、ちゃんとした引継ぎが行われないまま民

生委員に依頼されたケースも多く、民生委員が面識もない対象者と連絡から訪問に至るまでに、かなりの労力を費やしている。（知らない電話番号に出ない、訪問しても留守等）事前に寄添い支援員との話し合いの場も設けたが、同行訪問するなど丁寧な対応を行う寄添い支援員もいる中、連絡先だけを伝えて民生委員に丸投げするなど、寄添い支援員によって対応に差があった。

来年度も実態の掘り起こしや支給後のアフターフォローも含め、民児連・単位民児協との連携をさらに強化し事業を進めていく必要がある。

今年度、ありがとうメッセージをグーグルフォームで記入できるように、読み取り用のQRコードを掲載した。匿名でメッセージを寄せたい方や、忙しい合間にスマホで手軽に入力していけることから、次年度も活用していきたい。

※歳末たすけあい見舞激励金と一緒に、愛児幼稚園や企業からの食料品、子どものいる世帯（高校生まで）にクリスマスケーキの寄贈も行った。
ケーキ店13店舗、企業1社、個人2人から175台のケーキ寄贈を頂き、激励金対象世帯129世帯へ145台（多子家族はケーキ2台）、寄り添い支援員へ20台、母子会会員へ10台配布した。

愛児幼稚園缶詰贈呈式

寄贈の食料品も配布

子どものいる世帯へクリスマスケーキ贈呈

民生委員さんに見舞激励金を託します

(7)歳末たすけあいクリスマスケーキ配付事業

歳末助け合い運動の一環として生活困窮世帯、子供のいる困窮世帯を対象に、少しでも明るいクリスマスを迎えられるように、市内の各ケーキ製造販売店より寄贈のクリスマスケーキを提供した。市内のケーキ販売店舗や事業所、企業、個人2名より175個寄贈があり、129世帯に配付した。

★クリスマスケーキ提供協力依頼先：
那覇市内のケーキ製造販売店舗等14団体及び個人（2名）

★対象となる世帯　(129世帯)：
本会事業で支援している世帯の中から、子のいる世帯及び団体

★協力店企業個人等：
(有)ピッコロモンド石嶺店、デザートラボショコラ、(有)白バラ洋菓子店、(有)ハッピー洋菓子店、トーエ洋菓子店、いまいパン、ル・パティシェ・ジョーギ、フォーモストブルーシール（株)、Çafeわきみず、オークレープ、みやぎ菓子店、㈱ジミー本店・イオン那覇店、ミルキー、新里美香、平良浩則、匿名企業1社（敬称略）

(8)第 5 次那覇市地域福祉計画・第 3 次那覇市地域福祉計画策定までの経過

令和 5 年度は第 2 次那覇市地域福祉活動計画の最終年度となり、局内でワーキングチームを立ち上げて、これまでの事務事業の点検を行い、次期計画策定に向けて、地域福祉活動計画の骨子及び素案づくりに取り組んだ。

ワーキングチームの構成は、職員全体(正職員を中心に)として、作業内容は、各事業の点検、担当者で評価記入し、市民アンケートやワークショップからの意見等も取りまとめながら、次期計画について協議検討を行った。

第 3 次地域福祉活動計画 ワーキングチーム運営会議内容・経過報告

	開催日時	運営内容	参加者
1	9月1日(金)	1. 第 1 回ワーキング運営会議について ①事業点検項目の進捗とりまとめ 2. 作業内容と日程の説明と意見交換 3. ＊那覇市地域福祉計画とのすり合わせ	30名
2	11 月 2 日(木)	1. 第2回ワーキングチーム運営会議 ①事業点検内容の協議、取りまとめ	27名
3	11 月 16 日(木)	1. 第3回ワーキングチーム運営会議 ①将来像と検討課題について意見交換	25名
4	12 月 7 日(木)	1 第4回ワーキングチーム運営会議 ① 社協事務局案とりまとめ 意見交換 ② 専門分科会への提案事項	28名

・ワークショップの開催状況

ワークショップの開催状況は、表のとおりで、全8回の開催で延 248 名の方がワークショップに参加しています。

地区	小学校名	開催場所	日程	参加者
本庁	泊小学校	英語ルーム	(1)7 月 27 日(木)18:30～20:30 (2)8 月 10 日(木) 〃	第 1 回 36 名 第 2 回 28 名
真和志	松川小学校	地域連携室	(1)8 月 17 日(木)18:30～20:30 (2)8 月 24 日(木) 〃	第 1 回 43 名 第 2 回 30 名
首里	城北小学校	城北中学校 地域連携室	(1)7 月 19 日(水)18:30～20:30 (2)8 月 23 日(水) 〃	第 1 回 33 名 第 2 回 20 名
小禄	高良小学校	小禄南公民館 ホール	(1)7 月 21 日(金)18:30～20:30 (2)7 月 28 日(金) 〃	第 1 回 34 名 第 2 回 24 名

地域福祉専門分科会・検討委員会への参画

日 時	内容	参加者
6月6日(火)	第1回地域福祉検討会議	真栄城課長
9月5日(火)	現行計画の取り組み状況、ワークショップ、ヒアリングの報告、計画のポイント、圏域について審議	前原副会長・宮城常務 (事務局、真栄城課長、仲程主幹)
10月25日(水)	第2回地域福祉検討会議	真栄城課長
11月27日(月)	第3回地域福祉検討会議	真栄城課長
12月22日(金)	計画素案について審議	前原副会長・宮城常務 (事務局、真栄城課長、前川主任)
令和6年 3月5日(火)	パブリックコメント募集結果の報告、パブリックコメントに対する市の考え方について審議	前原副会長・宮城常務 (事務局、真栄城課長、前川主任)

3. ボランティア活動・福祉教育の推進（令和５年４月～令和６年３月）

（1）ボランティア市民活動センターの運営

①プロジェクト

ア. パートナーシップ協定の締結

ネパール献血者協会・日本　(Nepalese blood donors association, Japan)

日時：令和５年８月 18 日

イ. 能登半島地震に対する街頭募金活動

那覇青年会議所（パートナーシップ締結団体）

日時：令和６年１月８日

場所：護国神社

②那覇市ボランティア・市民活動センター運営委員会

ア. ボランティアセンター事業　整理についての検討会

日時：令和５年５月１５日

場所：那覇市総合福祉センター

イ. ボランティアセンター事業　検討会 ２回目

日時：令和６年３月４日

場所：那覇市総合福祉センター

③その他

ア. なは市民活動支援センターとのボランティア情報一元化にむけた調整

日時：令和５年６月５日

場所：なは市民協働プラザ

イ. 情報一元化に向けた調整　２回目

日時：令和５年 11 月 30 日

場所：なは市民協働プラザ

ウ. 情報一元化に向けた調整　３回目

日時：令和６年１月 24 日

場所：なは市民協働プラザ

（2）啓発広報活動の推進

①ボランティア啓発活動事業の推進《ボランティア養成講座への講師派遣及び企画協力》

地域や学校等でのボランティアに関する講座の開催や講師の派遣、または講師として出向き啓発広報や人材育成に努めた。また、各団体や企業、学生に対してボランティア活動実践プログラムを提案し、協働を推進した。

内容	開催日	開催場所対象	参加人数
県内学生ボランティア交流会	R5. 5. 26、6. 30	コミュニティサロン太陽食堂 県内大学・専門学校等の学生	15
ボランティア講義	R5. 5. 31	明治安田生命那覇北営業所 社員研修	52
「持続可能なボランティア」実践講座	R5. 6. 21	沖縄福祉保育専門学校 保育スペシャリストコース２年生	35
ボランティア実践講座｜地域共生	R5. 6. 22	小三学園 講師（職員）研修	5
「沖縄の現状 理解を深める」	R5. 6. 23	Zoom 神奈川県立金沢高等学校	200
ボランティア実践講座	R5. 6. 27	沖縄大学本館 基礎講座受講者	80
未来に活かすボランティア講座	R5. 7. 6 R5. 10. 26	那覇市総合福祉センター 沖縄能力開発大学校	6
「学年一斉ボランティア」実践プログラム	R5. 7. 7 9. 15、10. 2	那覇市総合福祉センター 安岡中学校２学年	280

社協と行政の違い｜ボランティア講座	R5.7.13	沖縄大原簿記専門学校 公務員専科	45
触って感じる福祉ブース	R5.8.26	繁多川ゆんたくはんたく市 繁多川地域住民	50
ボランティア実践講座|SDGs	R5.9.12	那覇市総合福祉センター 合同会社キングコング	6
ボランティア講座|SDGｓ	R5.9.27	那覇第一合同庁舎 那覇保護観察所 被観察者	5
今できるボランティア講座	R5.9.30	首里高等学校 ボランティア部員	20
SDG 衣類リユースワークショップ	R5.10.14	エンカレッジ 利用者	15
未来の産業人材育成講座 社協・ボラセンとは｜キャリア教育	R5.11.1	真和志中学校 3学年	80
ボランティア講座 歳末おそうじ隊 講義・実践	R5.12.3 12.9	市内7校 中高生	122
障がいへの理解を深める 疑似体験・講座	R5.12.5	ACO 沖縄 県内各ホール舞台関係者	12
「市民社会とボランティア」 沖縄大学島村教授 寄付講座	R6.1.10 1.17	沖縄大学島村ゼミ	134
NAHA ミライ City in school	R6.1.18	古蔵中学校 1学年	34
ボランティア基礎講座	R6.1.24	なは市民活動支援センター	14
「ボランティア基礎と実践」 沖縄大学集中講義	R6.2.15	那覇市総合福祉センター 銘苅プラザ	45

学生ボランティア交流会

持続可能なボランティア実践講座

触って感じる福祉ブース

キャリア教育 SDGs・地域共生

県内劇場・ホール・舞台関係者向け 福祉講座

沖縄大学「市民社会とボランティア」寄付講座

②那覇市社協ボランティア・市民活動センター情報の発信

ア.「那覇市社協だより」誌の発行・掲示

市民のボランティア活動推進のため、毎月発行の社協だよりにボランティアのニーズやイベント、トピック等の、ボランティア活動に欠かせない情報提供を行った。

発行数述べ4,200部(1回7,000部)

配布先：ボランティア個人・団体、各種学校等、民生委員児童委員、社協会員、那覇市役所、那覇市議会事務局、市議、公共施設、自治会、市内民間企業、市内団体、市内銀行など

イ. スマートホンアプリ「おきナビ」

株式会社プロアライアンスとの提携で、スマートホンアプリから情報発信が可能となった。

ウ. 「キントーン」への登録

なは市民活動支援センターが運用するシステム（キントーン）上で、情報共有がスムーズに行えるよう準備を進めている。

③ボランティアBOX事業（使用済み切手収集等ボランティア）の推進

家庭や学校、職場で気軽にできるボランティア活動として、「古切手」「使用済みプリペイドカード」「書き損じハガキ」を収集し、在宅障がい（児）者の支援事業として紙オムツに換えて支給。※集まった「古切手」は地域の事業所・団体・個人ボランティアによって整理している。

令和5年度「ボランティアBOX」の配布・寄贈・状況

受配実績	件数	R4年度
BOX配布	38個	72個
〃 受取	87個	129個

④紙オムツプレゼント事業の実施

収集ボランティア活動で提供された使用済み切手やプリペイドカード、書き損じハガキ等の換金と歳末助け合い募金の収益金によって購入した紙オムツを、在宅で常時オムツを使用している方へプレゼントし、在宅障がい（児）者の生活支援とその家族の経済的負担の軽減を図ることを目的に実施した。※令和5年度から審査会は実施しない。

・交付　21件(1人あたり¥13,000の紙おむつ券進呈)

受配実績	件数	R4年度
紙オムツプレゼント事業申請者	21名	35名
BOX換金額/事業総額	¥253,190/¥300,300	¥151,286/¥455,000

（3）ボランティアコーディネートの推進

①ボランティア活動の調整

ア. ボランティア登録の推進

ボランティア活動希望者を登録し活動を支援した。

登録実績	登録数	R4年度
個人登録	新規　293名	268名
団体登録	新規　62団体	75団体

イ．ボランティアに関する相談、社協事業に関する相談

各種相談に応じ、内容に応じて社協内部での連携とマッチングを図った。
また、福祉用具貸出に関しては社協会員を促すと共に外部への紹介も行った。

相談内容	相談件数	R4 年度
講師依頼・用具貸出など	16 件	-
プロボノ(※1)・CSR(※2)など	6 件	-
その他	25 件(相談先や資源・保険に関することなど)	-

※1. 仕事で培った専門的なスキル・経験等をボランティアとして提供
※2. 「企業の社会的責任」環境保全や人権の保護、労働環境の改善、サステナビリティ（持続可能性）、地域社会への貢献など

ウ．ボランティアのマッチング（コーディネート）

ボランティアコーディネーターを配置（市補助金事業）し、ボランティアの派遣を希望する団体・個人に対してコーディネートを行った。
※社協事業を含む　※マッチング不成立　66 件（キャンセル及び継続中を含む）

R5 年度派遣実績	依頼件数	ボランティア	R4 年度
個人からの希望・依頼	73 件	81 人	113 件/118 人
団体からの希望・依頼	139 件	549 人	180 件/347 人
合計	212 件	630 人	293 件/465 人

R5 年度マッチング内容別実績

No.	内容	件数	ボランティア	R4 年度
1	収集物整理	9 件	12 人	7 件/19 人
2	掃除(おそうじ隊含む)	14 件	155 人	42 件/134 人
3	イベント	15 件	42 人	10 件/48 人
4	施設お手伝い	6 件	84 人	8 件/24 人
5	余興	4 件	16 人	1 件/2 人
6	観光ガイド	10 件	15 人	5 件/8 人
7	技術・技能	17 件	38 人	13 件/6 人
8	子どもの居場所	13 件	63 人	13 件/41 人
9	傾聴	8 件	6 人	9 件/3 人
10	保育	1 件	116 人	1 件/0 人
11	物品提供	27 件	10 人	54 件/19 人
12	付添・見守り	18 件	17 人	5 件/6 人

13	社協事業	20 件	49 人	-
14	その他	14 件	7 人	125 件/155 人
合　計		212 件	630 人	293 件/465 人

※社協事業には、社協だより配達、ふれデイ、24 時間テレビ等が含まれる。

イベント　盲導犬ユーザー団体キックオフ

清掃　沖大島村ゼミ サービスラーニング

観光ガイド　　盲導犬ユーザー

イベント　　車いすユーザーの写真展

物品提供、　糧搬入の手伝い

五感で楽しむユニバーサルデザイン考察

エ．24 時間テレビ「愛は地球を救う」への協力

昭和 53 年より全国規模で行われている 24 時間テレビ募金活動へ協力し、ボランティア紹介と対応職員の派遣を行った。

日　時：　令和 5 年 8 月 27 日（日）午後 12 時半～18 時半
場　所：　市内 2 ヵ所（店舗：イオン那覇店、ザビッグ小禄店）
依頼者：　沖縄テレビ　ボランティア：　3 校 39 名

参加校	人数	参加校	人数
沖縄尚学高等学校	31 名	小禄高等学校	4 名
沖縄工業高等学校	4 名		

イオン那覇店の様子
（沖縄尚学高等学校）

ザビック小禄店の様子
（小禄高等学校・沖縄工業高等学校）

②企業・団体による社会貢献活動

プロボノやCSR並びにSDGsに関するアドバイスや伴走支援、マッチングを行った。

	企業・団体名	内容
1	明治安田生命	社員の地域活動を推進するプログラム
2	HRDラボ（NIKKEI教育グループ）	社会課題解決へ向けてのプログラム
3	エアーエキスプレス株式会社	地域課題解決へ向けてのプログラム
4	キンドリルジャパン株式会社	社員と家族で一斉に行えるボランティアプログラム
5	小三学園（学習塾）	体験型福祉教育を学習塾で検討
6	株式会社IDOM	地域に愛される企業を目指し、CSR活動
7	那覇電気工事業協同組合	敬老と感謝を込めて地域貢献活動（歳末おそうじ隊）
8	公開経営者協会	企業向けオープンセミナーの相談
9	合同会社キングコング	持続可能な社会の実現への取り組み
10	環境設計国建設株式会社	社員と家族が一斉に行う環境整備

前年度（R4年度）：17企業・団体

③歳末おそうじ隊事業の実施

年末に一人暮らしの高齢者や障がい者の自宅を掃除し、明るいお正月を迎えることを目的として実施している。

・掃除12件（高齢者・障がい者世帯）
・電気点検　4件（高齢者世帯）
・寝具洗浄　0件

（4）ボランティア団体活動の助成・支援

① ボランティア体験・福祉教育プログラム助成事業の実施

児童・生徒のボランティア活動や福祉教育の体験活動等の事業を推進するため、
市内学校へ助成を行い福祉実践力の向上を図った。　R4:2校

申請決定　5校　助成総額 50,000円

No.	学校・団体名	助成金額
1	高良小学校	10,000
2	曙小学校	10,000
3	泊小学校	10,000
4	安謝小学校	10,000
5	上間小学校	10,000

②ボランティア保険の加入促進及び事故処理

安心してボランティア活動ができるように、万が一の場合に備えボランティア活動者及び依頼者に対し保険加入を条件づけるなどの周知を徹底した。また、事故発生時には保険会社と調整し、事故処理の事務を行なう。

内容	件数	人数	R4年度
ボランティア活動保険加入	203件	1,612人	154件/1,622人
ボランティア活動行事用保険加入	126件	9,061人	89件/7,131人
保険事故処理	1件	1人	3件/3人

③ボランティアサロンの管理運営

ボランティアグループ等の活動支援を目的に拠点の整備を行っている。
※コミュニティサロン太陽食堂は9月を以て地域の子どもの居場所団体へ移譲した。

【各サロン利用実績】

名称	場所	件数	人数	R4年度
かなぐすく ボランティア室	那覇市総合福祉センター B1階	0件	0人	3件/65人
ボランティアサロン まわし	真和志庁舎2階	5,828件	402人	402件/5,784人
コミュニティサロン 太陽食堂	那覇市壺屋1-1-14	130件	3,044人	91件/886人

④福祉用具貸出事業

ア．地域や学校において、高齢者や障がいを持った方々の機能を理解し、想像できるよう、車椅子や白杖等の疑似体験セットの貸出を行った。

イ．点字器の活用を積極的に案内することで、従来型の白状体験で「目が見えない＝怖い」という誤った認識をなくし、工夫次第で障がいを持つ方も共に暮らせることやユニバーサルデザインを意識できるよう促した。

【福祉体験用具貸出状況】

器具分類	件数	個数	R4年度
車イス	20件	88台	17件/120台
白杖（感染抑制の為アイマスクは貸出無し）	16件	165個	13件/169個

高齢者擬似体験セット	13件	99セット	16件/67セット
点字器・点字教本	11件	333セット	8件/269セット

⑤福祉教育・福祉体験学習活動の支援

ア. 総合学習における福祉教育の推進

市内学校における福祉教育への取り組みとして、高齢者や障がい者の立場をより深く理解できるよう、講師派遣や障がい当事者の講師調整、福祉教育学習プログラム作りへの情報提供等の協力を行い、学校並びに地域住民に対する福祉教育の啓発普及に努めた。

また、ボランティアセンター事業整理を踏まえ、疑似体験を主な目的とする依頼は民生委員児童委員や小学校区まちづくり協議会へ協力を呼びかけ、福祉用具の貸し出しを行うものとした。

イ. SDGs 学習の推進

●目標1・4・10について学ぶきっかけとして、フォトランゲージの手法を用いた。

●目標3・12について考えるきっかけになるように、ボランティアBOXから出る廃棄用切手と缶バッジメーカーを活用した。

●目標8・11についてより深く理解できるよう学習に動画を取り入れた。

実施 24件（小学校12校/36校、中学校7校/17校、高校2校/12校、その他3件） R4年度：29件

No.	学校名	学年	実施日	内 容
1	曙小学校	4	4/27、9/13	当事者講話：仲地宗輝、貸出のみ
2	高良小→ かなぐすく学童保育	幼~高	5/24	当日キャンセル→かなぐすく学童 当事者講話：中嶋琢、金城美千代
3	金沢高等学校	2	6/23	講師5名：Zoom分科会方式
4	壺屋小学校	5	6/26	貸出のみ
5	小禄小学校	5	6/29	貸出のみ
6	上間小学校	4	7/12	当事者講話：中嶋琢
7	沖縄尚学高等学校	1～3	8/27	サービスラーニング
8	石嶺小学校	4	9/4	貸出のみ
9	城北中学校	2	9/16	貸出のみ
10	那覇中学校	2	9/20	貸出のみ
11	安岡中学校	2	9/29	サービスラーニング
12	首里高等学校	1～3	9/30、11/28	貸出のみ
13	沖縄能力開発大学校 （専門学校）	4	10/31	講話・疑似体験
14	真和志中学校	3	11/1	キャリア教育・福祉産業講話
15	泊小学校	4	11/14、11/24	貸出のみ、当事者講話：中嶋琢、野上由美子
16	与儀小学校	4	11/19	貸出のみ
17	高良小学校	4	11/26	貸出のみ
18	金城中学校	2	12/8	貸出のみ
19	仲井真中学校	1	12/10	疑似体験（那覇社協にて実習受入）
20	神原小学校	4	12/13	貸出のみ

21	小禄南小学校	4	1/12	貸出のみ
22	古蔵中学校	1	1/18	キャリア教育・福祉産業講話
23	垣花小学校	4	2/20	貸出のみ
24	那覇小学校	5	3/4	ふくし講話・貸出のみ

曙小学校

首里高校

上間小学校

安岡中学校

(5)災害時支援に関すること

①「個別避難支援計画策定推進及び福祉サービス事業所に対する事業継続計画普及啓発業」

那覇市地域福祉基金事業の補助を活用し、個別避難計画の取り組みの推進と事業継続計画の普及啓発の取り組みを行った。

令和5年 8月16-17日	【第1回研修】 台風6号により総合福祉センターが停電となった(8月2日～11日)。電源の使用が限られ、施設運営も限定的となった。この事態により各事業がどのような対応をとったか振り返り、BCP（事業継続計画）から、災害ボランティアセンターの立ち上げ、福祉避難所の機能をどのように果たすか、課題を共有する会議を行った。初日は主幹以上による共有会議を行い、17日は主任以上参加いただき、管理職・現場の情報を共有した。※台風6号振り返りシートを部署毎に記入・共有
8月17日 （午後）	本会居宅介護支援事業所を利用しているUさんについて具体的な個別避難計画の作成を行った。ケアマネジャー、担当地区CSWと一緒に検討した。Uさん自身はできるだけ住み慣れた自宅を離れたくない、また緊急時であっても、自宅に誰でも入ってこれる状態は望まないなど、地域支援者が災害時に支援に入るような計画にはならなかった（緊急時のみショートステイを利用することで合意）。楽原氏からのアドバイスで「"私達の今のベストの避難計画"ということで、プランをつくり、検証し、取り組んでいかなければならない。」とまとめた。
12月12日	【第2回研修】 （午前の部） 本会における災害ボランティアセンター応援担当職員を対象に、なぜ社協職員が災害時支援を行うのか、災害時は平時の延長上にあること、また業務においても日頃から意識して取り組むべき事項mについて学んだ。後半は「みやぎ発防災ゲーム"助け合ってご（GO）～"」を使い、発災前、災害発生後の自宅周辺から避難所、そして災害ボランティアセンターまでのプロセスを体験する研修を行った。 （午後の部） 本会が事務局を担う「訪問介護ネットワークなは」及び「通所介護ネットワークなは」の事業所に参画いただき、福祉サービス利用者の命と暮らしを守るためにをテーマに、個別避難計画策定を視野に入れた備えの取り組みを学んだ。後半はみはぎ発防災ゲームの持ち出し品ゲーム「これ持ってぐ(Good)～！」を使い、福祉サービスの利用者や、様々な

	立場、状況の方が避難所生活でどのようなものが必要になるかを考える体験をした。 講師：一般社団法人 FEELDo 代表　桒原英文氏 講師：くらしと学びサポートオフィス HumanBeing　代表　菅原清香 協力：NPO 法人まちなか研究所わくわく　事務局長　宮道喜一氏

②事業の様子

写真　台風6号の振り返り会議

写真　本会利用者について個別避難計画策定

写真　応援協定職員研修

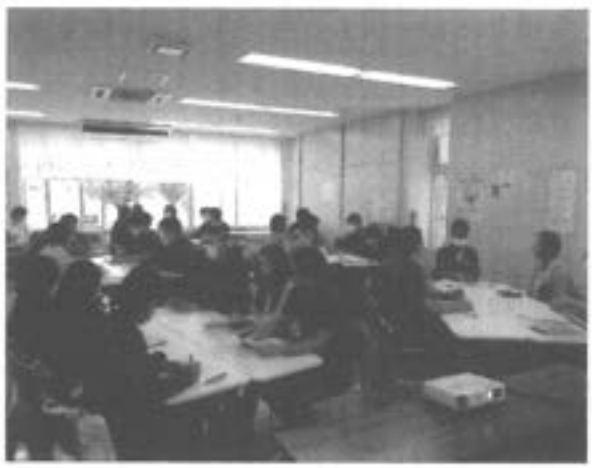


写真　福祉サービス事業所と社協職員研修

4．広報活動の推進

（1）社協会報「なは社協だより」の発行

広報活動の課題は、社会福祉協議会の活動を市民に理解してもらい知っていただくかである。当会の活動を広く市民に認知してもらう為に、限られた予算での工夫が問われてきた。『なは社協だより』の紙面をわかりやすさや、読みやすさを重視し、令和2年度より『なは社協だより』と『那覇市ボランティア・市民活動センター情報』と一つに統一させ、毎月発行している。発行部数を月7,000部とし、民生委員・児童委員、福祉協力員、自治会と企業会員、また那覇市本庁、支所の窓口に設置し、関係機関を通して市民に活動の周知に努めた。

また、本会のホームページに広報誌を掲載し、会員以外の市民へＷｅｂ上の情報媒体を通して多世代への市社協活動への周知を図った。

広報誌名：なは社協だより
規　　格：A4版8頁
部　　数：毎月7,000部
配　　布：市民及び関係団体

（2）第47回那覇市社会福祉大会の開催

★スローガン　「なはのまち　誰もが安心して暮らせる　地域のきずな」

日　時　令和5年10月13日（金）午後1時30分開会
会　場　パレット市民劇場
主　催　那覇市・社会福祉法人那覇市社会福祉協議会
内　容　1部　式典・表彰　2部　記念講演
「那覇市における重層的・総合的な支援体制の確立を目指して」
講師：日本社会事業大学名誉教授　大橋謙策　氏

ア．第47回那覇市社会福祉大会表彰

★大会長感謝

［多額寄付者　個人］（2名）　糸嶺篤秀・照喜名重順

［多額寄付者　団体］（4団体）
大典寺・有限会社コウセイ自動車・沖縄東急会・明治安田生命保険相互会社

★大会長表彰

［特別功労者　社会福祉施設団体役職員　］（2名）　新本博司・儀間加代子

［特別功労者　個人］（6名）
安田文子・金城ミサエ・上原美加子・稲田洋子・川野美津・新里初子

［特別功労者　団体］（3団体）
松川がんじゅう会・秋桜会・県営天久いじゅの会

［特別功労者　共同募金奉仕者団体］（4 団体）
安謝児童館・那覇市障がい者地域活動協議会・那覇市身体障害者福祉協会・
那覇保護区保護司会

［社会福祉事業　特別永年勤続功労者］（3 名）
○民生委員・児童委員として 15 年以上（2 名）
赤嶺ケイ子・金城由枝
○社会福祉事業に 25 年以上従事　（1 名）
親泊靖

［社会福祉事業　永年勤続功労者］（30 名）
○民生委員・児童委員として 9 年以上　11 名
赤嶺フサ子・石川郁江・野田京子・親泊タミエ・宮里弘子・玉城敏邦・
内原啓雅・與座正夫・屋我嗣壽男・安里武・當間義昭

○社会福祉事業に 15 年以上　19 名
玉寄美津穂・金城トモ子・山城康信・多和田郁子・山城博子・内間香・
美里末子・饒平名亜紀子・譜久山有子・知念葵・宮城ゆか・玉城好子・
上地生恵・井口敏樹・神谷正樹・砂川望・知念理恵子・渡口政也・
仲宗根律子

［優良社会福祉施設・団体］（4 名）
社会福祉法人ゆうなの会・社会福祉そてつの会・社会福祉法人からし種の会・
社会福祉法人うるま福祉会

（3）インターネットホームページの運用
http://www.nahasyakyo.org
ホームページにて行事のお知らせや講座、募集呼びかけ等随時に広報活動を行った。また、SNS（Facebook と Twitter）を活用し、市民にタイムリーな広報活動を行うことで、閲覧者・ユーザーが増えた。

（4）ラジオ番組「それいけ!! みんなの なは社協」の実施
広報誌の特集と連動するよう番組を毎月配信した。
日　時：毎月第 3 水曜日 PM 7：00～8：00
協　力：FM なは

（5）広報委員会の開催
各課より広報委員を選出し、毎月 1 回会議を開催し、広報誌やラジオ等広報に関する協議を行った。

5．福祉関係団体活動の支援・助成

（1） 福祉関係団体等活動の支援助成

共同募金配分金を活用して福祉関係団体等への事業助成を行い活動の支援とした。

ア．赤い羽根共同募金配分助成（一覧の通り）

イ．歳末たすけあい募金配分金助成（一覧の通り）

（2）介護保険事業関係事業所連絡会への参画（訪問・通所）

①訪問介護ネットワークなは・通所介護ネットワークなは

那覇市内を、サービス提供実施地域としている介護事業所の、定期的な情報交換や課題解決の場として、また関係機関・団体と連携し互いのスキルアップを図り、よりよい介護のあり方を目指すことを目的として平成17年1月発足。本会は事務局として円滑な会の運営を支援している。

ア．訪問介護ネットワークなは（令和5年度会員45事業所）

①定期総会の開催（令和5年6月21日（水）

②研修会の開催実績

・第1回会員研修会（令和5年6月21日（水）14時半～16時）

研修内容：『登録ヘルパーとの信頼関係づくり』について

参 加 数：9事業所　14名

・第2回会員研修会（令和5年11月20日（月）　14時～15時半）

研修内容：「障がい者における虐待防止研修」

参加数：10事業所　22名

③幹事会の開催（合計7回開催）

イ．　通所介護ネットワークなは（令和5年度会員22事業所）

①定期総会の開催（令和5年6月15日）

②研修会の開催実績

・第1回会員研修会（令和5年6月15日（木）14時～15時半）

研修内容：『実地指導から運営指導へ～管理者が押さえておくべきこと～』

参 加 数：32事業所　47名

・第2回会員研修会（令和5年10月19日（木）13時半～15時半）

研修内容：『通所介護計画書についての意見交換及び研修会』

参 加 数：17事業所　24名

・幹事会の開催（合計12回開催）

ウ．訪問介護・通所介護ネットワークなは　合同研修　開催実績

①「福祉サービス利用者の命と暮らしを守るために

～個別避難計画策定を視野に入れた備えの取り組み」

日時：令和5年12月12日（火）13時半～16:時

②「相談対応支援研修会～精神疾患のある利用者やそのご家族への対応方法」

ゲートキーパー養成研修（共催：那覇市保健所）

日時：令和6年1月24日（水）18時半～20時半

エ．合同就職説明会「第1回　かいご・福祉就職フェア」開催

日時：令和6年2月17日（土）11時～16時

来場者数：14名　　出展法人：8法人

(1)福祉団体助成

令和5年度共同募金社会福祉活動助成団体一覧

NO	種類	団体	代表者	事業名	助成額
1	福祉団体	那覇市身体障害者福祉協会	高嶺豊	広報誌発行事業	200,000
2	福祉団体	小禄北地域福祉推進会	波平剛	グランドゴルフ大会/写生会	48,000
3	福祉団体	小禄西地域福祉推進会	高良奈美子	グラウンドゴルフ大会/地域小学校・こども園との交流会	48,000
4	福祉団体	小禄南地域福祉推進会	上原正之	地域福祉推進事業	56,000
5	福祉団体	那覇市手をつなぐ育成会	知念道之	クリスマスパーティー	150,000
				新年会及び成人祝賀会	150,000
6	福祉団体	那覇市障がい者地域活動協議会	武田淳子	第19回こころの健康フェスタイベント交流事業	70,000
7	福祉団体	那覇地区老人クラブ連合会	上原清	第61回那覇地区老人クラブ大会・第47回芸能発表会	300,000
8	福祉団体	那覇市母子寡婦福祉会	仲盛光子	新1年生と親御さんの激励会	150,000
				親子の楽しい集い(クリスマス会)	150,000
9	福祉団体	那覇市青少年健全育成市民会議	長堂和男	第31回「青少年健全育成綱引き大会」	140,000
10	福祉団体	那覇市保護区保護司会	兼次政福	第73回社会を明るくする運動	100,000
					1,562,000

(2)自治会助成

NO	種類	団体	代表者	事業名	助成額
1	自治会	那覇市自治会長会連合会	金城敏雄	グラウンドゴルフ大会	50,000
2	自治会	那覇市本庁管内自治会長会	伊地 柴基	本庁管内自治会対抗グラウンドゴルフ大会	110,000
				本庁管内自治会長会研修会	50,000
3	自治会	小禄地区自治会連合会	上原博	小禄地区自治会連合会研修会	100,000
4	自治会	真和志自治会長連絡協議会	田島繁	宿泊研修会	160,000
5	自治会	首里自治会長会連絡協議会	金城敏雄	新春のつどい	151,000
				自治会対抗グランドゴルフ大会	
6	自治会	那覇市営住宅自治会長会	上原幸吉	親睦交流会研修会	76,000
7	自治会	県営赤嶺団地自治会	豊見永理	交流カレー・かき氷パーティー	50,000
8	自治会	県営繁多川高層住宅自治会	門下長徳	地域と団地住民の懇親清掃	50,000
9	自治会	識名市営住宅自治会	仲間喜美子	グランドゴルフ/学事奨励会	50,000
10	自治会	住吉区自治会	徳元律夫	グラウンドゴルフ大会	50,000
11	自治会	楚辺一丁目自治会	並里智子	ピクニック	50,000
12	自治会	楚辺中央自治会	富山孝也	地域夏祭り	50,000
13	自治会	田原自治会	金城進明	パークゴルフ交流事業	50,000
14	自治会	当蔵町自治会	仲本久美子	イルミネーション交流会	35,000
*	自治会			村屋勉書き始め大会	15,000
15	自治会	真地団地自治会	前田節子	ふれあい モルック大会	50,000
16	自治会	銘苅市営住宅自治会	仲西弘吉	七夕の笹の葉設置/敬老会の粗品配布	50,000
17	自治会	繁多川自治会	玉城徳正	グランドゴルフ交流事業	50,000
18	自治会	寒川町自治会	知念博	沖縄そばまかない事業	50,000
19	自治会	新都心銘苅市営住宅自治会	上原幸吉	地域見守り活動	50,000
20	自治会	桃原町自治会	宮良吉雄	グラウンドゴルフ交流会	50,000
21	自治会	おもろまち自治会	樋口豊	高齢者交流事業	50,000
22	自治会	赤平町自治会	金城敏雄	老人会と虎頭見守り隊交流事業	30,000
					1,477,000

(3)民生委員助成

令和5年度共同募金社会福祉活動助成団体一覧

NO	種類	団体	代表者	事業名	助成額
1	民生委員	小禄第1民生委員児童委員協議会	上原勉	ペタンク普及促進・交流事業	50,000
2	民生委員	那覇市民生委員児童委員連合会	中村光雄	民生委員児童委員活動支援事業	708,000
	民生委員			民生委員児童委員研修事業	810,000
	民生委員			民生委員児童委員大会事業	380,000
3	民生委員	真和志第1民生委員児童委員協議会	大湾明美	民生委員不在地域の一人暮らし高齢者訪問事業	50,000
4	民生委員	那覇第1民生委員児童委員協議会	仲松常弘	安心・安全見守り防災マップ	50,000
5	民生委員	小禄第3民生委員児童委員協議会	高良奈美子	ボッチャ交流事業	50,000
6	民生委員	那覇第2民生委員児童委員協議会	中村光雄	地域文化研修	42,900
7	民生委員	那覇第3民生委員児童委員協議会	国場信子	日帰り研修	50,000
8	民生委員	真和志第六民生委員児童委員協議会	伊佐千代美	宿泊研修会	50,000
					2,240,900

(4)育成枠助成

NO	種類	団体	代表者	事業名	助成額
1	育成	かなぐすく地域福祉まつり実行委員会	小久保靜	かなぐすく地域福祉まつり	50,000
2	育成	琉球大学ボランティアサポート	川嵜康正	大学生ボランティアサポート立ち上げスタートアップ費用	45,000
3	育成	うるく地域ふれあい祭り実行委員会	鳴間 國弘	第12回うるく地域ふれあい祭り	45,000
4	育成	那覇市識名老人福祉センター利用者連絡会	乗栖香代子	第17回識名地域福祉まつり	45,000
5	育成	曙小学校区まちづくり協議会	吉田修	防災イベントリッカヤールキャラバン事業	50,000
6	育成	那覇市食生活改善推進協議会	名嘉山吉子	地産地消・琉球料理研修費	50,000
7	育成	学生派遣サービス	斎藤希	地域のニーズに答えよう 学生派遣サービス	45,000
8	福祉団体	にぬふぁぶし	上地京子	子どもの居場所にぬふぁぶし	45,000
9	福祉団体	安謝児童館母親クラブ	竹波ミハエラ	安謝児童館老人憩いの家まつり	45,000
					420,000

(5)啓発広報枠助成

NO	種類	団体	代表者	事業名	助成額
1	啓発広報	ゆいまーるの会	喜手苅直美	子育て支援	100,000
2	啓発広報	若鷲太鼓	城間里奈	育成研修及び発表会	90,000
3	啓発広報	大名第二団地自治会	仲座方久	買い物移動支援事業	100,000
4	啓発広報	NPO法人ロービジョンライフ沖縄	本永美代	設立10周年記念宿泊交流会	100,000
					390,000

＜R5年度　助成金団体ふれあい・いきいきサロン＞

地区	No.	団体	代表者	事業内容	助成額
本庁	1	壷川市営住宅自治会コスモス絆の会	友利榮吉	ゆんたく、手作り作品	24,000
本庁	2	いきいきサロンいいあんべぇ	座安英明		24,000
本庁	3	銘苅新都心囲碁クラブ	大村政興	囲碁	24,000
本庁	4	あけぼの団地	宮里	グランドゴルフ	14,000
本庁	5	ふれあいいきいきサロンゆい	田中初枝	ゆんたく・折り紙手作り	24,000
本庁	6	縫染花	西みどり	紅型、藍染、小物作り等	24,000
本庁	7	安岡自治会	中田喜康	ゆんたく	24,000
本庁	8	三々五々の会	岸本麗子	ゆんたく	24,000
本庁	9	いきいきゆんたくサロン	上原美代	ふれあい・いきいきサロン	24,000
真和志	10	ふれあい・いきいきサロンゆんたく広場	大嶺和恵	小物作り、ゆんたく	24,000
真和志	11	サロンぽちぽち	我如古るみ子	ふれあい・いきいきサロン	24,000
真和志	12	スマイル女子会	玉城増美	小物作り	24,000
真和志	13	真地団地自治会	前田節子	真地団地自治会	24,000
真和志	14	サロン　はなびより	東江磯子	ストレッチ/体操/ゆんたく会	24,000
真和志	15	ゆいまーるの会	嘉手苅直美	食料支援、ボランティア	24,000
真和志	16	松川てぃーだサロン	祖慶和明	ゆんたく	24,000
真和志	17	男の食ッキング	新田勇	ふれあい・いきいきサロン	24,000
真和志	18	ボランティアサークル・マヒナジーモ854	伊佐千代美	子育てゆんたく、ボランティア育成	24,000
真和志	19	あさとなかよし会	玉城成子	グランドゴルフ	24,000
真和志	20	フレンズおおぞら	上原　禮子	グランドゴルフ、カラオケ、健康体操ふれあい・いきいきサロン	24,000
真和志	21	真地ゆんたく会	新垣順子	ふれあい・いきいきサロン	24,000
真和志	22	砂川口腔ケア外科クリニック	砂川元	ふれあい・いきいきサロン	24,000
真和志	23	松金クラブ	牧野秀次郎	囲碁	24,000
真和志	24	ハッピーゆんたく	儀間尚子	カラオケ交流サロン	10,000
真和志	25	がじゅまる会	山内ヨシ子	ふれあい・いきいきサロン	18,000
真和志	26	ふれあい・いきいきサロンわかば	棚原和枝	ゆんたく会、体操	20,000
首里	27	ふれあい・いきいきサロン一木会	伊是名進	ふれあい・いきいきサロン一木会	24,000
首里	28	桃原町いやしの会	宮良吉雄	グランドゴルフ、囲碁、	24,000
首里	29	首里石だたみ会	岸本幸秀	グランドゴルフ	24,000
首里	30	いきいきサロンかりゆし	嶺井政勝	民舞、軽食	24,000
首里	31	大角座	外間　國夫	※男性専用集い	24,000
首里	32	汀良市営住宅ゆんたく会	仲地隆	ゆんたく、カラオケ	24,000
首里	33	首里第3民生委員児童委員協議会	安里武	子育て支援	24,000
首里	34	ラッキー木よう会	並里智子	ゆんたく、コーラス、脳トレ	24,000
首里	35	みはらし三木会	上間百合子	みはらし三木会	24,000
首里	36	ペンタス花の会	安里恵美子	ゆんたく、手芸、料理教室	24,000
小禄	37	おしゃべりサロンゆくいどくる	上原苗子	おしゃべりサロン※昼食型	24,000
小禄	38	田原きんよう会	與儀進栄	ゆんたく会	24,000
小禄	39	糸の会	金城ミサエ	ゆんたく会、小物作り	20,000
小禄	40	ひまわり水よう会	平良芳子	手工芸	24,000
小禄	41	いきいきサロンMakana	宮平貴美代	ゆんたく会・手作り手芸品、ウクレレ	24,000
小禄	42	健康体操クラブ	金城千代子	健康体操クラブ	24,000
					970,000

令和5年度　歳末たすけあい福祉活動助成金一覧

NO	種類	団体名称	役職	代表者	助成内容	助成額
1	自治会	曙一丁目自治会	会長	関根　忠弘	地域ふれあい事業（新春もちつき会）	21,000
2	自治会	安謝自治会	会長	島袋恵子	年末大掃除と花いっぱい運動	30,000
3	自治会	住吉区自治会	会長	徳元　律夫	グラウンドゴルフ大会	30,000
4	自治会	若狭めおと自治会	会長	金城　秀信	若狭めおと自治会新年会	30,000
5	自治会	若狭一丁目自治会	会長	岸本　麗子	三世代交流ムーチーづくり	27,000
6	自治会	辻自治会	会長	波座間マサ子	新年高齢者激励会	30,000
7	自治会	三重城団地自治会	会長	屋良　利昌	令和5年度歳末助け合い配分金福祉活動助成事業	30,000
8	自治会	楚辺中央自治会	会長	當山　孝也	餅つき会・新春の集い	27,000
9	自治会	壺川東市営住宅自治会	会長	石原　幸勇	世代間交流	30,000
10	自治会	壺川市営住宅自治会	会長	友利　栄吉	新春もちつき大会	30,000
11	自治会	樋川市営住宅自治会	会長	柳子　憲二	保存食配布事業	50,000
12	自治会	銘苅市営住宅自治会	会長	仲西　弘吉	新春もちつき会	30,000
13	自治会	銘苅新都心自治会	会長	前原　信達	食料支援等見守りゆんたく会	50,000
14	自治会	新都心銘苅市営住宅自治会	会長	上原　幸吉	もちつき交流会	30,000
15	自治会	県営天久高層住宅自治会	会長	伊芸　久子	新春もちつき大会	30,000
16	自治会	県営繁多川高層住宅自治会	会長	門下長徳	もちつき大会・新年会・食料支援	50,000
17	自治会	仲井真ハイツ自治会	会長	金城　孝	ムーチー作り	30,000
18	自治会	真嘉比自治会	会長	比嘉　和夫	高齢者声掛け活動・高齢者へ食料支援事業	50,000
19	自治会	識名団地自治会	会長	田端　恒夫	新春もちつき交流会	18,000
20	自治会	真地自治会	会長	瑞慶覧　長信	新春もちつき大会	27,000
21	自治会	繁多川自治会	会長	玉城　徳正	新春餅つき大会	30,000
22	自治会	真地団地自治会	会長	前田　節子	世代間交流	27,000
23	自治会	寒川町自治会	会長	知念博	高齢者世帯へ食料配達支援	50,000
24	自治会	久場川市営住宅自治会	会長	長嶺尚子	高齢者へのマスクプレゼント事業	12,600

令和5年度　歳末たすけあい福祉活動助成金一覧

NO	種類	団体名称	役職	代表者	助成内容	助成額
25	自治会	首里赤田町自治会	会長	与那嶺　民恵	三世代交流のクリスマス会	20,000
26	自治会	桃原町自治会	会長	宮良　吉雄	新春もちつき大会	30,000
27	自治会	当蔵町自治会	会長	仲本久美子	新春むーちーづくり	30,000
28	自治会	首里大中町自治会	会長	與儀　毅	新春もちつき大会	30,000
29	自治会	首里崎山ハイツ自治会	会長	伊波　和代	地域交流もちつき大会	30,000
30	自治会	首里鳥堀町自治会	会長	又吉　宗光	世代間交流（もちつき会）	30,000
31	自治会	宇栄原団地自治会	会長	前花　友克	世代間交流	30,000
32	自治会	県営赤嶺団地自治会	会長	豊見永理	交流事業及び高齢者への食料支援事業	50,000
33	自治会	田原自治会	会長	金城達明	新年餅つき及びはたちの祝い	30,000
34	サロン	銘苅新都心囲碁クラブ	代表	大村　政興	新春囲碁大会	14,000
35	サロン	いやしの会	代表	宮良　吉雄	いきいきサロン交流会	21,000
36	サロン	ひまわり水よう会	代表	平良　芳子	老人等見守り活動	21,000
37	サロン	ゆいまーるの会	代表	喜手刈　直美	生活困窮世帯への食料支援	30,000
38	サロン	ペンタス花の会	代表	安里　恵美子	クリスマス交流会	21,000
39	サロン	ふれあいいきいきサロンわかば	代表	棚原　和枝	新春ふれあい昼食会	21,000
40	サロン	サロンぽちぽち	代表	我如古　るみ子	新年交流会	21,000
41	サロン	真地ゆんたく広場	代表	新垣　順子	親子クリスマス会	21,000
42	サロン	ふれあいいきいきサロンゆんたく広場	代表	大嶺　和恵	クリスマス食事会 （令和5年歳末たすけあい配分金）	18,000
43	サロン	真地団地自治会「百均食堂」	会長	前田　節子	地域住民へ食糧提供・お弁当無料配布	27,000
44	サロン	はなびより	会長	東江　磯子	クリスマス会・世代間交流	7,000
45	サロン	フレンズおおぞら	会長	上原　ネ豊子	クリスマス会・世代間交流	21,000
46	サロン	サロン糸	会長	金城　ミサエ	サロン仲間づくり交流会	15,000
47	サロン	マヒナジーモ時代屋	代表	伊佐　千代美	カラオケ大会	21,000
48	サロン	ふれあいサロンがじゅまる会	代表	山内ヨシ子	クリスマス会・世代間交流	7,000

令和5年度　歳末たすけあい福祉活動助成金一覧

NO	種類	団体名称	役職	代表者	助成内容	助成額
49	障がい施設	ふくぎ会	代表	大城　和宏	クリスマス交流会	50,000
50	障がい施設	ナカヤ	代表	屋冨祖忠治	新年交流会	50,000
51	障がい施設	さぽーと・なは	代表	知念　圭子	クリスマス交流会	30,600
52	障がい施設	障害者支援事業所ゆいまーる	代表	下地利恵子	交流事業クリスマス会	50,000
53	障がい施設	株式会社ハートランドおきなわこくば	代表	上地　清升	屋外交流事業	27,000
54	障がい施設	株式会社ハートランドおきなわ首里	代表	上地　清升	屋外交流事業	30,000
55	子ども居場所	マヒナジーモ学舎	代表	伊佐　千代美	みんなの公園お掃除隊	30,000
56	子ども居場所	沖縄ヨガ協会	代表	坂上　恭子	生活困窮世帯への食料支援	14,000
57	児童館	安謝児童館母親クラブ	代表	竹波ミハエラ	年末大掃除	15,000
58	児童館	壺屋児童館母親クラブ	代表	親川美奈子	年末恒例大掃除作戦	21,000
59	その他	那覇市道路ボランティア神原きっず	代表	由利　玲子	神原ホルト通りクリスマスクリーン活動＆楽しみ会	21,000
60	団体	那覇地区老人クラブ連合会	会長	上原　清	女性委員歳末見守り活動	45,000
61	団体	那覇市母子寡婦福祉会	会長	仲盛　光子	年末お掃除とお花いっぱい活動	30,000
62	団体	山下町老人会	代表	金城　京子	会員・自治会と地域住民児童との交流会	21,000
63	その他	地域サークルさわやか会	代表	宮城　千賀子	クリスマスがんじゅう体操（児童と高齢者の交流会）	21,000
64	その他	一般社団法人首里空手古武道保存会	代表	上間　康弘	児童健全育成清掃活動	27,000
65	老人センター	識名老人福祉センター利用者連絡会	会長	栗栖香代子	三世代交流会	27,000
66	老人センター	かりゆしうるく利用者連絡会	代表	鳩間　國弘	年末大そうじとお花いっぱい活動	27,000
67	老人センター	金城老人憩の家利用者連絡会	代表	小久保　静	三世代交流「新春もちつき会」	27,000
					合計…①	1,899,200

令和5年度　地域見守り・交流事業参加者について

	日時	場所	戸別訪問	交流行事	参加者数								備考
					参加者内訳						関係者		
					総合計	開催別	種別						
							独居	高齢世帯	障害	その他	その他	民生委員	
那覇第1	12月15日	独居・高齢・障害・その世帯	○		120	96	40	41	6	9	8	16	
那覇第2	12月16日	独居宅	○		212	182	182					30	
那覇第3	11月9日 1月25日	独居・高齢・障害・その世帯	○		153	125	83	20	2	20		28	
那覇第4	11月10日～ 12月14日	独居・高齢・障害・その世帯	○		148	135	100	23	9	3		13	
那覇第5	12月17日	75歳以上の高齢者宅	○		109	96	53	42	0	1		13	
那覇第6	12月1日	独居・高齢・障害・その世帯	○		137	120	102	4	7	7		17	
真和志第1	12月中	独居宅	○		196	196	196						
真和志第2	11月14日	独居・高齢・障害・その世帯	○		149	130	117	7	3	3	2	17	
真和志第3	11月5日	独居・高齢・障害・その世帯	○		151	23	1	14	6	2		7	
	11月28日		○			41	13	9		19			
	12月1日～ 2月3日		○			80	49	27	3	1			
真和志第4	1月14日	独居・高齢・障害・その世帯	○		77	63	53	4	2	4		14	
真和志第5	1月12日	独居・高齢・障害・その世帯	○		66	59	23	18	7	11		7	
真和志第6	1月16日	独居・高齢・障害・その世帯	○		150	131	108	12	5	6		19	
首里第1	11月14日	独居・高齢者宅	○		165	150	124	26				15	
首里第2	11月30日 1月25日	独居・高齢・障害・その世帯	○		160	150	57	61	22	10		10	
首里第3	2月13日	独居・高齢者宅	○		67	60	59	1				7	
小禄第1	1月中	独居・高齢・障害・その世帯	○		175	157	145	8	2	2	8	10	
小禄第2	1月26日	田原自治会館		○	107	87	57	16	6	8		20	
		山下古民家		○									
		個別訪問	○										
小禄第3	1月9日	独居・高齢者・その他世帯	○		157	150	129	12		9		7	

6．ふれあいのまちづくり事業の推進（令和５年４月～令和６年３月）

（１）ふれあい福祉相談事業の運営

新型コロナウイルス感染症の拡大により相談室の休止等は市民サービスの低下が懸念された。令和５年度も前年度に引き続き感染予防を徹底し、総合相談体制の継続を図り、基本姿勢を継承しながら、制度の狭間にある緊急課題をキャッチし、ＣＳＷ（コミニティソーシャルワーカー）や関係機関と連携しながら、速やかに対応した。生活福祉資金の貸付相談時に、対象とならない方々への緊急支援として法外援護の物品だけでなく、フードドライブ活動を実施、市民から寄贈の食品等も頂いた。また、専任相談員は引きこもりや困窮世帯への支援やケース会議等開催、関係機関と今後の支援について意見交換、情報交換を行った。

●一般相談員の配置　６名

一般相談員６名を配置し電話相談・来所相談を対応した。心の悩みや生活課題へのアドバイス、関係　機関の情報提供を行い、市民に安心感を与える対応をした。

●専門相談員（弁護士・司法書士）配置

沖縄県弁護士会の推薦による３名、沖縄県司法書士会の推薦による６名を委嘱、番制で配置し、登記遺産相続、多重債務、自己破産、損害賠償、書類作成、消費者金融問題等の相談に対応した。

●専任相談員の配置　１名

一般相談員と共に、行政関係機関、地域包括支援センター、パーソナルサポートセンター、民生委員児童委員、CSW（コミニティソーシャルワーカー）、生活福祉資金担当者へつなぎ、早期解決に努めた。また、緊急支援のため、食糧支援のための訪問。CSW と一緒にケースの検討を行い、情報提供を図り、問題解決に向けて積極的に取り組んだ。

ア．相談件数実績報告

別表にて詳細記載あり：「令和５年度ふれあい福祉相談室実績報告」

イ．相談員連絡会及び事例検討会

相談員連絡会の開催。

①関係機関との連携や相談員の資質向上及び情報交換を目的として連絡会等を開催した。

回	期　日	内　容	場　所	参加者
1回	令和５年 ５月 18 日(木) 10：00～12：00	1. 令和５年度 地域福祉課の職員体制及び事業計画 2. コロナ食糧支援終了 3. 生活福祉資金担当との交換会	総合福祉ｾﾝﾀｰ 大会議室Ａ	職　員 15 人 相談員４人
2回	令和５年 ７月 20 日（木） 10：00～12：00	1. ﾌｰﾄﾞドライブの取組み 2. コロナ特例貸付償還について 3. 金銭管理・権利擁護との交換会 4. 意見交換	総合福祉ｾﾝﾀｰ 大会議室Ａ	職　員９人 相談員５人
3回	令和５年 ９月 21 日（木） 10：00～12：00	1. 地区 CSW との交換会 2. 情報共有と連携 3. 特例貸付状況 4. 意見交換	総合福祉ｾﾝﾀｰ 大会議室Ａ	職　員９人 相談員４人
4回	令和５年 11 月 16 日（木） 10：00～12：00	1. 特例貸付報告 2. 計画相談員との交換会 3. 自己紹介・情報共有と連携	総合福祉ｾﾝﾀｰ 大会議室Ａ	職　員 10 人 相談員３人

5回	令和6年 1月18日（木） 10：00～12：00	1. 特例貸付報告 2. ファミサポとの交換会 3. 自己紹介・情報共有と連携	総合福祉センター 大会議室A	職　員10人 相談員3人
6回	令和6年 3月28日（木） 10：00～12：00	1. 令和5年まとめ 2. フードドライブ報告 3. 特例貸付報告	総合福祉センター 大会議室A	職　員10人 相談員6人

②相談員の資質向上を目的として勉強会を開催し、研修会等に参加した。

回	期　日	内　容	場　所	参加者
1回	令和5年 4月20日（木） 10：00～12：00	①　相談員勉強会 研修会「統合失調症、精神疾患（うつ病）などの対応について」 日本精神科看護協会　沖縄支部 こころの健康出前講座	総合福祉センター 大会議室A	・相談員6名 ・職員19名 合計：25名
2回	令和5年 6月15日（木） 10：00～12：00	②　相談員勉強会 愛さん会 施設見学＆交換会 ①上間⇒②松川⇒③交換会	愛さん会	・相談員6名 ・職員5名 合計11名
3回	令和5年 8月17日（木） 10：00～12：00	③　相談員勉強会 那覇市 保護課との交換会	那覇市 5 階 501 会議室	・相談員3名 ・職員6名 合計10名
4回	令和5年 10月19日（木） 10：00～12：00	④　相談員勉強会 日本赤十字社 沖縄県支部 救護物資施設見学	日本赤十字社 沖縄県支部	・相談員3名 ・職員10名 合計13名
5回	令和5年 12月21日（木） 10：00～12：00	⑤相談員勉強会 パーソナルサポートセンターとの交換会	カフーナ6階 会議室	・相談員4名 ・職員3名 合計7名
6回	令和6年 2月15日（木） 10：00～12：00	⑥相談員勉強会 那覇市保健所 精神保健課との交換会	那覇市保健所 内	・相談員3名 ・職員20名 合計23名参加

表. 令和5年度ふれあい福祉相談室実績報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
①相談室開設日(日)	20	20	21	19	20	20	21	20	20	19	19	20	239	240
②相談件数(件)	59	49	58	86	46	74	85	77	46	70	62	70	782	1051
ア来所相談(件)	15	13	19	32	19	27	30	39	19	36	35	26	310	364
イ電話相談(件)	44	36	39	54	27	47	55	38	27	34	27	44	472	687
※司法書士相談(件)	1	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	5	10
※弁護士相談(件)	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	1	6	9
③連絡会開催(回)	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6	4
④研修会参加(回)	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6	3
⑤ケース会議(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥訪問（回）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

① 令和５年度ふれあい福祉相談室実績

1）相談者内訳

	相談者内容	件数
1	本人、家族	660
2	民生委員・児童委員	11
3	その他	75
	合計	746

2）相談経路

	内容経路	件数
1	パンフ、社協広報	181
2	市広報	10
3	新聞、その他マスコミ	5
4	民生委員児童委員	19
5	福祉機関、団体	50
6	市行政担当	50
7	友人、知人、その他	272
	合計	587

3）相談内容

	内容	内訳	件数	割合（%）
1	お金に関すること	生活費	95	12%
		目的費（教育・医療等）	12	1%
		借金	18	2%
		小計	125	15%
2	家庭の問題に関すること	夫婦間の問題	32	4%
		親子、姉妹兄弟の問題	44	5%
		隣の問題	15	2%
		小計	91	11%
3	健康に関すること	本人の健康	65	8%
		家族の健康	21	3%
		親族の健康	12	2%
		小計	96	12%
4	法人に関すること	行政への苦情	11	1%
		その他法人への苦情	4	1%
		小計	15	2%
5	食料支援に関すること	社協食料支援	177	22%
		フードバンク	13	4%
		小計	190	26%
6	その他	子育てに関すること	3	0%
		福祉情報提供	22	3%
		その他	267	33%
		小計	292	36%
		合計	809	100%

② 司法書士相談・弁護士相談件数

司法書士相談件数（5件）

件数	月	日	性別	相談方法	相談内容
1	4	14	女	来所	教育について
2	7	14	女	来所	金銭管理について
3	7	14	男	来所	相続について
4	7	14	男	来所	借金について
5	11	10	男	来所	その他

弁護士相談件数　（6件）

件数	月	日	性別	相談方法	相談内容
1	7	28	男	来所	借金・夫婦間・兄弟の問題
2	7	29	女	来所	母親のマンション名義変更について
3	11	24	女	来所	その他
4	11	24	男	来所	その他
5	1	26	女	来所	夫婦間の問題
6	3	22	女	来所	夫婦間・親子・兄弟の問題

③ 令和5年度ふれあい相談室・アンケート調査実施状況報告

4月	（ 0件）	10月	（ 1件）
5月	（ 0件）	11月	（ 3 件）
6月	（ 2件）	12月	（ 1 件）
7月	（ 7 件）	01月	（ 3 件）
8月	（ 2件）	02月	（ 1 件）
9月	（ 4件）	03月	（ 0 件）
			合計：（ 24件）

(2) 法外援護活動の実施（共募配分金・寄付金）

①公的制度では対応できない緊急に援護の必要な世帯に対し、資金の援助や食料品等の物品を配布し、一時的な救済活動を実施した。

ア．緊急支援（提供） 件数

支援内容	件数	品数及び金額
法外援護貸付	22件	659,000円

② 緊急支援（食料支援活動）として、石嶺公民館や沖縄ファミリマート等と協力し、館内や店舗へのフードドライブBOXの設置し、食料を寄贈に参加しやすい仕組み作りを行った。なお、企業・個人が家庭で眠っている食糧等を寄贈いただき困窮世帯へ配布する活動（那覇社協フードドライブ）を引き続き実施。活動に賛同頂ける民間企業や民生委員・児童委員並びに個人からの食糧等の寄贈が頂けた。
下記表記載の通り、那覇社協フードドライブ活動による企業や個人等からの寄贈数。

令和5年度《寄贈》

	受付件数	米	缶詰	麺類	レトルト	その他	合計
4月	4	11	2	11	11	40	75
5月	9	51	152	128	119	239	689
6月	6	11	11	11	47	37	117
7月	13	11	43	16	37	241	348
8月	10	19	40	19	51	223	352
9月	31	22	291	81	589	1581	2564
10月	21	213	144	117	111	936	1521
11月	19	25	181	62	197	469	934
12月	32	37	293	295	504	713	1842
1月	43	40	299	235	250	1363	2187
2月	37	75	292	119	311	1611	2408
3月	37	44	299	395	266	1229	2233
合計	262	559	2047	1489	2493	8682	15,270

《内　容》

○企業や個人から、食料の寄贈　○生活困窮世帯へ食料を提供

《効　果》

○生活保護を受けるまでの繋ぎとして　○誰かの優しさで、助かる人がいる

○食料支援を通した生活課題の抽出及び繋ぎ支援

《写真》個人や企業が自宅にある食品や購入した生活用品を集めて社協に寄付する様子

イ．那覇社協フードドライブで寄贈された食糧等を困窮世帯へ支援を行った。

① 那覇社協フードドライブ

令和5年度《食糧支援》

	相談件数	米	缶詰	麺類	レトルト	その他	合計
4月	21	33	159	98	193	103	586
5月	24	20	105	100	184	63	472
6月	23	25	74	80	128	45	352
7月	26	30	127	111	195	82	545
8月	30	22	115	90	334	135	696
9月	31	38	168	152	211	108	677
10月	28	28	145	98	183	259	713
11月	33	38	208	139	285	225	895
12月	13	38	112	100	150	142	542
1月	25	21	120	106	160	107	514
2月	21	17	111	107	174	105	514
3月	12	9	54	57	109	67	296
合計	287	319	1498	1238	2306	1441	6,802

7．生活困窮者に対する相談支援（令和５年４月～令和６年３月）

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託）

低所得者、高齢者、障害者世帯に対して資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に貸付業務を通して生活に関する諸相談を実施した。

①貸付及び生活に関する総合相談（県報告件数）

ふれあい福祉相談室及び那覇市保護課、パーソナルサポートセンター等その他関係機関等との連携を取りながら、貸付相談、償還相談、その他の相談に対応した。

②生活福祉資金事業の対応

ア．沖縄県社会福祉協議会へ作成した相談受付票の内容を吟味して、申請対象であるかどうか随時確認しながら、可能なケースに対して手続きの支援を行った。また、決定後には契約事務を行い、完了へ至るまでの相談支援を行った。

Ⅰ．令和５年度相談件数及び貸付決定件数

種別	相談件数(前年)	貸付決定件数(前年)	決定額（円）（前年）
① 総合支援資金	643（2,663）	5件（9）	1,542,000 （6,033,082）
② 緊急小口資金	1,529 （2,687）	48件（43）	4,248,000 （2,749,000）
③ 福祉費・福祉資金	2,159 （1,809）	72件（54）	12,971,000（8,408,000）
④ 生活復興資金	0 （1）	0件（0）	0（0）
⑤ 教育支援資金	776（521）	43件（24）	14,829,200 （13,426,000）
⑥ 不動産担保型	40（53）	1件（0）	0（0）
⑦ 臨時特例つなぎ資金	12（17）	0件（0）	8,605,000 （0）
⑧ 償還に関する事	5,888（3,494）		
⑨ その他相談	1,408（2,392）		
合 計	12,455（13,637）	169件（130）	42,195,200（30,616,082）

イ、コロナ特例貸付償還支援の対応

コロナ特例貸付終了後(令和４年９月末)、令和５年１月より特例貸付金の償還（返済）が開始したが、償還が困難な状況にある借受人からの相談増加に伴い、償還免除の説明及び償還猶予相談を開始した。

Ⅱ．令和５年度相談件数及び貸付件数 （令和６年３月末）

種別	猶予決定件数	償還免除決定件数
緊急小口資金(特例)	754	7,622
総合支援資金(特例初回)	648	6,550
総合支援資金(特例延長)	152	2,397
死亡	－	19
合計	1,554	16,588

① 生活福祉資金滞納者対策・実態調査

ア．訪問償還指導（沖縄県社会福祉協議会合同)は、コロナ禍により未実施。

② 民生委員援助活動に対する支援

ア．貸付時の調査書作成に関する依頼及び支援

イ．償還状況（償還履歴、残額等）を提供し、民生委員の援助活動へ繋ぐ。

ウ．「借受世帯援助記録票」など資料の引き継ぎ支援

エ．定例会(研修)参加（事業説明等）・４月から６月迄に五民児協、11月に全体研修にて説明を行えた。

③ 説明会研修会への参加、事業説明など、

ア． 県社協主催の研修会等への参加

期日	期　日	研修・説明会・相談会等	主　催	場　所	参加者
1	令和５年4/27(木) 10：30-16：00	令和５年度 生活福祉資金貸付事業 新任研修会	沖縄県社会福祉協議会	オンライン研修(zoom)	1名
2	令和５年6/16(金) 13：00-16：00	令和５年度 THANKS(サンクス)運動推進助成事業	沖縄県社会福祉協議会	八重瀬町社会福祉会館集合室	2名
3	令和５年9/15(金) 13：00～17：00	令和 5 年度生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	沖縄県社会福祉協議会	沖縄県社会福祉協議会ゆいホール	8名
4	令和５年10/26(木) 14：00-15：30	猶予期間中における見守り支援実施ｱﾝｹｰﾄ調査結果」に関するｵﾝﾗｲﾝ説明会	沖縄県社会福祉協議会	オンライン研修(zoom)	10名
5	令和５年11/20(月) 14：00-16：25	サンクス運動 県民福祉講演会	沖縄県社会福祉協議会	県総合福祉センター1Fゆいホール	4名
6	令和６年3/5(火) 10:30～16：00	令和 5 年度生活福祉資金償還猶予及び償還指導に関する研修会	沖縄県社会福祉協議会	県総合福祉センター1Fゆいホール	4名

7	令和６年 3/18(月) 10:20～16：10	令和 5 年度生活困窮者自立支援研究協議会における実践報告	沖縄県社会福祉協議会	ｱｲﾑﾕﾆﾊﾞｰｽてだこ市民交流室	1名

イ．他機関への事業説明会及び出張相談会への参加

	期　日	研修・説明会・相談会	主　催	場　所	参加者
1	令和５年 4/11(火) 14:00～14：30	首里第一民生委員児童委員協議会定例会（事業説明）	首里第一民生委員児童委員協議会	首里平良町自治会館	1名
2	令和５年 5/10(金) 13：30-14：15	真和志第三民生委員児童委員協議会定例会（事業説明）	真和志第三民生委員児童委員協議会	繁多川公民館	2名
3	令和５年 6/8(木) 14：00～14：40	那覇第三民生委員児童委員協議会定例会(事業説明)	前島町民会館	前島町民会館	2名
4	令和５年 6/9(金) 14：00～14：40	首里第二民生委員児童委員協議会定例会(事業説明)	首里支所 会議室	首里支所 会議室	2名
5	令和５年 6/13(木) 14：20～15：30	真和志第一民生委員児童委員協議会定例会（事業説明）	大道公民館	大道公民館	2名
6	令和５年 6/28（水） 10：00～16：00	那覇市就職・生活なんでも相談会	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	ともかぜ振興会館	2名
7	令和５年 10/11（水） 10：00～16：00	那覇市生活福祉ミニ相談会	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	那覇市第一牧志公設市場	2名
8	令和５年 12/20（金） 10：00～16：00	那覇市就職・生活なんでも相談会	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	那覇市首里公民館	2名
9	令和６年 2/28（水） 10：00～16：00	那覇市就職・生活なんでも相談会	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	ＪＡおきなわ真和志支店	2名
10	令和５年 10/27（金） 10：00～16：00	一日合同行政相談所職員派遣	沖縄行政評価事務所	サンエーメインプレイス	2名
11	令和５年 11/3（土） 9：00～16：00	トータルビューティー＆生活支援等相談会	女性を元気にする会	県総合福祉センター1F ゆいホール	2名

12	令和５年 11/1(水) 14：00-16：30	民生委員児童委員全体研修会　(事業説明)	那覇市民生委員児童委員連合会	パレット 久茂地	1名
13	令和５年 10/25(水) 16：00-17：00	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ職員研修（事業説明）	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	ｸﾞｯｼﾞｮﾌﾞｾﾝﾀｰ会議室	2名

ウ．　その他研修及び会議への参加

	期日	研修・説明会・相談会	主　催	場　所	参加者
1	令和５年 4/25（火） 15：00～17：00	生活保護課･パーソナルサポートセンター･ハローワーク･生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	2名
2	令和５年 5/30（火） 15:00～17：00	生活保護課･パーソナルサポートセンター･ハローワーク･生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	2名
3	令和５年 6/16（金） 13:00～17：00	第２回業務担当者連絡会	南部地区社会福祉協議会連絡協議会	八重瀬町社会福祉会館	2名
4	令和５年 6/27（火） 15:00～17:00	生活保護課･パーソナルサポートセンター･ハローワーク･生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	2名
5	令和５年 7/25（火） 15:00～17：00	生活保護課･パーソナルサポートセンター･ハローワーク･生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	2名
6	令和５年 8/15（火） 15:00～17：00	生活保護課･パーソナルサポートセンター･ハローワーク･生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	2名
7	令和５年 8/17（木） 15：00～16：30	厚生労働省米田室長意見交換会	那覇市就職･生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	那覇市役所６階会議室	1名

8	令和５年 9/19（火） 15:00～17：00	生活保護課・パーソナルサポートセンター・ハローワーク・生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	２名
9	令和５年 11/17（金） 13：00～17：00	第４回業務担当者連絡会・研修会（生活福祉資金貸付事業）	南部地区社会福祉協議会連絡協議会	与那原町社会福祉センター	２名
10	令和５年 11/21（火） 15:00～17：00	生活保護課・パーソナルサポートセンター・ハローワーク・生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	２名
11	令和５年 12/19（火） 15:00～17：00	生活保護課・パーソナルサポートセンター・ハローワーク・生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	２名
12	令和６年 1/19（金） 13:00～17：00	令和５年度南部地区社会福祉協議会連絡協議会（連絡会・研修）	南部地区社会福祉協議会連絡協議会	与那原町社会福祉センター	２名
13	令和６年 1/23（火） 15:00～17：00	生活保護課・パーソナルサポートセンター・ハローワーク・生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	２名
14	令和６年 2/20（火） 15:00～17：00	生活保護課・パーソナルサポートセンター・ハローワーク・生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	２名
15	令和６年 3/12（火） 14:00～16：00	労働者福祉基金協会研修（ゆめみらい基金説明含む）	沖縄県労働者福祉基金協会	八重瀬町社会福祉協議会	２名
16	令和６年 3/19（火） 15:00～17：00	生活保護課・パーソナルサポートセンター・ハローワーク・生活福祉資金貸付担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援ﾊﾟｰｿﾅﾙ ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ	グッジョブセンター内研修室	２名

17	令和６年 3/21（金） 13:00～16：00	南部地区社連第６回業務連絡会	南部地区社会福祉協議会連絡協議会	糸満市社会福祉協議会	２名
18	令和６年 3/21（金） 13:00～16：00	ヤングケアラー研修	那覇市	那覇市役所会議室	１名

エ、 内部研修への参加

	期日	研修・説明会・相談会	主　催	場　所	参加者
1	令和５年 4/5(水) 15：30～16:30	弁護士勉強会リスク管理・個人情報・クレーム対応について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	２名
2	令和５年 6/7(水) 15：00～16：00	弁護士勉強会個人情報保護について①	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	３名
3	令和５年 7/12(水) 15：00～16：00	弁護士勉強会個人情報保護について②	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	３名
4	令和５年 9/6(水) 15：00～16：00	弁護士勉強会 ﾊﾗｽﾒﾝﾄ防止対策～なぜﾊﾗｽﾒﾝﾄが起きるのか～	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	３名
5	令和５年 10/4(水) 15：30～16：30	弁護士勉強会相続登記義務化について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	３名
6	令和５年 11/1(水) 15：00～16：00	弁護士勉強会消費者金融ﾄﾗﾌﾞﾙについて	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	３名
7	令和６年 1/10(水) 15：00～16：00	弁護士勉強会　高齢障がい者の消費者被害について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	４名
8	令和６年 2/7(水) 15：00～(水)	弁護士勉強会　高齢者虐待防止について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	４名
9	令和６年 2/15（木） 10：00～12：00	相談室研修　精神疾患のある方への支援について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 ２階会議室	４名

８．権利擁護支援の推進（令和５年４月～令和６年３月）

(1) 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託）

認知症高齢者の方や知的障がい、精神障がいを持つ方などで、判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用の援助や日常生活の金銭管理及び書類等の預りサービス等を行い在宅等での支援をした

① 福祉サービス利用支援・日常的金銭管理

②書類等預かりの実施

ア、預かり者数（通帳・印鑑）　※令和５年度新規契約者数等

対象者	認知症	知的	精神	その他	合計	生保	一般	解約	実利用者数
4月	16	40	28	6	90	33	57	0	90
5月	17	40	28	6	91	33	58	0	91
6月	17	41	28	5	91	33	58	1	91
7月	17	41	28	5	91	33	58	0	91
8月	17	41	29	5	92	34	58	0	92
9月	17	43	29	5	94	34	60	1	94
10月	16	44	28	5	93	34	59	2	93
11月	16	44	27	5	92	33	59	1	92
12月	14	44	28	5	91	33	58	2	91
1月	14	46	29	4	93	33	60	1	93
2月	14	46	28	4	92	31	61	1	92
3月	14	46	28	5	93	32	61	1	93
合計	189	516	338	60	1103	396	707	10	1103

③各関係機関関連会議・研修会への参加

【生保金銭管理事業進捗会議】

	日　時	場　所	会議・研修	内　容	人数
1	令和５年４月26日 14：00～16：00	那覇市役所 ４階会議室	第１回生活保護世帯金銭管理支援事業・進捗状況ケースに関する会議	○日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理事業との兼ね合いの為、オブザーバーとして参加 ○令和４年度報告会	７名
2	令和５年８月21日 14：00～16：00	那覇市役所 ４階会議室	第２回生活保護世帯金銭管理支援事業・進捗状況ケースに関する会議	○日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理事業との兼ね合いの為、オブザーバーとして参加	７名
3	令和６年１月23日 10：30～15：30	那覇市役所 １階会議室	第３回生活保護世帯金銭管理支援事業・進捗状況ケースに関する会議	○日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理事業との兼ね合いの為、オブザーバーとして参加	７名

【関係機関会議・研修会】

	日　時	場　所	会議・研修	内　　容	人数
1	令和５年４月５日 15：30～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について	４名
2	令和５年６月７日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	個人情報保護について①	１名
3	令和５年７月12日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	個人情報保護について②	２名
4	令和５年９月６日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	ハラスメント防止対策～なぜハラスメントが起きるのか～	２名
5	令和５年10月４日 15：30～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	相続登記義務化について	１名
6	令和５年11月１日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	消費者金融トラブルについて	２名
7	令和６年１月10日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	高齢障がい者の消費者被害について	２名
8	令和６年２月７日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	高齢者虐待防止について	２名
9	令和６年２月15日 10：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	相談知室研修	精神疾患のある方への支援について	２名

④ 日常生活自立支援事業・事務局長・専門員等連絡会等への参加

	日　時	場所	連絡会・会議	内　容	人数
1	令和５年７月３日（月）	沖縄県社協東棟一階ゆいほーる	令和５年度日常生活自立支援事業研究協議会	○日常生活自立支援事業を取り巻く課題について ○糸満市社協の実践報告から学ぶ。 ○グループ討議	３名

2	令和5年10月30日（月）	沖縄県社協 東棟一階ゆいほーる	令和5年度日常生活自立支援事業専門員研修会	○日常生活自立支援事業の特徴と支援者に求められる姿勢。 ○北中城村社協の実践について ○日常生活を支えるための連携（Wellbe Design 理事長） ○グループ討議	1名
3	令和5年11月28日（火）	那覇社協 会議室B	令和5年度日常生活自立支援事業専門員実践力研修会	○事例から考える日常生活自立支援事業の支援について	3名
4	令和5年11月24（金）	那覇市社協 会議室B	日常生活自立支援事業・生保金銭管理事業に関する説明会と情報交換会	○那覇社協の日常生活自立支援事業の状況について ○グループワーク（日常生活自立支援事業・生保金銭管理事業支援員情報交換会）	3名
5	令和5年12月11日（月）	沖縄県社協 東棟一階ゆいほーる	令和5年度権利擁護研修会（ケースカンファレンス荷役立つファシリテーションスキル）	○権利擁護について（基調説明） ○ファシリテーション講座	1名
6	令和6年2月22日（木）	沖縄県社協 東棟一階ゆいほーる	地域における権利擁護推会議 法人後見実施社協情報交換会	○法人後見事業実施社協の情報交換会 ○横浜市社協の権利擁護の取り組み	1名

⑤新規調整会議

	日　時	場　所	会　議・　研修	内　　容	人数
1	令和5年4月21日(金)　15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	11名
2	令和5年5月26日(金)15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	10名
3	令和5年6月22日(木)15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	11名

4	令和5年7月25日(火)15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	11名
5	令和5年8月24日（木）15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
6	令和5年9月25日（月）15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
7	令和5年10月26日(木)15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	10名
8	令和5年11月21日(火)15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	10名
9	令和5年12月20日(水)15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	8名
10	令和6年1月24日（水）14：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	10名
11	令和6年2月27日（火）15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	10名
12	令和6年3月22日（金）15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	10名

(2)那覇市生活保護世帯金銭管理支援事業報告書
（令和５年４月～令和６年３月）

（目的）

生活保護世帯で高齢及び心身に障がい等があることなどによって、日常生活に困難をきたしている者で、福祉サービス利用援助事業、成年後見制度及びその他の社会資源等の活用を必要とされているが、親族等の関わり又は他の支援が望めないものに対して、金銭管理、書類預かり等の支援を実施する。

１．実施主体

□那覇市福祉部 保護管理課

□社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会（受託者）

２．実施期間

□期　　間：令和５年４月１日　～　令和６年３月31日

３．　支援内容

(1)支援対象者が日常生活を営むに必要な範囲における、預貯金の払い戻し、預け入れ、預金の解約、支払い等の金銭管理支援（日常的金銭管理）

(2)支援対象者が日常生活を営むに必要な範囲における、書類等の預かり及び保管

(3)定期的な訪問による生活変化の察知

(4)住家屋の家賃、及びその他の公共料金の支払い

(5)福祉サービスの利用料の支払い

4. 支援対象者

本支援の対象者は、原則として那覇市に居住する者（グループホームを含む。）で、次の以下に該当するものとする。

(1)　本事業の契約の内容について判断し得る能力を有していること。

(2)　認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等であって、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な者。

(3) 那覇市から生活保護費を受給している者

5. 令和５年度　職員配置

○責任者：地域福祉課長　　○事業企画及び運営に係る職員：１名

○専門員：３名(常勤職員)　○事務補佐：１名（パート）

○生活支援員：８名（日常生活自立支援事業との兼務４名）

6. 令和５年度支援実績

期間：令和５年４月～令和６年３月

(1) 契約者及び解約者数・待機者数推移

令和5年　契約・解約者数・待機者

月別	契約実数	新規	解約	待機者	新規待機者
4月	96	1	0	35	7
5月	96	0	0	32	4
6月	94	1	3	29	4
7月	94	2	2	31	9
8月	93	0	1	29	3
9月	93	1	1	26	3
10月	91	1	3	26	1
11月	87	1	5	23	6
12月	84	0	3	25	3
1月	83	1	2	20	1
2月	85	2	0	19	3
3月	86	2	1	25	7
合計	1,082	12	21	320	51
月平均	90.2	1.0	1.8	26.7	4.3

①新規契約者数について

R5 年度における新規契約者数は 12 人。月平均 1 人の新規契約となった。

②解約者数について

R5 年度における解約者数合計は 21 人。月平均 1.8 人の解約者数となった。また、解約の理由として、本人死亡、本人希望による自己管理、成年後見人への移行となっている。

③待機者と新規契約者について

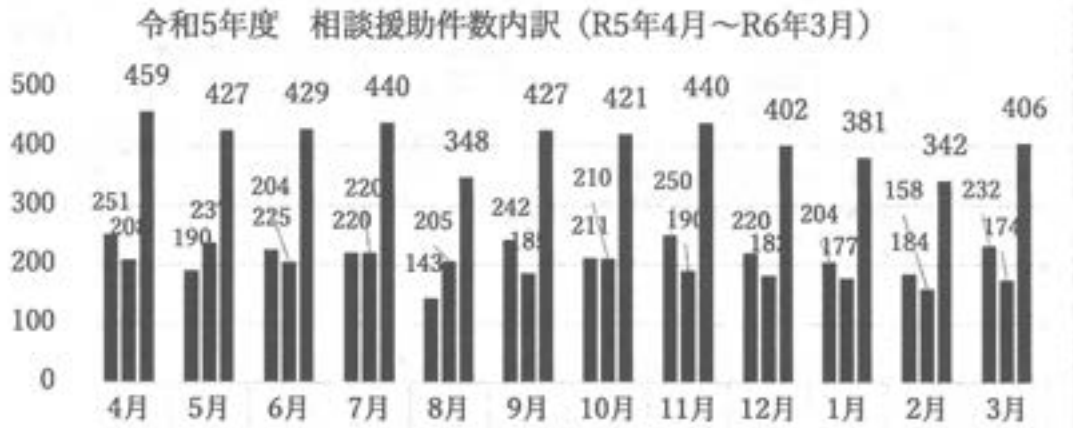
年間平均の待機者数は約 26 人となっている。新規申し見込みは、月平均 4 人が生活保護課を通してり申請があった。

④契約者数が 4 月には 96 人いたが 3 月には 86 人と契約者数が減少したのは、本人との初回面談時や契約時になんらかの理由で本人より「金銭管理事業を利用したくない。自己管理する」と申し出がある事が多くあり、新規契約に向けて対応したにも関わらず、契約に至らなかった件数が約 20 件あった事が原因の一つだと考えている。

(2) 相談援助件数の内訳（令和５年４月～令和６年３月）相談援助件数における内訳は、以下のグラフの通りです。

【電話】新規相談、利用者の滞納金の調整や生活の相談、関係機関との調整など
（会議などへの参加も含む※システム上電話相談へのカウントに入る）

【訪問】定期支援、追加支援（臨時・滞納金支払い）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■電話	251	190	225	220	143	242	211	250	220	204	184	232
■訪問	208	237	204	220	205	185	210	190	182	177	158	174
■総数	459	427	429	440	348	427	421	440	402	381	342	406

(3) 生活保護金銭管理事業における専門員・生活支援員の活動回数推移（前年度比較）
契約者件数に対する、専門員・生活支援員の活動件数は以下の通りです。

令和4年度　支援回数（専門員・生活支援員別）

	契約者	専門員	支援員	合計
4月	90	61	181	242
5月	89	55	168	223
6月	87	70	168	238
7月	87	56	158	214
8月	88	93	168	261
9月	86	49	159	208
10月	88	40	168	208
11月	88	61	160	221
12月	90	49	158	207
1月	90	46	156	202
2月	92	48	153	201
3月	95	73	166	239
合計	1,070	701	1,963	2,664
月平均	89.2	58.4	163.6	222.0

※）契約1件あたりの支援員活動回数
163.6回÷89.2＝1.8回／月

令和5年度　支援回数（専門員・生活支援員別）

	契約者	専門員	支援員	合計
4月	96	33	175	208
5月	96	74	163	237
6月	94	51	153	204
7月	94	57	163	220
8月	93	59	146	205
9月	93	41	144	185
10月	91	44	166	210
11月	87	40	150	190
12月	84	37	145	182
1月	83	32	145	177
2月	85	25	133	158
3月	86	33	141	174
合計	1,082	526	1,824	2,350
月平均	90.2	43.8	152.0	195.8

※）契約1件あたりの支援員活動回数
152.0回÷90.2＝1.69回／月

○令和４年度に比べて専門員の支援回数が減少したのは、専門員が生活費や小遣い等を直接利用者へ届ける支援を少なくし、出来るだけ生活支援員が届けるように工夫した事が理由のひとつである。

7. 利用者区分（令和６年３月末）

利用者区分

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合　計
19	10	47	10	86
22%	13%	51%	14%	100%

○精神障がい者が半分を占めています。

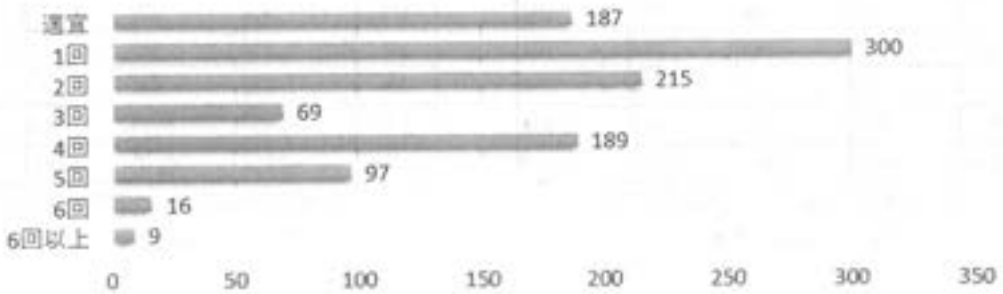
8. ひと月における支援頻度の内訳（令和５年４月～令和６年３月）

（1）総契約者のひと月における、支援回数の内訳は以下の通りです。

《令和5年度》　（人）

	6回以上	6回	5回	4回	3回	2回	1回	適宜	合計
4月	0	1	4	26	5	22	19	19	96
5月	0	4	19	8	8	18	21	18	96
6月	2	2	2	23	3	20	26	16	94
7月	2	0	18	6	8	19	29	12	94
8月	0	1	10	18	5	18	26	15	93
9月	0	1	5	19	5	17	29	17	93
10月	1	1	12	12	9	17	22	17	91
11月	2	1	7	14	7	15	28	13	87
12月	0	3	4	18	3	19	25	12	84
1月	2	1	7	15	1	17	25	15	83
2月	0	0	4	14	9	14	27	17	85
3月	0	1	5	16	6	19	23	16	86
合計	9	16	97	189	69	215	300	187	1,082
割合	0.8%	1.5%	9.0%	17.5%	6.4%	19.9%	27.7%	17.3%	100.0%

令和5年度　ひと月における支援頻度（年間）



①本サービスの支援計画作成において、月４回程度の支援を目安としてるが、月１回が最も多く、次いで月４回が多くなっています。

②一定数の利用者では、月５～６回以上（週１～３回）の支援を必要とする場合もあり、理由は以下の通りです。

③月４回の支援が２番目に多いのは、支援計画通りに支援が出来き、比較的安定している利用者がいるという事がわかる。

④月５回～６回以上は定期支援に加え、支援日までに金銭を使い切ってしまい、追加支援や滞納金支払い後払い購入の支払いなど。

例１）相談なく通販で購入した商品の後払い請求

例２）パートナーとの交際費に消費し、追加支援など

例３）近隣との関係悪化でイライラして夜間家にいたくなくて飲みに行ったため生活費を１日で使いきった。

例４）隣人にお金を返済した為、生活費を使ってしまった。

例５）東京へ行きたいと東京へ行き、小遣いが足りなくなった。

⑤適宜については、入院・入所中の入院費や利用料の引き落とし（食事代・おむつ代・消耗品等）年金支給月のみ支援など、不定期の支援や直接の支援がない等があげられる。

9. 専門員・生活支援員の研修会参加（令和５年４月～令和６年３月）

①専門員・生活支援員のスキルアップ向上のための研修参加は以下の通りです。

	日　時	場　所	会　議・　研修	内　容	人数
1	令和５年７月３日 13：30～16：40	沖縄県総合福祉センターゆいホール	令和５年度 日常生活自立支援事業研究協議会	●日常生活自立支援事業を取り巻く課題について ●組織として支える日常生活自立支援事業の展開 ●グループ討議・今後の展開を考える	6名
2	令和５年10月30日 13：15～16：40	沖縄県総合福祉センターゆいホール	令和５年度 日常生活自立支援事業専門員研修会	●基調講演 ●実践報告「北中城村での連携・協働による利用者支援に求められる姿勢とは」 ●「日常生活を支えるための連携・協働の視点」 ●グループ討議	3名

3	令和5年11月28日 13：30～16：45	ライブ配信	令和5年度 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修	●事例を聞いての質問事項の検討 ●事例検討参加者からの質問 ●解決策の検討 ●検討結果の全体共有	2名
4	令和5年12月11日 13：30～16：40	沖縄県福祉センターゆいほーる	令和5年度権利擁護研修会	●基調講演「権利擁護について学ぼう～その人らしい暮らしの実現に向けて～」 ●ファシリテーション講座	2名

②内部研修への参加

	日　時	場　所	会　議・　研修	内　　容	人数
1	令和5年4月5日 15：30～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について	4名
2	令和5年6月7日 15：00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	個人情報保護について①	1名
3	令和5年7月12日 15：00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	個人情報保護について②	2名
4	令和5年9月6日 15：00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	ハラスメント防止対策～なぜハラスメントが起きるのか～	2名
5	令和5年10月4日 15：30～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	相続登記義務化について	1名
6	令和5年11月1日 15：00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	消費者金融トラブルについて	2名

7	令和６年１月10日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	高齢障がい者の消費者被害について	2名
8	令和６年２月７日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	高齢者虐待防止について	2名
9	令和６年２月15日 （木） 10：00～12：00	那覇市社会福祉協議会２階会議室	相談知室研修	精神疾患のある方への支援について	2名

③新規調整会議・日常生活自立支援事業と合同

○情報共有とケース会議及び新規利用者に関する会議

	日　時	場　所	会　議・　研修	内　　容	人数
1	令和５年４月21日 15：00～17：00	那覇市社協会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	9名
2	令和５年５月26日 15：00～17：00	那覇市社協会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	9名
3	令和５年６月22日 15：00～17:00	那覇市社協会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	10名
4	令和５年７月25日 15：00～17：00	那覇市社協会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	8名
5	令和５年８月24日 15：00～17：00	那覇市社協会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	9名

6	令和5年9月25日 15：00～17：00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 （グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	9名
7	令和5年10月26日 15：00～17：00	那覇市社協 会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	10名
8	令和5年11月21日 15：00～17：00	那覇市社協 会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	8名
9	令和5年12月20日 15：00～17：00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 （グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	8人
10	令和6年1月24日 15：00～17：00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 （グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	8人
11	令和6年2月27日 15：00～17：00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 （グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	7人
12	令和6年3月22日 15：00～17：00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 （グループミーティング）	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を決め契約を進める利用者を決める。	9人

（3）法人後見事業の実施　成年後見制度の推進（令和５年４月～令和６年３月）

判断能力が不十分なために意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会（那覇市社協）が成年後見人、保佐人、補助人（以下後見人等）に就任することにより、被成年後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上保護を行いその権利を擁護します。現状のほとんどが、親族や法律専門家による個人後見人が多い中、本会では法人による成年後見制度に取り組んでいる。

1. 受任件数の推移（年度単位）

審判年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
新規受任件数	1	1	0	0	3	2	3	2	0	3	1	16
終了件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
受任支援件数	1	2	2	2	5	7	10	12	12	15	16	15

※令和５年度の受任総数３月末現在は 15 件（16 件－1 件終了＝15 件）

2. 受任件数の推移（月単位）・終了件数・事務報告（報酬付与申立て）・報酬助成申請件数

事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①受任件数(件)	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	
②新規受任件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
③受任終了件数(件)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
④事務報告・報酬付与申立	2	0	1	0	1	0	1	1	1	3	3	2	15
⑤報酬助成申請	3	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	7

ア．市長申立（9 件）・親族申立（6 件）

イ．家庭裁判所への事務報告等（15 件）※1 件は受任して 1 年未満のため報告はまだ

ウ．家庭裁判所への後見報酬付与申立（14 件）　（決定 14 件）

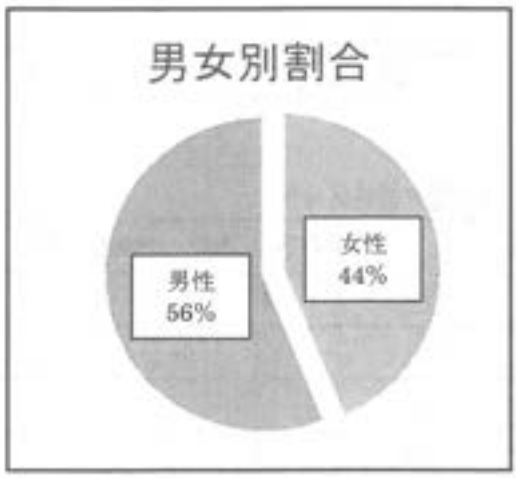
エ．那覇市への報酬助成申請（5 件）⇒（決定 5 件）

オ．他市町村への報酬助成申請（2 件）⇒（決定 2 件）

3. 被後見人等の状況

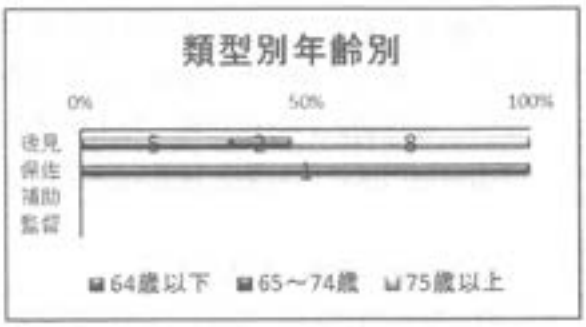
①類型×性別

	女性	男性	計
後見	7	8	15
保佐		1	1
補助			0
監督			0
計	7	9	16



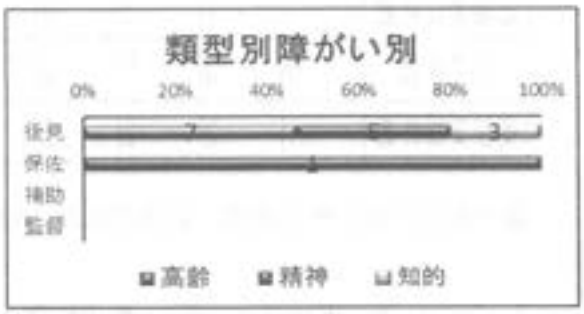
②類型×年齢

	64歳以下	65～74歳	75歳以上	計
後見	5	2	8	15
保佐		1		1
補助				0
監督				0
計	5	3	8	16



③類型×障がい等

	高齢	精神	知的	計
後見	7	5	3	15
保佐		1		1
補助				0
監督				0
計	7	6	3	16

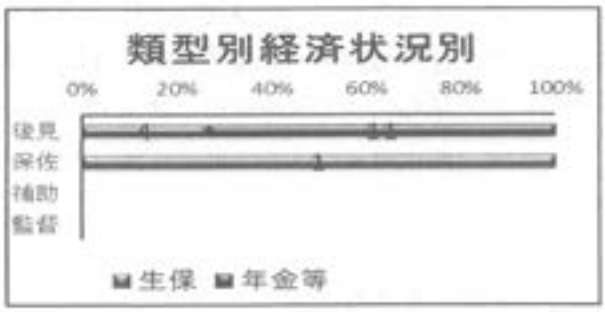


④申立×障がい等

	後見				保佐				補助				監督				総計
	高齢	精神	知的	計	高齢	精神	知的	計	高齢	精神	知的	計	高齢	精神	知的	計	
市長	6	2	1	9				0				0				0	9
親族	1	2	2	5		1		1				0				0	6
後見人		1		1				0				0				0	1
計	7	5	3	15	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16

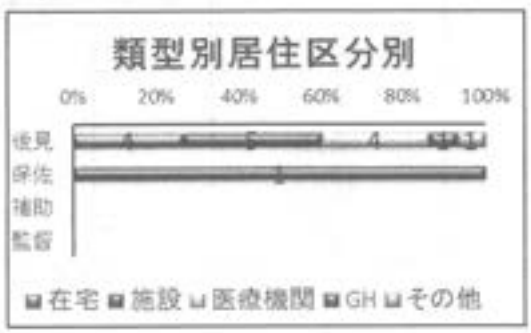
⑤類型×経済状況

	生保	年金等	計
後見	4	11	15
保佐	1		1
補助			0
監督			0
計	5	11	16



⑥類型×居住区分別

	在宅	施設	医療機関	GH	その他	計
後見	4	5	4	1	1	15
保佐		1				1
補助						0
監督						0
計	4	6	4	1	1	16



4. 後見活動状況

1. 業務内容

業務内容	件数
その他	527
ご本人面会	61
入院・医療に関すること	46
遺産相続に関すること	40
生活費等の受け渡し	36
年金・手当・保険等に関すること	21
土地・不動産に関すること	16
家庭裁判所への事務報告・手続き	15
福祉サービス利用の更新・変更	12
担当者会議	12
保険料等支払いに関すること	11
金融機関取引事務手続き	8
親族との調整・報告等	3
福祉サービス利用に関する契約・申込み	2

業務内容	件数
福祉サービス以外の支払い・確認	2
住居に関すること	2
福祉サービス利用に関する支払い・確認	1
本人・関係者の報告、状況確認、調整	1
福祉サービス以外に関する契約・申込み	0
債務整理に関すること	0
業務終了後の事務	0
後見監督業務に関すること	0
外出支援、買い物支援	0
合計	816

2.夜間・休日対応状況

①受電状況

時間帯	休日	休日夜間	平日夜間	計
件数	3	0	1	4

②内容等

業務内容	件数
その他	4
合計	4

5. 法人後見運営委員会・研修・広報・その他

① 法人後見運営委員会の開催

	日　時	場　所	参加委員	内　容
1	令和5年10月30日 (月) 14:00～15：30	那覇市社会福祉協議会　2階会議室	●医療福祉関係者 ●社会福祉士 ●学識経験者 ●福祉政策課 ●ちゃーがんじゅう課 ●生活保護課 ●障害福祉課 ●その他	●委嘱状交付 ●委員の選任 ●法人後見運営委員会実施要綱（案）について ●取り組みと実施状況報告 ●被後見人の受任ケース
2	令和6年3月7日 (木) 14：00～16：00	那覇市社会福祉協議会　2階会議室	●医療福祉関係者 ●弁護士 ●学識経験者 ●福祉政策課 ●障害福祉課 ●その他	●生保金銭管理事業の相談者の子の後見人申立ての妥当性について ●生保金銭管理事業の利用者の成年後見申立ての妥当性について ●被後見人の家屋調査について ●日自事業・生保金銭管理事業利用者の市長申立てについて ●権利擁護支援センター構想について

②法人後見事業調整会議

参加者：常務・局長・課長・主幹・主任・専門員

	日　時	場　所	会　議・研　修	内　容	人数
1	令和５年６月30日（金） 16：30～17：15	那覇市社会福祉協議会２階ミーティングスペース	調整会議	●令和４年度事業報告　●ケース状況報告書　●被後見人の状況と支援方針	6名
2	令和５年10月６日（金） 15:00～16：00	那覇市社会福祉協議会２階ミーティングスペース	調整会議	●事業実績 ●ケース状況報告 ●地域福祉活動計画・中核機関について ●その他	6名
3	令和５年12月20日（月） 11：00～12：00	那覇市社会福祉協議会２階ミーティングスペース	調整会議	●法人後見事業実績報告 ●ケースの状況報告 ●宮古島市社協訪問について ●第２回法人後見運営委員会の日程について ●その他	6名

③成年後見人養成研修等（人材育成）

	日　時	場　所	会　議・研　修	内　容	人数
1	令和５年８月18日（金） 9：20～16：50	ＺＯＯＭ オンライン	成年後見人材育成研修（聴講生）	●研修ガイダンス ●成年後見制度の理解 ●財産法の基礎 ●家庭裁判所の実務の理解	2名
2	令和５年８月19日（土） 9：20～17：20	ＺＯＯＭ オンライン	成年後見人材育成研修（聴講生）	●社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点～ ●成年後見活動における判断能力のとらえ方 ●財産管理のための知識 ●後見事務の実務１	2名
3	令和５年10月27日（金） 9：20～16：50	ＺＯＯＭ オンライン	成年後見人材育成研修（聴講生）	●家族法の基礎 ●身上監護のための知識 ●後見事務の実際２	2名
4	令和５年10月28日（土） 9：30～16：00	ＺＯＯＭ オンライン	成年後見人材育成研修（聴講生）	●演習①ニーズの把握と対応 ●演習②ネットワーク活用による権利擁護（それぞれの立場での権利擁護実践） ●今後の活動について	2名
5	令和６年２月３日（土） 9：20～16：10	ＺＯＯＭ オンライン	支援者のための成年後見活用講座	●成年後見制度の概要 ●成年後見制度利用促進法と基礎計画 ●成年後見人の職務 ●成年後見制度の活用方法	1名

④県外研修

	日　時	場　所	会　議・研　修	内　　容	人数
1	令和５年 11/7（金） ～11/8（木） （１泊２日）	全国社会福祉協議会	社会福祉協議会活動 全国会議	●新たな「社協基本要項」策定にあたり改めて社協の事業・活動を考える ●第３分科会社協における第２期基本計画を踏まえた権利擁護支援体制づくり	1名

⑤成年後見制度関連研修・会議等

	日　時	場　所	会　議・研　修	内　　容	人数
1	令和５年 10 月 31 日（火） 13：30～16：30	那覇家庭裁判所 ４階大会議室	成年後見制度利用促進に関する関係自治体との事務打ち合わせ	●成年後見制度利用促進に向けた家庭裁判所と関係自治体との連携 ●家庭裁判所を含む関係機関との連携の在り方について	1名
2	令和６年１月 31 日（水） 14：00～16：00	三重城合同庁舎 内自治研修所４階	令和５年度第１回沖縄県成年後見制度利用促進協議会	●成年後見制度を取り巻く状況等について ●成年後見制度の利用促進体制整備について ●成年後見し度の担い手の確保・育成について	3名
3	令和６年２月 22 日（木） 10：30～11：50 13：30～16：40	沖縄県社会福祉協議会 ゆいホール	令和５年度地域における権利擁護推進会議	●法人後見事業実施社協情報交換会 ●地域における権利擁護推進会議	3名

⑥内部研修への参加

	日　時	場　所	会　議・研修	内　　容	人数
1	令和５年４月５日 15：30～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について	1名
2	令和５年６月７日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	個人情報保護について①	1名
3	令和５年７月 12 日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	個人情報保護について②	1名
4	令和５年９月６日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	ハラスメント防止対策～なぜハラスメントが起きるのか～	1名

5	令和５年10月４日 15：30～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	相続登記義務化について	1名
6	令和５年11月１日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	消費者金融トラブルについて	1名
7	令和６年１月10日 15：00～	那覇市社会福祉協議会２階会議室	弁護士勉強会	高齢障がい者の消費者被害について	1名

⑦広報関係

	日　時	場　所	会　議・研修	内　容	人数
1	令和６年２月９日（金）16：00～16：40	ＦＭ那覇	那覇小学校区まちづくり協議会「なはまちサロン（FMなは）」出演	那覇市社協の権利擁護支援について	2名

⑧その他

	日　時	場　所	会　議・研　修	内　容	人数
1	令和５年11月12日（木） 14：00～17：00	浦添市社会福祉センター	令和５年度おきなわ地域福祉セミナー	●「社協業務分析について」南風原社協実践報告 ●グループワーク・社協の業務内容・それぞれ質問したいこと	1名
2	令和５年12月21日（木）～22日（金）	宮古島市・宮古島市社協	●被後見人の実家にて家屋調査 ●宮古島市社協の日自事業・法人後見事業について聞き取り	●家屋調査⇒市役所職員２名向かいの住人、親族の下地氏立会・建物内部へ入り写真を撮る。その他 ●実利用者数、予算額、日自事業から法人後見への移行、中核機関について、その他	2名

(4)預金通帳等緊急預かり支援事業実施

高齢者及び心身に障がいがある方等、金銭管理等が不十分のため日常生活に支障をきたしているが、日常生活自立支援事業や生活保護世帯金銭管理事業、成年後見制度等の活用が困難である方に対し、他の社会資源の活用が可能となるまでの期間、緊急預かりの支援を行うことにより、その者の権利を擁護し、かつ自立を図ることを目的として実施する。

●令和５年度　預かり件数（３件）　返還件数（１件）

9．障がい者相談支援・福祉サービス事業の推進

★障がい者生活支援センターゆいゆい

【職員体制】　所　　長　1名

相談支援専門員　2名（R5.4～2名　R5.10～3名）

（1）特定相談支援事業・障害児相談支援事業

①契約件数（令和6年3月31日時点）

	契約件数	障がい者	障がい児
合計	161	97	64

②障がい男女別（令和6年3月31日時点）

	契約件数	障がい者		障がい児	
合計	161	男52	女45	男43	女21

③モニタリング数（令和6年3月31日時点）

	毎月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	6ヵ月	年1回
合計	5	5	166	2	113	1

④請求実績

・特定障がい者相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
請求件数	10	22	20	21	7	28	23	10	13	11	3	14	182
新規件数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
終了件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

・障がい児相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
請求件数	15	9	16	11	11	15	12	14	11	11	18	10	153
新規件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
終了件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	38

⑤研修

・相談支援専門員初任者研修

受講者：與那嶺

演習(前半2日)：令和5年7月31日(月)～8月1日(火)

現場実習：令和5年8月7日(月)～8月31日(木)のうち約半日

演習(後半3日)：9月6日(水)～9月8日(金)

場所：zoom(演習)、すこやか(インターバル実習先)

・令和５年度　精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修
受講者：　Ｂ日程：上地主幹、上江洲　Ａ日程：與那嶺
事前学習(オンライン)：令和５年10月２日（月）～10月19日（木）
日時、場所：Ａ日程(zoom)　令和５年10月20日（金）
Ｂ日程(県社協会議室)10月27日（金）

・令和５年度 那覇市指定障害福祉サービス事業者等への説明会（集団指導）
参加者：上地主幹、與那嶺
日時：令和５年12月20日（水）14：00～16：00
場所：パレット市民劇場（パレットくもじ９階）

・将来の為の障がい年金セミナー　知っておきたい障害年金について
参加者：上江洲、與那嶺
日時：令和６年１月26日(金)13：30
場所：くくる糸満　会議室３

・精神疾患、対象者への関わり方
参加者：與那嶺
日時：令和５年４月20日(木)10：00～11：30
場所：那覇市社会福祉協議会２階　大会議室

※他、虐待防止等に関することも含めた、毎月顧問弁護士による勉強会に参加した。

⑥事業所閉鎖の報告
★令和５年度第４回理事会（3/1開催）及び第３回評議員会（3/12開催）にて閉鎖報告
※以下報告から抜粋
ここ数年、人材の確保が事業の運営に大きな影響を与えてきました。特に令和４年は、正職２人の退職、常勤職員のパートへの移行により人員構成に変化が生じ、それに伴って利用者約300名の半数を外部へ移行せざるを得ない状況となりました。さらに、経験豊富な職員の不在により加算の取得が出来ず、現状での新規の受け入れが限定されました。職員募集をかけても資格を保持する即戦力のある応募者がなく、未資格者を採用しましたが、資格取得までの半年間ケースを担当する事が出来ない現状でした。経営的視点での事業状況の把握や立て直しも法人が直面した課題でした。毎月、収支の検証を行っておりましたが、赤字幅の縮小、立て直しの検討等が長引いた事でさらに赤字幅を増やす結果となりました。法人としては、長年利用してきた利用者からは継続を希望する要望もあり、事業所を維持していきたいとの思いもありましたが、地域における相談支援事業所の増加も今回の事業廃止を決断する契機となりました。
★閉鎖予定：令和６年６月～９月
★スケジュール：２月から事業所調整開始、６月までに利用者の移管引継ぎを完了。
閉鎖書類を市へ提出し、９月に承認予定。

（2）那覇市ピアサポート事業（市受託）

①交流会（水曜日・木曜日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催回数	7回	7回	8回	7回	9回	9回	8回	9回	6回	7回	8回	7回
参加人数	16人	14人	18人	17人	13人	25人	18人	29人	18人	22人	18人	16人

②全体会　令和5年　　令和6年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催回数	－	－	－	－		－	1回	－	－	－	－	1回

※全体会の開催は2回のみであった。

（3）重度心身障害者医療費等貸付事業の実施（市補助）

重度心身障害者へ医療費等の自己負担分の貸付による医療費助成事業を実施した。

ア．重度心身障害者医療費等貸付事業実績

年度	利用医療機関数	貸付医療費総額	個人貸付延件数
H24	465 箇所	384,498,920 円	51,161 件
H25	498 箇所	398,959,164 円	54,966 件
H26	534 箇所	398,944,565 円	57,083 件
H27	550 箇所	432,999,878 円	63,007 件
H28	567 箇所	440,999,918 円	67,238 件
H29	557 箇所	461,999,900 円	72,081 件
H30	584 箇所	461,999,907 円	71,765 件
R1	530 個所	536,999,911 円	86,623 件
R2	511 個所	478,069,169 円	71,392 件
R3	487 個所	419,999,931 円	66,504 件
R4	500 個所	418,480,936 円	68,152 件
R5	479 個所	389,999,933 円	60,834 件

（4）リフト付きバス運行事業の実施（市受託）

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第77条の市町村の事業運営について国が定めた「地域生活支援事業実施要綱」の別記9 移動支援事業及び那覇市リフト付バス運行事業要綱に基づき、障がい等のために移動することが困難な障がい者の生活圏を拡大し、自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。（平成2年10月1日より受託事業開始）

①利用対象者

身体障害者手帳の交付を受け、且つ、那覇市内に居住する者で次に該当する者。

ア．車椅子利用者

イ．重度の肢体不自由者

ウ．その他、福祉事務所長が認める者

②運行日時

ア．月曜日～金曜日（祝祭日は除く）

イ．午前9時～午後5時

③運行体制

ア．リフト付きバス車両2台

イ．職員　2人　※1名欠員

④事業実績・利用状況（車両数2台での実績）

<table>
<tr><td colspan="2">新規利用登録者</td><td>11人</td><td>廃止利用者</td><td>20人</td><td>延べ登録者</td><td>65人</td></tr>
<tr><td colspan="2">利用件数</td><td colspan="2">1,551件（1日平均 6.5件）</td><td>運行日数</td><td colspan="2">236日</td></tr>
<tr><td colspan="2">運行キロ数</td><td colspan="2">17,154キロ（1日平均72.7キロ）</td><td colspan="2">キャンセル（当日のキャンセル）</td><td>123件</td></tr>
<tr><td colspan="5">重介助（ベッドから車イスへの移乗、2、3階からの乗降等）</td><td colspan="2">129件</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用補助具</td><td>電動車イス</td><td>409件</td><td colspan="2">手動車イス</td><td colspan="2">1,142件</td></tr>
<tr><td>ストレッチヤー</td><td>0件</td><td colspan="2">その他</td><td colspan="2">0件</td></tr>
<tr><td rowspan="4">内訳</td><td>通院</td><td>942件</td><td colspan="2">買い物</td><td colspan="2">449件</td></tr>
<tr><td>レクレーション</td><td>2件</td><td colspan="2">公共施設</td><td colspan="2">23件</td></tr>
<tr><td>学習</td><td>2件</td><td colspan="2">施設</td><td colspan="2">8件</td></tr>
<tr><td>総合福祉センター</td><td>0件</td><td colspan="2">その他</td><td colspan="2">125件</td></tr>
<tr><td></td><td>18歳未満</td><td>16件</td><td colspan="2">18歳以上65歳</td><td colspan="2">1,535件</td></tr>
</table>

10. 子育て支援事業の実施

（1）ファミリーサポートセンター事業

①取り組み事業の概要

ア．ファミリーサポートセンター事業(基本事業)の実施（市受託）

地域において育児の援助を行いたい者（以下「協力会員」という。）と援助を受けたい者（以下「依頼会員」という。）が行う会員制相互援助活動を行うことにより、勤労者が仕事と育児を両立し、保護者が、安心して働くことができるような環境づくりに資するとともに、地域福祉の増進及び児童の福祉の向上を図ることを目的として実施する。定例会や研修会を通じ会員相互のスキルアップと交流を図る。

イ．病児・緊急対応強化事業の実施

標記事業は、厚生労働省の委託事業「緊急サポートネットワーク事業」が平成24年3月末日終了に伴い、平成24年4月より、那覇市が実施主体となり、本会が受託することになった。勤労者が育児等をしながら、働き続けるために病時または回復期にあり、緊急な子供の預かりや宿泊を伴う子供の預かり等の育児に係る臨時的、突発的な事由で専門的ニーズへの対応をする事により勤労者の失業予防、雇用の安定を図ることを目的として実施した。

ウ．ひとり親家庭等の利用支援事業の実施

目　　的：ひとり親家庭等が那覇市ファミリー・サポート・センター（以下「ファミサポ」という。）に入会して、援助活動を利用した場合にその利用の一部について予算の範囲内においてサポート券の支給による助成を受け、ひとり親又は養育者の就労及び育児支援の負担の軽減を図ることを目的とし、実施している。

概　　要：ひとり親家庭等の世帯で、保育を必要とする方々に保育サービスを提供する。1枚500円(第一子12枚二人目以降は6枚発行)のサポート券を利用し差額分を依頼者が支払う。

期　　日：令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

対 象 者：ひとり親等（母子・父子・生活困窮・養育者家庭、多子世帯など）

活動実績：・総利用枚数：635(前年度432)枚／発行：1,299（前年度984）枚

・依頼家庭：98（前年度71）世帯

エ．地域子育て支援拠点等との連携

目　　的：つどいの広場等の子育て支援拠点にて、ファミサポ事業の様子を自身で見ることで、子どもを他者に預けても安心であることを理解してもらう。そのことを通じて、子育ての支援にまわってもらうなど、担い手確保のきっかけとするものである。令和4年4月1日開始。

実施内容：今年度は依頼会員や協力会員宅で預かれない案件について児童館等の共有スペースを利用しサポートを行った。

月	内容・件数等
令和５年　４月	児童館（８件）
５月	金城児童館（11 件）小禄児童館（１件）
６月	金城児童館（6 件）小禄児童館（１件） 識名児童館（１件）子育て支援センター（4 件）
７月	金城児童館（４件）若狭児童館（４件） 子育て支援センター（１件）
８月	金城児童館（１件）小禄児童館（１件） 子育て支援センター（４件）
９月	金城児童館（５件）小禄児童館（１件） 識名児童館（３件）子育て支援センター（4 件）
10 月	金城児童館（７件）識名児童館（１件） 子育て支援センター（８件）
11 月	金城児童館（４件）識名児童館（１件）
12 月	金城児童館（11 件）識名児童館（１件） 久茂地にじいろ館（14 件）子育て支援センター（9 件）
令和６年　１月	金城児童館（11 件）久茂地にじいろ館（６件） 子育て支援センター（８件）
２月	金城児童館（12 件）久茂地にじいろ館（９件） 子育て支援センター（５件）
３月	金城児童館（17 件）久茂地にじいろ館（15 件） 子育て支援センター（５件）

②職員体制・サブリーダー

・アドバイザー４人（常勤職員４人）

・課長

・サブリーダー活動について

援助活動を円滑にする為に会員間の連絡調整や定例会等の行事の準備、会員交流など会員相互援助活動の調整を行いアドバイザーへの助言等を行うために、6 人のサブリーダーを委嘱した。なお、令和 2 年度より、エリア毎の活動活性化をねらいに、サブリーダーを行政区（首里・真和志・那覇・小禄）毎に配置した。欠員の部分は今後人材を探し、充てていきたい。

（首里地区）上地和子・松原時子

（真和志地区）

（那覇地区）島袋文江・高江洲裕美代

（小禄地区）片倉道代・荻堂繭子

③令和５年度ファミリーサポートセンターの活動状況

ア．会員加入状況（令和５年４月１日～令和６年３月 31 日※退会者人数を含む）

	前年度末	令和６年度３月末現在
依頼会員	2,619 人	2,521 人
協力会員	284 人	291 人
両方会員	49 人	54 人
合　　計	2,952 人	2,866 人

イ．活動分類一覧（令和５年４月１日～令和６年３月 31 日）

内　　容	令和５年度	令和４年度
保育所・幼稚園・学校の登園前の預かり	54 回	35 回
保育所・幼稚園の送り	319 回	283 回
保育所・幼稚園の迎え	479 回	529 回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	121 回	71 回
放課後児童クラブの迎え・終了後の預かり	66 回	84 回
子供の習い事の援助	1,148 回	1,298 回
保育所・学校等休み時の援助	277 回	178 回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	305 回	406 回
保護者等の求職活動中の援助	11 回	6 回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	16 回	19 回
保護者等の外出の場合の援助	500 回	342 回
学校・学童への送迎	351 回	263 回
育児の手助け	882 回	522 回
障がい児の援助	143 回	202 回
その他	137 回	241 回
基本事業小計	4,809 回	4,410 回
病児・病後児の預かり	5 回	3 回
宿泊を伴う預かり	33 回	33 回
緊急度の高い預かり	46 回	21 回
送迎（緊急度の高いもの及び上記 1～3 に係るもの）	31 回	15 回
その他［早朝預かり、３ヶ月未満の子］	68 回	24 回
病児・緊急対応強化事業小計	183 回	96 回
総合計（基本事業+病児）	4,992 回	4,506 回
キャンセル総数	1,090 回	1,316 回

④ 保育サービス講習会の開催

通算回数	期間	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	修了
第43回	令和5年7月18日（火）～21日（金）	25時間	7名
第44回	令和6年2月19日（月）～22日（木）	25時間	7名

⑤ 研修会等の参加

開催日	内容	開催方法・場所
令和5年 4月13日	沖縄県ファミリー・サポート・センター連絡協議会 （第1回役員会）	ZOOM開催
5月19日	沖縄県ファミリー・サポート・センター連絡協議会 第19回　定期総会	くくる糸満
6月19日	沖縄県ファミリー・サポート・センター連絡協議会 （第2回役員会）	ZOOM開催
7月29日（土）	沖縄市ファミリー・サポート・センター20周記念式典	沖縄市福祉文化プラザ
8月31日	沖縄県ファミリー・サポート・センター連絡協議会 （第3回役員会）	ZOOM開催
9月14日	沖縄県ファミリー・サポート・センター連絡協議会 （第4回役員会）	ZOOM開催
9月23日	ファミリー・サポート・センター事業アドバイザー・援助を行う会員研修事業［第1回研修会］ 講師：東根ちよ氏（大阪公立大学　準教授） 内容：ファミサポを巡る現状と課題	沖縄県総合福祉センター
10月13日	令和5年度全国講習会・交流会（大阪）	ZOOM参加
10月21日	ファミリー・サポート・センター事業アドバイザー・援助を行う会員研修事業［第2回研修会］ 講師：山崎　新氏（一般社団法人沖縄じんぶん考房） 内容：子ども達をめぐる生活課題と地域の課題	沖縄県総合福祉センター
10月27日	令和5年度全国講習会・交流会（東京）	ZOOM開催
11月5日	読谷村ファミリーサポートセンタ10周年事業 「ファミサポフェスタ」	読谷村文化センター
12月16日 （午前）	ファミリー・サポート・センター事業アドバイザー・援助を行う会員研修事業［第3回研修会］ 講師：おきなわCAPセンター 内容：おとなワークショップ	那覇市総合福祉センター
12月16日 （午後）	沖縄県ファミリー・サポート・センター連絡協議会交流会 （意見交換会）	那覇市総合福祉センター
令和6年 2月20日	沖縄県ファミリー・サポート・センター連絡協議会 （第5回役員会）	ZOOM開催

⑥ 定例会の開催

令和５年度は２回の定例会を行ったが。そのうち１回は協力会員さんが気軽に参加し、自分の傾向を知るために手相を取り上げた。

月日	時間	内容	場所	参加人数
7月7日	10:00～12:00	サブリーダー委嘱状交付	母子父子ｾﾝﾀｰ	4人
10月6日	10:00～12:00	「手相で自分を知る ～自己覚地～」	母子父子ｾﾝﾀｰ	14人

⑦ ファミリーサポートセンター事業関係者会議・意見交換会

ファミリーサポートセンターの関係機関との意見交換及び情報の提供を行うことにより、地域の子育て支援が、適正かつ円滑な支援体制が図られるよう「関係者会議・意見交換会」を開催した。今年度は令和６年度内の報酬の改訂や現状の諸問題について、こどもみらい課との意見交換を行った。報酬改定については、一定の候補・周知時間をおいて、行ってほしいというアドバイスをいただいた。

ア. 期　日：令和６年３月27日（水）午後２時半～４時

イ. 場　所：那覇市総合福祉センター（2階大会議室Ｂ）

ウ. 参加者：４人（こどもみらい課・ファミサポアドバイザー・課長）

（2） ファミリー・サポート・センター事業アドバイザー・援助を行う会員研修事業（新規）

①取り組み事業の概要

昨今、ファミリーサポートを利用する世帯には一人親世帯だけでなく、生活課題を抱えた方や障がいを抱える方等が増え、アドバイザーや援助を行う会員にも専門性が求められる状況にある。本事業は　沖縄県下２３のファミリサーポートセンターのアドバイザー及び援助を行う会員に対し資質向上のための研修を行い、更に共通の課題を共有する等の取り組みを行うものである。令和５年度より沖縄県より新規受託している。

②研修プログラム

	日時	場所	内容	人数
1	令和５年 ９月 23 日（土） 10:30～14:00	沖縄県総合福祉センター	テーマ：ファミサポを巡る現状と課題」 講師：大阪公立大学　准教授東根ちよ氏 内容：令和３年度の実態アンケート調査を分析した現状や課題について	16 名
2	10 月 28 日（土） 13:30～16:30	沖縄県総合福祉センター	テーマ：子どもを取り巻く環境と子どもの権利条約について 講師：一般社団法人沖縄じんぶん工房 代表　山崎　新氏 内容： ① 講話「子ども基本法と権利条約の内容及び沖縄の子どもの現状について」 ① 意見交換「支援者としてできること」	18 名
3	12 月 16 日（土） 10:30～12:00	那覇市総合福祉センター	テーマ：「大人ワークショップ」 講師：沖縄 CAP センターの皆様 内容：ワークショップを通じた暴力や虐待の理解と子ども達への関りを学んだ。	18 名

注）なお、研修の企画実施に関しては「沖縄県ファミリーサポートセンター連絡協議会」に参画の各センターにご協力いただきました。

（3）那覇市育児支援家庭訪問事業（市受託）

① 事業概要

本来児童の養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に、過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を行うことにより、当該家庭において安定した児童の養育が可能になること等を目的とする。

② 経過

ア．那覇市と問題や課題を共有し、児童虐待への対応と予防についてその他の関係機関との連携を図った。

イ．定例会や所内カンファレンスの開催により育児支援員との連携が密になり、利用者の状況把握や育児支援員への業務指導を行った。

ウ．育児支援員の専門的知識や技術向上のため、研修参加に努めた。

③ 職員体制

専任コーディネーター　2人　上原郁子・片倉恵子（6～9月）

家庭支援員：専任8人

兼任1人（ホームヘルプステーションわかば訪問介護・居宅介護兼任）

④ 研修実績

日時	内容	人数	備考
令和5年 7月20日(木)	訪問型子育て支援オンライン協働セミナー 「子ども家庭庁とともに、訪問支援のあり方を考える～ホームスタートの取り組みを中心に」	3名	ZOOM開催
9月5日（火）	家庭訪問支援員等児童相談業務担当者研修1日目	1名	沖縄県小児保健協会
9月6日（水）	家庭訪問支援員等児童相談業務担当者研修2日目	1名	沖縄県小児保健協会
9月7日（木）	家庭訪問支援員等児童相談業務担当者研修3日目	1名	沖縄県小児保健協会
10月30日（月）	子どもがかかりやすい感染症について	1名	ZOOM開催
令和6年 1月31日（水）	母子衛生研究会　母子保健セミナー① 母子衛生研究会　母子保健セミナー② 理化学研研究所	2名 2名 2名	オンライン
2月1日（木）	母子衛生研究会　母子保健セミナー① 母子衛生研究会　母子保健セミナー② 国立研究開発法人基盤・健康・栄養研究所	1名 1名 1名	オンライン
3月19日（火）	那覇市ヤングケアラー研修会	3名	那覇市協働プラザ

令和5年度　育児支援家庭訪問事業における家庭支援員派遣業務(派遣実績)

1　訪問実績

月	利用者数	派遣件数	派遣時間	当日キャンセル数	直前キャンセル数	稼働した家庭市支援員数	
						専任	兼務
4	24	93	101	12	0	7	3
5	23	95	105	8	3	8	3
6	25	137	149	11	4	8	3
7	18	101	107	3	2	6	2
8	22	94	98	7	5	6	2
9	24	96	102	5	1	6	2
10	26	118	124	12	5	6	1
11	28	133	138	5	7	6	1
12	28	128	138	7	5	6	1
1	24	109	120	2	4	5	0
2	25	124	138	5	3	6	0
3	28	138	147	11	5	6	0
合計	295	1,366	1,463	88	44	76	18

※派遣件数、派遣時間にはカンファは含めない。

2　利用期間について

【利用期間の内訳】

Ⅰ期	38人
Ⅱ期	16人
Ⅲ期以上	13人
合計	67人

※派遣期間はⅠ期を３ヵ月とする。

（4）子どもの支援団体等へのサポート事業報告（令和５年４月～令和６年３月）

1．子どもの居場所の状況

ネットワーク加入団体トータル数が 73 団体(R6 年 3 月 31 日時点)。稼働中の団体が 67 団体。
うち那覇市からの補助金活用団体が 28 団体。

令和５年ネットワーク加入団体のトータル数と開所数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居場所数	54	54	57	59	59	65	66	66	71	71	72	73
開所数	47	47	50	52	52	58	59	60	65	65	66	67

【年間延べ利用人数(子ども)】

・ネットワーク全体 103,379 人　（前年度 R4：利用者数 56,072 人）
・補助金活用 28 団体⇒55,151 人　（前年度 R4：16 団体⇒36,878 人）
・自主開催 39 団体⇒⇒48，326 人　（前年度 R4：41 団体⇒１９，１９４人）

居場所一覧①

	居場所　基本情報			
	居場所の名称		住所	備考
削除	1	ほのぼのヒロバ	那覇市識名	「えん」は R3 年から活動なし。再開の見込みなし。
	2	みんなの居場所　えん	那覇市識名	
	3	言事堂	那覇市壺屋	R3 年閉所
	4	ユイマール塾よぎ	那覇市与儀	R4 年 3 月閉所
	5	小学生ユイマール塾なかいま	那覇市仲井真	
	6	すこやか宇栄原っ子	那覇市宇栄原	R4 年 3 月まで活動
	7	ヨーガ・シャンティ	那覇市楚辺	
休止中	1	こどもカフェ シュタム	那覇市金城	R4 年 3 月まで活動
	2	山城塾 小学生の部	那覇市古波蔵	R5 年 3 月まで活動
	3	放課後こくば教室	那覇市国場	令和 2 年 3 月まで活動
	4	ちねんやー	那覇市泉崎	R4 年 3 月まで活動
	5	水曜みんな DAY	那覇市松尾	R4 年 3 月まで活動
	6	てんてん	那覇市金城	随時開催
稼働中	1	のびのび広場（ゆんたく食堂）	那覇市松尾	
	2	むつみふれあい広場	那覇市古波蔵	
	3	R・K アカデミー	那覇市宇栄原	
	4	ユイマール塾	那覇市松川	
	5	すい・こども食堂	那覇市首里汀良町	
	6	子どもの広場 in 那覇	那覇市字上間	

	7	安謝新都心こども広場	那覇市安謝	
	8	小禄にじのひろば勉強室	那覇市宇栄原	
	9	活き活きサロンちゅら花	那覇市壺屋	
	10	ほのぼのカフェ	那覇市曙	
	11	にじの森文庫	那覇市松川	
	12	サンキュウ	那覇市長田	
	13	みんなの食堂	那覇市松川	
	14	ワクワクゆんたく食堂	那覇市繁多川	
	15	沖縄ラフ＆ピース専門学校あそぶガッコ。	那覇市松尾	
	16	小禄市営住宅内子どもの居場所	那覇市田原	
	17	山城塾　中学生の部	那覇市古波蔵	
	18	マヒナジーモ学舎（まなびや）	那覇市長田	
	19	すくすく食堂	那覇市長田	
	20	かめはま子ども食堂	那覇市松山	
	21	天妃っ子カレー	那覇市辻	
	22	グロリアキッズクラブ	那覇市宇栄原	
	23	町の自習室	那覇市松川	
	24	ぽっとらっくパーティー	那覇市字上間	
	25	海音キッズ食堂	那覇市牧志	
	26	こばんち	那覇市古波蔵	
	27	那覇こども食堂ゆいまーるひろば	那覇市泉崎	
	28	こども広場トントン	那覇市長田	
	29	ママ食堂「みつばちの家」	那覇市曙	
	30	ナハ食育こども食堂	那覇市前島	
	31	タコライスラバーズ	那覇市泉崎	
	32	みんなの居場所 なかまんち	那覇市首里当蔵町	
	33	にぬふぁぶし	那覇市泊	
	34	子どもの居場所アップ	那覇市末吉	
	35	MAL 食堂	那覇市首里鳥堀町	
	36	OKINAWA はぴちる子ども食堂	那覇市田原	
	37	百金食堂	那覇市真地	
	38	識名市営住宅見守り友遊食堂	那覇市識名	
	39	みらいきぼう食堂	那覇市首里平良町	
	40	みいぐすく食堂	那覇市西	
	41	太陽食堂	那覇市壺屋	
	42	夢アップ	那覇市末吉	
	43	松川子どもの居場所	那覇市松川	R５新規加入
	44	真地ゆんたく広場	那覇市真地	R５新規加入

	45	夜間の居場所「たまっこやかん」	那覇市牧志	11 月再開
	46	美食蔵部	那覇市辻	R5 より再開
	47	チャレンジクラブ	那覇市樋川	R5　4/24 加入
	48	まつしま子どもの居場所	那覇市松島	R5　6 月加入
	49	たからっこ	那覇市高良	R5　7/1 加入
	50	食堂ハッチ	那覇市久茂地	R5　7/3 加入
	51	あっとほーむかめ屋～	那覇市若狭	R5　9/4 加入
	52	こども食堂　結	那覇市壺川	R5　9/8 加入
	53	久場川児童館子どもの居場所	那覇市久場川町	R5　9/22 加入
	54	OneColor	那覇市崎山町	R5　9/22 加入
	55	大名児童館子どもの居場所	那覇市大名町	R5　9/22 加入
	56	ユイマール塾①	那覇市松川	R5　6 月加入
	57	神原小　朝活	那覇市神原	R5　6/28 加入
	58	すこやか宇栄原っ子	那覇市宇栄原	R5　9/19 加入
	59	結の広場(ゆいまーるの会)	那覇市安里	R5　10/19 加入
	60	繁多川公民館子どもの居場所	那覇市繁多川	R5　12/15 加入
	61	まわしぐくる	那覇市寄宮	R5　12/1 加入
	62	沖縄ホテル　あしび～	那覇市大道	R5　12/14 加入
	63	未来食堂	那覇市辻	R5　12/12 加入
	64	笑チャ笑チャ DAY	那覇市石嶺町	R5　12/20 加入
	65	首里中学習支援	那覇市首里汀良町	R6　1/10 加入
	66	みんなのおうち「よりみん」	那覇市寄宮	R6　2/26 加入
	67	コミュニティ　くまココ	那覇市三原	R6　3/8 加入

【居場所活動状況まとめ】

・居場所代表者の事情で活動の終了が 1 団体。

・山城塾(中学生の部)の拠点移動に伴い拠点が広くなったので、小学生の部とまとめて活動することになった。小学生の部の拠点は残したままのため休止中という扱い。

・昨年休止していた夜間の居場所「たまっこやかん」・美食蔵部が R5 年度より再開。

・児童館・公民館型子どもの居場所がネットワークに加入(若狭・大名・久場川・繁多川)

2．居場所からの相談

居場所の運営、食料調達、協力者の確保等、45 件の相談が寄せられ、うち地域住民との居場所利用についての困難ケースがあった。改めて、居場所とはボランティア活動でありボランティア団体が「できること」・「できないこと」を考えるきっかけになった。

3. 子どもの居場所の新規立ち上げ支援

・新規立ち上げ支援相談件数　　計 37 件

・(内訳)ネットワーク加入件数　21 件

・支援継続件数　11 件　問合せのみ　　5 件

・今年度新規立上げ及びネットワーク加入の子ども居場所：21 か所

4、支援団体と関係団体とのネットワークづくり

【4 月】　・政府備蓄米の書き方出張講座(6 団体)

【5 月】　・第 1 回目茶話会

・こども食堂保険説明会 Youtube で限定公開し、未参加団体にも情報共有

・若狭地域連携会議参加

【6 月】　・ハロカル沖縄と体験型クーポン(奨学金)について意見交換会

・子どもの居場所フェスタ第 1 回目ミーティング実施

・JA 共済連寄贈アンケート取りまとめ

・第 7 回九州・沖縄のこども食堂がつながる研修会

【7 月】　・子どもの居場所サマーフェスタ開催(約 300 名来場)

【8 月】　・台風発生時コープ物資受取り

・神原小×居場所、調理体験教室 in 太陽食堂

【9 月】　・居場所個別支援につて共有会議

【10 月】　・KFC 調理実習(10 団体参加)

・沖縄タイムスチャリティーイベント「ちる FES」ブース出店

・沖縄大学ボランティア講座居場所 3 団体登壇

・ボランティア基礎講座@協働プラザ

・ファンケル子どもの居場所食育講座実施

【11 月】　・若狭地域連携会議参加

・沖縄県居場所ネットワーク居場所ゆんたく会

・ONETEAM 意見交換会(九州・沖縄)

・おろく地域福祉まつりに居場所でフリーマーケットブース出店(居場所 6 団体)

【12 月】　・物資譲渡会(1 回目)

【1 月】　・若狭地域連携会議参加

・居場所、資金造成意見交換会(みつばち・in 那覇・HSC)

【2 月】　・内閣府沖縄振興局視察対応

・農林水産省政府備蓄米意見交換会

・県社協主催居場所全体連絡会

・ファンケル子どもの居場所食育講座　・物資譲渡会(1 回目)

【3 月】　・子どもの居場所代表者連絡会

・若狭地域連携会議参加

・那覇市企画調整課寄付型ふるさと納税打合せ

・山形県議会居場所ヒアリング対応

5. サポートセンター糸からの情報発信

① 居場所向けの発信

・物資寄贈・助成金情報・研修会情報など　メール 352 件・LINE182 件

・なは子どもの居場所ネットワークのウェブサイトを作成し、子どもの居場所を利用したい方向けの情報、子どもの居場所への寄付寄贈などの支援方法、子どもの居場所を立ち上げたい方へのフロー、子どもの居場所で活用できる助成金情報、糸からの SNS などを一括して見えるようにした。

https://7766kodo.wixsite.com/78kodomo　　糸ホームページ→

② 居場所以外への発信

Facebook 45 投稿、Instagram 37 投稿、X0 投稿、社協だより毎月 1 ～ 6 本

6. 必要な支援のコーディネート

(1)人的支援(ボランティアマッチング)　8 件⇒14 人

(2)物的支援

①居場所への物資支援回数⇒約 717 件(物資譲渡会 2 回含む)

②物資寄贈受入件数→130 件

内訳：企業延べ件数：78 件/個人延べ件数：42 件/市民団体・その他 10 件

＊その他定期寄贈：8 件

・バナナ　週 2 回　1～8 箱/回（那覇青果物卸商事業協同組合）

・沖縄そば麺　月 1 回 150 袋（沖縄製粉株式会社）

・たまご　希望数注文 週平均 3 箱（株式会社安室養鶏場）

・野菜・果物　週 2 回　3～8 箱/回(有限会社サニー沖縄)

・ソデイカ 数か月 1 回約 25 kg(糸満漁業協同組合)

・冷凍チキン　週 1 回（ケンタッキーフライドチキン小録店、壷川店）
　※後述デモンストレーション後、2 月より提供店舗を 2 店舗に拡大

・牛丼　月 1 回　130 食　(吉野家)那覇東バイパス国場店にて居場所スタッフが受取

・フードドライブ 週 1 回収(郵便局 36 カ所→近隣居場所、糸は内 3 カ所)

(3)寄付件数・総額

	一般寄付件数	沖銀 Smart	合計件数	総額(円)
4 月～6 月	23	61	84	140,461
7 月～9 月	19	47	66	101,211
10 月～12 月	27	0	27	5,810,206
1 月～3 月	25	35	60	4,775,126
合計	94	143	237	10,827,004

※スマートフォンアプリによるネット募金「沖銀 smart」は通年ではなく期間が設定されており、10 月～12 月は実施されていない。
※台湾に系列本社を置く永寶株式会社より、物資(米 10 トン、そうめん 60 箱)を除く現金 6,500,000 円の寄贈を受け、子ども食堂等への手厚い支援をいただく

・R5 年度こども食堂保険料
こども食堂保険加入団体　計 46 団体　/　年間合計保険料　282,580 円
いただいた寄付を財源として、令和３年度よりネットワーク全体で子どもの居場所活動中の事故や食中毒のトラブルに対応できる子ども食堂保険に一括加入している。
糸が取りまとめることで加入団体に関しては無保険で活動する居場所がなくなり、子どもたちの安心安全につながっている。

(4)企業との連携
- 6 月：沖縄ファミリーマートと那覇市社協との合意書締結により、市内店舗にフードドライブボックスが設置され、困窮者支援と併せて子ども食堂等への物資提供はじまる
- 7 月：食支援協を通じたロッテアイス 150 ケース寄贈の際、搬入・一時保管場所として那覇地区漁協の冷凍倉庫(那覇市泊在)を無償提供いただいた
- 8 月：市内各コープ店舗から、台風等の影響により消費期限が迫った食品を近隣の居　場所に提供(店舗受取)いただいた
- 9 月：コープ各店舗によるフードドライブ(組合員)活動で食品等の提供があり、糸にて回収・居場所へ提供。今後を見据え受け取りの仕組み作りに着手。社協糸と 5 店舗それぞれのネットーワーク(LINE オープンチャット)開設
- 9/15 琉日新ミートフーズ(南風原町)
  →自社ブランド金アグーの冷凍餃子 1,000 個の寄贈。←定期寄贈予定
- 10/24 ケンタッキー・フライド・チキン
  →那覇市内外の子どもの居場所 10 団体がデモンストレーションに参加。
- 安全、食材提供を考慮した同社方針による実習・講座で親子丼とカレーを調理。
- これを契機に提供店舗の拡大された(壺川店と首里末吉店)。
- 12 月三井住友海上火災保険株式会社
  →クリスマス用お菓子 10 万円分寄付。社協子ども食堂にいただいた寄附金 10 万円の合計 20 万円分のお菓子(2,000 個)を購入した
- 12 月沖縄ファミリーマート「地域ド密着プロジェクト」
  →寄付付き商品の売り上げ一部(150 万円)を寄付いただいた
- 1/27　イオンキッズ
  →イオン琉球の SDGs の取組の一つであるイオン那覇チアーズクラブのフードドライブ活動で集めた物資を提供いただいた。みいぐすく食堂にもボランティアとして参加
- 2 月コープおきなわ
- コープおきなわ市内各店舗、共同購入浦添センターより多くの物資寄贈を受ける
- 2/28　那覇商工会議所青年部・なはめしグランプリ無料食事券 17 万円分寄贈

（5）沖縄の子ども達の命を守る支援事業（令和5年4月～令和6年3月）
NPO法人からの委託事業、新規・単年度事業

1．事業目的・概要

休眠預金等活動事業を使った子どもの居場所助成事業。沖縄県内の団体・法人を対象にした、食支援と学習支援機能を持った事業型の子どもの居場所運営事業の助成制度（事業）を作り、その事業を実行する団体（実行団体）の公募、採択、活動の伴走支援を通じて、実行団体の組織力強化や自走につながる運営支援と、困窮環境にある子どもたちの受け皿づくりを進める事業である。

その事業において、実行団体を支援するプログラムオフィサー（PO）の業務を、那覇市社会福祉協議会が業務委託を受けた。

【委託概要】

・単年度委託事業　予算2,299,200円（消費税込）
・委託元　（資金分配団体）非営利活動法人困窮者支援ネットワーク
・委託元が活用しているベース事業
　休眠預金等活用事業　2022年度　新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠
・業務委託期間：2023年4月1日～2024年3月31日
・委託業務内容：助成金（1団体あたり最大1100万円）を活用して子どもの居場所を運営する8団体の実行団体への運営助言など伴走支援を担うプログラムオフィサー（PO）の業務

2．業務内容・実績（件数、主な抜粋）

①実行団体公募・申請・契約の支援　15日
・申請団体ヒアリング、公募審査会、内定団体オリエンテーション

②実行団体との定例ミーティング・相談支援・伴走支援　67件
・月次進捗共有ミーティング、法人化・コンプライアンス相談、個別支援スーパーバイズ

③研修会の企画・開催共催　19回
・ガバナンス規定類勉強会、助成金活用勉強会、ケンタッキー・フライド・チキン調理実習居場所防災研修、市民向け居場所ボランティア養成講座、大学生向け出前事業

④関係機関との意見交換、企画、視察受け入れ、物資寄贈・支援調整　117件
・那覇市保護管理課との調整、農水省意見交換、内閣府意見交換、山形県議会視察受け入れむすびえ、キッズドア、全国食支援活動協力会、県外居場所ネットワークとの意見交換チャリティーオークション、ロッテアイス寄贈、永寶株式会社によるお米寄贈

⑤委託元団体、助成元団体とのミーティング・調整　17件
・困窮者支援ネットワーク／JANPIA担当者との月次ミーティング

（6）子どもの居場所・困窮世帯等支援事業（令和５年４月～令和６年３月）

（1）事業目的・概要

子どもの居場所を支援したい、子どもの為に寄付したい、困っている人のために寄付したいなどの社会的ニーズに応えるために、那覇社協全体の寄付とは別に「子どもの居場所・困窮世帯等支援事業」として目的別寄付の受け皿を整備。寄付金を用いて、居場所や困窮世帯支援に必要となる食品や食材、備品などを購入して支援していく。

また、那覇社協が窓口となって受け入れた、居場所を対象にした助成事業の受け皿としても活用していく。

（2）本年度の主な実績と取り組み

①寄付受付

令和５年度：237 件/10,827,004 円

令和４年度：316 件/991,138 円

令和３年度：182 件/1,443,471 円

②主な取り組み】

・こども食堂保険としての助成

子どもの居場所活動（けがや食中毒）に関する保険を、糸が窓口となって団体保険として加入している。対象は、希望するなは子どもの居場所ネットワーク加盟団体。

保険加入の子どもの居場所　46 団体/保険料計 282,580 円円

③法外援護

「ふれまち事業の推進ふれあい相談室」を通して支援。

支援内容	件数	品数及び金額
法外援護貸付	22 件	659,000 円

11. 介護サービス事業の推進

（1）介護保険居宅介護支援事業所の経営

居宅介護支援事業

【目的及び運営方針】

介護保険法令に従い、ご利用者が居宅において、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営む事が出来るように支援する事を目的としてサービスを提供します。

ご利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように配慮し、ご利用者の選択に基づき、適切な保険、医療、福祉サービスが、多様な事業所から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行います。

【職員体制】

管理者（常勤兼任）1名

常勤専従介護支援専門員　2名（うち1名　令和5年4月　新採用）

【事業計画及び実施状況】

①定期的にミーティングを行い情報の共有化を図ります。（報告、連絡、相談）

⇒定期的（木曜日午前中）にミーティングを行い、各担当の利用者の現状報告及び課題等を全体で共有していきました。

②定期的に勉強会を行うと共に、計画的研修を行い自己研鑽に努めます。

⇒今年度が、集合による研修の機会も増えました。しかし、計画通りには外部研修を受講する事が出来ませんでした。次年度は、より計画性を持って資質向上に努めます。

③年2回（3月と9月）の自己評価、年1回の事業所評価を行います。

⇒年2回自己評価を通して自己覚知を行い、各自の立てた年度目標が達成できるように面談を通して振り返りを行いってきました。次年度は、年2回の自己評価について全員行なう事で課題点の明確化する事で資質向上が図れる様に取り組みます。

④地域包括支援センター、介護保険施設、介護支援専門連絡会（県、市、小禄地区）等と連携を取り質の向上を図ります。

⇒今年度も介護支援専門員那覇支部での情報交換や研修会の企画等に関わってきました。又小禄地区主任介護支援専門員連絡会や連携を図っている3法人事業所とも研修や情報の共有化を図りました。

＊沖縄県介護支援専門員連絡会那覇支部　第3金曜日 15時~17時　當山清太参加

＊小禄地区主任介護支援専門員連絡会：奇数月 15時半~17時半　伊芸参加

⑤介護保険法及び関係諸法令、通知を遵守します。

⇒定期的な勉強会や外部研修（オンライン研修等）の中で関係法令等の研修の場をもち、理解に努めました。今後も継続して学び法令順守に努めていきたいと思います。

⑥特定事業所加算Ⅱをとり、介護保険等の進捗会議を定期的に実施する事で、事業経営の分析、改善を行い事業の安定化を図っていきます。

⇒令和４年度末に１名退職に伴い、受け持つケースを他法人へ引き継ぐ事となってしまった。令和５年度１名の正規職員を採用し、少しずつだが受け持ちの件数も増やすことが出来ている。令和６年度は、各職員の受け持ち件数を増やすための取組みや令和６年４月より適正に「特定事業所加算Ⅲ」を算定する事で経営改善に向けて取り組みます。

【研修参加一覧表】

研　修　内　容	主催者	場　所	日　時	時　間	参　加　者
ケアマネに求められるプロ集団の監督的な役割を果たすための意識と技術の向上を図る	第一法規株式会社	ZOOM オンライン	9月20日（水）	14時～16時	伊芸ふみえ
令和５年度介護保険制度改正 令和６年度報酬改定に向けた準備	沖縄県介護支援専門員協会	ZOOM オンライン	9月27日（水）	9時半～12時まで	伊芸ふみえ 當山清太
要援護者の災害避難に関する現状と課題を把握して BCP 作成に活かす	沖縄県介護支援専門員協会 那覇支部	ともかぜ振興会館	10月8日（金）	10時～16時まで	伊芸ふみえ 嶺井秀治 當山清太
一つ上を行く介護支援専門員であるために　～知っておきたい資料や規定～	沖縄県介護支援専門員協会 那覇支部	さわふじ未来ホール	12月8日（金）	10時～16時まで	伊芸ふみえ 嶺井秀治 當山清太
ICT を活用した業務効率化の研修 ～ケアマネジメントの質の確保、業務効率化を図りましょう	沖縄県介護支援専門員協会	ZOOM オンライン	1月15日（月）	14時～17時	伊芸ふみえ
厚生労働省　令和５年度 BCP 策定支援セミナー	厚生労働省	ZOOM オンライン	1月24日（水）	15時半～17時	伊芸ふみえ
沖縄県介護支援専門員研究大会in 那覇	沖縄県介護支援専門員協会	ZOOM オンライン	1月27日（土）	10時半～17時	伊芸ふみえ
「認知症のリハビリテーション」研修会	沖縄県介護支援専門員協会	ZOOM オンライン	1月30日（火）	13時～15時40分	伊芸ふみえ
現場のカスタマーハラスメント対策を本気で考える	沖縄県介護支援専門員協会	ZOOM オンライン	2月7日（水）	10時～16時	伊芸ふみえ
福祉サービスに関する苦情解決セミナー	沖縄県福祉サービス運営適正化委員会	浦添市社会福祉センター	3月7日（木）	12時半～16時35分	當山清太

（２）介護保険指定通所介護事業の経営

デイサービスあしびなー（指定通所介護事業、介護予防・日常生活支援予防事業）

①目的

介護保険法令に基づき、指定通所介護事業の適正な運営を確保し、通所介護職員等が、要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように適切な指定通所介護を提供することを目的とする。

②事業方針

ア．要介護状態等の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、さらに利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的・精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護その他必要な援助を行なう。

イ．事業の実施にあたって、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

③職員体制 11 人体制で月間勤務にもとづくシフト勤務（R6 年 3 月 31 日現在）

ア．管理者・主任１名（常勤兼務）

イ．看護師２名（常勤兼務１名、非常勤兼務１名）

ウ．生活相談員４名（常勤兼務４名）

エ．介護８名（常勤専従２名、常勤兼務５名、非常勤専従１名）

オ．機能訓練指導員（常勤専従１名）

④事業計画

ア．介護職員等処遇改善計画（介護職員処遇改善加算Ⅰ）

介護職以外職員は、介護報酬改定分及び事業所加算収入から一時金支給

イ．事業所サービス向上の取り組み

職場内での勉強会、外部研修の参加。インターネット研修の充実。多職種連携を行いサービス向上に取り組んだ。

ウ．活動（プログラム）の見直し、充実。

各種教室（三線・書道）に加え、音楽療法士による音楽レクの実施。クラブ活動（絵画・アート・スポーツ・コーラス）の実施。又、季節に合わせたイベントを行うことで利用者様の日々の活動の活性化を図った。

エ．加算算定項目

・サービス提供体制強化加算Ⅰ
・入浴加算
・運動器機能向上加算
・介護職員処遇改善加算Ⅰ
・個別機能訓練加算Ⅰ（イ）
・個別機能訓練加算Ⅱ
・科学的介護推進体制加算
・口腔ケア機能向上加算Ⅱ

オ．介護福祉士実習生及び、インターンシップ・ボランティアの受入れ

・真和志高校１年次２名受け入れ
・ボランティアバンド演奏（ふれあいバンド）受け入れ

カ．その他

・園児交流会（すがやま保育園）

⑤一日の活動

時間	活動	内　容
8時30分	送迎車出発、	送迎車両5台で、利用者宅へお迎え
9時45分	全車到着	ゆっくりお茶を飲みながらバイタルチェック ※バイタルチェック後入浴
10時15分	朝の会 体操開始	利用者数点呼にて確認 体操基本姿勢・柔軟運動・ボールやセラバンドを使用した筋力トレーニング・ビデオを取り入れた口腔体操・脳トレ
11時30分	食事前の休憩	体操終了後のトイレ休憩や、水分補給。
11時45分	昼食 余暇時間	委託業者3社より週代わりでお弁当を提供します。 ご希望にて休憩、計算パズル、脳トレ、手工芸、カラオケ、塗り絵などをして過ごす時間です
14時00分 ～15時00分	教室	講師を招き楽しく学びます。 毎週水曜日：三線教室、　隔週月曜日：音楽レク、 隔週金曜日：書道教室
14時00分 ～15時00分	レクリエーションゲーム	ゲームを通して楽しく身体を動かし心身のリフレッシュ コーラスクラブ・絵画クラブ・スポーツクラブ・アートクラブ・日替わりレク
15時00分	おやつタイム	おやつを召し上がり、カラオケを楽しみます
15時15分	カラオケタイム 整容の時間	できるだけ多くの利用者にカラオケを楽しんでいただく。 爪きりや、マニキュア塗りを行いコミュニケーション。
16時00分	デイ終了	送迎車両へ案内、ご自宅へお送りします。

⑥主な行事

月	内　容
4月	三線教室4回・書道教室2回・音楽レク2回・コーラスクラブ1回・絵画クラブ1回・全体おやつ会・ミニドライブ
5月	三線教室3回・音楽レク2回・書道教室2回・コーラスクラブ1回・スポーツクラブ1回・絵画クラブ1回
6月	三線教室4回・音楽レク2回・書道教室2回・アートクラブ1回・コーラスクラブ1回・スポーツクラブ1回・絵画クラブ回
7月	三線教室4回・音楽レク2回・書道教室2回・コーラスクラブ1回・スポーツクラブ1回・アートクラブ1回・絵画クラブ1回
8月	三線教室4回・書道教室2回・音楽レク2回・絵画クラブ1回・スポーツクラブ1回・コーラスクラブ1回・アートクラブ1回
9月	音楽レク2回・書道教室2回・三線教室4回・敬老会（デイルームにて）・生年祝い（デイルームにて）・生け花会
10月	三線教室4回・音楽レク2回・書道教室2回・スポーツクラブ1回・アートクラブ1回・絵画クラブ1回・コーラスクラブ1回
11月	三線教室4回・音楽レク2回・書道教室2回・絵画クラブ1回・アートクラブ1回・スポーツクラブ1回・コーラスクラブ1回
12月	忘年会2回・クリスマス会1回・三線教室4回・書道教室1回 音楽レク2回・紅白歌合戦1回

1月	餅つき会1回・三線教室4回・書道教室2回・音楽レク1回・スポーツクラブ1回・アートクラブ1回・絵画クラブ1回
2月	節分1回・三線教室4回・書道教室2回・音楽レク2回・スポーツクラブ1回・絵画クラブ1回・アートクラブ1回・コーラスクラブ1回
3月	ひな祭り会1回・三線教室4回・書道教室2回・音楽レク2回・絵画クラブ1回・スポーツクラブ1回・コーラスクラブ1回・スポーツクラブ1回・ミニドライブ

⑦研修会

日時	研修名	主催	場所	参加者
6月15日	管理者の役割「実地指導」から「運営指導」へ	ネットワークなは	那覇市総合福祉センター2F大会議室	大城純
10月21日	認知症介護基礎研修	沖縄県	産業支援センター2F 会議室大	武川純平
10月19日	生活相談員研修	ネットワークなは	ともかぜ会館2F	玉那覇公美
12月12日	個別避難計画策定を視野に入れた備えの取り組み	ネットワークなは	那覇市総合福祉センター1F母子センター	大城純
2月14日	職場のカスタマーハラスメント対策を本気で考える	沖縄県介護支援専門員協会	ZOOM研修	大城純
3月7日	福祉サービスに関する苦情解決セミナー	沖縄県福祉サービス運営適正化委員会	浦添市社会福祉センター大研修室	大城純

⑧職員研修（お茶の水ケアサービス学院）　オンライン受講

毎月最終金曜日業務終了後に実施

事故発生時及び発生予防について
高齢者虐待について
法令遵守について
身体拘束
認知症及び認知症ケア
安全運転者講習
緊急時、災害時において
倫理について
ハラスメント研修
プライバシーの保護

⑨実習生受入れ　8月31日相談援助実習　沖縄国際大学2名、日本総合研究所2名

⑩職場実習11月6日～11月10日　5日間　いじゅの木　1名

⑪介護実習7月24日～8月2日　8日間　真和志高校　2名

⑫通所介護ネットワークなはへの参画

月日	内容	場所
5/24、6/25、7/22、12/12、2/17、3/8	ネットワーク幹事会	ミーテイング室

⑬車両事故報告書　4件

苦情報告書　1件

ヒヤリハット報告書　4件

事故報告書（転倒など）6件

（３）介護保険指定訪問介護事業の経営

ホームヘルプステーションわかば

（指定訪問介護事業）

（指定旧介護予防訪問介護相当サービス事業）

（指定訪問型サービスＡ事業）

①目的

介護保険法令に基づき、指定訪問介護事業の適正な運営を確保し、訪問介護員が要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように適切な指定訪問介護を提供することを目的とする。

②事業方針

ア．利用者の心身の特性を踏まえて、居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況に応じた介護等、その他生活全般にわたる援助を行なう。

イ．事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

③職員体制

ア．管理者　主任　　１名（サービス提供責任者兼務）

イ．サービス提供責任者　８名（副主任含む　常用職員）

ウ．常勤ヘルパー　　１名（常用職員）

エ．登録ヘルパー　　４４名（パート　令和６年３月末現在）

オ．介護事務　　２名（パート）

※今年度新規採用登録ヘルパー　６名

※今年度退職ヘルパー　５名

④事業計画及び実施

ア．「特定事業所加算Ⅱ」（介護報酬10%加算）、初回加算、緊急時加算

⇒サービス提供責任者と訪問介護員の連絡・報告等の会議開催や研修実施

イ．介護職員処遇改善計画（介護職員処遇改善加算Ⅰ）

⇒サービス提供責任者及び訪問介護員へ手当て及び一時金支給(毎月)。

ウ．『那覇市生活支援訪問型サービス従事者養成研修（介護予防・日常生活支援総合事業)』

⇒今年度は１回実施。わかば職員(正規職員１名)が講師を務めた。

＊実施日：　令和５年10月24日(火)～26日(木)

エ．所内カンファレンスの開催　⇒　登録ヘルパーへの伝達や介護技術等の指導を実施。

オ．学習会の開催

⇒今年度は感染対策を継続させながら対面での学習会を再開。５月、７月、９月、10月、11月、12月、１月、２月３月実施。

⑤行事の開催

ア．お誕生日プレゼント

⇒フェイスタオル(事業所名入り)　“お誕生日おめでとう”メッセージカードを添付

イ．訪問介護利用者様への「サービス内容に関するアンケート調査」

⇒令和６年２月～３月実施　67 件配布、33 件回答、回答率 49,2%

※介護保険わかば利用者の集いは人手不足などの観点から今年度も実施できず。

⑥研修会への参加状況

研修内容	主催	場所	開催日	参加者
ちゅいしーじー那覇スクラム塾「訪問看護」	那覇市医師会	オンライン(ZOOM)	5/18	金城優子 佐藤三夏 亀山晴美 知名力
ちゅいしーじー那覇スクラム塾「訪問薬剤」	那覇市医師会	オンライン(ZOOM)	7/20	金城優子
ちゅいしーじー那覇スクラム塾「訪問介護」	那覇市医師会	オンライン(ZOOM)	9/21	金城優子
ちゅいしーじー那覇スクラム塾「訪問リハビリ」	那覇市医師会	オンライン(ZOOM)	11/16	金城優子
ちゅいしーじー那覇スクラム塾「訪問歯科」	那覇市医師会	オンライン(ZOOM)	R6.1/18	金城優子
第 23 回明日の沖縄の地域医療を考える会	南部地区医師会	オンライン(ZOOM)	10/13	金城優子
認知症ライフサポート研修	那覇市ちゃーがんじゅう課	那覇市保健所	12/2	城間李恵子 佐藤三夏
新任研修　片野坂樹里	ホームヘルプステーションわかば		4/4	研修担当 金城優子 長浜真弓
新任研修　島尻　誠	ホームヘルプステーションわかば		5/10	
新任研修　福仲汐里	ホームヘルプステーションわかば		6/24	
新任研修　源河厚子、新垣 雅	ホームヘルプステーションわかば		9/6	
新任研修　上原哲郎	ホームヘルプステーションわかば		9/25	

⑦学習会　（障害福祉サービス職員合同）

開催日	内　　容	参加者
4 月 個別面談	≪令和５年度介護職員処遇一時金の説明、一年の振り返り、自己評価≫	50 名
5/25 社協	≪熱中症対策について、食中毒の理解と予防、感染症対策≫	41 名
6 月	開催中止	―名
7 月 社協	≪個人情報の取り扱いについて≫（自己学習、資料配付）	41 名

8月	開催中止	一名
9/28 社協	≪リスクマネジメント（事故防止対策）、ヘルパーの職業倫理と法令遵守について、ケアカルテシステム…メールの入力方法≫	26名
10/30,31 社協	≪認知症と認知症ケアについて≫ 映画「ペコロスに会いに行く」(認知症についての資料配付)	23名
11/29,30 社協	≪障がい者の虐待防止、身体拘束の禁止について≫ （訪問介護ネットワークなは研修の動画視聴）	17名
12/21 社協	≪救命救急法、介護技術何でも相談会≫	33名
R6.1/17 社協	通所介護・訪問介護ネットワークなは合同研修 ≪精神疾患を抱えた方への対応方法≫	19名
R6.2/22 社協	≪調理実習≫　「ある食材で何が作れるか？」	34名
R6.3/23 社協	≪局長講話「ホームヘルプステーションわかば24年の歩み≫	45名

⑧実習生受け入れ

※沖縄リハビリテーション福祉学院…実習日程合わず受け入れ未実施。

※介護労働安定センター…開催無し

実習機関	研修名	日程	参加者
介護労働安定センター	補足講習「サービス提供責任者とは」 （講師として参加）	R5.11/17	金城優子 長浜真弓 山城あかり

⑨南部地区社会福祉協議会連絡協議会（業務担当者連絡会）　担当：那覇市社協

日程	開催地	内　容	参加者
8/23	那覇市	① 台風6号発生時の取り組みについて（BCP計画） ② 個人情報の取り扱いについて	西銘明子 金城優子
11/21	那覇市	① アルコールチェックの義務化について	西銘明子 金城優子
R6.2/20	那覇市	① ヘルパーの教育、育成について ② 制度改正の情報交換	金城優子 長浜真弓

⑩ネットワークなはへの参画

月日	内容	場所	参加者
6/21	総会及び研修 「登録ヘルパーとの信頼関係づくり」	ともかぜ振興会館	金城優子 長浜真弓
11/20	「虐待・身体拘束防止に関する研修会」	ともかぜ振興会館	金城優子 山城あかり 城間源生
12/12	訪問介護・通所介護ネットワークなは合同研修	ともかぜ振	金城優子

	「福祉サービス利用者の命と暮らしを守るために」 ～個別避難計画策定を視野に入れら備えの取り組み～	興会館	
R6.2/17	訪問介護・通所介護ネットワークなは合同企画 「第１回　かいご・福祉就職フェア」	ともかぜ振 興会館	金城優子 長浜真弓

⑪わかば定例会（サービス提供責任者）
⇒隔週火曜日 10：00～12：00（日程変更あり）全２４回開催
内容（新規受付利用者、制度改定や学習会、実績、行事・連絡・報告・相談、その他）

⑫ちょこっと会議（課長、各事業の主任・副主任）⇒月曜日 16:30～17:15（日程変更あり）
内容（業務調整会議及び課長会議などからの伝達、各事業の報告など）

⑬介護保険・障害福祉サービス等経営検討会議 →1回/月 13：30～14：30（日程変更あり）
参加者（常務、局長、総務、課長、各事業の主任・副主任）
内容（各事業の実績報告及び分析、課題と改善策など）

⑭新型コロナウイルスによる感染対策
＊令和５年５月より５類相当へ変更に伴い、ヘルパーの健康自己管理チェックシート(検温、体調確認など)の提出は終了とした。
＊那覇市より提供のあった抗原検査キットをヘルパーへ配布し自己管理としている。
＊利用者への検温やマスク着用も任意とし、非接触型体温計の使用も任意とした。

⑮アルコールチェックの義務化
訪問介護事業によるアルコールチェックの義務化に伴い、アルコールチェッカー配布とアプリ導入により、出勤前、退勤後のアルコールチェックを開始。

⑯資格取得を推進し派遣調整等行った。
令和６年３月介護福祉士　１名合格
令和６年３月社会福祉士　２名合格

⑰能登半島地震における災害救援ボランティア派遣
※沖縄県介護福祉士会より派遣依頼あり金城優子参加
日程：令和６年２月 10 日(土)～2 月 14 日(水)
場所：石川県金沢市　いしかわ総合スポーツセンター施設避難者一時待機ステーション

⑱ヒヤリハット報告件数　２件

⑲事故報告件数　３件

⑳苦情報告件数　２件

（4）障がい福祉サービス事業の経営

ホームヘルプステーションわかば（居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護）

①目的

障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービス事業の適正な運営を確保し、居宅介護員等が利用者に対し、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように必要な居宅介護及び重度訪問介護・同行援護・行動援護を適切に提供することを目的とする。

②事業方針

ア．利用者が居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、心身の状況に応じた介護等、その他生活全般にわたる援助、外出時における移動中の介護並びに生活等に関する相談及び助言を適切に行う。

イ．利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努める。

ウ．事業の実施にあたっては、地域との結びつきを重視し、関係市町村、保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

③職員体制　（指定訪問介護事業再掲）

ア．管理者　主任　　1名（サービス提供責任者兼務）

イ．サービス提供責任者　8名（副主任含む　常用職員）

ウ．常勤ヘルパー　　1名（常用職員）

エ．登録ヘルパー　　44名（パート　令和6年3月末現在）

オ．介護事務　　2名（パート）

※今年度新規採用登録ヘルパー　6名

※今年度退職ヘルパー　5名

④事業計画及び実施

ア．「特定事業所加算Ⅱ（介護報酬10%加算）」、「初回加算」、「緊急時加算」

⇒サービス提供責任者と居宅介護員の連絡・報告等の会議開催や研修を実施した。

イ．介護職員等処遇改善計画（介護職員処遇改善加算Ⅰ）

⇒サービス提供責任者及び訪問介護員へ手当て及び一時金支給。（毎月）

ウ．所内カンファレンスの開催　⇒ヘルパーへの伝達等を行った。

エ．学習会の実施

⇒今年度は感染対策を継続させながら対面での学習会を再開。5月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、2月3月実施。

⑤行事

ア．お誕生日プレゼント

⇒フェイスタオル(事業所名入り)　“お誕生日おめでとう”メッセージカードを添付

イ．障害福祉サービス利用者様への「サービス内容に関するアンケート調査」

⇒令和6年2月～3月実施　109件配布、36件回答、回答率33%

※障害福祉サービスわかば利用者の集いは人手不足などの観点から今年度も実施できず。

⑥研修会の実施状況

研修内容	主催	場所	月日	受講者
行動援護従事者研修（基礎研修、実践研修）	(株)ヒポクラテス	オンライン(ZOOM)	7/1、2、29、30	亀山靖美
福祉有償運送運転者講習	(有)フクシライフ	沖縄産業支援センター	10/28	山城あかり
令和５年度障がい者防災ミーティング	沖縄県身体障害者福祉協会	南風原町立中央公民館	R6.2/27	金城優子
訪問介護・通所介護ネットワークなは合同研修「精神疾患を抱えた方への対応方法」	訪問介護・通所介護ネットワークなは	社協会議室オンライン(ZOOM)	R5.1/17	学習会として全サ責、ヘルパー数名参加
福祉サービスに関する苦情解決セミナー	沖縄県福祉サービス運営適正化委員会	浦添市社会福祉センター	R6.3/7	金城優子

⑦学習会

介護保険事業訪問介護と合同で行った。

⑧わかば定例会（サービス提供責任者）

⇒隔週火曜日 10 時～12 時（日程変更あり）全２４回開催

内容（新規受付利用者、制度改定や学習会、実績、行事・連絡・報告・相談、その他）

⑨ちょこっと会議（課長、各事業の主任・副主任）⇒毎週月曜日 16:30～17:15（日程変更あり）

内容（業務調整会議及び課長会議などからの伝達、各事業の報告など）

⑩介護保険・障害福祉サービス等経営検討会議 ⇒月１回　13:30~14:30（日程変更あり）

参加者（常務、局長、総務、課長、各事業の主任・副主任）

内容（各事業の実績報告及び分析、課題と改善策など）

⑪資格取得を推進し派遣調整等を行った。

令和６年３月介護福祉士　１名合格

令和６年３月社会福祉士　２名合格

⑫新型コロナウイルスによる感染対策

＊令和５年５月より５類相当へ変更に伴い、ヘルパーの健康自己管理チェックシート(検温、体調確認など)の提出は終了とした。

＊那覇市より提供のあった抗原検査キットをヘルパーへ配布し自己管理としている。

＊利用者への検温やマスク着用も任意とし、非接触型体温計の使用も任意とした。

⑬アルコールチェックの義務化

訪問介護事業によるアルコールチェックの義務化に伴い、アルコールチェッカー配布とアプリ導入により、出勤前、退勤後のアルコールチェックを開始。

⑭能登半島地震における災害救援ボランティア派遣

※沖縄県介護福祉士会より派遣依頼あり金城優子参加

日程：令和６年２月 10 日(土)～2 月 14 日(水)

場所：石川県金沢市　いしかわ総合スポーツセンター施設避難者一時待機ステーション

⑮ヒヤリハット報告件数　５件

⑯事故報告件数　１件

⑰苦情報告件数　３件

（５）移動支援事業の実施

ホームヘルプステーションわかば

①目的

障害者自立支援法に基づき、地域生活支援事業として、那覇市の受託により利用者が地域での自立生活及び社会参加を促進するため、指定ガイドヘルパー事業を適切に提供する。

②配置体制

ホームヘルプステーションわかば（居宅介護員・訪問介護員兼任）

③活動内容及び行事及び感染対策等及びアルコールチェック義務化等

介護保険訪問介護、障害福祉サービスと合同で実施。

（6）介護保険・障がい福祉サービス制度外サービスの実施

目的　介護保険法並びに障害者自立支援法では対応不可能なサービス援助について、利用者がその居宅において、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とし、利用者の居宅等に介護員が訪問し、食事・排泄・入浴等の介護、調理・洗濯・掃除・買い物等の家事援助、その他日常生活上の世話を提供する。

2023年（令和5年）度	件数	金額
実費合計	33件（53件）	778,740円（1,112,790円）

＊（　）は令和4年度の実績

（7）一般旅客自動車運送事業（福祉有償移送事業）の実施

リフト付き車両を運行することにより、身体障害者の生活圏を拡大し、もって社会福祉の増進を図ることを目的として実施。（平成17年12月1日より事業開始）

①利用対象者

・一般公共交通機関を利用することが困難な方。

・那覇市社会福祉協議会介護サービス契約者

②運行日時

ア．月曜日～金曜日（土・日・祝日は運休。）

イ．午前9時～午後4時

③運行体制

ア．リフト付き車両1台

イ．職員　1人（ヘルパー2級・自動車2種免許保持者）

④事業実績

利用件数		460件	運行日数	159日
運行キロ数		実車2,104＊	空車3,806＊	
内訳	通院	327件	買い物	63件
	公共施設	21件	その他	14件
	通学支援	43件		

（8）介護保険・障害福祉サービスの各事業関連

①実施事業

居宅介護支援事業所、デイサービスあしびなー（通所介護事業）、
ホームヘルプステーションわかば（訪問介護事業・障害福祉サービス事業）、
障がい者生活支援センターゆいゆい（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）

②介護保険・障害福祉サービス等経営会議の開催

※各事業における収支実績、事故、課題及び対策について協議。

回数	内　　容
第1回	日　時：令和5年4月10日（月）13時～14時 参加者：宮城常務、新垣局長、上原課長、伊芸課長、西銘主幹 大城主任、阿嘉副主任、金城主任 議　題：①令和5年度の目標の確認、抱負等 ②各事業担当からの進捗状況
第2回	日　時：令和5年5月8日（月）13時～13時45分 参加者：宮城常務、新垣局長、上原課長、伊芸課長、西銘主幹 上地主幹、當山主任、金城主任、大城主任、阿嘉副主任 議　題：①各事業の進捗状況と課題について ②新型コロナ感染症の自宅待機期間について 濃厚接触者の扱いがなくなった事について
第3回	日　時：令和5年6月5日（月）13時～14時半 参加者：宮城常務、新垣局長、上原課長、伊芸課長、西銘主幹 上地主幹、大城主任、阿嘉副主任、金城主任 議　題：①各事業の進捗状況について ②令和5年度の収支状況等について
第4回	日　時：令和5年7月3日（月）13時～14時半 参加者：宮城常務、上原課長、伊芸課長、西銘主幹 當山主任、大城主任、阿嘉副主任、金城主任、長浜副主任 議　題：①各事業の進捗状況と課題について
第5回	日　時：令和5年9月4日（月）13時～14時25分 参加者：宮城常務、新垣局長、上原課長、伊芸課長、西銘主幹 大城主任、阿嘉副主任、金城主任 議　題：①各事業の進捗状況と課題について ②事故報告について
第6回	日　時：令和5年10月2日（月）13時～ 参加者：川満会長、宮城常務、新垣局長、上原課長、伊芸課長、西銘主幹 上地主幹、當山主任、大城主任、阿嘉副主任、金城主任 議　題：①各事業の進捗状況と課題について ②職員募集について ③経営の在り方について
第7回	日　時：令和5年11月6日（月）11時～12時 参加者：川満会長、宮城常務、新垣局長、伊芸課長、西銘主幹 上地主幹、大城主任、阿嘉副主任、金城主任 議　題：①各事業の進捗状況、収支状況について ②事業目標のたて方について
第8回	日　時：令和5年12月18日（月）13時～ 参加者：宮城常務、新垣局長、上原課長、伊芸課長、西銘主幹 上地主幹、當山主任、大城主任、金城主任 議　題：①経営検討会議の在り方について

第9回	日　時：令和6年1月29日（月）13時～ 参加者：川満常務、宮城常務、上原課長、伊芸課長、西銘主幹、上地主幹 大城主任、阿嘉副主任、金城主任、長浜副主任 議　題：①職員（職員、登録ヘルパー等）育成について ②通所介護、訪問介護ネットワークの事務局の在り方について
第10回	日時：令和6年2月19日（月）13時～ 参加者：川満会長、宮城常務、新垣局長、伊芸課長、西銘主幹 當山主任、大城主任、阿嘉副主任、金城主任 議　題：①介護保険改正の動向について
第11回	日時：令和6年3月25日（月）13時～14時半 参加者：上原課長、伊芸課長、西銘主幹、上地主幹 當山主任、大城主任、阿嘉副主任、金城主任 議　題：下記の内容を確認 ①介護保険、障がい福祉サービス等事業経営検討会議要綱 ②所内事業点検実施要綱 ③処務規定　第17条　文書の保存種別及び保存期間の確認 ④次年度行う事 ⑤各事業年間計画書 ⑥公用車管理について

③虐待防止委員会の設置

回数	内　　容
第1回	日時：令和5年12月18日（月）14時～15時 参加者：宮城常務、新垣局長、上原課長、真栄城課長、伊芸課長、 高野課長、西銘主幹、上地主幹、當山清太、金城主任 議題：①虐待の報告内容、マニュアル等の見直しの進捗状況について ②虐待の報告と検討 ③職員研修の現状、研修の在り方について

④各種要綱等の策定

(1) 虐待防止委員会設置要綱（令和4年4月1日施行）

(2) 虐待防止に関する指針（令和4年4月1日施行）

(3) 身体拘束等適正化のための指針（令和4年4月1日施行）

(4) 身体拘束等適正化委員会設置要綱（令和4年4月1日施行）

(5) カスタマーハラスメントに対する行動指針（令和4年6月7日施行）

(6) 介護保険・障害福祉サービス等事業経営検討会議要綱（令和6年4月1日改正）

(7) 新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（令和6年4月1日施行）※各事業

(8) 業務継続計画委員会設置要綱（令和6年4月1日施行）

(9) 災害時の事業継続計画（令和6年4月1日施行）

(10) 感染症の予防及びまん延防止委員会設置要綱（令和6年4月1日施行）

(11) 所内事業点検実施要綱（令和6年4月1日施行）

※(6)～(11)は令和5年度に策定

１２．那覇市総合福祉センターの指定管理運営（市受託）

（１）総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターは、地域における福祉活動推進の中核である那覇市社会福祉協議会と各福祉団体の機能の充実強化、福祉ボランティアの育成強化を図り社会福祉センターと母子寡婦活動の拠点とした母子父子福祉センターを融合し、併せて地域の福祉施設としての老人憩の家・児童館の機能を併設し、子どもからお年よりまでの（世代間・地域間・障がい者と健常者）交流を行う地域福祉活動の拠点として下記の取り組みを実施した。

ア．那覇市社会福祉センターの事業を推進し市民の福祉の向上を図る

イ．那覇市母子父子福祉センターに関する設備・備品の維持管理

ウ．那覇市金城児童館の事業を推進し児童福祉の増進を図る

エ．那覇市金城老人憩の家の事業を推進し老人福祉の推進を図る

オ．那覇市ボランティアセンターの事業を推進しボランティア活動の充実発展を図る

カ．那覇市総合福祉センターに関する設備・備品の維持管理

キ．那覇市総合福祉センターの使用許可の申請手続き

ク．那覇市金城老人デイサービスセンター事業の推進

①利用状況　※別紙参照

②普通救命講習・AED 使用方法講習会）

日時：令和５年 10 月 19 日（木）

内容：那覇西消防署小禄出張所を講師にて開催

参加：24 名

③防災訓練の参加

ア．地震・火災避難訓練

日　時：令和６年２月 14 日（木）10：00～11：00

内　容：地震火災避難訓練の実施及び２次被害防止のためのセンター危険チェック等を行う。

参　加：入居６団体職員・老人憩の家利用者・児童館乳幼児及び保護者・デイサービス利用者　約 113 名

イ．火災避難訓練の実施

日　時：令和６年３月 12 日（火）15:45～16：15

内　容：火災避難訓練

参　加：入居６団体職員・老人憩の家利用者・児童館乳幼児及び保護者・デイサービス利用者　約 129 名

④総合福祉センター周辺清掃活動

ア．センター周辺清掃

日　時：令和５年７月７日（木）16：00～17：00　周辺清掃（入居団体及び利用者 103 名）　※なはの日清掃

日　時：令和５年 11 月 10 日（金）16:00～17:00　周辺清掃　※かなぐすく地域福祉まつり前清掃

イ．朝の清掃

日　時：毎月第２・第４月曜日に朝礼終了後に実施

参加者：社協職員　毎回約 15 名前後の参加

⑤施設機能を活かした地域貢献と地域づくり

福祉複合施設である総合福祉センター機能を活かし、地域貢献や地域づくり活動として、次の活動を行った。

ア．地域防犯パトロールの実施　※新型コロナ感染症流行の為中止（見直し検討中）

イ．金城公園里親愛護活動（憩の家グランドゴルフ同好会）。

ウ．「第14回かなぐすく地域福祉まつり」

日　時：令和5年11月18日（土）

内　容：令和5年8月24日（木）からまつり実行委員会を開催し実施した。金城憩の家及び金城児童館利用者だけでなく、前年度声を掛けなかった外部団体にも呼びかけ、総合福祉センター全体を使ったまつりを開催した。

参加者数：およそ1,800名

⑥清掃・保守管理業務　　※別紙参照

⑦修繕実施業務　　※別紙参照

⑧展示ホール・1階事務所前の活用

ア．民生委員の日　関連活動パネル展示　※未実施

イ．慰霊の日　関連パネルの展示　　令和5年6月13日（火）～22日（木）

ウ．憩の家デジカメサークル若竹写真展（常設）

エ．各種贈呈式や子ども食堂支援譲渡会等の開催

子ども支援や母子世帯支援の寄贈の贈呈式及び物資の譲渡会の開催。資金造成のためのサマーフェスタを新たに開催した。

オ．切手ボランティアの活動支援

会議スペースが限られていることから、切手ボランティア活動をホールで行うことがあった。

カ.その他

本会地域福祉課と連携した人権擁護のパネル展示会、那覇市と連携したマイナンバーカード登録会を新たに開催した。

⑨職員研修会の開催

日時	内容・講師	参加人数
令和6年3月26日(火)	リスク管理・個人情報・クレーム対応 講師：寺田明弘氏	15名

（2）金城老人憩の家の指定管理運営

那覇市総合福祉センターの1階に設置されている那覇市金城老人憩の家は、本会の福祉施設課長が金城老人憩の家所長を兼務し、相談員2名の計3名体制で事業を実施した。

＊詳細は、那覇市老人福祉センター及び老人憩の家指定管理運営参照

（3）金城児童館の指定管理運営

那覇市金城老人憩の家と同じく那覇市総合福祉センターの1階に設置されている金城児童館は、本会の福祉施設課長が金城児童館長を兼務し、児童厚生員4名配置による5名体制で事業を実施した。

＊詳細は、那覇市児童館指定管理運営参照

（4）ボランティア室の管理運営

ボランティア室は、本センター地下１階に設置されており、本会の那覇市社協ボランティア・市民活動センター職員が運営業務を行っている。老人デイサービスセンターと併用するため、月曜日～土曜日の午後７時 00 分～午後９時 30 分をボランティア貸出時間帯としていたが、新型コロナ感染症の流行から、外部貸し出しを中止しており、金城児童館の工作室を代替場所としている。

（5） 社会福祉センターの管理運営

市内の福祉団体に事務所を提供し、団体の円滑な福祉活動・事業を支援するとともに、団体間の交流連携の促進と、各団体職員が運営業務を行い、多様な福祉活動並びに総合相談機能を市民に提供し、市民への福祉増進に努めた。

① 福祉団体への事務所貸与の管理運営（入居７団体）

・社会福祉法人那覇市社会福祉協議会
・那覇市民生委員児童委員連合会
・公益社団法人那覇市母子寡婦福祉会
・那覇地区老人クラブ連合会
・那覇保護区保護司会
・那覇市手をつなぐ育成会
・那覇市金城児童クラブ

② 入居団体運営協議会の開催

入居団体間の連携と情報交換を持って福祉増進を図ることを目的に開催した。

ア．日　時：令和５年７月 11 日（木）　16:00～17:00

内　容：各入居団体の令和５年度事業内容について（入居団体・総合福祉センター）

・全体清掃について
・第 14 回　かなぐすく地域福祉まつりについて
・防災訓練等について
・その他（地下駐車場の使用、中学生転落事故経過、諸工事について）

③ 諸機関・団体への会議室等の提供業務

会議室の貸出を下記の通り実施した。

貸 出 日：月曜日～土曜日（但し、国民の休日・慰霊の日・12 月 29 日から翌年１月３日までの日は休み）

貸出時間：午前９時～午後９時

利用人数：全体 7,224 名

利用団体：今年度はエレベーター工事等の工事案件が多く、外部団体への貸し付けはなく、本会を含む入居団体の利用になった。

利用方法：２ヶ月前の初日より受付開始。利用希望日の貸出状況を確認して申請書を提出後、利用許可。

（6） 那覇市総合福祉センター及び識名及び小禄老人福祉センター・児童館に係るプロポーザル参加経緯

月日	内　容
令和５年 10月13日（金）	□指定管理者公募募集要項公開
11月13日（月）	□識名・小禄・金城３館共有会議
11月16日（木）	□地域福祉活動計画第３回ワーキングチーム会議にて指定管理の戦略報告を行う（局内会議）。
11月27日（月）	□会長・常務・局長及び各課長・主幹に事前プレゼンテーション
12月 7日（木）	□那覇市総合福祉センター指定管理応募・書類提出
12月 8日（金）	□那覇市小禄老人福祉センター及び児童館・那覇市識名老人福祉センター及び児童館指定管理応募・書類提出
12月27日（水）	□那覇市総合福祉センター指定管理プレゼンテーション
令和６年 1月11日（木）	□那覇市小禄老人福祉センター及び児童館・那覇市識名老人福祉センター及び児童館指定管プレゼンテーション
1月30日（火）	□那覇市小禄老人福祉センター及び児童館・那覇市識名老人福祉センター及び児童館指定管理候補者選定結果通知受理。
2月7日（水）	□那覇市総合福祉センター指定管理者候補者選定結果通知受理。
3月11日（月）	□指定管理に係る入札説明会
3月18日（月）	□那覇市老人福祉センター指定書受理。
3月19日(火)	□那覇市総合福祉センター指定書受理。
3月21日（木）	□指定管理に係る入札

（7）泡消火剤流出事故とその対応履歴

月日	内容
令和５年 7月17日（月）	午前10時10分、消防設備作業中に泡消火剤が漏出。１７分、泡消火剤の散布停止。
7月19日（水）	福祉部、環境部、社協にて緊急会議開催
7月28日（金）	㈱沖縄クリーン工業による雨水排水槽からの水の回収及び洗浄作業を行う（午後９時～１１時半迄）。作業に前に近隣住民への周知文書配布。
8月2日（水） ～11日（金）	台風６号による総合福祉センター停電。11日夕方に復旧する。
8月17日（木） ～19日（土）	センター利用者及び近隣住民へ経過報告文書を作成・掲示を行い。
9月29日（金）	泡消火剤消火設備の工事が終了するまでの「工事中の消防計画」を西消防署に提出・受理される。10型消火器７本を地下駐車場に追加設置。

2023年度　那覇市総合福祉センター利用状況

単位：人

施設名 / 月別	金城児童館	金城老人 憩の家					母子福祉センター	大会議室				ボランティアセンター			展示ホール	見学・その他		18:00～22:00								合　計	前年度実績
		大広間等	調理室		入浴	デイ入浴		9:00～17:00		17:00～22:00		デイサービス	ボランティア					図書室		工作室		遊戯室		和室			
4	2,766	697	0	0	0	367	149	3	507	0	0	676	0	0	0	2	28	0	0	1	48	1	64	0	0	5,302	4,683
5	2,743	1,029	0	0	0	383	192	3	498	1	18	714	0	0	2	3	22	0	0	1	32	1	86	1	10	5,729	4,482
6	2,733	1,156	0	0	0	350	205	2	547	1	19	680	0	0	1	1	16	0	0	0	0	1	88	0	0	5,795	5,329
7	3,010	1,084	1	5	0	322	167	4	603	0	0	583	0	0	1	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	5,795	5,250
8	2,180	648	1	3	0	252	259	2	482	0	0	489	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4,323	4,657
9	2,777	1,363	1	25	0	361	204	4	684	1	8	706	0	0	1	2	18	0	0	0	0	0	0	0	0	6,147	5,273
10	3,173	1,339	0	0	0	312	277	4	625	1	25	622	0	0	1	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	6,388	5,864
11	3,265	1,330	0	0	0	353	129	3	640	1	13	679	0	0	2	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	6,431	5,764
12	2,739	1,204	2	33	0	307	118	4	730	2	81	625	0	0	2	2	15	0	0	0	0	0	0	0	0	5,854	5,619
1	1,672	1,063	2	10	0	253	172	2	664	1	49	595	0	0	0	2	18	0	0	0	0	1	50	0	0	4,546	4,829
2	2,625	1,172	4	76	0	266	263	3	570	2	18	587	0	0	1	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	5,592	4,980
3	3,626	1,188	3	45	0	338	226	4	674	2	73	683	0	0	1	2	18	0	0	0	0	0	0	0	0	6,872	6,545
合 計	33,309	13,273	14	197	0	3,864	2,361	38	7,224	12	304	7,639	0	0	12	23	213	0	0	2	80	4	288	0	10	68,774	63,275
月平均	2,775.8	1,106.1	1.2	16.4	0.0	322.0	196.8	3.2	602.0	1.0	25.3	636.6	0.0	0.0	1.0	1.9	17.8	0.0	0.0	0.2	6.7	0.3	24.0	0.1	0.8	5,731	5,273

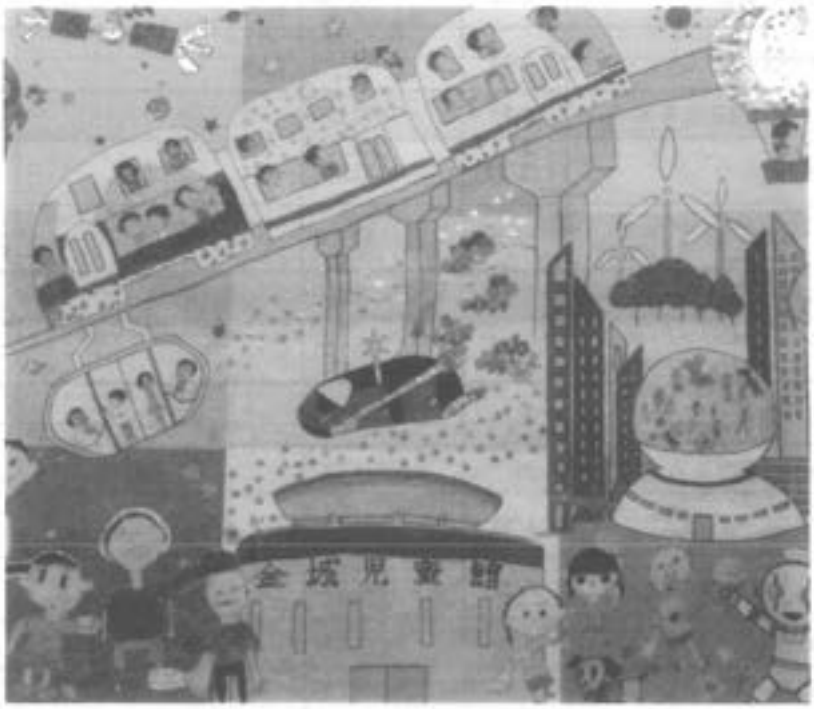
※グレー背景欄の数字は団体数を表す

令和5年度　指定管理運営事業等修繕費

NO	内容	日付	金額	業者	事業名
1	フラッシュバルブ取替工事	6/7	344,300		
2	高圧引込ケーブル復旧工事	8/9-10	3,772,230		
3	(地下駐車場)消火器追加設置	9/19	75,180		
4	燃料移送管及び配管取替工事	3/13	2,881,560		
	総合福祉センター管理運営事業	小計	7,073,270		
8	有圧換気扇取替工事	11/29	55,000		
9	避難誘導灯バッテリー交換	12/6	47,300		
	小禄老人福祉センター管理運営事業	小計	102,300		
10	ピアノ修理	2/26	73,700		
11	消防設備不具合修繕工事	3/11	165,000		
	小禄児童館管理運営事業	小計	238,700		
12	碍子取替	4/13	34,100		
13	すべり台塗装修繕	3/28	195,800		
	識名児童館管理運営事業	小計	229,900		
	指定管理運営事業	合計	7,644,170		

令和５年度　総合福祉センター活動の様子

□令和５年度作成巨大絵「50 年後のみらい予想図」



□コロナ禍以来、初めて全館使用しての「第 14 回かなぐすく地域福祉まつり」

□避難訓練の様子

１３．那覇市老人福祉センター及び憩の家の管理運営（市受託）

那覇市には、小禄・識名（那覇市社協の指定管理）・末吉・壺川（社会福祉法人陽風会指定管理）の４つの老人福祉センターと金城（那覇社協の指定管理）・辻（陽風会指定管理）・安謝（赤十字社指定管理）の３つの憩の家がある。これらの施設は、市内に居住する60歳以上の方々の各種の相談ごと、健康増進、教養の向上やレクレーション等の便宜を総合的に供与し、健康で明るい老後の生活をエンジョイするとともに、また老人クラブに対する支援等を行い地域福祉活動の拠点となる施設である。

・受託施設：小禄老人センター・識名老人センター・金城老人憩の家
・開館時間：午前10時～午後5時まで（金城老人憩の家は、午前10時～午後6時まで）
・休 館 日：日曜日、国民の祝日（敬老の日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
・利用対象：60歳以上の那覇市民

① 施設の機能

ア．多目的ホール（大広間）、機能回復訓練室（健康増進コーナー）、入浴室など（金城及び壺川のみ）。また施設によっては、陶芸室、グランドゴルフ場等がある。

②講座の開催と同好会活動の支援

ア．様々な講座や同好会を実施し、健康づくり活動、教養文化活動等の生涯学習と介護予防を推進している。

③会議・研修の実施

ア・所長会議への参加
各施設の連携・調整を目的に所長会議へ参加

イ．相談員研修の実施
相談員のスキルアップ及び情報交換を目的に研修を実施

④地域防犯見守り活動

本会においては、識名老人福祉センター及び小禄老人福祉センターで活動を行っている。金城においては、コロナ以降活動を再開できていない。

⑤実習生の受け入れ（主に看護師養成校からの委託による受け入れ。）

令和５年度は２件の受け入れがあった。

ア．沖縄県立看護大学：令和５年５月12日（金）及び５月19日（金）
※識名、小禄、金城の施設で行った。

イ．那覇看護学校：①令和６年２月６日～７日②令和６年２月28日（木）～29日（金）
※識名、小禄、金城の施設で行った。

（1）那覇市小禄老人福祉センター　かりゆしうるく

① 主要事業

ア．講座の支援

NO	講　座　名	講　　師	活　動　日　時	延べ人数
1	うるくエイサー隊	与那覇　仁	第1～4（月曜日）午後3時～4時	425名
2	やさしいサンバ	宮城　弥生	第1・3（火曜日）午後3時～4時45分	184名
3	うたごえ	高江洲智香子	第2・4（水曜日）午後1時～2時45分	525名
4	クプナフラ	安里　敏江	第1・3（木曜日）午後3時～4時45分	272名
5	琉球ビクス	大田　礼子	第2・4（木曜日）午後3時～4時45分	225名
6	レク体操	天久　律子	第1・3（金曜日）午前10時～11時45分	520名
7	リラックスヨガ	高良　梨恵子	第2・4（金曜日）午前10時～11時45分	420名
8	琉　舞　（宮城流）	宮城　能舞	第1・3（土曜日）午後1時～2時45分	487名
9	リンパ・整体	仲村　久美子	第2・4（土曜日）午後1時～2時45分	413名
10	三線入門	赤嶺　繁明 高良　茂俊	第2・4（土曜日）午後1時～2時45分	169名
短期講座				
11	書道（龍賓会）	上原　啓子	第2・4（月曜日）午前10時～11時45分	228名
12	楽しいバルーン	仲宗根　麗	第1・3（金曜日）午前10時～11時45分	164名
13	空手入門	東江　三和	第2・4（金曜日）午後3時～4時45分	212名
			計	4244名

イ.同好会活動の支援

	同好会名	講　　師	活　動　日　時	延べ人数
1	書　道（龍賓書道会）	上原　啓子	第2・4（月曜日）午前10時～11時45分	0名
2	クラフトバンド同好会	不在	第2・4（月曜日）午前10時～11時45分	375名
3	和太鼓（美粧太鼓）	金井　清子	毎　週（月曜日）　午後1時～2時45分	93名
4	いけばな（専心池坊）	我喜屋　香	第1・3（月曜日）午後1時～2時45分	231名
5	日舞	嘉島　恵子	毎　週（月曜日）午後3時～4時45分	183名
6	太極拳	渡口　政健	毎　週（火曜日）午前10時～11時45分	1420名
7	野村流三線	中村　一雄	毎　週（火曜日）午後1時～2時45分	1001名
8	ふれあい卓球	永村　清	毎　週（火曜日）午後1時～2時45分	522名
9	絵　画	小橋川　憲男	第2・4（火曜日）午前10時～11時45分	179名
10	民　踊	並里　恵美子	毎　週（水曜日）午前10時～11時45分	1042名
11	パソコンA	浦崎　朝紀	毎　週（水曜日）午前10時～11時45分	801名
12	着付け	石川　高子	第2・4（水曜日）午前10時～11時45分	126名
13	手話ストレッチダンス	南　リツ子	第2・4（水曜日）午後3時～4時45分	205名
14	ペン習字	普天間　完文	第2・4（水曜日）午前10時～11時45分	181名
15	ボウリング	不在	毎週（水曜日）午後2時～4時	0名
16	ニーセーターの舞	上原　苗子	毎　週（木曜日）午前10時～11時45分	374名
17	大正琴（琴生流）	具志堅　光江	毎　週（木曜日）午前10時～11時45分	459名

18	安冨祖流三線	上地　正隆	毎　週（木曜日）午後1時～2時45分	683名
19	めぐみ琉舞	知花　恵子	毎　週（金曜日）午後1時～2時45分	408名
20	パソコンB	下地　政憲	毎　週（金曜日）午前10時～11時45分	448名
21	民謡三線	我那覇　生吉	毎　週（土曜日）午前10時～11時45分	547名
22	ステップダンス	不在	毎　週（土曜日）午後3時～4時45分	295名
23	陶　芸	不在	毎　日　　午前10時～午後5時	2006名
24	囲　碁	不在	毎週（火・木・土曜日）午前10時～5時	118名
25	琉舞太鼓	徳村竹子	毎　週（月曜日）午後1時～2時45分	103名
26	そろばん	与儀悦子	毎　週（木曜日）午後1時～2時45分	84名
25	洋　裁	玉城　重子	第1・3（水曜日）午後1時～2時45分	43名
26	ビーズ教室	上原　幸一	第1・3（金曜日）午後1時～2時45分	24名
			同好会合計	11951名
			ア講座、イ同好会の合計	16195名

ウ. その他の活動

NO	活動名	講　　師	開　催　日　時	延べ人数
1	地域ふれあいデイサービス	社協より派遣	第1・2・3月曜日 午前10時～11時45分	743名
2	グラウンドゴルフ（かりゆしクラブ）	な　　し	毎週（木曜日） 午前9時30分～11時30分	276名
3	うるくみーまーる隊	な　　し	毎週（木曜日） 午後3時00分～3時30分	78名

エ. 健康増進の推進

項　目	日　　時	延べ人数
健康増進コーナーの利用	毎　　日　午前10時～午後5時	33名
	合　計	33名

オ. 教養講座

NO	講　習　会　名	内　　容	開　催　日　時	延べ人数
1	認知症特化教室	小禄包括支援センター主催 全2回	6月29日(木)30日（金） 午後2時～3時30分	36名
2	聞こえの相談室	眼鏡壱番主催スタッフ3名	8月15日（火）	6名
			合　計	42名

② 広報活動

ア．毎月の「行事予定表」を発行し、センター利用者及び小禄支部老人クラブ連合会定例会、小禄地区行政連絡会にて配布。

イ．かりゆしうるく「オリジナルパンフレット」を窓口に設置

ウ．小禄地区地域包括支援センター、小禄地区郵便局等へ（行事予定表・パンフレット）掲示、配布

エ．新聞２社の無料広告や小禄地域新聞等を利用して当施設の行事及び講座・同好会募集の周知を図った。

③ 行　事

	行　事　名	日　時	場　所	延べ人数
1	シーサー展	令和５年４月３日～15日	小禄老人福祉センター（陶芸同好会）	81名
2	歌謡ショー「山原麗華さん」	令和５年６月21日（水）	小禄老人福祉センター（大広間）	58名
3	「リーダー研修」	令和５年６月28日（水）	北谷アメリカンビレッジ、グランメールホテル（昼食）勝連アマワリパーク、ぬちまーす、うるましぇ	33名
4	敬老の日「十八番大会」	令和５年９月18日（月）	小禄老人福祉センター（大広間）	150名
5	小禄支部老連&かりゆしうるく合同ｶﾗｵｹ大会予選会	令和５年10月４日（水）	小禄老人福祉センター（大広間）	３名
6	秋の遠足	令和５年10月31日（火）	沖縄県公文書館、エイサー会館、残波岬、お菓子御殿、おんなの駅	39名
7	クリスマス忘年会	令和５年12月６日（水）	小禄老人福祉センター（大広間）	119名
8	三世代　新春お楽しみ会	令和６年１月６日（土）	小禄老人福祉センター小禄児童館	31名
9	かりゆしうるく・小禄児童館合同「消防訓練」	令和６年１月16日（火）	小禄老人福祉センター小禄児童館	59名
10	第12回うるく地域ふれあい祭り（前昼祭）	令和６年３月８日（金）	小禄老人福祉センター（大広間）	260名
11	第12回うるく地域ふれあい祭り	令和６年３月９日（土）	小禄老人福祉センター（大広間）	900名
			合計	1,733名

④ 生涯学習の推進

当小禄老人福祉センターは、「おきなわ県民カレッジ」に当センターの講座・同好会を登録し、申請にともない利用者の方々に県民カレッジ発行の「学びのパスポート」を申請して頂き、生涯学習の励みにして頂こうと毎年（4月～5月）期間を持ってパスポート申請の推進を行っています。

NO	名　　称	実　施　日	実　施　内　容	参加人数
1	生涯学習「学びのパスポート」	平成24年～令和4年	おきなわ県民カレッジとの連携（講座・同好会）	0人

⑤ ボランティア活動の推進

NO	学校・企業名	実　施　期　間	実　施　内　容	延べ人数
1	地域防犯パトロール活動（うるくみーまーる隊）	毎　週（木曜日）午後3時～4時	小禄南小学校、宇栄原小学校、小禄小学校の通学路の防犯パトロール活動	78人
			合　計	78人

⑥ 各種会議等の開催

ア.利用者連絡会・役員会

No	会　議　名	日　　時	場　所	参加人数
1	第1回　利用者連絡会役員会	令和5年4月25日（火）10時～	事務所前	5名
2	第1回　利用者連絡会	令和5年5月30日（月）14時～	大広間	33名
3	第2回　利用者連絡会役員会	令和5年8月2日（火）10時～	事務所前	4名
4	第2回　利用者連絡会	令和5年8月16日(水）14時～	大広間	33名
5	第3回　利用者連絡会役員会	令和5年11月8日（水）10時～	事務所前	4名
6	第3回　利用者連絡会	令和5年11月15日（水）14時	大広間	37名
7	第1回　まつり実行委員会	令和5年11月15日（水）	大広間	37名
8	第2回　まつり実行委員会	令和5年12月20日（水）	大広間	20名
9	第3回まつり実行委員会	令和6年1月30日（金）	大広間	36名
10	第4回　利用者連絡会役員会	令和6年3月4日（月）14時	事務所前	4名
11	第4回　利用者連絡会 第3回　まつり実行委員会	令和6年3月15日（水）14時	大広間	26名
			計	239名

イ. 運営委員会

No	会　議　名	日　　時	場　　所	参　加 人　数
1	小禄老人福祉センター 運営委員会	令和5年5月18日（木）	1階機能回復訓練室	8名
2	小禄老人福祉センター 運営委員会	令和6年1月23日（火） 午後2時～	1階機能回復訓練室	7名
			合　計	15名

⑦ その他

ア. 実習生受入れ

(1) 沖縄県立看護大学　老年保健看護実習

NO	実　習　名	実　習　期　間	実　習　内　容	実習人数(延)
1	沖縄県立看護大学	令和5年5月12日(金)26日(金)	老年保健看護実習	7名
2	沖縄県立看護大学	令和5年7月14日(金)21日(金)	老年保健看護実習	8名
			合　計	15名

イ.定期清掃

NO	行　事　名	実　施　日　時	実　施　内　容	参加人数
1	第1回　定期清掃	令和5年6月17日(土)	センター構内清掃	34名
2	第2回　定期清掃	令和5年10月4日(水)	センター構内清掃	32名
3	年末清掃	令和5年12月23日(土)	センター構内清掃	78名
4	第3回　定期清掃	令和6年1月29日(月)	センター構内清掃	27名
			合　計	171名

ウ. 地域支援

NO	利　用　団　体	利　用　日　時	利　用　内　容	参加人数
1	小禄支部老人クラブ 理事会議	毎月第2土曜日 午前10時～正午	定例会議	198人
			合　計	198人

エ.作品展示会

NO	作品展示会	利　用　日　時	展　示　内　容	参加出展人数
1	かりゆしうるく・ 金城老人憩の家合同 「ちゃーがんじゅう展」	令和5年9月5日（火）～ 9月7日(木) 午前10時～18時 （イオン那覇店スクエアうるく）	絵画・陶芸・いけばな・クラフト・バルーン	40人
			合　計	40人

オ．施設完全禁煙施設の設定

No	認定名称	認定日	発行者	その他
1	沖縄県禁煙施設認定 （施設内完全禁煙施設）	平成 23 年 12 月 19 日～	沖縄県 中央保健所	ステッカー の掲示

⑧ 社協への協力

・那覇市社会福祉協議会会員加入への協力

・赤い羽根共同募金および歳末助け合い募金活動への協力

R5年度 小禄老人福祉センター 利用登録者数
（令和6年3月末現在）

	総登録数	平均年齢	新規登録数	平均年齢
男性	79 人	78.7 歳	19 人	76.5 歳
女性	284 人	75.8 歳	69 人	74.2 歳
合計	363 人	76.5 歳	88 人	74.5 歳

【年齢別登録者数】

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
男性	7 人	40 人	31 人	1 人	79 人
女性	60 人	131 人	88 人	5 人	284 人
合計	67 人	171 人	119 人	6 人	363 人

令和５年度　リーダー研修

令和５年定期清掃（年４回）

かりゆしうるく「18番大会」

R５年度　秋の遠足

令和５年度　第12回かりゆしうるく地域ふれあい祭り

(2)　那覇市識名老人福祉センター

はじめに

老人福祉センターは、高齢者に対し、健康増進、教養の向上、レクレーションのための場を総合的に提供することによって健康で明るい生活を営ませる目的で設置されたものあります。識名老人福祉センターではこのような老人福祉センターの理念や目的を達成するために、次のとおり各種の事業や活動を実施した。

①主要事業

ア.講座の開催

講座名	講師	活動日時	延べ利用人数
民踊講座	森山安子	毎週（月曜日）　10時～12時	951名
書道講座	嵩原　聡	第1・2・3（月曜日）10時～12時	276名
レク体操講座	山城千恵子	第2・4（火曜日）　10時～12時	400名
大正琴講座	具志堅光江	第1・3・4（水曜日）10時～12時	412名
コーラス講座	新垣真由美	第2・4（金曜日）　10時～12時	333名
筋力ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ講座	和南　里	第1・3（金曜日）　10時～12時	273名
琉舞講座	仲本和美	毎週（土曜日）　10時～12時	806名
太鼓講座	島袋節子	第1・3（土曜日）　13時～15時	212名
		合計	3,663名

イ.同好会活動の支援

同好会名	講師	活動日時	延べ利用人数
ﾉﾙﾃｨｯｸｳｫｰｷﾝｸﾞ	瑞慶覧長弘	毎週（月曜日）　10時～12時	427名
カラオケ同好会		毎週（月曜日）　13時～15時	515名
折り紙同好会	大城フサ子	第2・4（月曜日）　13時～15時	119名
卓球同好会		第2・4（月曜日）　15時～17時	108名
足腰強化体操同好会	渡嘉敷彰人	第2・4（月曜日）　15時～17時	98名
民謡三線同好会	仲宗根盛治	第1・3（火曜日）　10時～12時	378名
パソコン同好会	大城勝哉	毎週（水曜日）　13時～15時	619名
ヨガ同好会	知念康代	第2・4（木曜日）　10時～12時	446名
古典音楽同好会	大底秀吉	毎週（木曜日）　13時～15時	922名
古典三線同好会	當山清泰	毎週（金曜日）　13時～15時	432名
島歌踊り同好会		毎週（金曜日）　13時～15時	336名
日舞花の会同好会	吉竹藤花	毎週（金曜日）　15時～17時	279名
詩吟草吟会同好会	備瀬俊世	毎週（土曜日）　10時～12時	284名
ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ同好会		毎週（水・木・土曜日）10時～12時	1,385名
		合計	6,348名

ウ.期間設定講座の開催

講座名	講師	活動日時	延べ利用人数
民謡三線初級講座	仲本亜寿香	毎週（火曜日）　13時～15時	619名
男性のための筋トレ＆ストレッチ	山中崇史	第1・3（木曜日）15時～17時	204名
かぎやで風＆カチャーシ講座	當山多津子	9月から11月（水曜日）15時～（全10回講座）16時40分	167名
		合計	1,087名

エ.健康増進の推進

項　目	利　用　日　時	延べ利用人数
筋力トレーニングマシーンの利用	日曜祝日（敬老の日を除く）毎日　10時～17時	4名
入浴の利用	修繕改修を要するため利用中止中	0名
	合　計	4名

オ，教養講座

講　座　名	講　師	開　催　日　時	延べ利用人数
応急手当講習会	中央消防署神原出張所	6月29日（木）11時	39名
認知症講座	地域包括支援ｾﾝﾀｰ繁多川	9月18日（月）10時	40名
スマホ講座	ソフトバンク（下地美樹）	6月30日（金）14時	18名
		合　計	97名

②広報活動

ア，毎月の行事予定表を発行し、識名老人福祉センター利用者及び来所者に配布。

イ，真和志地区老人クラブ連合会、真和志スポーツクラブ会員へ配布

ウ，新聞等の無料広告欄を活用して利用者の募集呼びかけの活動の推進

エ，那覇市社協のホームページに毎月の行事予定表を掲載

③行事

行　事　名	期　日	場　　所	参加人数
大石公園ゆり祭り参加(民踊講座参加)	4月22日	大石公園	22名
母の日お楽しみ会	5月15日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	37名
防火避難訓練（児童館合同）	8月22日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	55名
真地自治会敬老会	9月17日	真地公民館	1名
敬老の日企画講座「認知症」について	9月18日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	42名
リーダー視察研修	9月29日	勝連城址他	28名
令和5年度全国地域安全那覇地区出発式	10月6日	パレット久茂地前広場	1名
秋の交通安全指導（児童館合同）	10月10日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	45名
世代間交流グラウンドゴルフ大会	10月28日	識名老人ｾﾝﾀｰグラウンド	37名
第17回地域福祉まつりG・G大会	12月19日	大石公園	78名
新春ふれあい会（児童館合同）	1月13日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	117名
第17回識名地域福祉まつり	2/1～3	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ内外	582名
		合　計	1,583名

④行事参加

行　事　名	期　日	場　　所	参加人数
第61回那覇地区老人クラブ大会 第47回那覇地区老人芸能発表会	7月28日	ともかぜ振興会館	1名
第32回沖縄民踊フェスティバル	10月14日	沖縄市民体育館	70名
かなぐすく地福祉まつり	11月18日	那覇市総合福祉ｾﾝﾀｰ	1名
うるく地域福祉まつり	3月9日	かりゆしうるく老人ｾﾝﾀｰ	1名
		合　計	73名

⑤ボランティア活動の推進

項　目	期　日　　内　容	延べ参加人数
地域防犯見守り隊活動	毎月第1第3金曜日　午後3時～4時	48名
那覇看護学校実習受け入れ	2月6日～7日　　老年看護学実習	12名
那覇看護学校実習受け入れ	2月28日～29日　老年看護学実習	12名
	合　計	72名

⑥定期清掃活動

項　目	期　日	内　容	参加人数
第1回定期清掃	6月26日	老人福祉ｾﾝﾀｰ内外の清掃	53名
第2回定期清掃	7月18日	老人福祉ｾﾝﾀｰ内外の清掃	53名
第3回定期清掃	9月18日	老人福祉ｾﾝﾀｰ内外の清掃	70名
年末大清掃	12月21日	老人福祉ｾﾝﾀｰ内外の清掃	75名
まつり前大清掃	1月23日	老人福祉ｾﾝﾀｰ内外の清掃	37名
		合　計	258名

⑦各種会議等の開催

ア.運営委員会

会　議　名	期　日	場　所	参加人数
第1回運営委員会		識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	10名
		合　計	10名

イ.利用者連絡会

会　議　名	期　日	場　所	参加人数
第1回利用者連絡会代表者会議	5月11日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	22名
第2回利用者連絡会代表者会議	8月24日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	23名
第3回利用者連絡会代表者会議	3月28日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	19名
		合　計	64名

ウ.第17回識名地域福祉まつり実行委員会

会　議　名	期　日	場　所	参加人数
第1回地域福祉まつり実行委員会	10月12日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	24名
第2回地域福祉まつり実行委員会	11月30日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	31名
第3回地域福祉まつり実行委員会	1月25日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	30名
第4回地域福祉まつり実行委員会（反省慰労会）	2月29日	識名老人福祉ｾﾝﾀｰ大広間	36名
		合　計	121名

エ.地域支援活動

項　目	期　日・内　容	参加人数
地域ふれあいデイサービス	毎月第1・3月曜日　14時～16時	187名
真和志支部老人クラブ連合会理事会	毎月第2水曜日　10時～12時	173名
真和志スポーツクラブ大会参加者申込受付	偶数月開催に対応した申込受付事務	78名
	合　計	438名

⑧職員研修会及び交流会

項　　目	期　日	場　　所	参加人数
新任職員研修会（２日目）	4月5日	那覇市社協大会議室	1名
新任職員研修会（３日目）	4月25日	那覇市社協大会議室	1名
接遇研修	3月27日	zoom研修（事務所）	3名
		合　計	5名

⑨その他の活動

・那覇市社会福祉協議会会員加入への協力（コロナ禍の影響で取組みが不十分であった）
・赤い羽根共同募金への協力（コロナ禍の影響で取組みが不十分であった）
・能登半島地震災害義援金募金への協力
・太陽の家活動への協力
・福祉避難所としての活動への協力

令和5年度 識名老人福祉センター利用登録者数

（令和5年4月～令和6年3月末日）

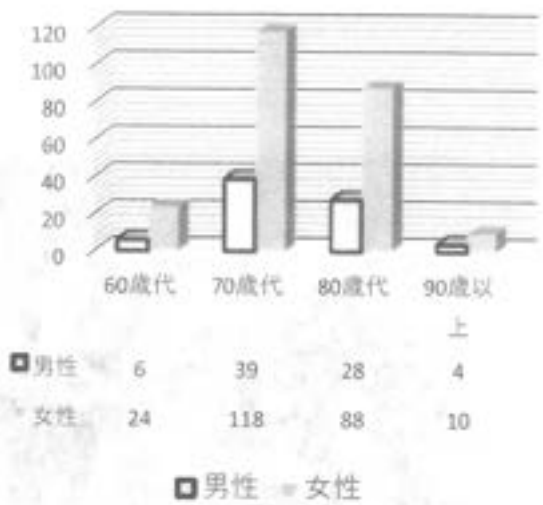
	総登録数	比率	平均年齢	新規登録数	比率	平均年齢
男性	77	24%	78.5	28	25%	74.5
女性	240	76%	77.7	82	75%	74.2
合計	317	100%	78.1	110	100%	74.4

【年齢別登録者数】

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	合計
男性	6	39	28	4	77
女性	24	118	88	10	240
合計	30	157	116	14	317
比率	9.5%	49.5%	36.6%	4.4%	100%

男女人数及び比率

年代別登録者数



令和５年度　母の日　お楽しみ会　５月１５日

令和５年度　敬老の日　特別講話「認知症について」

９月１８日

令和５年度　三世代間交流　グラウンドゴルフ大会

10月28日

3）那覇市金城老人憩の家

①主要事業

ア．講座の開催

講座名	講師	活動日時	延べ利用人数
やさしいウクレレ	堀川和歌子	第2・4(月)午前10時～11時50分	379 人
足腰強化運動	渡嘉敷 彰人	第1・3(火)午前10時～11時50分	368 人
操体法	比嘉幸子	第1・3(火)午前10時～11時50分	413 人
太極拳	四元睦子	第2・4(火)午前10時～11時50分	359 人
ストレッチポール&ひめトレ	堀川 江梨子	第1・3（火）午後1時～2時50分	330 人
頭と体の健康体操	安次嶺・城間	第1・3（火）午後3時10分～5時	273 人
からだバランス筋トレ	平本 和華子	第2・4(火) 午後3時10分～5時	376 人
ヨガトレッチ	山田 恵	第1・3(水)午後1時～2時50分	333 人
GoGo！ロコモ	永渕悦子	第2・4（木）午前10時～11時50分	348 人
男の体幹筋トレ	平山 貴史	第2・4（木）午後1時～2時50分	157 人
琉舞	我那覇則子	第1・3（土）午後1時～2時50分	377 人
シニアのためのボイスレッスン	譜久里 ゆかり	第2・4（土）午後1時～2時50分	358 人
		合計	4,071 人

イ．同好会活動の支援

同好会名	講師	活動日時	延べ利用人数
グラウンドゴルフ	―	毎週（月・木）午前9時～10時30分	842 人
ハートフル卓球	岡野光子	毎週（月）午後12時半～14時半	451 人
民踊	上原まり	毎週(月) 午後1時～2時50分	503 人
コーラス	山川菜々	第1.3（月）午後3時10分～5時	347 人
ヨガサークル	比屋根 優子々	第2・4(月) 午後3時10分～5時	434 人
フォークダンス	下地キミ子	第2・4(火) 午後1時～2時50分	206 人
エンジョイエクササイズ	照屋 みゆき	第1・3(水)午前10時～11時50分	296 人
エアロダンス	東 由貴子	第2・4水)午前10時～11時50分	403 人
日舞	平良栄子	毎週（水）午後3時10分～5時	254 人
書道	高嶺正作	第1・3(木)午前10時～11時50分	406 人
ボウリング	上江田 仙	毎週（水）午後2時～4時	417 人
いけばな	上原道子	第1・3(木) 午後1時～2時50分	197 人
デジカメサークル若竹	宇久田全正・金城文子	第2・4(木) 午後3時10分～5時	199 人
カラオケサロン	―	第1・3(火) 午後1時～2時50分	75 人
三線	前川朝文	毎週(金) 午後1時～2時50分	510 人
アート水引むすび	平良 紀子	第1・3(金)午前10時～11時50分	166 人
墨絵	高嶺正作	第2・4(金) 午後3時10分～5時	160 人
社交ダンス	新本眞理子	毎週(土) 午前10時～11時50分	424 人

ハワイアンフラ	金川喜久江	毎週（土）午後3時10分～5時	355 人
		合計	6,645 人

ウ. 期間設定講座・（短期講座）の開催

講座名	講師	活動日時	延べ利用人数
リラクゼーションテーピング講（5～7月）	仲村 久美子	第2・4（水）午後1時～2時50分	81人
健康アップ体操講座（8～10月）	髙良 成美	第2・4（水）午後1時30分～2時50分	75人
リラクゼーションテーピング講座（R6年1月～3月）	仲村久美子	第2・4（水）午後1時～2時50分	111人
		合計	267人

エ. 講習会

講習会名	講師	開催日時	延べ利用人数
スマホ講座	ソフトバンク株式会社	9/19、10/3（火）13時～（90分）	43人
		合計	43人

オ. 健康増進の推進

項目	日時	延べ利用人数
健康増進コーナーの利用	毎日 午前10時～午後5時30分	1,542 人
入浴室の利用（コロナ禍の為使用中止）	毎週月・水・金 午後12時～4時	0人
あしびなー入浴	月～土（祝日含む）	3,864 人
	合計	5,406 人

②広報活動

ア. 毎月の行事予定表を作成し利用者に配布。

イ. 市社協、公共機関、各クラブからのお知らせ等の掲示板を使って周知を図った。

ウ. 新聞等の無料広告欄を利用し、利用者の募集呼びかけを行った。

エ. 小禄地区行政連絡会で行事等のお知らせを行った。

オ. 行事を行った際には、その様子を写真で記録。

③行事

行事名	月日	場所	参加人数
利用者連絡会交流会	6/29（木）	那覇市公設市場・沖縄特産販売・イーアス沖縄	26人
敬老会	9/18（祝）9-12時	総合福祉センター（遊戯室）	72人
三世代交流「花いっぱい」	10/11（水）	総合福祉センター	12人
ボウリング大会（交流会）	11/29（火）	スカイレーン	19人

秋のピクニック（交流会）	11/30（水）	沖縄県中部方面	46 人
三世代交流　新春ふれあい会	1/6（土）	もちつき	28 人
グラウンドゴルフ大会（交流会）	3/29（木）	雨天の為延期	
		合計	163 人

④行事の参加

行　事　名	月　　日	場　　所	参加人数
地震避難訓練	2/14（水）	総合福祉センター	23 人
消防避難訓練	3/12（火）	総合福祉センター	17 人
かなぐすく地域福祉まつり前清掃	10/31（火）	総合福祉センター	28 人
かなぐすく地域福祉まつり	11/18（土）	総合福祉センター	106 人
		合計	174 人

⑤ボランティア活動の推進

項　　目	実　　施	内　　容	参加人数
那覇の日清掃	7/7（金）午後 4 時～	憩の家	14 人
		合計	14 人

⑥各種会議等の推進

ア. 運営委員会会議

会　議　名	日　　時	場　　所	参加人数
第 1 回運営委員会	4/18（火）14 時～	大広間	13 人
		合計	13 人

イ. 利用者連絡会　役員会議

会　議　名	日　　時	場　　所	参加人数
第 1 回利用者連絡会役員会議	5/26（金）午前 11 時～	事務所前	8 人
第 2 回利用者連絡会役員会議	8/4（金）午前 11 時～	事務所前	7 人
第 3 回利用者連絡会役員会議	10/19（木）午前 11 時～	事務所前	6 人
第 4 回利用者連絡会役員会議	R6. 1/30（火）午前 11 時～	事務所前	7 人
		合計	28 人

ウ. 利用者連絡会　代表者会議

会　議　名	日　　時	場　　所	参加人数
第 1 回利用者連絡会代表者会議	5/30（火）	大広間	37 人
第 2 回利用者連絡会代表者会議	6/29（木）	大広間	21 人
第 3 回利用者連絡会代表者会議	10/31（火）	大広間	31 人
		合計	89 人

エ. かなぐすく地域福祉まつり実行委員会（憩の家部会）

会　議　名	日　　時	場　　所	参加人数
第1回まつり実行委員会	8/24（木）午前10時30分～	会議室	9人
第2回まつり実行委員会	9/26（木）午前10時30分～	工作室	15人
第3回まつり実行委員会	10/26（木）午前10時30分～	工作室	12人
第4回まつり実行委員会	12/1（金）午前10時30分～	工作室	13人
		計	49人

オ. 記念誌編集委員会

会　議　名	日　　時	場　　所	参加人数
第1回記念誌編集委員会	7/27（木）15時～	大広間	11人
第2回記念誌編集委員会	12/15（金）15時～	大広間	11人
		合計	22人

⑦福祉体験・実習等の受入

内　　容	日　　時	人　　数
沖縄県立看護大学実習生	5/12（金）9：00～16：00	8人
	5/19（金）9：00～16：00	8人
那覇看護学校実習生	2/6（火）9：00～14：30	7人
	2/7（水）9：00～14：30	7人
	2/28（水）9：00～12：00	7人
	2/29（木）9：00～12：00	7人
	合計	44人

⑧その他

ア. 展示作品

作品展示会名	日時	展示内容	参加人数
小禄老人センター・金城老人憩の家ちゃーがんじゅう展	9/5～9/7	生花・書道・写真・墨絵	47
		合計	47人

⑨社協への協力

・那覇市社会福祉協議会会員加入の協力

令和5年度 センター金城老人憩の家利用登録者数
（令和6年3月末現在）

	総登録数	平均年齢	新規登録数	平均年齢
男性	78 人	74.2 歳	36 人	72.0 歳
女性	352 人	74.3 歳	136 人	72.0 歳
合計	430 人	74.3 歳	172 人	72.0 歳

【年齢別登録者数】

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
男性	11 人	48 人	18 人	1 人	78 人
女性	97 人	178 人	75 人	2 人	352 人
合計	108 人	226 人	93 人	3 人	430 人

令和５年度　ちゃーがんじゅう展　R5.9/5～9/7

R5年度 敬老会 R5.9.18

第14回地域福祉まつり　R5.11/18

三世代交流　新春ふれあい会　R6.1/6

14. 那覇市児童館（小禄・識名・金城）の指定管理運営

（1）～（3）

児童に健全で楽しい遊び場を与え、情報を豊かにし、心身の発達向上をはかり、その育成に努めること目的として、児童福祉法第40条にもとづいて設けられた「児童福祉施設」の一つである。

また、遊びを通じての集団的・個別的指導、健康の増進、放課後児童の育成・指導、母親クラブ等の地域組織活動の育成助長、年長児童の育成・指導、子育て家庭への相談等を行う。

資格を有する児童厚生員を配置し、不特定多数の児童を対象に遊びの支援を行い、児童館活動を通じて児童の健全な遊び場の確保、健康増進、情操ゆたかな児童の育成を行う

○受託施設：小禄児童館・識名児童館・金城児童館

○開館時間：10：00～18：00（利用時間は10：00～17：30　※冬期17：00まで）

○休 館 日：日曜日（金城は休み）（小禄・識名開館、但し第三日曜日は家庭の日で休み）。

国民の祝日（こどもの日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）

○利用対象：0歳から18歳までの子どもとその保護者

・児童館利用状況　（別紙参照：3館まとめ）

・月別利用実績　（別紙参照）

・月別事業活動報告（別紙参照）

※小禄・識名・金城児童館の順序に掲載。

・実習・見学・ボランティアの受け入れ状況　（別紙参照：3館まとめ）

・児童館厚生員研修・会議の開催及び参加状況　（別紙参照：3館まとめ）

○広報活動

ア.「児童館だより」を毎月発行し、地域の学校、児童クラブ、銀行、公民館、支援センター等へ配布した。

（毎月の発行枚数：小禄児童館役2,100枚・識名児童館役3,100枚・金城児童館役2,100枚）

イ. 行事実施の際に、マスコミ等報道機関に取材依頼し、活動等を紹介した。特に地域新聞との関係が良好であり地域施設としてのPRに貢献して頂いた。

ウ. 社協、行政等の公共媒体を通して広報した。

（4）つどいの広場事業の受託

児童厚生員と有資格者の担当職員を配置し、子育て親子の集い、交流の場を提供し、交流活動の促進を図るとともに、子育て等に関する相談・援助を行なっている。

○受託施設：小禄児童館「つどいの広場ほのぼの」水～金の週3日／10：00～13：00

識名児童館「つどいの広場ランラン」火～木の週3日／10：00～13：00

金城児童館「つどいの広場さんさん」水～金の週3日／10：00～13：00

○利用対象：0歳から6歳までの未就学児とその保護者

・つどいの広場利用状況

・つどいの広場実績報告（ほのぼの・ランラン・さんさんの順序に掲載）

令和5年度小禄児童館事業報告（4月～3月）

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
4月	こいのぼり制作	3/28(土)～4/17(月) 10:00～17:00	乳幼児 親子～	85名	図書室	手作りこいのぼり製作				○				
	こいのぼり制作 （ほのぼの）	4/12(水)～4/19(水) 10:00～12:00	つどいの広場 利用者	12組 27名	集会室	手作りこいのぼり製作				○				
	こいのぼり掲揚式	4/21（金） 16:30～17:00	乳幼児 親子～	109名	児童館外 グラウンド	手作りこいのぼりの 掲揚、職員紹介	かりゆしうるく 群星学童			○				
	こいのぼり掲揚式 （ほのぼの）	4/27(木) 11:30～12:00	つどいの広場 利用者	4組 8名	事務所前 廊下	手作りこいのぼりの 掲揚		○		○				
	身体測定 （ほのぼの）	4/26(水)～4/28(金) 10:00～12:00	つどいの広場 利用者	9組 20名	集会室	身長・体重測定					○			
5月	こどもの日スペシャル 「射的ゲーム」	5/5（金） 10:00～17:00	乳幼児 親子～	46名	事務所前 廊下 遊戯室	手作りの射的ゲーム		○		○				
	クラブ・体験教室 申し込み	5/15(月)～ 随時	対象児童	—	事務所	今年度各クラブ・教室 申し込み受付開始								○
	母の日プレゼント 制作（ほのぼの）	5/10(水)・5/12(金) 10:00～12:00	つどいの広場 利用者	20組 42名	集会室	フォトプレート制作		○		○				
	身体測定 （ほのぼの）	5/24(水) 10:00～12:00	つどいの広場 利用者	8組 18名	集会室	身長・体重測定					○			
	お誕生カード制作 （ほのぼの）	5/24（水） 10:00～12:00	つどいの広場 利用者	1組 2名	集会室	5月生まれ お誕生カードの制作		○		○				
6月	平和月間パネル 展示	6/5（月）～ 6/24（土）	乳幼児 親子～	自由 閲覧	事務所前 廊下	パネル・絵本展示 感想コーナーを設ける				○		○		
	救命(AED)講習会 （合同）	6/12（月） 10:00～11:30	乳幼児 親子～	46名	遊戯室	講師を招いてAED講習 心肺蘇生法の講座	講師：小禄南消防 群星学童・ かりゆしうるく					○	○	○
	父の日制作 （ほのぼの）	6/7(水)～6/21(水) 11:00～12:00	つどいの広場 利用者	11組 25名	集会室	制作活動		○		○				
	慰霊の日月間企画 お話読み聞かせ会	6/16（金） 16:40～17:10	乳幼児 親子～	79名	遊戯室	子ども達による戦争 体験絵本の読み聞かせ	群星学童 チャレンジクラブ			○		○	○	
	空手体験教室 （第1回）	6/17（土） 13:30～15:00	小学1年生 ～6年生	8名	遊戯室	空手の基礎や型を学ぶ （講師指導）	講師： 上間穂氏			○	○			
	身体測定 （ほのぼの）	6/16(金)・6/30(金) 10:00～12:00	つどいの広場 利用者	11組 22名	集会室	身長・体重測定					○			
	お誕生カード制作 （ほのぼの）	6/21（水） 10:30～11:00	つどいの広場 利用者	1組 2名	集会室	6月生まれ お誕生カードの制作		○		○				
7月	食育講座 （ほのぼの）	7/6（木） 10:30～11:30	つどいの広場 利用者	6組 12名	集会室	講師を招いての幼児 食育講座	講師： 株式会社明治					○	○	
	七夕制作 （ほのぼの）	7/7（金） 11:00～12:00	つどいの広場 利用者	12組 25名	集会室	笹と飾り・短冊の制作 自宅へ持ち帰り		○		○				
	空手体験教室 （第2回）	7/8（土） 13:30～15:00	小学1年生 ～6年生	6名	遊戯室	空手の基礎や型を学ぶ （講師指導）	講師： 上間穂氏			○	○			
	リトミックあそび （ほのぼの）	7/14（金） 11:30～11:45	つどいの広場 利用者	7組 14名	集会室	ピアノや他の楽器を 使ったリズムあそび		○			○			
	身体測定 （ほのぼの）	7/14（金） 10:30～12:00	つどいの広場 利用者	4組 8名	集会室	身長・体重測定					○			
	しゃぼん玉あそび （ほのぼの）	7/20（木） 11:00～11:45	つどいの広場 利用者	13組 31名	玄関前	玄関前広場にて シャボン玉あそび		○	○					
	不審者訓練および 夏休み安全教室	7/19（水） 16:20～17:00	全利用者	67名	館内外	不審者の侵入を想定 した対応・避難訓練	かりゆしうるく 群星学童							○
	ミニシアター① （上映会）	7/27（木） 15:30～17:10	乳幼児 親子～	17名	集会室	スクリーンを用いた DVDの上映会		○				○		

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
8月	読書感想文講座	8/10(木) 13:00～16:30	小学3年生 ～6年生	7名	図書室	講師を招いた読書 感想文の書き方講座						○		
	ミニシアター② (上映会)	8/10(木) 15:30～17:10	乳幼児 親子～	47名	集会室	スクリーンを用いた DVDの上映会						○		
	焼物講座& シーサー置作り体験	8/12(土) 13:00～16:00	小学3年生 ～6年生	27名	かりゆしうるく	講師を招き焼物について の講座・体験	豊見城物博物館 かりゆしうるく	○		○		○		
	ミニシアター③ (上映会)	8/12(土) 15:30～17:30	乳幼児 親子～	42名	集会室	スクリーンを用いた DVDの上映会						○		
	バスケットボール大会	8/16(水) 14:00～17:00	小学1年生 ～高校生	43名	遊戯室	利用児童企画の バスケ大会					○		○	
	ミニシアター④ (上映会)	8/17(木) 14:00～17:00	乳幼児 親子～	26名	集会室	スクリーンを用いた DVDの上映会					○			
	オルカ号体験乗船と海めぐり (移動児童館)	8/18(金) 9:30～11:30	乳幼児 親子～	31名	那覇港	オルカ号体験乗船 海洋保全学習		○	○			○		
	ミニシアター⑤ (上映会)	8/26(土) 15:30～17:15	乳幼児 親子～	39名	遊戯室	スクリーンを用いた DVDの上映会						○		
9月	施設見学受け入れ 「宇栄原小学校2年」	9/4(月) 9:30～11:00	宇栄原小 2年生	85名	遊戯室 館内	社会科学習の一環 地域の施設見学	宇栄原小学校					○		○
	ら・ら・らステーション (出張相談会(ほのぼの))	9/7(木) 10:30～11:30	つどいの広場 利用者	5組 10名	図書室	専門員による 乳幼児親子の相談会	らららステーション					○	○	○
	水遊び (ほのぼの)	9/8(金) 10:30～12:00	つどいの広場 利用者	12組 26名	立関前	プール・水遊び		○	○		○			
	空手体験教室 (第3回)	9/9(土) 13:30～15:00	小学1年生 ～6年生	12名	遊戯室	空手の基礎や型を学ぶ (講師指導)	講師: 上間建氏			○	○			
	敬老の日制作 (ほのぼの)	9/14(木)・15(金) 10:30～11:30	つどいの広場 利用者	22組 46名	集会室	制作活動		○		○				
	身体測定 (ほのぼの)	9/15(金)・29(金) 10:00～12:00	つどいの広場 利用者	3組 6名	集会室	身長・体重測定					○			
	お誕生カード制作 (ほのぼの)	9/20(木)・28(木) 10:00～11:30	つどいの広場 利用者	2組 4名	集会室	9月生まれ お誕生カードの制作		○		○				
	育児講座(ほのぼの) 「ウン知育」	9/22(金) 10:30～11:30	つどいの広場 利用者	8組 16名	集会室	講師を招き栄養や腸の 働きについて学ぶ	講師: 沖縄ヤクルト㈱					○	○	
10月	とびだせ児童館 in高良小学校	10/7(土) 14:00～16:00	乳幼児 親子～	83名	高良 小学校	地域の子ども達へ遊び の提供，児童館広報	高良小学校 金城・識名 児童館	○		○			○	○
	身体測定 (ほのぼの)	10/6(金)・13(金) 10:30～12:00	つどいの広場 利用者	6組 12名	集会室	身長・体重測定					○			
	お誕生カード制作 &お祝い(ほのぼの)	10/6(金) 11:30～12:00	つどいの広場 利用者	13組 28名	集会室	10月生まれ お誕生カードの制作		○		○				
	利用者アンケート	10/10(火)～ 10/31(火)	全利用者	80名	事務所前 廊下	児童館利用についての アンケート調査								○
	卓球おたのしみデイ (卓球交流会)	10/10(火) 13:00～15:30	小学1年生 ～高校生	47名	遊戯室	卓球同好会と児童の 交流試合	かりゆしうるく	○			○			
	ペタンク交流会	10/11(水) 14:00～16:00	小学1年生 ～高校生	48名	遊戯室	ペタンク競技を学び 交流する	那覇市老人 連合会	○			○		○	
	ハロウィン制作 (ほのぼの)	10/12(木)・13(金) 10:30～12:00	つどいの広場 利用者	12組 24名	集会室	制作活動		○						
	空手体験教室 (第4回)	10/8(土) 10:00～11:30	小学1年生 ～6年生	5名	遊戯室	空手の基礎や型を学ぶ (講師指導)	講師: 上間建氏			○	○			
	赤い羽根街頭募金 活動	10/20(金) 16:00～17:00	チャレンジ クラブ員	5名	イオン 那覇店	赤い羽根募金の 街頭募金活動	チャレンジクラブ						○	
	ハロウィンお楽しみ会 (ほのぼの)	10/26(木) 11:20～12:00	つどいの広場 利用者	12組 27名	遊戯室	読み聞かせ・玉入れ 写真撮影		○						

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
11月	おやこうんどう会 (ほのぼの)	11/2(木) 10:00~12:00	つどいの広場 利用者	11組 31名	遊戯室	チャレンジクラブ企画の ゲーム大会		○					○	
11月	空手体験教室 (第5回)	11/11(土) 13:30~15:00	小学1年生 ~6年生	11名	遊戯室	空手の基礎や型を学ぶ (講師指導)	講師: 上間雄氏			○	○			
11月	身体測定 (ほのぼの)	11/10・17・24(金) 10:00~12:00	つどいの広場 利用者	7組 15名	集会室	身長・体重測定					○			
11月	育児講座(ほのぼの) 「こころとからだのおあそび」	11/30(木) 10:30~12:00	つどいの広場 利用者	14組 30名	集会室	楽器や音を通して五感 に働きかけるあそび	講師: 高良幸則氏	○				○		
12月	クリスマスおたのしみ会 (ほのぼの)	12/14(木) 10:30~12:00	つどいの広場 利用者	18組 43名	遊戯室	お遊戯・ミニゲーム・ サンタとの交流		○		○				
12月	施設見学受け入れ 「小禄南小学校2年」	12/19(月) 9:15~12:00	小禄南小 2年生	133名	遊戯室 館内	社会科学習の一環 地域の施設見学	小禄南小学校					○		○
12月	チャレンジクラブ企画 クリスマスおたのしみ会	12/22(金) 16:20~17:00	乳幼児 親子~	58名	遊戯室	ゲームやクイズなど	チャレンジクラブ	○					○	
12月	第2回卓球交流会	12/26(火) 13:00~15:30	小学1年生 ~高校生	37名	遊戯室	卓球同好会と児童の 交流試合	かりゆしうるく	○			○		○	
12月	年末大清掃	12/28(木) 14:00~15:30	乳幼児 親子~	49名	館内外	館内外の清掃 環境整備	群星学童						○	
1月	新春おたのしみ会	1/6(土) 14:00~16:00	乳幼児 親子~	102名	遊戯室	舞台発表、けん玉 選手権やゲームなど	かりゆしうるく 群星学童	○		○			○	
1月	空手体験教室 (第6回)	1/13(土) 13:30~15:00	小学1年生 ~6年生	14名	遊戯室	空手の基礎や型を学ぶ (講師指導)	講師: 上間雄氏			○	○			
1月	消防避難訓練 (合同)	1/16(火) 16:30~17:00	全利用者	55名	館内外	地震と津波発生を 想定した避難訓練	かりゆしうるく 群星学童							○
1月	身体測定 (ほのぼの)	1/12・19・26(金) 10:30~12:00	つどいの広場 利用者	9組 18名	集会室	身長・体重測定					○			
1月	育児講座(ほのぼの) 「ふれ愛ボディワーク」	1/18(木) 10:30~11:30	つどいの広場 利用者	16組 34名	遊戯室	スキンシップを通し 親子の愛着や安定を図る	講師: 入福愛夢佳氏	○			○			
2月	まめまきあそび (ほのぼの)	2/2(金) 11:30~12:00	つどいの広場 利用者	13組 27名	集会室 遊戯室	紙芝居読み聞かせ ボール投げあそび		○			○			
2月	お誕生カード制作 (ほのぼの)	2/9(金) 10:30~11:30	つどいの広場 利用者	1組 2名	集会室	2月生まれ お誕生カードの制作		○		○				
2月	身体測定 (ほのぼの)	2/9・2/16(金) 10:00~11:30	つどいの広場 利用者	5組 10名	集会室	身長・体重測定					○			
2月	第39回児童館交流事業 ハンタードッチボール	2/17(土) 13:30~16:30	小学1年 ~6年	255名	那覇市民 体育館	各館の交流と体力増進を 目的としたスポーツ大会	市内11児童館	○			○	○		
2月	ひな飾り作り (ほのぼの)	2/29(木)・3/1(金) 11:20~12:00	つどいの広場 利用者	16組 34名	集会室	制作活動		○		○				
3月	空手体験教室 (第7回)	3/2(土) 13:30~15:00	小学1年生 ~6年生	7名	遊戯室	空手の基礎や型を学ぶ (講師指導)	講師: 上間雄氏			○	○			
3月	第12回うるく地域 ふれあい祭り	3/9(土) 10:00~15:00	全利用者 地域	366名	児童館 敷地内	ゲームコーナーや 防災体験、物販等	小禄まち協 群星学童	○					○	○
3月	チャレンジクラブ 閉講式	3/8(水) 16:00~17:00	クラブ員 群星学童	43名	談話室	修了書の授与		○					○	
3月	身体測定 (ほのぼの)	3/1・15・22・29(金) 10:00~11:30	つどいの広場 利用者	15組 42名	集会室	身長・体重測定					○			
3月	お誕生カード制作 (ほのぼの)	3/22(金) 10:30~12:00	つどいの広場 利用者	1組 3名	集会室	3月生まれ お誕生カードの制作		○		○				
3月	卓球体験会	3/26(火) 13:00~15:00	小学1年生 ~高校生	37名	遊戯室	卓球の体験・指導を受け 交流を持つ	かりゆしうるく	○			○		○	
通年活動	チャレンジクラブ (ボランティア)	[illegible] 16:00~17:00	小学3年 ~高校生	定員 なし	談話室 その他	行事を中心とした ボランティア活動							○	○
通年活動	空手体験教室 (月1回)	土曜日 10:00~11:30	小学1年 ~6年	定員 15名	遊戯室	専門講師による指導 空手の基礎や型を学ぶ	講師: 上間雄氏			○	○			

令和5年度　月別利用者実績

○小禄児童館

	利用登録届提出数			来館者数		
	児童館	つどいの広場	計	児童館	つどいの広場	計
4月	41	55	96	1,680	138	1,818
5月	45	13	58	1,593	168	1,761
6月	17	20	37	1,814	164	1,978
7月	18	20	38	2,248	250	2,498
8月	17	11	28	1,947	157	2,104
9月	7	11	18	2,051	220	2,271
10月	5	9	14	2,228	242	2,470
11月	2	20	22	2,001	256	2,257
12月	4	10	14	1,938	194	2,132
1月	1	8	9	1,472	200	1,672
2月	1	15	16	1,554	261	1,815
3月	3	9	12	2,787	228	3,015
計	161	201	362	23,313	2,478	25,791

クラブ名	活動曜日/時間	対象	定員	延べ人数
チャレンジクラブ（ボランティア）	金曜日16：00～17：00 その他行事企画・開催時など	小3～高校生	なし	113
空手体験教室	土曜日13：30～15：00	小1～小6	15名	72

活動名	活動曜日/時間	対象	定員	延べ人数
つどいの広場ほのぼの	水・木・金曜日 10：00～13：00	0歳～未就学児	なし	2,478

臨時開館・休館等について

	有・無	日　時	内容
臨時開館	無		
臨時休館	有	6/1(木) 12:00～18:00	台風2号（暴風警報発令）の為
	有	8/1(火) 10:00～18:00	台風6号（暴風警報発令）の為
	有	8/2(水) 10:00～18:00	台風6号（暴風警報発令）の為
	有	8/4(金) 16:00～18:00	台風6号（暴風警報発令）の為
	有	8/5(土) 10:00～18:00	台風6号（暴風警報発令）の為

令和５年度 小禄児童館 つどいの広場 事業報告

～児童館～

4月
こいのぼり掲揚式

8月
世代交流「焼物講座＆体験」

8月
児童企画「バスケ大会」

9月
とびだ児童館 in 高良小学校

10月
世代交流「卓球交流会」

1月
世代交流「新春おたのしみ会」

2月
部覇市児童館交流ハンタードッチ大会

2月
うるく地域ふれあい祭り

空手体験教室
チャレンジクラブ

～つどいの広場ほのぼの～

11月　育児講座
「こころとからだの音あそび」

12月
クリスマス会

日常あそび
（制作・プールなど）

令和5年度　識名児童館事業報告（4月～3月）

#	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
4月	てづくり教室① こいのぼり制作	4/1(土) ～24(月)	乳幼児 親子～	16名	事務所 前廊下 図書室	児童館の周りに飾る こいのぼりに絵や目標等メッセージを書く		○		○				
	制作活動 こいのぼり制作 （ランラン）	4/4(火) ～6(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	4組 8名	集会室 図書室	親子でこどもたちの健康を願いながらこいのぼりを作る。		○		○				
	身体測定 （ランラン）	4/11(火) ～13(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	5組 11名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	4月生まれ お誕生児写真撮影 （ランラン）	4/11(火) ～13(木) 10:00～11:30	乳幼児 親子	－	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	制作活動 母の日制作 （ランラン）	4/18(火) ～20(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	8組 16名	集会室	写真のキーホルダーづくり、紙でカーネーションをつくりプレゼントする。		○		○				
	子ども読書の日週間	4/23(土) ～28(土)	乳幼児 親子～	－	図書室	本を読む楽しさを知ってもらえるように展示し、自由に読む。						○		
	こいのぼり掲揚式 （ランラン）	4/26(水) 11:30～12:00	乳幼児 親子	6組 12名	事務所 前広場	こどもたちの健康を願って、こいのぼりを掲揚する。		○		○				
5月	こどもの日 あそびたい会	5/5(金) 10:30～12:00 13:30～17:00	乳幼児 親子～	32名	事務所 前廊下	職員と簡単な遊びを通し、こどもの日をこどもたちと一緒に楽しむ。		○		○		○		
	身体測定 （ランラン）	5/16(火) ～18(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	6組 12名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	5月生まれ お誕生児写真撮影 （ランラン）	5/16(火) ～18(木) 10:00～11:30	乳幼児 親子	1組 2名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	空手クラブ開講式	5/20(土) 10:50～11:20	乳幼児 親子	43名	工作室	クラブ員の顔合わせ、自己紹介、年間計画について話をする				○	○			
6月	たねをまこう！ （ランラン）	6/6(火) 11:00～11:30	乳幼児 親子	3組 6名	事務所 前広場	野菜の種をまき、親子で畑体験を楽しむ。		○	○					
	慰霊の日平和週間	6/10(土) ～22(木)	乳幼児 親子～	－	図書室	戦争にまつわる本や資料の展示を行う。 手形に平和へのメッセージを書く。				○		○		
	制作活動 父の日プレゼント作り （ランラン）	6/13(火) ～15(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	16組 32名	集会室 図書室	手形アートを親子で作成し、感謝の気持ちを込めてプレゼントを作る。		○		○				
	とびだせ児童館IN 上間小学校	6/17(土) 14:00～16:00	乳幼児 親子～	164名	上間 小学校 体育館	地域へ出向き、こどもたちへ遊びの提供を行う。	上間小学校 金城・小禄 児童館	○			○			
	身体測定 （ランラン）	6/20(火) ～22(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	11組 22名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	6月生まれ お誕生児写真撮影 （ランラン）	6/20(火) ～22(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	4組 8名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	定期清掃①	6/26(月) 9:30～11:00	両施設 利用者	53名	敷地内	敷地内の草刈り、清掃を行う。	識名老人 福祉センター							○
	応急手当講習会 （ランラン）	6/29(水) 11:00～11:30	両施設 利用者	8組 16名	センター 大広間	応急救護について知識を学ぶ。	消防・神経内科病院 識名老人 福祉センター							○
7月	制作活動 たなばた制作 （ランラン）	7/4(火) ～6(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	6組 12名	図書室 集会室	短冊に願い事や織姫・彦星の顔を描く。		○		○				
	ら・ら・らステーション 出張相談 （ランラン）	7/6(木) 10:30～11:45	乳幼児 親子	2組 4名	集会室	支援専門員によるつどいの利用者向け育児相談	ら・ら・ら ステーション 利用者支援 専門員							○
	身体測定 （ランラン）	7/11(火) ～13(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	12組 25名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	7月生まれ お誕生児写真撮影 （ランラン）	7/11(火) ～13(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	1組 2名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
7月	育児講座① ベビーマッサージ (ランラン)	7/18(火) 10:30～11:30	乳幼児 親子	6組 12名	工作室	ベビーオイル等を用いてベビーマッサージやスキンシップを楽しむ。	講師 平良　ありさ　氏	○			○			
	宿題応援隊	7/24(月) ～29(土) 10:00～12:00	小学生～	－	図書室	こどもたちが夏休みの宿題を集中して取り組めるようサポートする。						○		○
	定期清掃②	7/25(火) 9:30～12:00	同施設 利用者	10名	敷地内	敷地内の草刈り、清掃を行う。	識名老人 福祉センター							○
	夏休み教室① 「はりこをつくろう①」	7/27(木) 14:00～16:00	小学生	3名	工作室	風船と半紙などを使用しはりこを作る。		○				○		
	ラッキーWEEK	7/31(月) ～5(土) 10:30～17:00	乳幼児 親子～	－	事務所前	じゃんけんゲームやつみきつみ、など簡単なゲームを楽しむ。		○				○		
8月	夏休み教室① 「はりこをつくろう②」	8/8(火) 14:00～16:00	小学生	3名	工作室	風船と半紙などを使用しはりこを作る。		○				○		
	みずあそび (ランラン)	8/9(水)・31(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	11組 22名	事務所 前広場	親子で水遊びを楽しむ。		○			○			
	ハブについての お話会&パネル展示	8/1(火) ～14(月) 14:30～16:20	乳幼児 親子～	27名	遊戯室	ハブについてのパネル展示 ハブについてのお話会	那覇市 環境衛生課		○			○		○
	宿題応援隊	8/14(月) ～19(土) 10:00～12:00	小学生 ～	－	図書室	こどもたちが夏休みの宿題を集中して取り組めるようサポートする。						○		○
	夏休み教室② 「スライムづくり」	8/15(火) 14:00～16:00	小学生	13名	工作室	ふわふわなスライムの作り方を研究し楽しむ。		○				○		
	身体測定 (ランラン)	8/15(火) ～17(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	10組 22名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	8月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	8/15(火) ～8/17(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	1組 2名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	移動児童館 「水中観光船 オルカ号乗船」	8/18(金) 9:30～11:30	乳幼児 親子～	26名	那覇港	オルカ号に乗船し、港めぐりや水中の様子を見て楽しむ。	沖縄海事広報協会	○	○			○		
	みずあそび	8/18(金) 14:00～16:00	年中～	21名	事務所 前広場	水遊びをして暑い夏を楽しむ。		○			○			
	夏休み教室③ 「アイロンビーズde ぶんぶんゴマ」	8/19(土) 14:00～16:00	小学生	2名	図書室	好きな形のアイロンビーズを作り、ぶんぶんゴマを作り楽しむ。		○				○		
	防火訓練	8/22(火) 11:00～11:30	同施設 利用者	55名	敷地内	防火訓練を実施し、災害時に対応できるよう訓練を行う。	識名老人 福祉センター							○
9月	みずあそび (ランラン)	9/7(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	8組 16名	事務所 前広場	親子で水遊びを楽しむ。		○			○			
	敬老の日 プレゼント作り (ランラン)	9/12(火) ～14(木) 10:00～11:30	乳幼児 親子	13組 26名	図書室 集会室	祖父母へ手作りのうちわを親子で作成する。		○		○				
	定期清掃③	9/15(金) 9:30～12:00	同施設 利用者	10名	敷地内	敷地内の草刈り、清掃を行う。	識名老人 福祉センター							○
	身体測定 (ランラン)	9/19(火) ～21(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	13組 26名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	9月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	9/19(火) ～21(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	3組 6名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	育児講座② 幼児食講座 (ランラン)	9/27(水) 10:30～11:30	乳幼児 親子	11組 22名	集会室	幼児食に関する保護者の方々の悩み等を和らげ、食事について学ぶ。	講師 株式会社明治 管理栄養士 新垣　良子　氏					○		
10月	とびだせ児童館IN 高良小学校	10/7(土) 14:00～16:00	乳幼児 親子～	83名	高良小 体育館	地域へ出向き、こどもたちへ遊びの機会を提供を行う。	高良小学校 金城・小禄 児童館	○			○			
	利用者アンケート	10/10(火) ～31(火)	乳幼児 親子～	83名	－	小学生～保護者向けにアンケート調査を行う。								○
	ペタンク交流会	10/10(火) 10:30～12:00	小学生～	14名	遊戯室	ペタンクのルールについて教えてもらい実際に体験する。	那覇市老人クラブ 連合会 那覇市ペタンク同好会	○			○			

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
10月	秋の交通安全指導	10/10(火) 15:00～16:00	両施設 利用者	45名	センター 大広間	歩道を渡るときの注意や歩行者と車の距離感を知る。	那覇地区 交通安全協会・ 識名老人福祉 センター					○		
	身体測定 (ランラン)	10/17(火) ～19(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	13組 26名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	10月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	10/17(火) ～19(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	3組 6名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	育児講座③ 幼児の前髪カット (ランラン)	10/26(木) 10:30～12:00	乳幼児 親子	10組 20名	工作室	カットの仕方を学び保護者が実際に実践する。	講師 佐久盛 亜弥乃 氏					○		
	三世代交流 グラウンドゴルフ 大会	10/28(土) 10:00～12:00	両施設 利用者	37名	敷地内 グラウンド	グラウンドゴルフを通して世代間交流を楽しむ。	識名老人福祉 センター	○			○			
11月	身体測定 (ランラン)	11/7(火) ～9(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	13組 27名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	11月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	11/7(火) ～9(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	3組 6名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	育児講座④ 親子体操	11/15(水) 10:30～11:30	乳幼児 親子	7組 15名	遊戯室	親子で音楽に合わせてスキンシップをとったり、ストレッチや体操を楽しむ。	講師 知念 康代 氏	○			○			
12月	クリスマス制作 (ランラン)	12/5(火) ～7(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	13組 26名	図書室 集会室	親子でお絵かきやシールを貼ったりしクリスマスリースを作り楽しむ。		○						
	チャレンジ アドベンチャー [illegible]	12/9(土) 14:00～16:00	乳幼児 親子～	104名	敷地内	クイズに挑戦し、遊びコーナーのチケットをGET。遊びやくじ引きを楽しむ。		○				○	○	○
12月	身体測定 (ランラン)	12/12(火) ～14(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	18組 37名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	12月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	12/12(火) ～14(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	4組 8名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	クリスマス会 (ランラン)	12/21(木) 11:00～11:30	乳幼児 親子	30組 65名	遊戯室	親子でクリスマスの雰囲気を味わい、クリスマス会を楽しむ。		○						
	おそうじ&お楽しみ会	12/27(水) 16:00～17:00	乳幼児 親子～	24名	館内	館内の床掃除を行い、1年間使用した児童館をきれいにし、みんなでお楽しみ会を楽しむ。		○					○	
1月	三世代交流 新春ふれあい会	1/13(土) 14:00～16:00	乳幼児 親子～	117名	センター 大広間	新春の幕開けでの舞台発表やカルタ大会、お正月遊びを3世代で楽しみ、1年の健康を願う。	識名老人福祉 センター	○						○
	身体測定 (ランラン)	1/16(火) ・17(水) 10:00～11:45	乳幼児 親子	14組 28名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	1月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	1/11(木)・ 16(火)・17(水) 10:00～11:45	乳幼児 親子	3組 6名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	育児講座⑤ 乳幼児むし歯予防	1/18(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	11組 23名	工作室	乳幼児のむし歯や歯磨きについての講演。	[illegible]					○		○
	定期清掃④ (まつり前清掃)	1/23(火) 9:30～12:00	両施設 利用者	34名	敷地内	敷地内の草刈り、清掃を行う。	識名老人 福祉センター							○
2月	第17回 識名地域福祉 まつり(1日目)	2/2(金) 13:30～16:30	両施設 利用者	300名	敷地内	舞台発表、展示等を行い、両施設利用者が活動の成果を発表する。	識名老人 福祉センター	○					○	○
	第17回 識名地域福祉 まつり(2日目)	2/3(土) 11:00～16:00	両施設 利用者	973名	敷地内	舞台発表、展示・販売・あそびコーナー等を行い、両施設利用者が活動の成果やあそびを楽しむ。	識名老人 福祉センター	○					○	○
	第39回那覇市 児童館交流事業 ハンタードッチボール	2/17(土) 13:15～16:45	小学生	27名	那覇市民 体育館	那覇市11児童館の子ども達がハンタードッチボールを通して交流し楽しむ。	こども政策課 那覇市各児童館	○			○			

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
2月	身体測定 (ランラン)	2/20(火) ～22(水) 10:00～11:45	乳幼児 親子	16組 33名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	2月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	2/20(火) ～22(水) 10:00～11:45	乳幼児 親子	－	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
	ひなまつり制作 (ランラン)	2/27(火) ～29(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	14組 30名	図書室 集会室	丸めた花紙を下ごしらえに入れ、ひな人形の着物にする。顔はペンで描き、飾け和紙の台紙に貼る。		○		○				
3月	空手クラブ 閉講式	3/2(土) 10:30～11:30	年中～ 小学生	15名	遊戯室	1年間の練習の成果発表を行う。					○			
	うんどうあそび (ランラン)	3/14(木) 11:00～11:30	乳幼児 親子	8組 16名	遊戯室	親子で体操やサーキット、かけっこを楽しむ。		○			○			
	身体測定 (ランラン)	3/19(火) ・21(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	17組 37名	集会室	こどもたちの身長・体重を測り成長を記録する。					○			
	3月生まれ お誕生児写真撮影 (ランラン)	3/19(火) ・21(木) 10:00～11:45	乳幼児 親子	4組 7名	図書室 集会室	お誕生フレームを使用し写真撮影を行い、お誕生カードを作成。誕生児へプレゼントする。		○		○				
クラブ・通年活動	空手クラブ	土曜日 10:30～11:30	幼稚園生 ～小学生	23名	遊戯室	空手の基礎を学び楽しさを知る。	講師 小渡 陽元 氏			○	○			
	たのシーサークラブ (ボランティア)	主に行事前～開催期間	小学4年生 ～高校生	32名	特定なし	自主的な活動を行い、児童館行事の企画・運営を行う。		○				○	○	○
	おもちゃ消毒 (ランラン)	随時開催	乳幼児 親子	－	集会室	玩具の消毒、破損等の確認仕分けを行う。							○	

令和5年度　月別利用者実績

○識名児童館

	利用登録届提出数			来館者数		
	児童館	つどいの広場	計	児童館	つどいの広場	計
4月	159	144	303	1,623	121	1,744
5月	56	53	109	1,266	115	1,381
6月	14	33	47	1,358	207	1,565
7月	44	42	86	1,827	257	2,084
8月	14	23	37	1,434	219	1,653
9月	15	32	47	1,280	253	1,533
10月	19	19	38	1,637	254	1,891
11月	9	28	37	1,579	229	1,808
12月	2	11	13	1,567	253	1,820
1月	3	17	20	1,499	198	1,697
2月	3	26	29	1,874	219	2,093
3月	2	1	3	1,961	244	2,205
計	340	429	769	18,905	2,569	21,474

クラブ名	活動曜日/時間	対象	定員	延べ人数
たのシ～サ～	児童館の主な行事の準備・開催期間の活動（チャレンジアドベンチャー・まつりなど）	小学４年生～高校生	なし	71名
空手クラブ	土曜日/10:30～11:30	年中～小学生	24名	307名

活動名	活動曜日/時間	対象	定員	延べ人数
つどいの広場ランラン	火・水・木/10：00～13：00	0歳～6歳（未就学児）	なし	2569名

臨時開館・休館等について

	有・無	日時	内容
臨時開館	無	-	-
臨時休館	有	6/1(木) 12:00～18:00	台風2号(暴風警報発令)の為
	有	7/30(日) 10:00～14:00	貯水槽タンク工事の為
	有	8/1(火)・2(水) 10:00～18:00	台風6号(暴風警報発令)の為
	有	8/3(木) 10:00～18:00	台風6号の影響による停電の為
	有	8/4(金) 16:00～18:00	台風6号(暴風警報発令)の為
	有	8/5(土) 10:00～18:00	台風6号(暴風警報発令)の為
	有	3/16(土) 13:00～18:00	害虫駆除作業の為

令和5年度 識名児童館・つどいの広場ランラン 行事写真一覧

チャレンジアドベンチャー

年末大掃除

空手クラブ

とびだせじどうかんIN上間小学校

那覇市交流事業 ハンタードッチボール大会

ハブについてのお話会

世代交流 グラウンドゴルフ大

交通安全講話(センター合同)

三世代交流新春ふれあい会

秋休み ペタンク交流会

~《 ランラン行事 》~

うんどうあそび

たねまき

AED講習会(センター合同)

こいのぼり掲揚式

クリスマス会

親子体操

令和5年度金城児童館事業報告（4月～3月）

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
4月	こいのぼり製作（社協こいのぼり）	4/8(土) 14:00～17:00	利用児童	7名	事務所前	国場川(こいのぼりまつり)に掲げよう		○	○	○		○		○
	こいのぼり制作（児童館）	4/11(火)～18(火) 10:00～17:00	全利用者	7名	事務所前 登関	手作りこいのぼり製作	金城児童クラブ	○		○				
	こいのぼり制作（さんさん）	4/12(水)～14(金) 10:30～11:30	乳幼児親子	7組 16名	事務所前 登関	親子で手作りこいのぼりの製作		○		○				
	こいのぼり掲揚式（さんさん）	4/19(水) 11:30～11:50	乳幼児親子	5組 11名	施設前広場	季節行事/職員紹介 みんなでこいのぼりを掲揚しながら、子の成長を願う		○		○				
	こども読書の日週間	4/19(水)～28(金) 随時	全利用者	—	図書コーナー	推薦本の紹介や要望のある書籍を揃えるなど関心・興味を高め、読書の機会を設す。		○				○		
5月	こどもの日企画	5/5(水) 14:00～15:00	全利用者	21名	事務所前	だるま落としに挑戦！		○		○	○			
	クラブ申し込み	5/6(土)～13(土) 随時	小学生～高校生	28名（17組）	事務所	令和5年度のクラブ申し込み							○	○
	母の日企画（さんさん）	5/12(金) 10:30～11:30	乳幼児親子～	21名（9組）	工作室	写真撮影（キーホルダー作成）		○		○				
	5月誕生カード作り（さんさん）	5/18(木) 10:30～11:30	乳幼児親子～	4名（3組）	事務所前スペース	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○				
	盲導犬を知ろう！	5/24(水) 15:30～16:00	利用児童学童児童	44名	遊戯室	視覚障がい者を支える盲導犬を学ぼう				○		○		
6月	慰霊の日『平和パネル展示』	6/13(火)～22(木) 随時	全利用者	—	事務所前スペース	パネル展示・平和メッセージ				○		○		
	父の日企画写真撮影（さんさん）	6/14(水) 10:30～11:30	乳幼児親子～	13名（6組）	-	写真撮影（キーホルダー作成）		○		○				
	ベビーマッサージ（さんさん育児講座）	6/16(金) 10:30～11:30	乳幼児親子	13名（6組）	工作室	専門講師による育児講座 ふれあいマッサージ	講師：平良ありさ氏					○		
	6月誕生カード作り（さんさん）	6/22(木) 10:30～11:30	乳幼児親子～	7名（3組）	事務所前スペース	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○				
	地域懇談会	6/27(火) 10:30～11:30	地域関係者	19名	遊戯室	近隣関係者（学校・交番・まち協など）との情報交換会	地域関係者							○
	明治安田生命「ベジチェック（血管年齢）」	6/29(水) 10:30～11:30	全利用者	5名	事務所前スペース	明治安田生命による血管年齢チェック	明治安田生命							○
7月	たなばた週間	7/3(月)～7日(金) 随時	全利用者	—	ホール	笹を設置し、各自短冊・笹飾り作成		○	○	○		○		
	たなばた制作（さんさん）	7/5(水)～7/7(金) 10:30～11:30	乳幼児親子～	20名（9組）	事務所前登関	季節の行事を楽しむ		○		○				
	なはの日清掃	7/7(金) 16:00～17:00	全利用者	48名	施設内	なはの日清掃で施設内外をキレイにする				○			○	
	水遊び（さんさん）	7/12(水) 10:30～11:30	乳幼児親子	28名（12組）	館外駐輪場	季節遊びを楽しむ		○			○	○		
	ららら相談会（さんさん）	7/13(木) 10:30～11:30	乳幼児親子	6名（3組）	図書コーナー	らららステーション 出張相談会						○		
	お誕生日カード作り（さんさん）	7/20(木) 10:30～11:30	乳幼児親子	2名（2組）	事務所前スペース	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○				
	夏休み工作広場	7/29(土) 13:00～17:00	一般児童	80名	遊戯室	夏休み教室 廃材を使い工作を楽しむ		○				○		

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
8月	夏休み教室 8131クッキング	8/8(火) 13:50～15:00	小学生以上	19名	調理室	沖縄の料理・おやつを作ろう	母子会			○		○		○
	巨大絵をつくろう①	8/12(土) 15:00～16:00	一般児童	5名	事務所前スペース	50年後の未来をテーマに巨大絵の作成	実習生	○		○		○	○	
	夏休み教室 「シーサー絵付け体験」	8/15(火) 13:30～15:30	小学生以上	11名	工作室	シーサーの歴史を学び自分だけのシーサーを作ってみよう！	シーサー工房まぶやー			○		○		
	夏休み教室 「オルカ号体験乗船」（移動児童館）	8/18(金) 9:30～12:00	さんさん小学生以上	30名	那覇港	水中観光船に乗って海の事を知ろう！！	小禄児童館 識名児童館 那覇港管理組合	○	○			○		
	夏休み大掃除	8/25(金) 16:00～17:00	全利用者	65名	児童館内	夏休み期間に利用した児童館の清掃	金城児童クラブ			○			○	
	マルチパネル （さんさん）	8/31(木) 10:00～11:45	乳幼児親子	16名 (7組)	遊戯室	大型遊具を使った遊び		○			○	○		
9月	水遊び② （さんさん）	9/8(金) 10:30～11:30	乳幼児親子	20名 (9組)	館外駐輪場	季節遊びを楽しむ		○			○	○		
	絵楽アート② 「巨大絵」	9/9(土) 13:00～	一般児童	2名	工作室	50年後の未来をテーマに巨大絵の作成		○		○		○	○	
	保健所出前保育 （さんさん）	9/15(金) 10:30～	乳幼児親子～	25名 (12組)	遊戯室	保育遊びの提供、手作りおもちゃの紹介など	保健師/母子保健推進員	○				○		
	絵楽アート③ 「巨大絵」	9/16(土) 随時	一般児童	10名	工作室	50年後の未来をテーマに巨大絵の作成（写真撮影）		○		○		○	○	
	お誕生日カード作り　（さんさん）	9/21(木) 10:30～11:30	乳幼児親子	2名 (2組)	事務所前スペース	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○				
	親子体操 （さんさん育児講座）	9/28(木) 10:30～11:30	乳幼児親子	26名 (13組)	遊戯室	専門講師による育児講座 親子で体操を楽しむ	講師： 知念康代 氏	○			○	○		
10月	とびだせ児童館in高良小学校	10/7(土) 14:00～16:00	一般児童乳幼児親子	83名	高良小学校体育館	地域に飛び出し児童館アピールをする	高良小学校	○		○	○			○
	三世代交流 「花いっぱい運動」 ①さんさん ②児童館	10/11(水) ①11:30～12:00 ②15:00～16:00	乳幼児親子・一般児童・憩いの広場利用者	38名	館外広場	三世代交流として館外活動（お花の苗植え）	老人憩いの家	○		○	○			
	10月誕生日カード （さんさん）	10/19(木) 10:30～11:30	乳幼児親子～	2名 (2組)	事務所前登閣	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○				
	親子運動会 （さんさん）	10/27(金) 10:45～12:00	乳幼児親子	43名 (19組)	遊戯室	親子で季節行事を楽しむ		○			○	○		
11月	手形あそび （さんさん）	11/1(水)11/2(木) 10:00～11:30	乳幼児親子	18名 (9組)	事務所前登閣	えのぐを使って色々な色を使って手形を取る		○				○		
	地域福祉まつり前清掃	11/10(金) 16:00～16:30	全利用者	50名	施設前広場	施設前広場の清掃作業			○					○
	第14回 かなぐすく地域福祉まつり	11/18(土) 11:00～16:30	全利用者	455名	総合福祉センター	総合福祉センター内の発表や作品展示などを行う	老人憩いの家 金城児童センター	○		○	○	○	○	○
	11月誕生日カード作り（さんさん）	11/22(水) 10:30～11:30	乳幼児親子～	1組 (1名)	事務所前登閣	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○				
	親子体操 （さんさん育児講座）	11/29(水) 10:45～11:45	乳幼児親子	28名 (14組)	遊戯室	専門講師による育児講座 親子体操	講師 知念康代 氏	○			○	○		

	活動名	日時	対象	人数	場所	内容	連携	活動指標						
								遊び	自然	文化	体育	知育	ボラ	運営
12月	クリスマス制作（さんさん）	12/6(水)～8(金) 15(金) 10:30～11:30	乳幼児 親子	36名（18組）	事務所前畳間	クリスマスお楽しみ会に使用する玩具の作成		○		○				
	クリスマスお楽しみ会（さんさん）	12/15(金) 11:00～12:00	乳幼児 親子	44名（21組）	遊戯室	季節行事 クリスマスお楽しみ会（リトミック）		○		○	○	○		
	12月誕生日カード作り（さんさん）	12/20(水) 10:00～11:30	乳幼児 親子	－	事務所前畳間	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○	○	○		
	年末大掃除	12/27(水) 15:00～16:00	一般児童 学童クラブ	45名	館内	年末大掃除を皆で行う 分担清掃	金城児童クラブ			○		○	○	○
1月	新春ふれあい会	1/6(土) 14:00～15:00	全利用者	16名	遊戯室	新春の喜びを祝う 餅つき体験で美味しく食す	老人憩いの家 民生委員	○		○		○	○	○
	1月誕生カード作り（さんさん）	1/25(水) 10:30～11:30	乳幼児 親子	2組（2名）	事務所前畳間	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○		○		
	アクアチェーニングセラピー（さんさん育児講座）	1/26(金) 11:00～12:00	乳幼児 親子	8名（4組）	工作室	専門講師による育児講座 癒しとリラックスを求める	講師： 西井奈緒 氏					○		○
	節分制作（さんさん）	1/31(水) 10:30～11:30	乳幼児 親子	8名（4組）	事務所前畳間	季節行事 絵具でスタンプ押し帽子作成		○		○		○		
2月	節分制作（さんさん）	2/1(木)2/2(金) 10:30～11:30	乳幼児 親子	31名（15組）	事務所前畳間	季節行事 絵具でスタンプ押し帽子作成		○		○		○		
	節分あそび「豆まき」（さんさん）	2/2(金) 11:30～12:00	乳幼児 親子	32名（16組）	遊戯室／玄関	季節行事 健康祈願の豆まき		○		○	○			
	2月誕生カード作り（さんさん）	2/15(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	2名（2組）	事務所前畳間	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○		○		
	第39回児童館交流事業「ハンタードッチボール大会」	2/17(土) 13:15～16:30	小学生	28名	那覇市民体育館	市内11児童館交流と体力増進を目的とした大会	市内11児童館	○		○	○	○		○
3月	ひなまつり会（さんさん）	3/1(金) 10:00～11:30	乳幼児 親子	41名 20組	ひな壇前	手作り衣装を羽織って 親子で写真撮影をする		○		○		○		
	消防訓練	3/12(火) 15:45～16:15	全利用者	7名	施設前広場	火災時の各自役割や避難経路・初期消火の確認						○		○
	お口の健康講座（さんさん育児講座）	3/13(水) 11:00～12:00	乳幼児 親子	36名（18組）	遊戯室	専門講師による育児講座 口腔ケア講座	講師 喜手納一彦 氏					○		
	3月誕生カード作り（さんさん）	3/14(木) 10:30～11:30	乳幼児 親子	1名（1組）	事務所前畳間	写真撮影（カード作成）、手形、身長体重の記録		○		○		○		
通年活動	ゆいまーる美らスマイルクラブ（ボランティア）	不定期	3年生～高校生	3名	—	児童館行事運営の手伝い		○			○	○	○	○
	ダンス体験教室（児童館）	火曜日（年間） 16:30～17:30	1年生～	18名	児童館遊戯室	ダンスの体験・活動を通して異年齢交流を図る	那覇西高校ダンス部	○			○		○	
	身体測定	月1回 10:30～11:30	乳幼児 親子～	－	事務所前畳間	身長体重の記録						○		

令和5年度　月別利用者実績

○金城児童館

	利用登録届提出数			来館者数		
	児童館	つどいの広場	計	児童館	つどいの広場	計
4月	73	111	184	2,551	215	2,766
5月	82	55	137	2,511	232	2,743
6月	17	48	65	2,484	253	2,737
7月	66	50	116	2,729	281	3,010
8月	8	34	42	2,035	145	2,180
9月	6	47	53	2,458	319	2,777
10月	9	24	33	2,900	273	3,173
11月	7	18	25	2,925	340	3,265
12月	6	33	39	2,411	328	2,739
1月	3	22	25	2,401	242	2,643
2月	1	30	31	2,251	374	2,625
3月	0	41	41	3,105	521	3,626
計	278	513	791	30,761	3,523	34,284

クラブ名	活動曜日/時間	対象	定員	延べ人数
ダンスクラブ	火曜日 16時30分～17時30分	小1～小6	15名程度	378人
ゆいまーる美ら スマイルクラブ	その他行事企画・開催時など 【随時募集中】	小3～高校生	なし	15人

活動名	活動曜日/時間	対象	定員	延べ人数
つどいの広場さんさん	水・木・金曜日 10：00～13：00	0歳～ 未就学児	なし	3523人

臨時開館・休館等について

	有・無	日　時	内容
臨時開館	無	－	－
事業停止 （つどいの広場）	有	8月2日（水）	台風6号（暴風警報発令）の為
		8月3日（木）	台風6号の影響による停電の為
利用時間変更	有	8月18日（金）	夏休み教室【オルカ号乗船の為】
臨時休館	有	6/1（木） 12:00～18:00	台風2号（暴風警報発令）の為
		8月1日（火）2日（水）	台風6号（暴風警報発令）の為
		8月3日（木）	台風6号の影響による停電の為
		8月4日（金）	台風6号の影響による停電の為 台風6号最接近の為（16:30～）
		8月5日（土）	台風6号（暴風警報発令）の為
		8月7日（月）	台風6号の影響による停電の為

令和５年度　事業報告【金城児童館】

ダンスクラブ

地域関係者懇談会

第 14 回 かなぐすく地域福祉まつり

絵楽アート（個人作品・巨大絵）

夏休み工作広場

三世代交流 新春ふれあい会

児童館交流事業 スポーツ交流会

令和５年度 【つどいの広場さんさん】

育児講座

水あそび

季節の制作活動

親子うんどう会

節分豆まき

令和5年度実習/見学等受け入れ

○識名児童館

受け入れ内容	期日	受け入れ団体/機関	受け入れ人数
施設見学	8/17(木)14:00～14:30	那覇市社会福祉協議会　実習生	7名
ボランティア	8/25(金)10:00～12:00	泊高校3年生	1名
	9/26(火)・27(水)9:30～12:00	沖縄女子短期大学	2名
インターンシップ	10/24(火)～10/26(木)9:30～16:	開邦中学校3年生	2名
実習生	7/31(月)～8/17(土)9:30～18:00 実習80時間受け入れ	沖縄女子短期大学 児童教育学科	1名

○小禄児童館

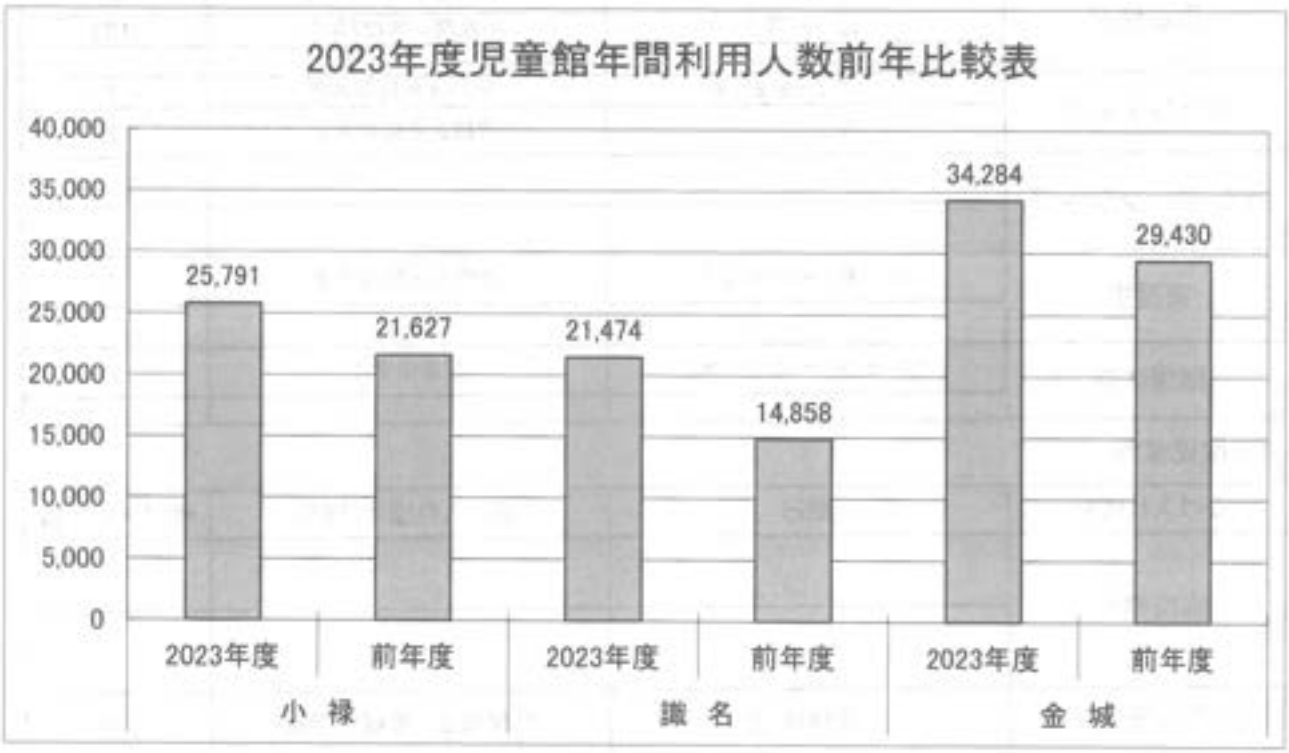
受け入れ内容	期日	受け入れ団体/機関	受け入れ人数
施設見学	9/19(火)・9/25(月)・9/26(火)	宇栄原小学校2年生	84
	12/19(月)	小禄南小学校2年生	133
ボランティア	8/23(水)～8/24(木)	キリスト教短期大学	1
	9/21(木)	沖縄女子短期大学	2
インターンシップ			
実習生	8/7(月)～8/19(土)	沖縄女子短期大学	1
職場体験	12/19(火)～12/20(水)	鏡原中学校	2

○金城児童館

受け入れ内容	期日	受け入れ団体/機関	受け入れ人数
施設見学			
ボランティア	11月18日(土)	沖縄県立　金城中学校	4名
インターンシップ	7月11日(火)～7月13日(木)	沖縄県立　那覇商業高等学校	3名
	9月27日(水)～9月29日(金)	沖縄県立　那覇工業高等学校	3名
実習生			

2023年度児童館利用状況（福祉施設課）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小 禄	2023年度	1,818	1,761	1,978	2,498	2,104	2,271	2,470	2,257	2,132	1,672	1,815	3,015	25,791
	前年度	1,618	1,446	1,844	1,622	1,507	1,562	1,966	1,889	1,998	1,737	1,999	2,439	21,627
識 名	2023年度	1,744	1,381	1,565	2,084	1,653	1,533	1,891	1,808	1,820	1,697	2,093	2,205	21,474
	前年度	980	1,009	1,010	1,112	1,171	802	1,281	1,196	1,278	1,180	1,427	2,412	14,858
金 城	2023年度	2,766	2,743	2,737	3,010	2,180	2,777	3,173	3,265	2,739	2,643	2,625	3,626	34,284
	前年度	2,214	1,899	2,203	2,503	2,142	2,229	2,698	2,777	2,653	2,244	2,330	3,538	29,430
合 計	2023年度	6,328	5,885	6,280	7,592	5,937	6,581	7,534	7,330	6,691	6,012	6,533	8,846	81,549
	前年度	4,812	4,354	5,057	5,237	4,820	4,593	5,945	5,862	5,929	5,161	5,756	8,389	65,915
＊＊＊＊		1,516	1,531	1,223	2,355	1,117	1,988	1,589	1,468	762	851	777	457	15,634



15. 沖縄県共同募金委員会那覇市共同募金委員会の運営

(1)赤い羽根共同募金運動の推進

①沖縄県共同募金会那覇市共同募金委員会活動の推進

期日	事業名	場 所	内 容
8/14	令和5年度 第1回那覇市共同募金委員会運営委員会	ともかぜ振興会館 2F 研修室	運営委員の補充選任について 会長の互選について 事業報告について 一般会計決算報告について 監査報告 事業計画について 一般会計予算について 助成審査委員会審査委員の選任について
10/1	那覇市共同募金委員会出発式	サンエー那覇メインプレイス 2F オープンモール	主催挨拶 激励挨拶(県共同募金会) 募金箱コンテストの開催 街頭募金の実施及び贈呈
10/1	手作り募金箱コンテストの開催	サンエー那覇メインプレイス 2F オープンモール	市内小学生へ手作り募金箱を募り、作品展を開催する。また、作品展の実施及び入賞作品を実際の募金箱として活用することにより、参加児童の家族や市民へも広く共同募金を広報し、運動に対する共感の輪を広げていくことを目的とする。

②その他(沖縄県共同募金会会議等への参加)

ア. 沖縄県共同募金会第1回理事会

日 程:令和5年6月6日(火)14時

場 所:沖縄県総合福祉センター 403研修室

参 加:新本博司会長

イ. 共同募金感謝の集い

日 程:令和5年7月28日(金)14時

場 所:沖縄県総合福祉センター ゆいホール

参 加:大城千里

ウ. 令和5年度共同募金委員会(支会・分会)担当職員研修会

日 程:令和5年8月22日(火)

場 所:沖縄県総合福祉センター 403研修室

参 加:港川孟仁

エ. 令和5年度共同募金委員会(支会・分会)正副会長・事務局長等会議

日 程:令和5年8月25日(金)14時

場 所:沖縄県総合福祉センター 403研修室

参 加:川満正人会長、長嶺美佐子副会長、前原信達副会長、山内光子副会長、宮城哲哉常務理事、港川孟仁

オ. 令和5年度「赤い羽根空の第一便」伝達式

日　程:令和5年10月1日(日)12時

場　所:パレットくもじ前広場

参　加:川満正人会長　長嶺美佐子副会長　宮城哲哉常務理事　真栄城孝地域福祉課長
上原直子企画総務課長　大城千里

カ. 令和5年度沖縄県共同募金会第2回評議員会

日　程:令和6年3月22日(金)14時

場　所:沖縄県総合福祉センター　ゆいホール

参　加:川満正人会長

(2)歳末たすけあい運動の推進

共同募金運動の一環として今年度も「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をテーマに地域住民やボランティア、民生委員、社会福祉施設、市社協等の関係機関・団体の協力のもと新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らせることができるよう様々な福祉活動を重点的に展開した。　※実績は別紙のとおり

(3)共同募金助成審査委員会の開催

第1回

日　時:令和5年6月27日(火)13時30分

場　所:那覇市総合福祉センター会議室

参加者:6名(委員8名中)

内　容:赤い羽根共同募金配分金福祉活動助成事業及び歳末たすけあい募金事業の審査について

(4)配分金事業・歳末たすけあい事業の実施

赤い羽根募金のしくみとして、当年度に集めたものを次年度に沖縄県全体で配分する。そのため令和5年度の那覇市配分内訳については、令和4年度に寄せられた募金実績 19,428,435 円の内、9,714,218 円(全体の 50%)が沖縄県内の福祉施設・整備事業に充てられ、残りの 9,714,218 円(全体の 50%)が那覇市社会福祉協議会(以下、那覇市社協)を通して、福祉団体や地域活動を推進する団体等へ配分され、市民の福祉向上のために活動に使われた。(那覇市社協の福祉事業も含む)

各団体への助成については、助成審査委員会において決定することになっており、公平な配分助成、透明性を高めるために審査基準を明確にし、幅広く広報活動を行い募金が有効活用できるような仕組みづくりとして、令和3年度より新しく助成金要綱を整備し公募による助成団体への配布を行った。

歳末たすけあい募金については、令和5年度 7,798,642 円の募金が寄せられ、12月から翌年3月までの那覇社協が実施する生活困窮世帯等への見舞金激励金事業や地域で行われる世代間交流事業等の助成に活用した。

※令和5年度赤い羽根共同募金助成実績一覧　別紙参照

※令和5年度歳末助け合い事業　別紙参照

※令和5年度歳末たすけあい助成実績　別紙参照

令和5年度赤い羽根共同募金種別の実績額と前年度実績との比較一覧

令和6年3月31日締

募金種目	令和５年度						令和４年度					前年度比(円) ※県分除く (A)-(C)
	目標額(円)	市実績額(円) (A)	県募金会取扱分 (円) (B)	実績額 (円) (A)＋(B)	達成率 (%)	募金件数 (件)	目標額(円)	市実績額(円) (C)	達成率 (%)	募金件数 (件)	**令和4年度 最終実績 ※県分含む**	
戸　別	4,500,000	1,428,837	0	1,428,837	32%	97	4,500,000	1,438,778	32.0	107	1,594,858	-9,941
街　頭	2,000,000	1,754,490	0	1,754,490	88%	86	2,000,000	1,443,643	72.2	78	1,075,211	310,847
法　人	11,400,000	4,263,064	739,000	5,002,064	44%	280	11,400,000	5,200,794	45.6	381	5,768,717	-937,730
学童（学校）	2,200,000	1,511,883	0	1,511,883	69%	38	2,200,000	1,704,291	77.5	33	1,837,517	-192,408
職　域	12,033,000	2,483,248	161,570	2,644,818	22%	230	12,090,000	3,432,162	28.4	295	3,470,995	-948,914
イベント募金	0	0	0	0	0	0	0	3,000	#DIV/0!	1	0	-3,000
個　人	6,500,000	2,120,905	1,560,000	3,680,905	57%	258	6,500,000	2,752,919	42.4	335	4,082,830	-632,014
そ の 他	1,023,000	276,195	507,146	783,341	77%	48	1,023,000	344,094	33.6	30	1,019,956	-67,899
合　計	39,656,000	13,838,622	2,967,716	16,806,338	42%	1,037	39,713,000	16,319,681	41.1	1,260	18,850,084	-2,481,059

※募金件数の学童は学校数、戸別は自治会数

令和5度 歳末たすけあい募金種別の実績額と前年度実績との比較一覧

令和6年3月31日現在

募金種目	令和5年度				令和4年度				差額(円)
	目標額(円)	金額(円)	達成率(%)	募金数(件)	目標額(円)	金額(円)	達成率(%)	募金数(件)	
戸　別	2,500,000	1,238,299	50%	83	2,500,000	1,204,347	48%	79	33,952
街　頭	1,929,000	1,582,398	82%	75	1,500,000	1,532,933	102%	67	49,465
法　人	3,800,000	2,224,500	59%	159	3,800,000	2,179,445	57%	165	45,055
職　域	2,520,000	1,825,379	72%	133	2,520,000	2,650,345	105%	241	-824,966
個　人	1,000,000	795,695	80%	89	800,000	629,240	79%	111	166,455
その他	31,000	132,371	427%	6	31,000	50,301	162%	4	82,070
小　計	11,780,000	7,798,642	66%	545	11,151,000	8,246,611	74%	667	-447,969
前年度繰越金	—	5,899,114	—	—	—	6,623,286	—	—	—
収入合計（A）	—	13,697,756	—	—	—	14,869,897	—	—	—

歳末たすけあい事業一覧　　令和6年3月31日現在

事業名	予算額	支出額
見舞激励金事業	3,241,500	2,768,000
地域福祉懇談会	90,000	39,992
歳末おそうじ隊事業	272,000	49,730
地域見守り交流事業	2,770,000	2,585,115
障がい者紙オムツ支給事業	425,000	153,072
社協だより発行事業	1,652,000	1,817,558
小地域福祉活動助成事業	2,281,500	1,934,560
歳末クリスマスケーキ配布事業	50,000	98,290
災害救援ボランティア事業	558,000	123,087
見守り安心キット配布事業	270,000	122,118
福祉教育推進事業	170,000	104,192
支出合計(B)	11,780,000	9,795,714
次年度繰越金(C)		3,902,042

歳末激励金支給状況（那覇市民生委員担当地区（世帯別件数））　　令和　年　月　日実施

	民生委員・児童委員				その他関係機関	合計(件数)
	那覇地区	真和志地区	首里地区	小禄地区		
高齢者	10	24	3	5	4	46
長期療養	0	1	0	1	0	2
母子父子	27	22	7	5	9	70
生活困窮	20	23	6	3	13	65
その他	0	0	0	0	0	0
合計（件数）	57	70	16	14	26	183

16. その他の事業

（1）南部地区社会福祉協議会連絡協議会事業への参画

①各種連絡会への参加

ア．南部地区社会福祉協議会連絡協議会定期総会－－－－－－－－－－－－－－－1回開催

イ．南部地区社会福祉協議会連絡協議会会長連絡会－－－－－－－－－－－－－1回開催

ウ．南部地区社会福祉協議会連絡協議会事務局長連絡会－－－－－－－－－－6回開催

エ．南部地区社会福祉協議会連絡協議会業務担当者連絡会－－－－－－－－－6回開催

オ．南部地区社会福祉協議会連絡協議会庶務連絡会－－－－－－－－－－－－－5回開催

カ．南部地区社会福祉協議会連絡協議会ボランティア担当者連絡会－－－－－5回開催

キ．南部地区社会福祉協議会連絡協議会訪問介護員連絡会－－－－－－－－－3回開催

ク．南部地区社会福祉協議会連絡協議会研修会－－－－－－－－－－－－－－－2回開催

（2）令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議（鹿児島大会）への派遣・参加

開　催　　令和6年1月16日（火）～17日（水）

場　所　　鹿児島県

派　遣　　新垣佳子事務局長

発　表　　第1分科会「社協の経営・運慶基盤強化に向けた取組」

参　加　　真栄城課長・港川主査

（3）物品等貸し出し事業の実施

自治会や地域福祉を推進する団体等へ活動に必要な物品等を貸し出すことにより、地域福祉活動を支援した。また、軽トラックを自治会等に貸出し、地域の清掃活動等のために便宜を図った。

貸出物品	件　数
臼及び杵	11件／17セット
テント	3件／6張
椅子	0件／0脚
音響機材	1件
軽トラック貸出	2件

（4）社会福祉士・介護福祉士養成実習生の受け入れ

◎2023年度社会福祉士相談援助実習

ア.第一期 社会福祉士援助技術現場実習（7人）　実習指導者：山城章　新垣佳子

No.	学校名	氏名	期間	単位日数
1	沖縄大学	喜舎場　美羽	8月10日～9月19日	180H 23日間
2	沖縄国際大学	伊佐　善朗	8月10日～9月19日	180H 23日間
3	沖縄国際大学	金城　将	8月10日～9月19日	180H 23日間
4	沖縄国際大学	新屋　結希	8月10日～9月19日	180H 23日間

5	琉球リハビリテーション学院	儀間　真貴子	8月10日～9月19日	180H 23日間
6	日本総合研究所	船曳　千代子	8月10日～9月19日	180H 23日間
7	日本総合研究所	與座　加奈子	8月10日～9月19日	180H 23日間

イ.第二期 社会福祉士援助技術現場実習（6人）　実習指導者：山城章　新垣佳子

No.	学校名	氏名	期間	単位日数
1	沖縄大学	渡慶次　梨乃	2月6日～2月26日	60H　9日間
2	沖縄大学	西原　巧	2月6日～2月26日	60H　9日間
3	沖縄大学	比嘉　咲音	2月6日～2月26日	60H　9日間
4	沖縄国際大学	木村　羽汰	2月6日～2月26日	60H　9日間
5	沖縄国際大学	高宮城　愛乃	2月6日～2月26日	60H　9日間
5	沖縄国際大学	原田　昌代	2月6日～2月26日	60H　9日間

（5）実習生・インターシップ等の受け入れ

①デイサービスあしびなー

・実習生受入れ

実習機関	研修名	人数
社会福祉法人いじゅの木会 就労支援いじゅの木	職場実習	1名
真和志高等学校	夏期介護実習	2名
社会福祉士養成4校	ソーシャルワーク実習	4名

②地域福祉課

・職場体験

実習機関	研修名	人数
仲井真中学校	職場体験	6名

③企画総務課（事務職）

・就業体験（インターンシップ）

期間	学校名	人数
令和5年10月30日（月）～11月10日（金）　9日間	県立南風原高等支援学校	1名